

第2次安曇野市総合計画後期基本計画 市民意識調査報告書

令和4年6月
安曇野市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
第2章 調査結果	3
1. あなたやご家族のことについて	3
2. 安曇市での暮らしについて	11
3. 安曇野市の行政に関すること	30
全般的な施策について	30
(1) 自然環境について	56
(2) 医療・福祉・人権について	60
(3) 子育て支援について	63
(4) スポーツについて	65
(5) 教育学習について	69
(6) 地域の伝統について	72
(7) 文化・芸術について	73
(8) 防災・防犯について	75
(9) 都市基盤について	77
(10) 農林水産業について	80
(11) 経済活動について	82
(12) 観光について	86
(14) 移住・定住について	88
(15) 協働・コミュニティ活動について	90
(16) デジタル社会・行政サービスについて	94
その他	95
設問別 その他の意見（自由記載）	107
参考資料	126
アンケート票	126

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、第2次安曇野市総合計画後期基本計画（令和5年度から令和9年度）の策定に向けて、現状での市政に対する評価および住民ニーズの把握のために実施した。

2. 調査の概要

(1) 調査対象

- ・ 市内18歳以上の住民2,000人を対象に無作為抽出

(2) 調査期間

- ・ 令和4年4月4日(月)～5月6日(金)

(3) 調査方法

- ・ 配布方法: 郵送による配布
- ・ 回収方法: 郵送またはWEBによる回答

(4) 回収状況

- ・ 回答者数 659人(うちWEBによる回答者134人)
- ・ 回収率 33.0%

(5) その他

① 過去に実施した調査結果との比較について

本調査結果報告書では、過去に実施した調査結果と比較している箇所がある。比較対象とする調査および調査概要は以下(i)～(iii)の通り。

(i) 平成28年度「第2次安曇野市総合計画市民意識調査」【過去調査(H28)】

調査対象	: 安曇野市に住む18歳以上の市民3,000人(無作為抽出)
調査期間	: 平成28年8月18日(木)～9月5日(月)
調査方法	: 郵送配布・郵送回収
回収状況	: 回答者数 1,713人
	回収率 57.1%

(ii) 平成29年度「安曇野市「協働のまちづくり」に関する市民アンケート調査」【過去調査(H29)】

調査対象	: 安曇野市に住民登録のある18歳以上の方2,000人(無作為抽出)
調査期間	: 平成29年12月1日(金)～12月25日(月)
調査方法	: 郵送配布・郵送回収
回収状況	: 回答者数 567人
	回収率 28.4%

(iii) 令和2年度「市政全般に関する市民意識調査」【過去調査(R2)】

調査対象：安曇野市内在住の18歳以上の市民2,000人(無作為抽出)

※居住地域・年代・性別を考慮して抽出

調査期間：令和3年3月23日(火)～4月9日(金)

調査方法：郵送配布・郵送回収

回収状況：回答者数 843人

回収率 42.2%

② その他の注意事項

- ・ 四捨五入の関係から、構成比の合計が100%にならない箇所がある。
- ・ 四捨五入の関係から、今回調査と前回調査の数値の差と、表記した増減ポイントとが一致しない箇所がある。

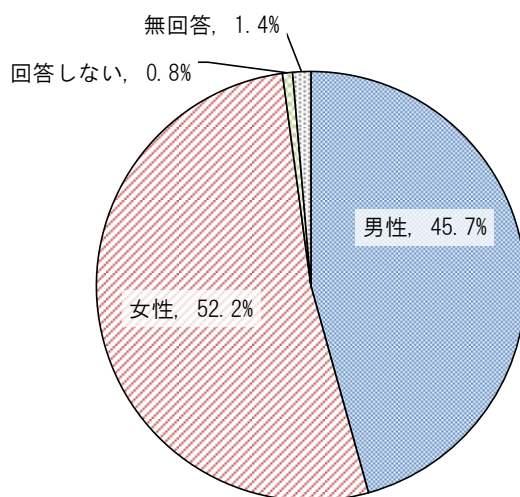
第2章 調査結果

1. あなたやご家族のことについて

問 1. あなたご自身についてお答えください。

(1) あなたの性別をお答えください。(1つに○)

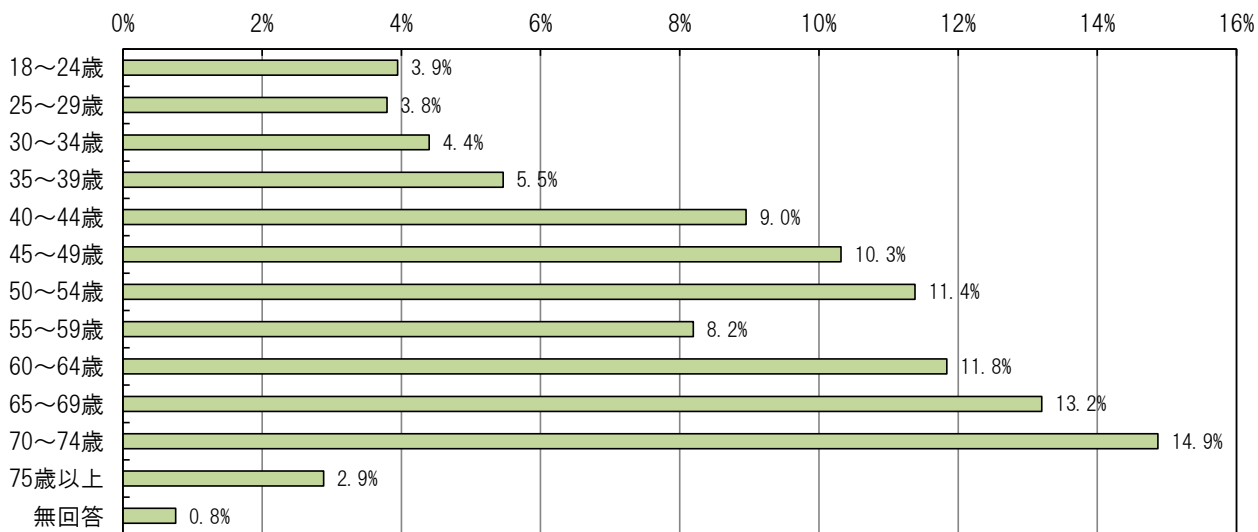
図表 1 性別



(n=659)

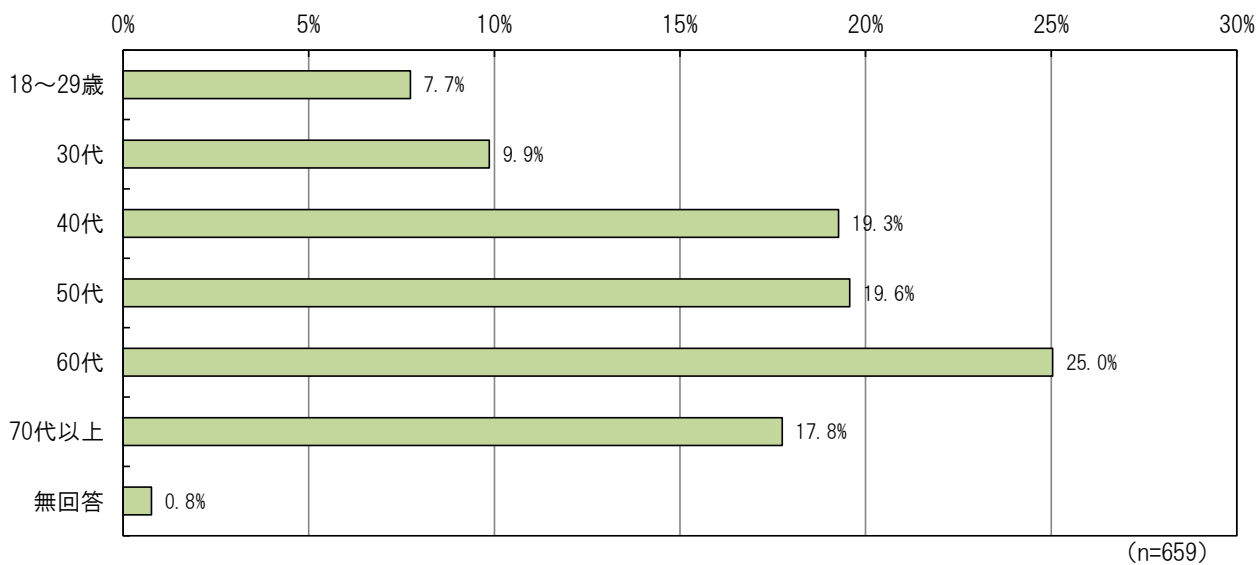
(2) あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

図表 2 年齢



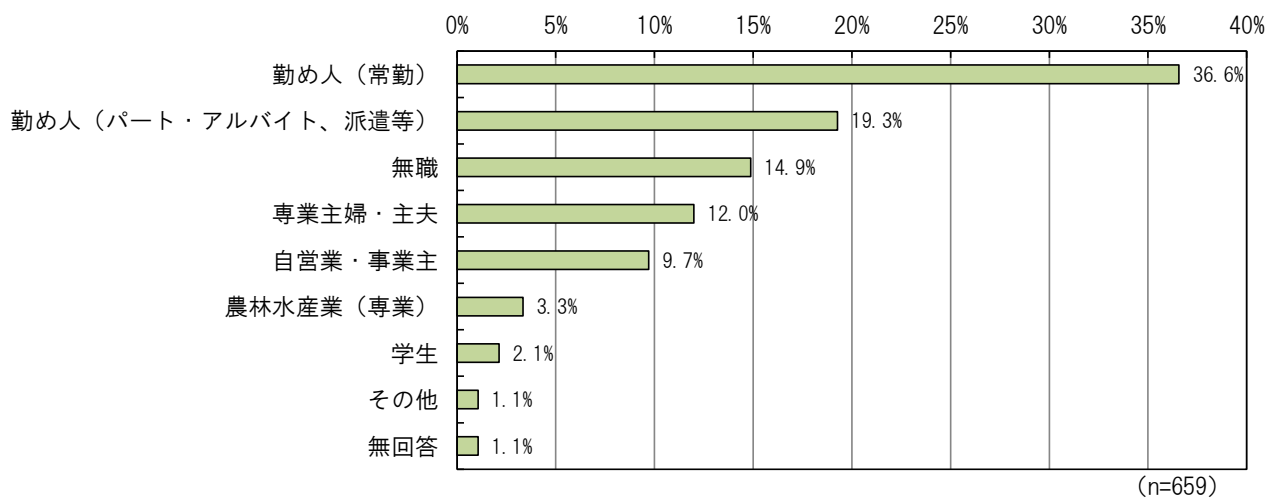
(n=659)

図表 3 年代



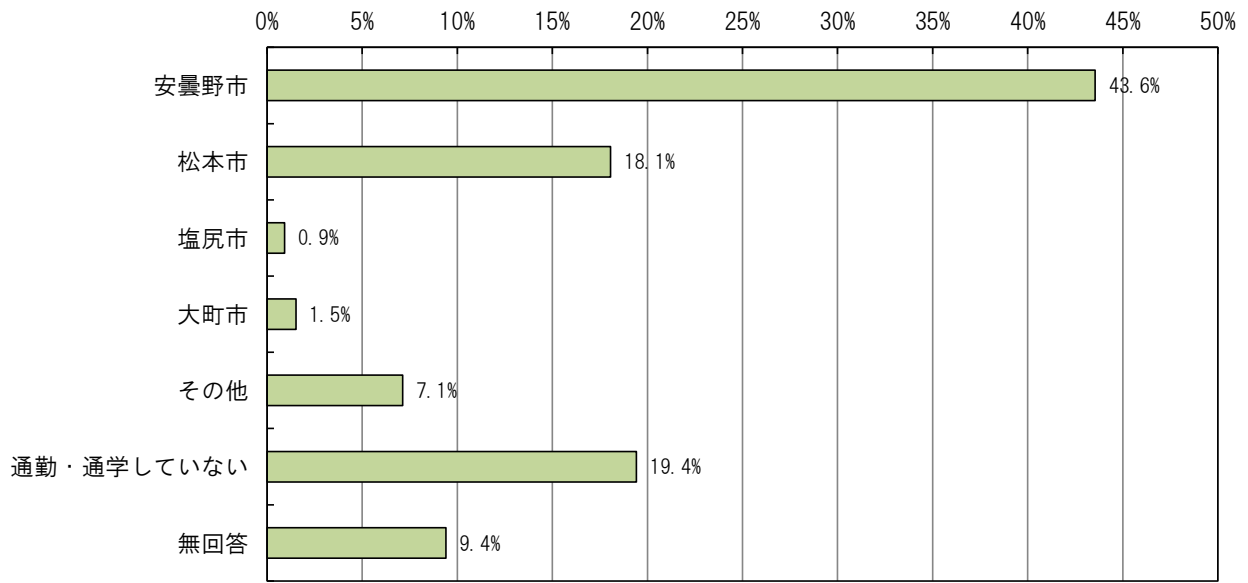
(3) 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

図表 4 職業等



(4) 通勤先、通学先の市町村についてお答えください。(1つに○)

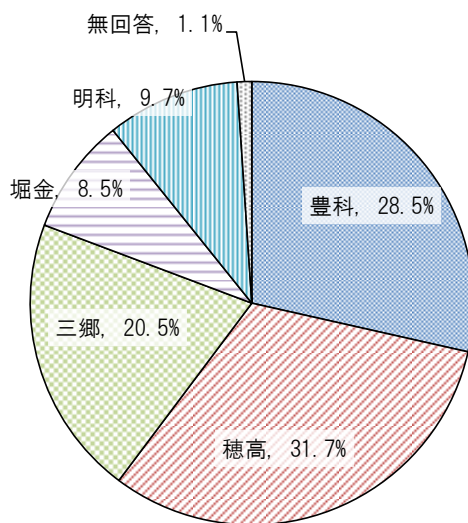
図表 5 通勤先、通学先



(n=659)

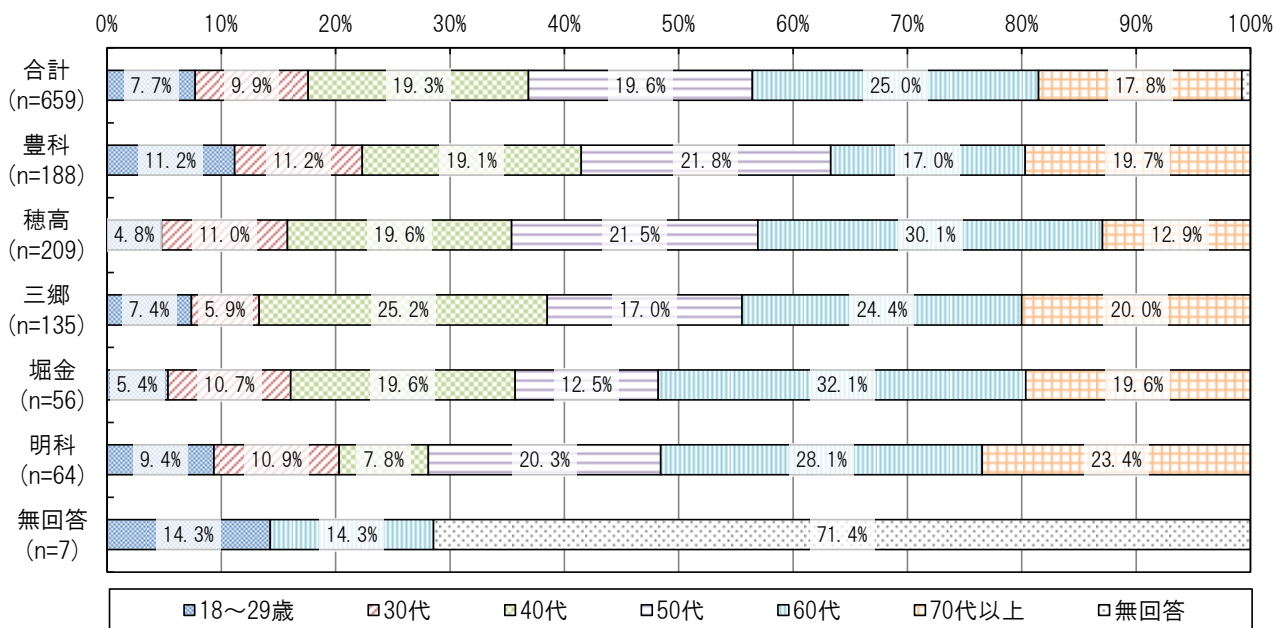
(5) お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

図表 6 居住地区

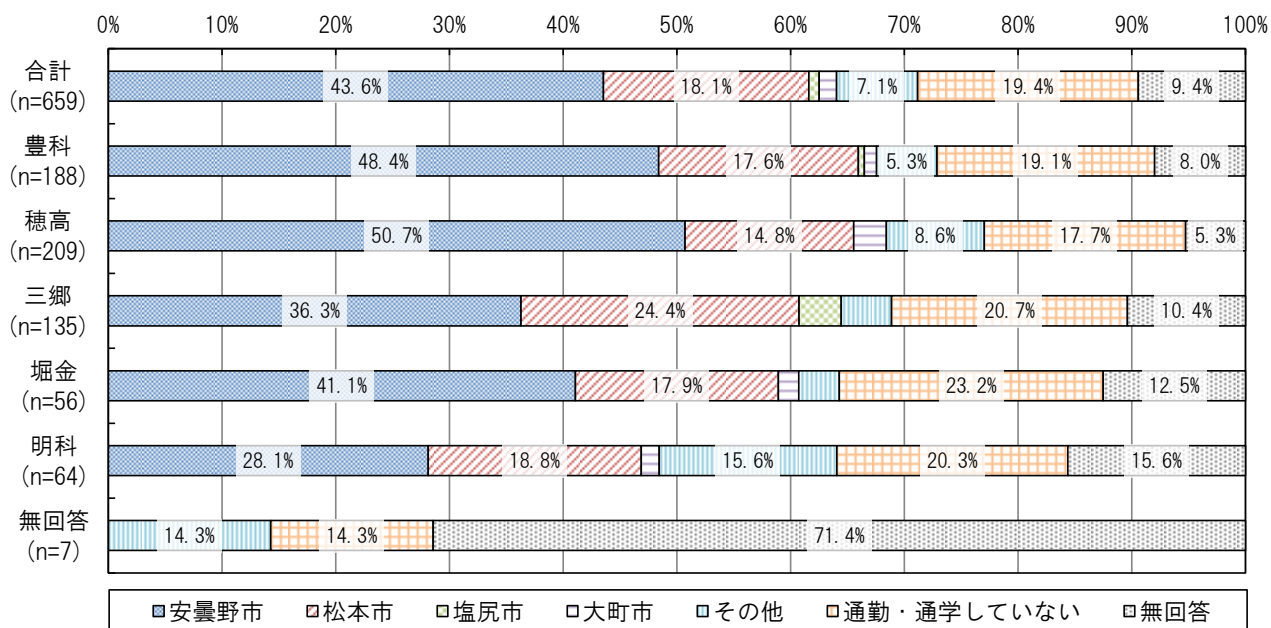


(n=659)

図表 7 【地域別】年代



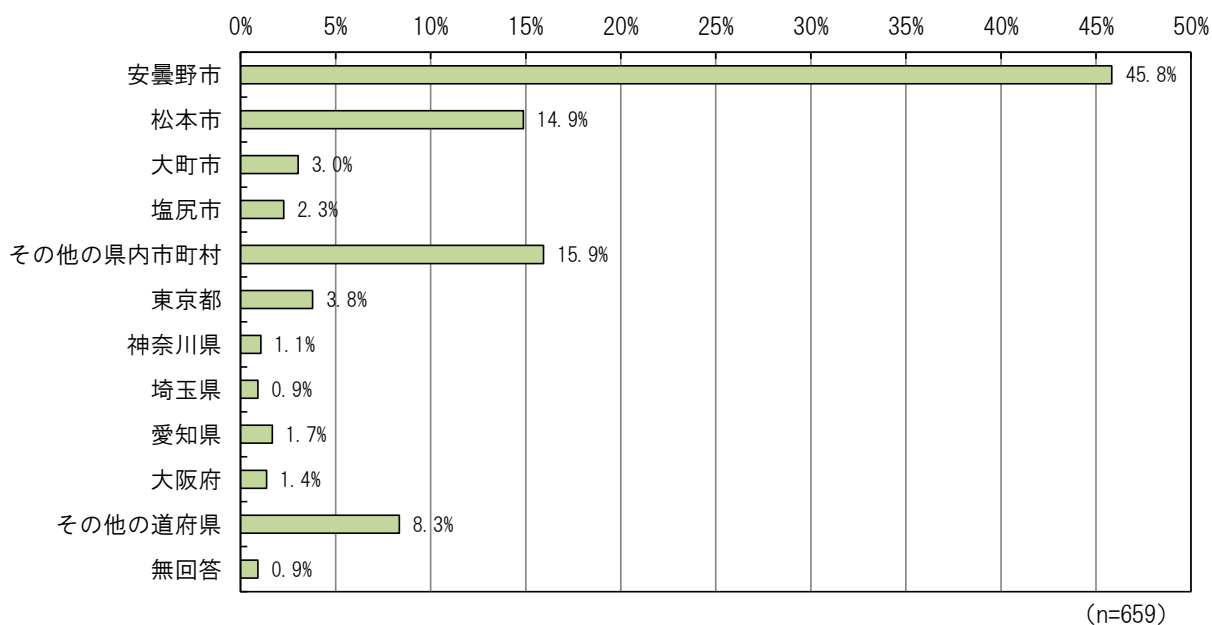
図表 8 【地域別】通勤先、通学先



(6) あなたの「出身地※」についてお答えください。(1つに○)

※15歳までの期間に最も長く居住した場所

図表 9 出身地

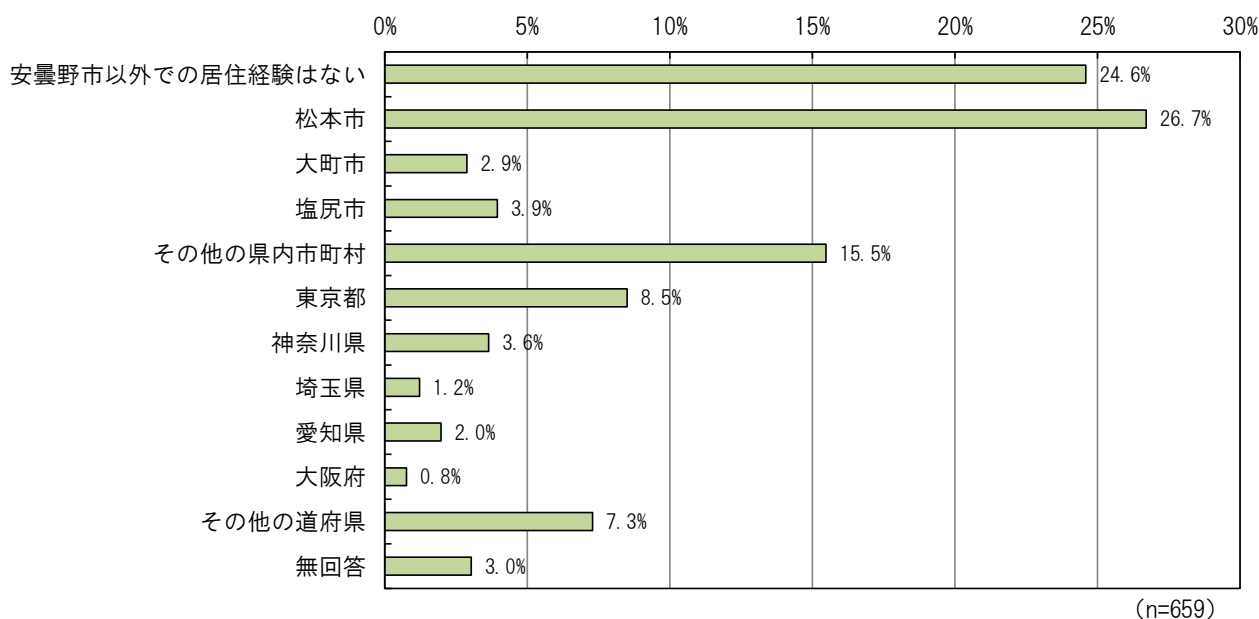


図表 10 【地域別】出身地

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
安曇野市	45.8%	50.0%	43.5%	40.7%	51.8%	48.4%	28.6%
松本市	14.9%	13.8%	11.0%	23.0%	12.5%	17.2%	0.0%
大町市	3.0%	2.7%	4.8%	2.2%	0.0%	3.1%	0.0%
塩尻市	2.3%	4.3%	0.5%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の県内市町村	15.9%	14.4%	14.4%	17.8%	21.4%	18.8%	0.0%
東京都	3.8%	2.7%	6.2%	2.2%	5.4%	1.6%	0.0%
神奈川県	1.1%	1.1%	1.9%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
埼玉県	0.9%	0.0%	1.9%	0.7%	1.8%	0.0%	0.0%
愛知県	1.7%	0.5%	2.9%	1.5%	1.8%	1.6%	0.0%
大阪府	1.4%	1.6%	2.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の道府県	8.3%	9.0%	10.5%	5.2%	5.4%	9.4%	0.0%
無回答	0.9%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	71.4%

(7) 安曇野市での居住を始める前（直前）に居住していた都道府県・市町村についてお答えください。（1つに○）

図表 11 安曇野市への転居前に居住していた地域

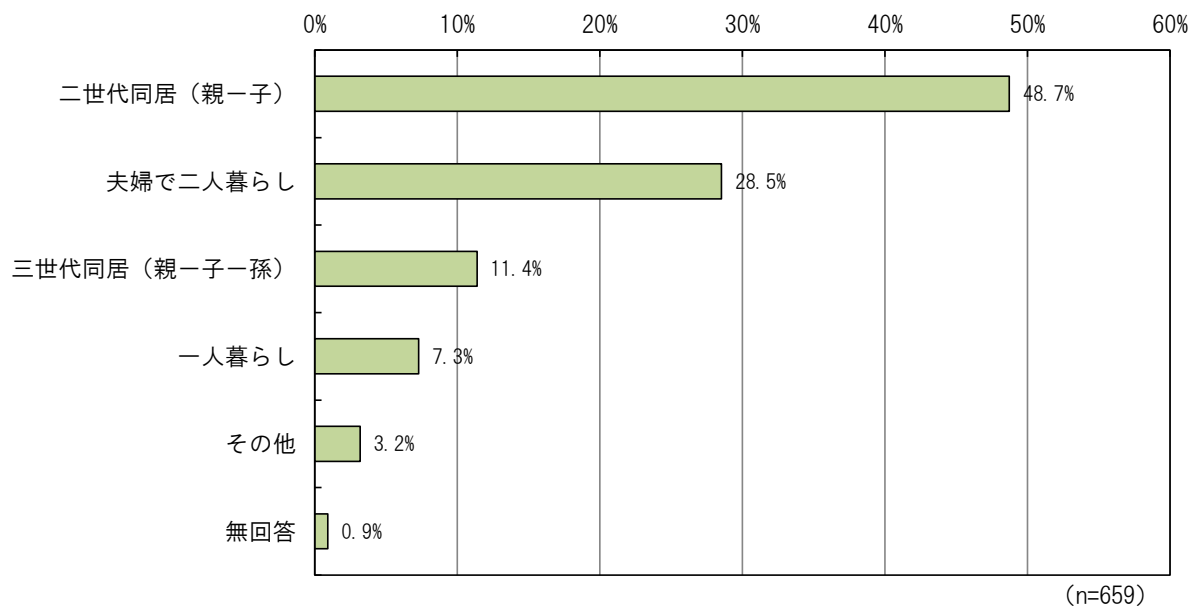


図表 12 【地域別】安曇野市への転居前に居住していた地域

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
安曇野市以外での居住経験はない	24.6%	27.7%	25.8%	17.0%	25.0%	26.6%	28.6%
松本市	26.7%	25.0%	20.6%	37.8%	33.9%	25.0%	0.0%
大町市	2.9%	1.1%	5.3%	2.2%	0.0%	4.7%	0.0%
塩尻市	3.9%	3.2%	2.4%	9.6%	0.0%	3.1%	0.0%
その他の県内市町村	15.5%	16.5%	16.3%	13.3%	14.3%	17.2%	0.0%
東京都	8.5%	8.0%	11.0%	5.2%	8.9%	9.4%	0.0%
神奈川県	3.6%	4.8%	4.3%	2.2%	1.8%	3.1%	0.0%
埼玉県	1.2%	1.1%	1.4%	1.5%	1.8%	0.0%	0.0%
愛知県	2.0%	0.5%	4.3%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%
大阪府	0.8%	0.5%	1.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の道府県	7.3%	9.6%	6.7%	4.4%	8.9%	7.8%	0.0%
無回答	3.0%	2.1%	0.5%	3.7%	5.4%	3.1%	71.4%

問 2. 世帯状況についてお答えください。(1つに○)

図表 13 世帯状況



図表 14 【地域別】世帯状況

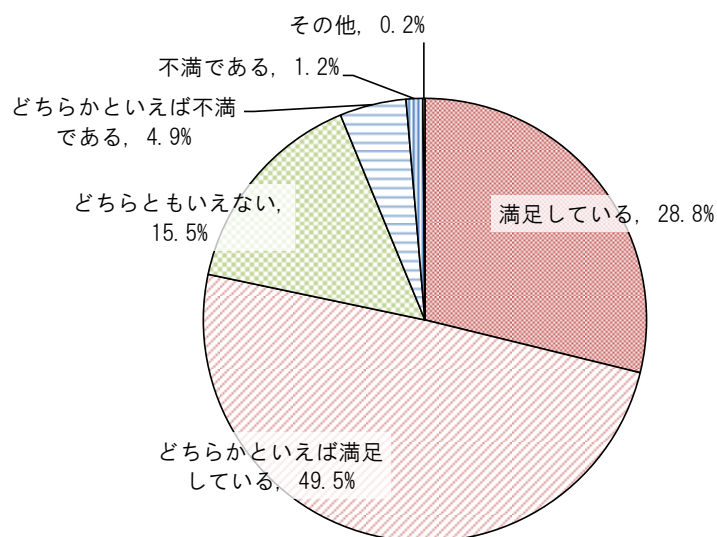
	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
二世代同居 (親-子)	48.7%	46.3%	48.8%	55.6%	53.6%	42.2%	0.0%
夫婦で二人暮らし	28.5%	26.6%	31.6%	30.4%	26.8%	25.0%	0.0%
三世代同居 (親-子-孫)	11.4%	14.9%	9.1%	7.4%	10.7%	18.8%	0.0%
一人暮らし	7.3%	8.5%	8.6%	4.4%	5.4%	4.7%	28.6%
その他	3.2%	3.2%	1.9%	2.2%	3.6%	9.4%	0.0%
無回答	0.9%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%

2. 安曇市での暮らしについて

問 3. あなたは安曇野市での生活にどの程度満足していますか。(1つに○)

- ・ 生活の満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合算した回答割合は78.3%となっており、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合算した回答割合(6.1%)を72.2ポイント上回っている。

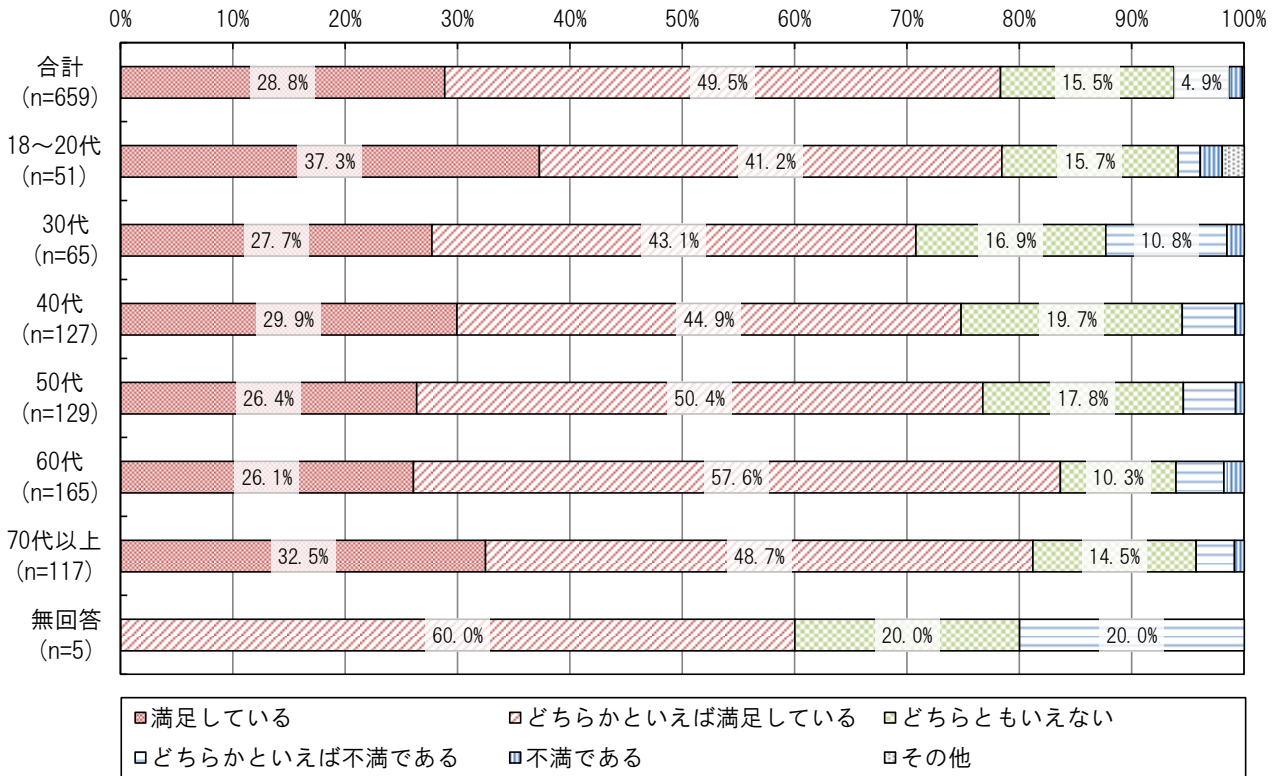
図表 15 安曇野市での生活の満足度



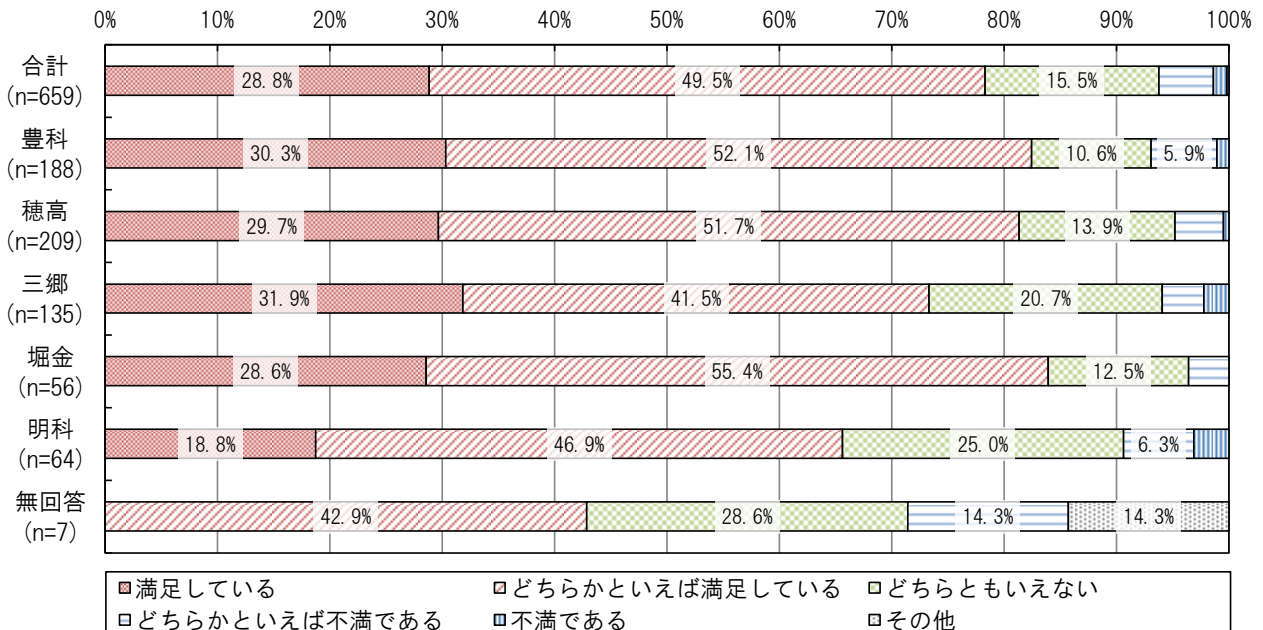
(n=659)

- 年代別で比較すると、「満足している」と「どちらかという満足している」を合算した回答割合は、18～20代(78.5%)、60代(83.7%)、70代以上(81.2%)で全体の回答割合(78.3%)よりも高くなっている。
- 一方で「どちらかといえば不満」と「不満である」を合算した回答割合は30代(12.3%)で全体の回答割合(6.1%)を6.2ポイント上回っている。
- 地域別で比較すると、「満足している」と「どちらかという満足している」を合算した回答割合は堀金(84.0%)、豊科(82.4%)、穂高(81.4%)の順で全体の回答割合(78.3%)より高くなっている。

図表 16 【年代別】安曇野市での生活の満足度



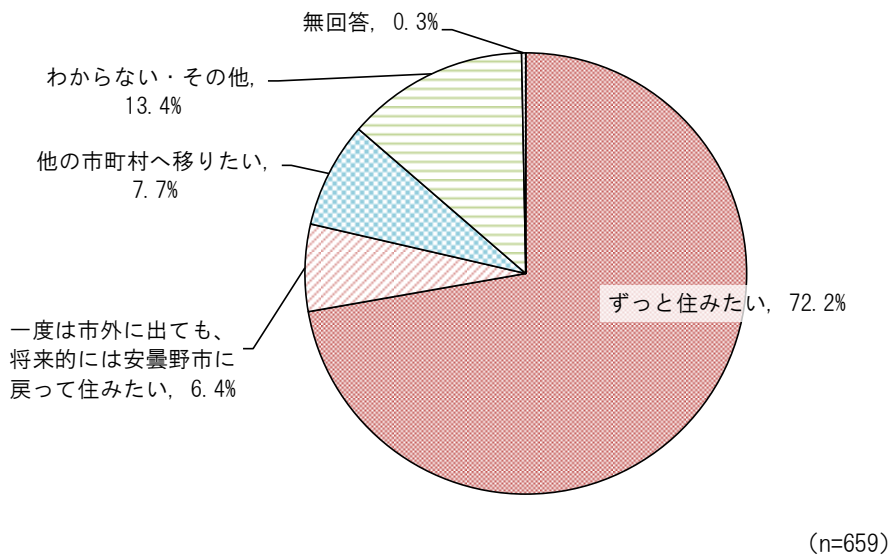
図表 17 【地域別】安曇野市での生活の満足度



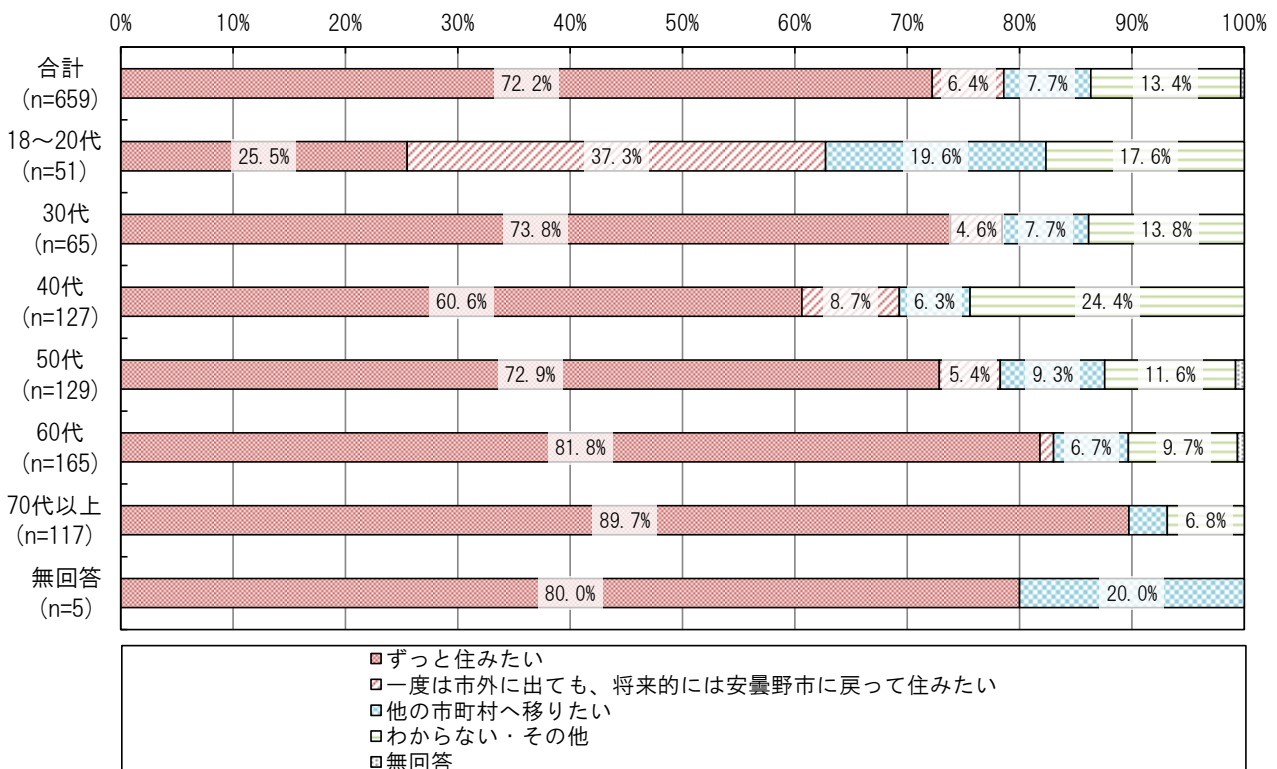
問 4. あなたは、これからも安曇野市に住み続けたいですか。(1つに○)

- これからも安曇野市に住み続けたいかについて、「ずっと住みたい」が 72.2%と最も高く、「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」(6.4%)と合算した回答割合は約8割(78.6%)となっている。
- 「他の市町村へ移りたい」とする回答割合は 7.7%となっている。
- 年代別で比較すると、18～20 代では「他の市町村へ移りたい」の回答割合が 19.6%と全体の回答割合(7.7%)を 11.9 ポイント上回っている。

図表 18 安曇野市での定住意向

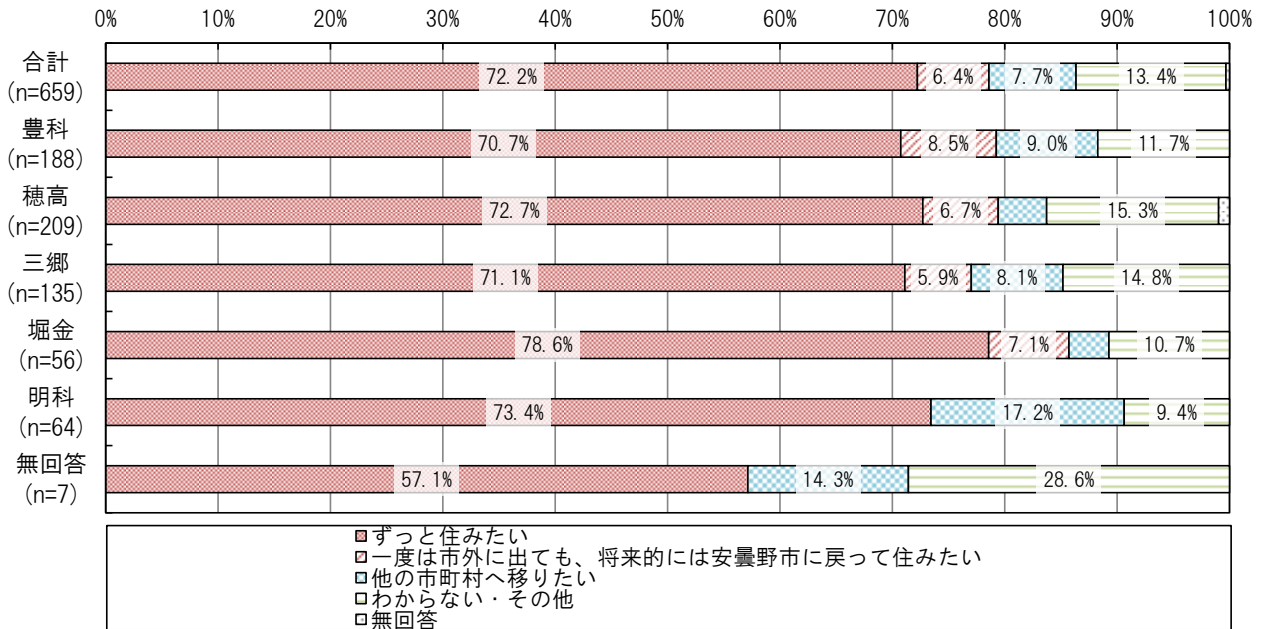


図表 19 【年代別】安曇野市での定住意向



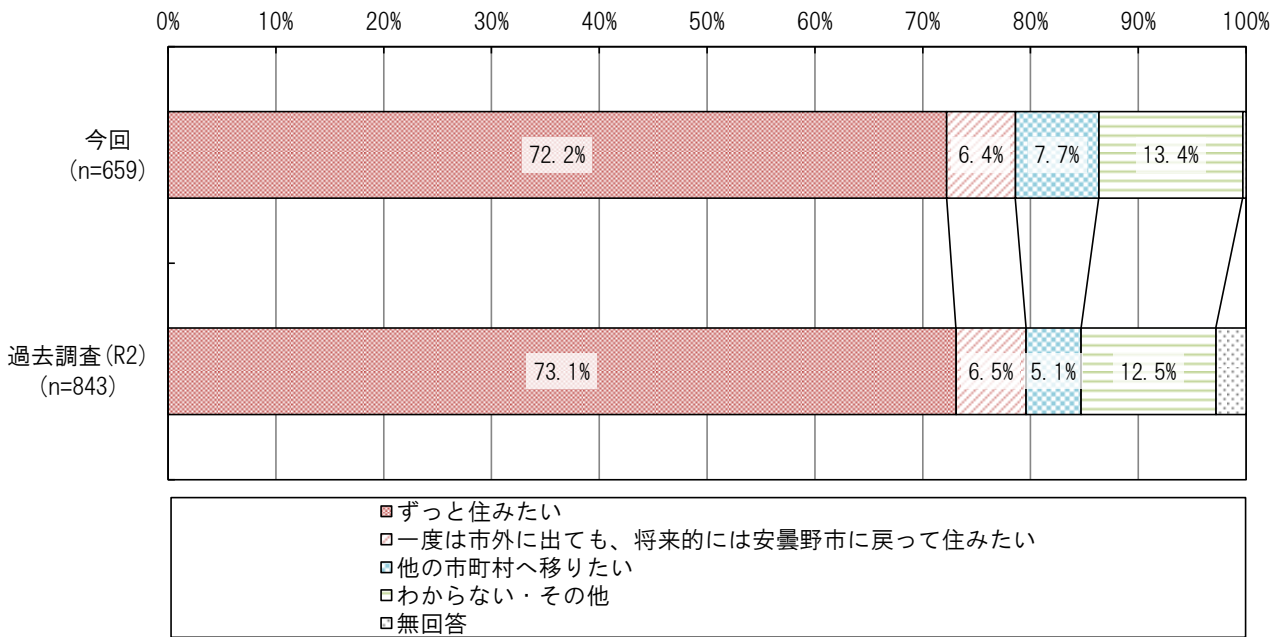
- ・ 地域別で比較すると、「ずっと住みたい」とする回答割合は、堀金(78.6)、明科(73.4%)、穂高(72.7%)の順で全体の回答割合(72.2%)よりも高くなっている。
- ・ 一方で、明科では「他の市町村へ移りたい」とする回答割合が 17.2%と、全体の回答割合(7.7%)を 9.5 ポイント上回っている。

図表 20 【地域別】安曇野市での定住意向

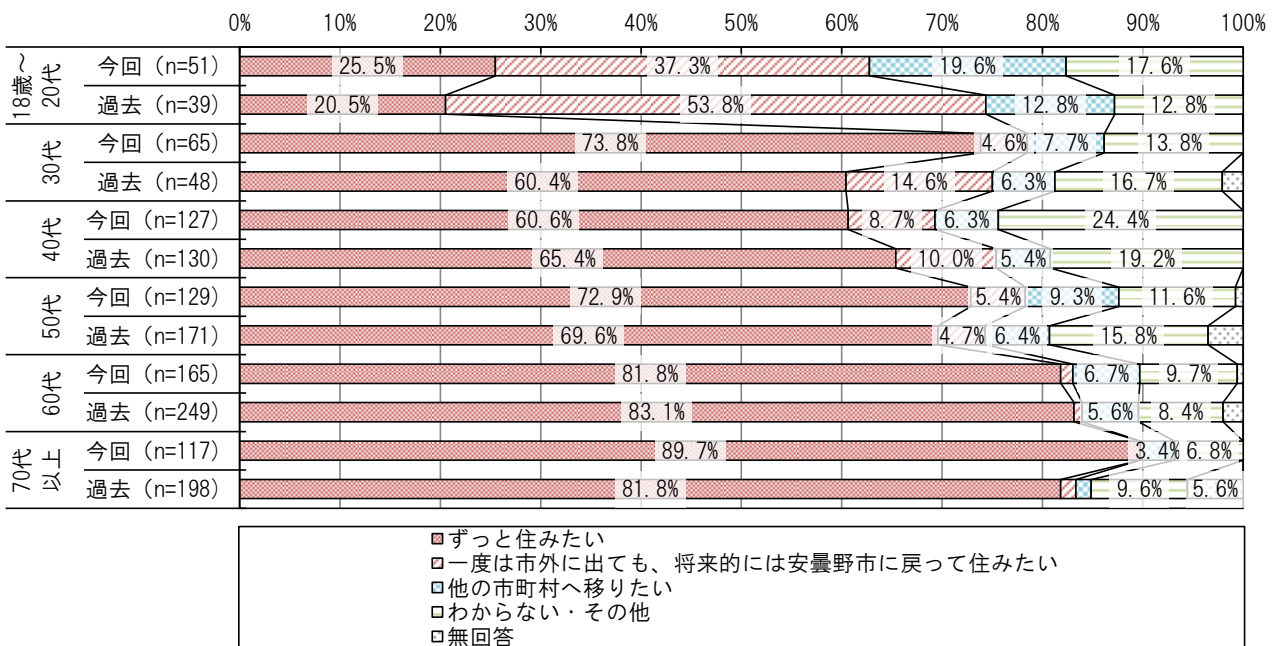


- 令和 2 年に実施したアンケート調査の結果と比較すると「ずっと住みたい」が 0.9 ポイント低下した一方で、「他の市町村へ移りたい」は 2.6 ポイント上昇している。
- 令和 2 年に実施したアンケート調査の結果と年代別に比較すると「ずっと住みたい」と「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」を合算した回答割合が上昇したのは、30 代、50 代、70 代以上となっている。
- 一方で、「他の市町村へ移りたい」とする回答割合がすべての年代で上昇している。

図表 21 【過去比較】安曇野市での定住意向

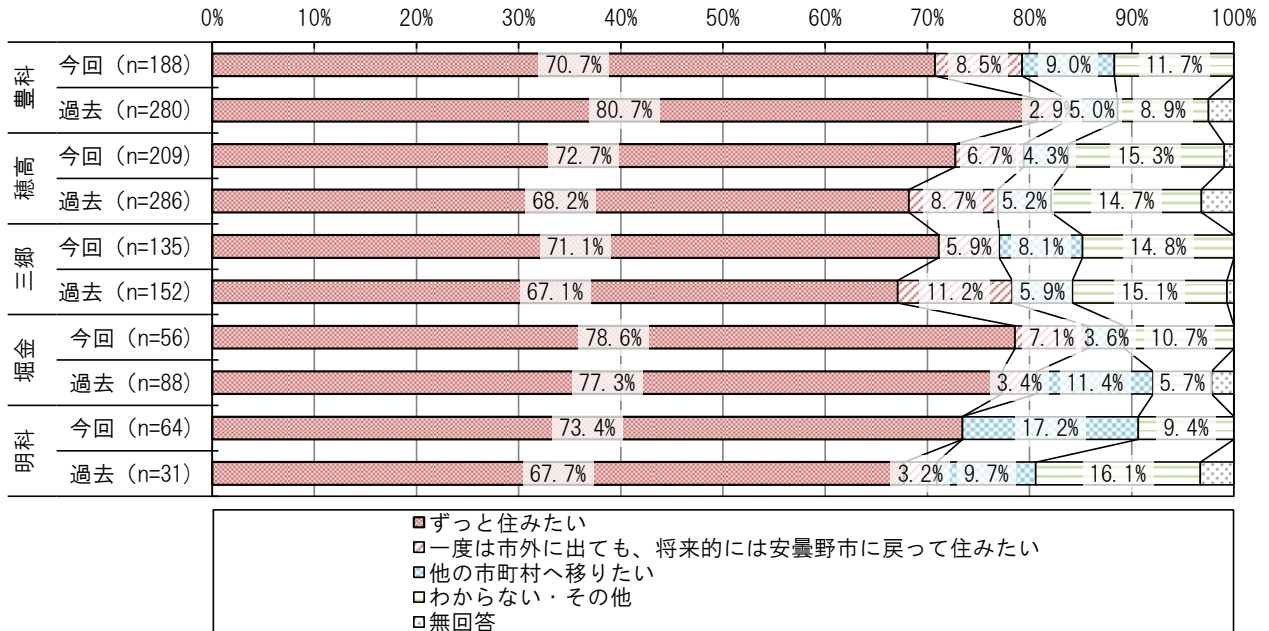


図表 22 【年代別過去比較】安曇野市での定住意向



- 令和 2 年に実施したアンケート調査の結果と地域別に比較すると「ずっと住みたい」とする回答割合が豊科を除く 4 地域で上昇している。
- 一方で、豊科、三郷、明科の 3 地域では「他の市町村へ移りたい」とする回答割合が上昇している。

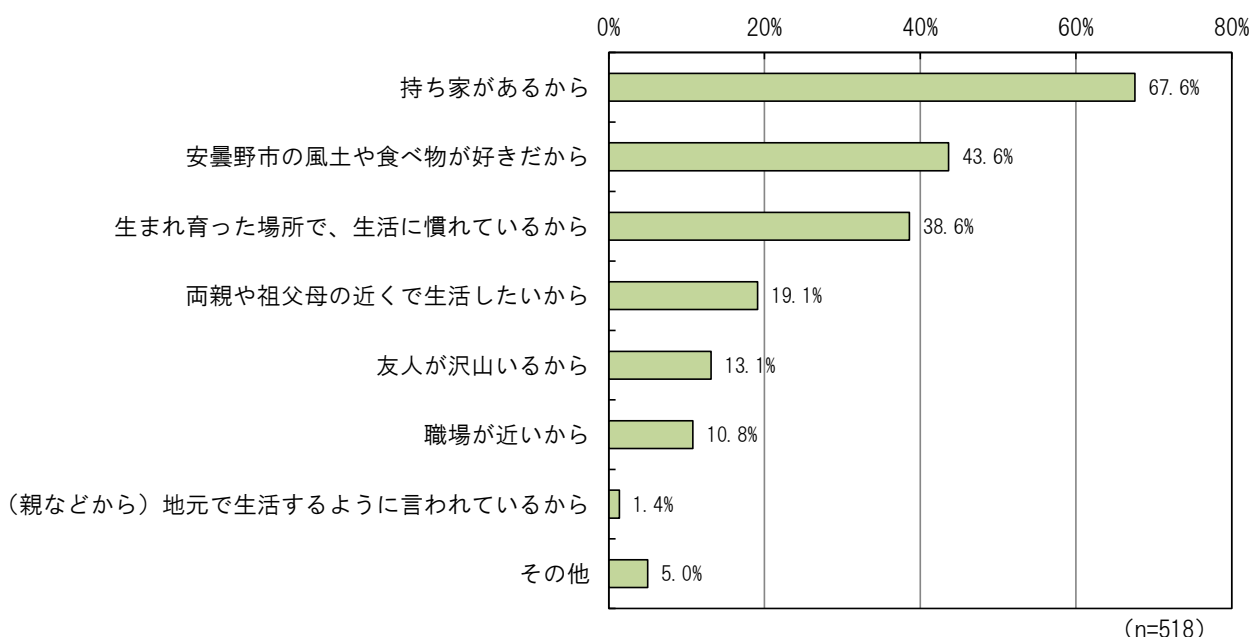
図表 23 【地域別過去比較】安曇野市での定住意向



(1) 問4 で「1. ずっと住みたい」または「2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」と回答した方のみご回答ください。安曇野市に住みたいと思う理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 安曇野市に住みたいと思う理由は「持ち家があるから」が過半数の67.6%と最も高くなっている。
- ・ 次いで「安曇野市の風土や食べ物が好きだから」(43.6%)、「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」(38.6%)と続いている。
- ・ 年代別で比較すると、18～20代では、「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」が56.3%と、全体の回答割合(38.6)を17.7ポイント上回っている。

図表 24 安曇野市に住みたいと思う理由(“住みたい”と回答した方を対象)



図表 25 【年代別】安曇野市に住みたいと思う理由(“住みたい”と回答した方を対象)

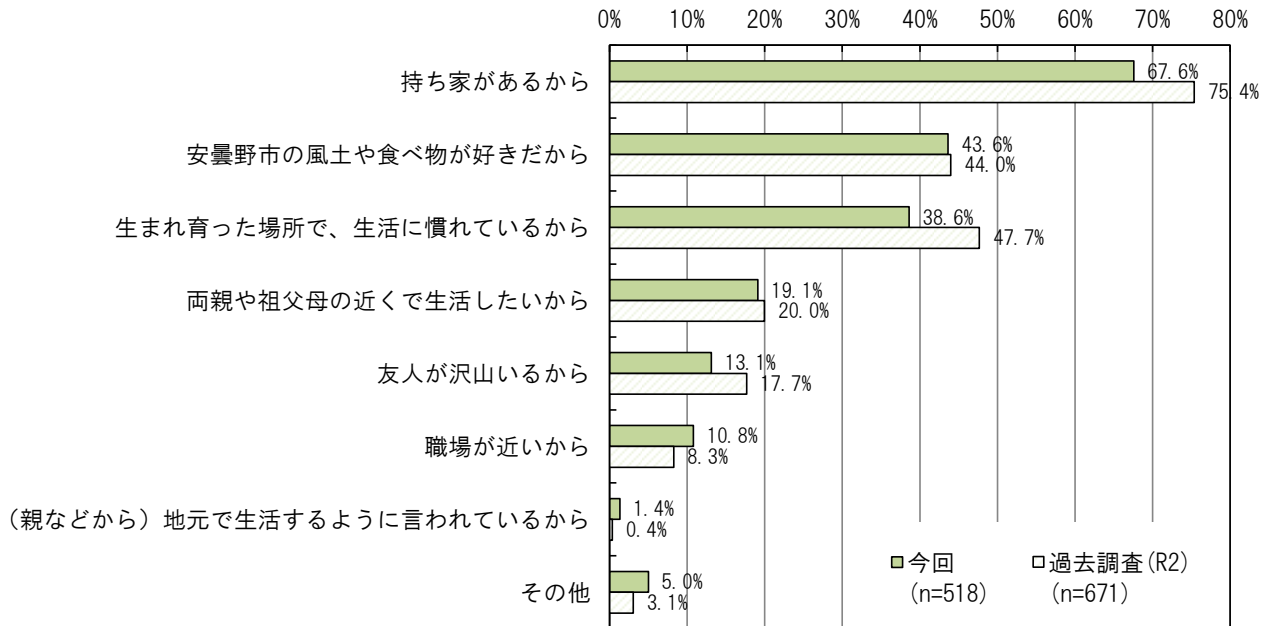
	合計 (n=518)	18～20代 (n=32)	30代 (n=51)	40代 (n=88)	50代 (n=101)	60代 (n=137)	70代以上 (n=105)	無回答 (n=4)
持ち家があるから	67.6%	25.0%	58.8%	59.1%	62.4%	81.0%	78.1%	100.0%
安曇野市の風土や食べ物が好きだから	43.6%	37.5%	43.1%	46.6%	35.6%	48.9%	45.7%	0.0%
生まれ育った場所で、生活に慣れているから	38.6%	56.3%	39.2%	35.2%	45.5%	27.7%	41.9%	75.0%
両親や祖父母の近くで生活したいから	19.1%	40.6%	43.1%	28.4%	21.8%	10.2%	2.9%	0.0%
友人が沢山いるから	13.1%	6.3%	9.8%	11.4%	8.9%	16.8%	16.2%	50.0%
職場が近いから	10.8%	12.5%	13.7%	18.2%	9.9%	13.9%	0.0%	0.0%
(親などから) 地元で生活するように言われているから	1.4%	6.3%	0.0%	0.0%	3.0%	0.7%	1.0%	0.0%
その他	5.0%	6.3%	0.0%	8.0%	5.9%	3.6%	4.8%	25.0%

- ・ 地域別で比較すると、穂高、三郷、堀金では「持ち家があるから」に次いで、「安曇野市の風土や食べ物が好きだから」の回答割合が高く、全体の回答割合(43.6%)より高くなっている。
- ・ また、豊科、明科では「持ち家があるから」に次いで、「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」の回答割合が高く、それぞれ 43.6%、44.7%と全体の回答割合(38.6%)を 5.0 ポイント、6.1 ポイント上回っている。
- ・ 令和 2 年に実施したアンケート調査の結果と比較すると「職場が近いから」が 2.5 ポイント上昇している。

図表 26 【地域別】安曇野市に住みたいと思う理由(“住みたい”と回答した方を対象)

	合計 (n=518)	豊科 (n=149)	穂高 (n=166)	三郷 (n=104)	堀金 (n=48)	明科 (n=47)	無回答 (n=4)
持ち家があるから	67.6%	61.7%	63.9%	75.0%	70.8%	76.6%	100.0%
安曇野市の風土や食べ物が好きだから	43.6%	36.9%	47.0%	46.2%	58.3%	36.2%	0.0%
生まれ育った場所で、生活に慣れているから	38.6%	43.6%	38.0%	29.8%	35.4%	44.7%	75.0%
両親や祖父母の近くで生活したいから	19.1%	20.1%	19.9%	17.3%	14.6%	23.4%	0.0%
友人が沢山いるから	13.1%	16.1%	13.9%	7.7%	12.5%	10.6%	50.0%
職場が近いから	10.8%	8.1%	12.7%	13.5%	14.6%	4.3%	0.0%
(親などから) 地元で生活するように言われているから	1.4%	2.7%	0.0%	1.9%	2.1%	0.0%	0.0%
その他	5.0%	4.0%	6.6%	3.8%	4.2%	4.3%	25.0%

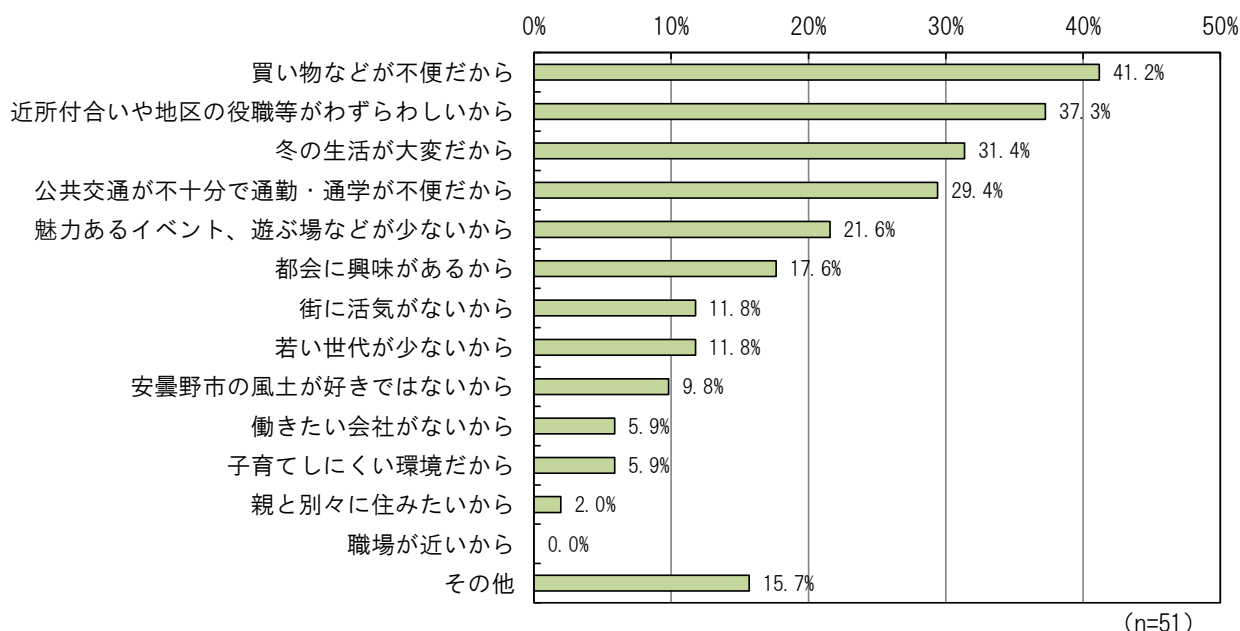
図表 27 【過去比較】安曇野市に住みたいと思う理由(“住みたい”と回答した方を対象)



(2) 問4 で「3. 他の市町村へ移りたい」と回答した方のみご回答ください。その理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- 他の市町村へ移りたい理由では「買い物などが不便だから」が41.2%と最も高くなっている。
- 次いで「近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから」(37.3%)、「冬の生活が大変だから」(31.4%)、「公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから」(29.4%)の順で高くなっている。
- 年代別で比較すると、「冬の生活が大変だから」について、60代および70代以上でそれぞれ54.5%、75.0%と、全体の回答割合(31.4%)を23.1ポイント、43.6ポイント上回っている。
- また、18～20代では「魅力あるイベント、遊ぶ場所などが少ないから」が50.0%と、全体の回答割合(21.6%)を28.4ポイント上回っている。
- 30代では「若い世代が少ないから」が60.0%と、全体の回答割合(11.8%)を48.2ポイント上回っている。

図表 28 他の市町村へ移りたい理由(“他の市町村へ移りたい”と回答した方を対象)



図表 29 【年代別】他の市町村へ移りたい理由(“他の市町村へ移りたい”と回答した方を対象)

	合計 (n=51)	18～20代 (n=10)	30代 (n=5)	40代 (n=8)	50代 (n=12)	60代 (n=11)	70代以上 (n=4)	無回答 (n=1)
買い物などが不便だから	41.2%	60.0%	40.0%	37.5%	25.0%	36.4%	50.0%	100.0%
近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから	37.3%	20.0%	20.0%	37.5%	50.0%	36.4%	50.0%	100.0%
冬の生活が大変だから	31.4%	30.0%	0.0%	12.5%	25.0%	54.5%	75.0%	0.0%
公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから	29.4%	30.0%	20.0%	25.0%	41.7%	27.3%	25.0%	0.0%
魅力あるイベント、遊ぶ場所などが少ないから	21.6%	50.0%	40.0%	25.0%	8.3%	0.0%	25.0%	0.0%
都会に興味があるから	17.6%	40.0%	40.0%	0.0%	8.3%	18.2%	0.0%	0.0%
街に活気がないから	11.8%	20.0%	0.0%	12.5%	8.3%	9.1%	0.0%	100.0%
若い世代が少ないから	11.8%	20.0%	60.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
安曇野市の風土が好きではないから	9.8%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	9.1%	25.0%	0.0%
働きたい会社がないから	5.9%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
子育てしにくい環境だから	5.9%	0.0%	20.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
親と別々に住みたいから	2.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職場が近いから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	15.7%	30.0%	0.0%	12.5%	16.7%	18.2%	0.0%	0.0%

- ・ 地域別で比較すると、豊科と明科では「買い物などが不便だから」が最も高く、それぞれ 52.9%、45.5%となっている。
- ・ 一方で、穂高と三郷では「近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから」が最も高く、それぞれ 44.4%、45.5%となっている。
- ・ また、「若い世代が少ないから」について、明科で 36.4%と全体の回答割合(11.8%)を 24.6 ポイント上回っている。

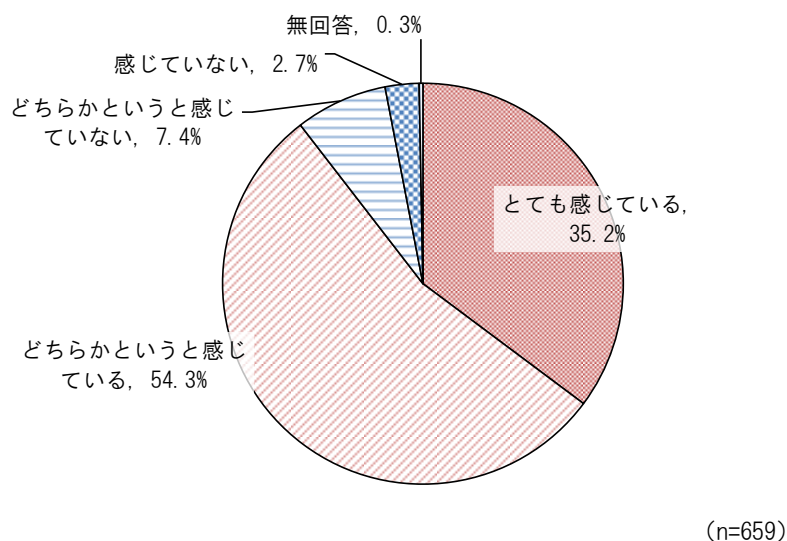
図表 30 【地域別】他の市町村へ移りたい理由(“他の市町村へ移りたい”と回答した方を対象)

	合計 (n=51)	豊科 (n=17)	穂高 (n=9)	三郷 (n=11)	堀金 (n=2)	明科 (n=11)	無回答 (n=1)
買い物などが不便だから	41.2%	52.9%	22.2%	36.4%	0.0%	45.5%	100.0%
近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから	37.3%	41.2%	44.4%	45.5%	0.0%	18.2%	100.0%
冬の生活が大変だから	31.4%	35.3%	22.2%	27.3%	50.0%	36.4%	0.0%
公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから	29.4%	29.4%	33.3%	27.3%	50.0%	27.3%	0.0%
魅力あるイベント、遊ぶ場が少ないから	21.6%	35.3%	22.2%	9.1%	50.0%	9.1%	0.0%
都会に興味があるから	17.6%	17.6%	22.2%	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%
街に活気がないから	11.8%	5.9%	11.1%	18.2%	0.0%	9.1%	100.0%
若い世代が少ないから	11.8%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	0.0%
安曇野市の風土が好きではないから	9.8%	11.8%	0.0%	18.2%	50.0%	0.0%	0.0%
働きたい会社がないから	5.9%	5.9%	11.1%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
子育てしにくい環境だから	5.9%	0.0%	11.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%
親と別々に住みたいから	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
職場が近いから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	15.7%	11.8%	11.1%	18.2%	0.0%	27.3%	0.0%

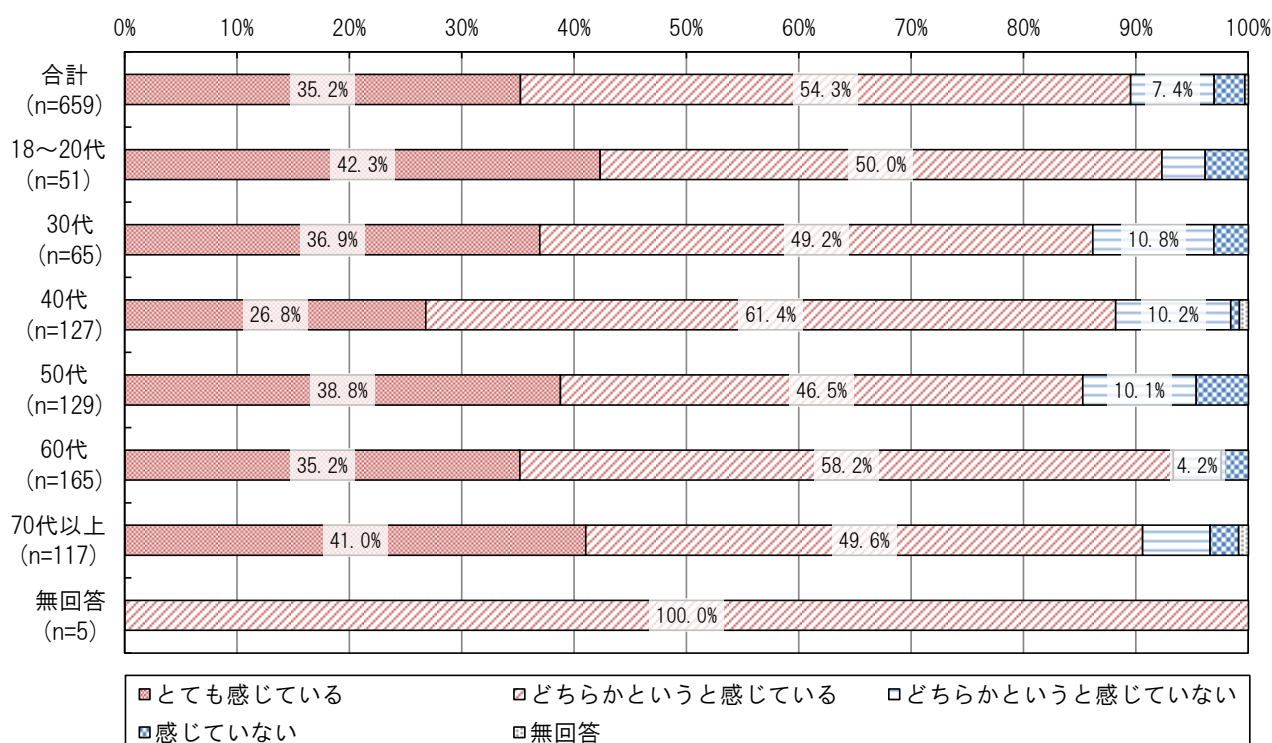
問 5. 安曇野市に愛着を感じていますか。(1つに○)

- 安曇野市への愛着について、「どちらかというと感じている」が 54.3%と最も高く、「とても感じている」(35.2%)と合算した回答割合は約9割(89.5%)となっている。
- 「どちらかというと感じていない」、「感じていない」を合算した回答割合は 10.1%となっている。
- 年代別で比較すると、「とても感じている」、「どちらかというと感じている」を合算した回答割合は 60代(93.4%)、18～20代(92.3%)、70代以上(90.6%)の順で全体の回答割合(89.5%)を上回っている。

図表 31 安曇野市への愛着

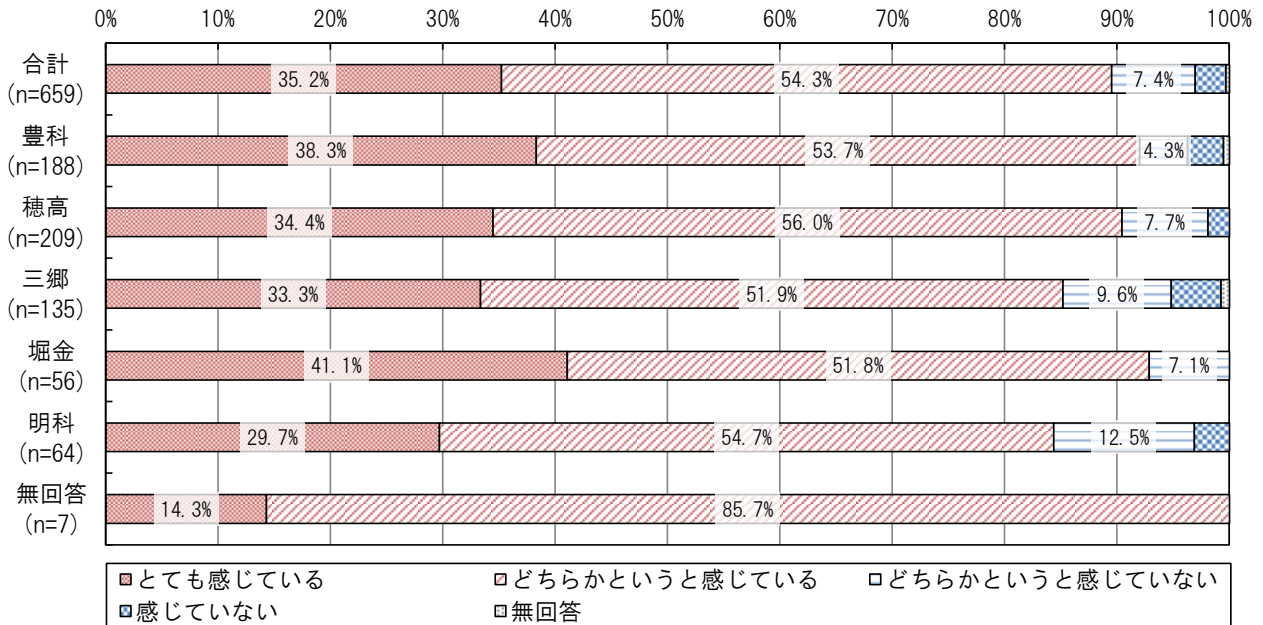


図表 32 【年代別】安曇野市への愛着

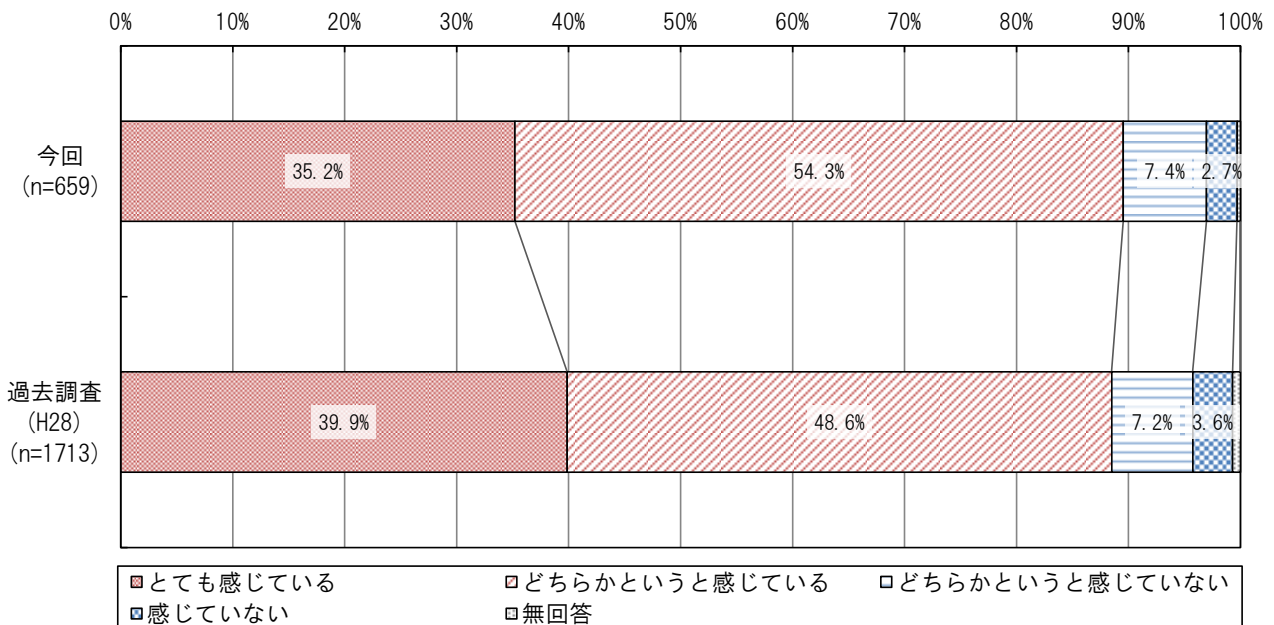


- ・ 地域別で比較すると、「とても感じている」、「どちらかというと感じている」を合算した回答割合は堀金(92.9%)、豊科(92.0%)、穂高(90.4%)の順で全体の回答割合(89.5%)を上回っている。
- ・ 平成28年に実施したアンケート調査の結果と比較すると「とても感じている」と「どちらかというと感じている」を合算した回答割合は1.0ポイント上昇している。

図表 33 【地域別】安曇野市への愛着



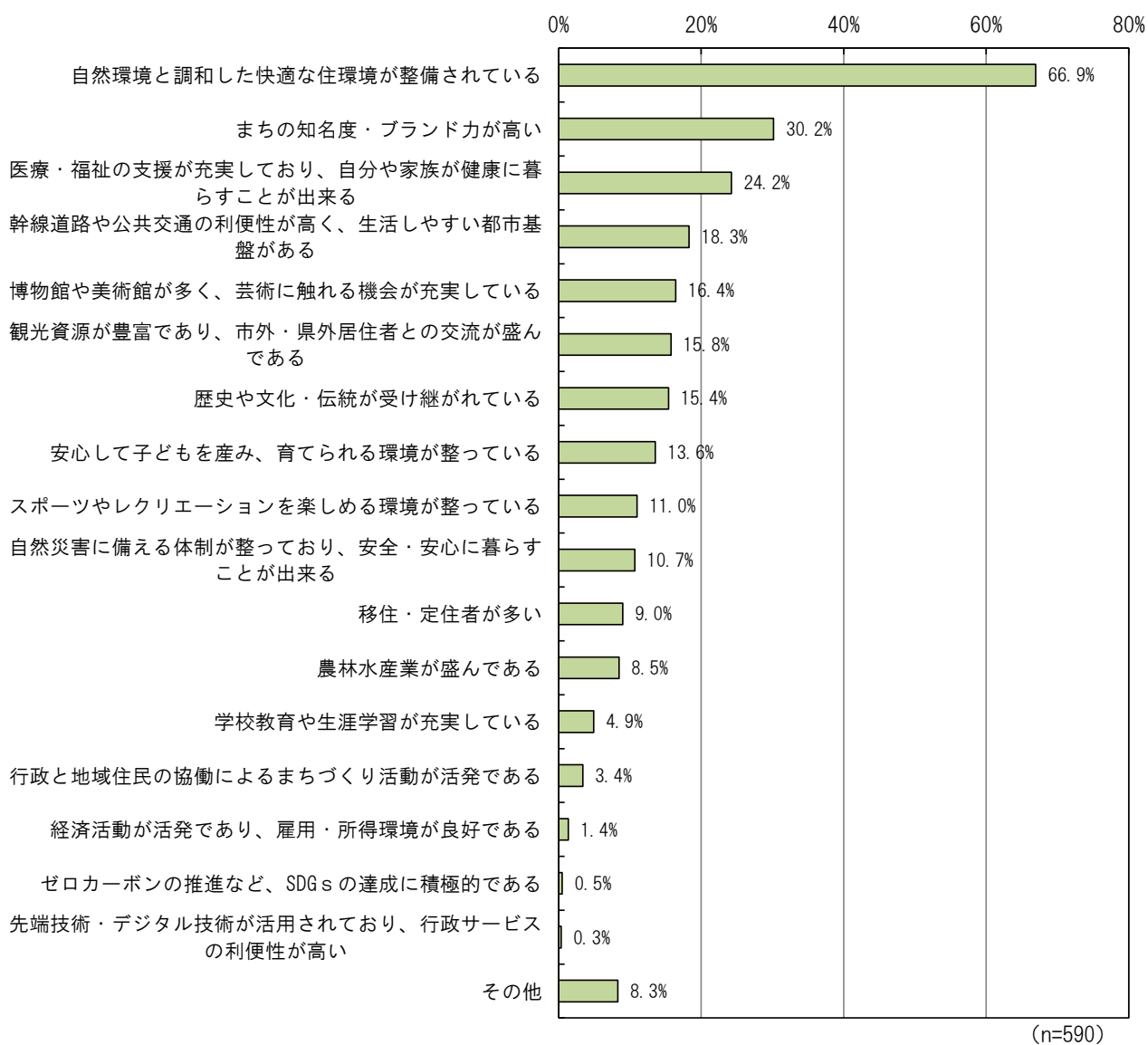
図表 34 【過去比較】安曇野市への愛着



(1) 問5で「1. とても感じている」または「2. どちらかというと感じている」と回答した方のみご回答ください。安曇野市に愛着を感じる理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- ・ 安曇野市に愛着を感じている理由は「自然環境と調和した快適な住環境が整備されている」が過半数の66.9%と突出して最も高くなっている。
- ・ 次いで「まちの知名度・ブランド力が高い」(30.2%)、「医療・福祉の支援が充実しており、自分の家族が健康に暮らすことができる」(24.2%)と続いている。

図表 35 安曇野市に愛着を感じる理由(“感じている”と回答した方を対象)



- ・ 年代別で比較すると、「自然環境と調和した快適な住環境が整備されている」がすべての年代で過半数を超えて最も高くなっている。
- ・ 年代が高いほど「医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことができる」とする回答割合が高くなる傾向にある。

図表 36 【年代別】安曇野市に愛着を感じる理由（“感じている”と回答した方を対象）

	合計 (n=590)	18~20代 (n=47)	30代 (n=56)	40代 (n=112)	50代 (n=110)	60代 (n=154)	70代以上 (n=106)	無回答 (n=5)
自然環境と調和した快適な住環境が整備されている	66.9%	63.8%	69.6%	65.2%	68.2%	66.2%	69.8%	40.0%
まちの知名度・ブランド力が高い	30.2%	29.8%	33.9%	25.0%	31.8%	35.1%	25.5%	20.0%
医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことができる	24.2%	8.5%	16.1%	16.1%	21.8%	31.2%	36.8%	20.0%
幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある	18.3%	12.8%	14.3%	17.0%	11.8%	22.7%	25.5%	0.0%
博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している	16.4%	17.0%	14.3%	12.5%	14.5%	21.4%	15.1%	40.0%
観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである	15.8%	8.5%	12.5%	8.9%	19.1%	20.1%	18.9%	0.0%
歴史や文化・伝統が受け継がれている	15.4%	12.8%	3.6%	15.2%	13.6%	16.9%	22.6%	20.0%
安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている	13.6%	8.5%	17.9%	22.3%	13.6%	13.6%	4.7%	0.0%
スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている	11.0%	10.6%	5.4%	12.5%	10.0%	14.3%	8.5%	20.0%
自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことができる	10.7%	2.1%	1.8%	8.9%	9.1%	14.3%	17.0%	20.0%
移住・定住者が多い	9.0%	2.1%	12.5%	8.0%	8.2%	9.1%	12.3%	0.0%
農林水産業が盛んである	8.5%	10.6%	7.1%	6.3%	10.0%	10.4%	6.6%	0.0%
学校教育や生涯学習が充実している	4.9%	4.3%	7.1%	4.5%	3.6%	3.9%	7.5%	0.0%
行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である	3.4%	0.0%	1.8%	2.7%	0.0%	4.5%	8.5%	0.0%
経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である	1.4%	2.1%	0.0%	0.9%	0.9%	3.2%	0.0%	0.0%
ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的である	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.9%	0.0%
先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.9%	0.0%
その他	8.3%	14.9%	10.7%	8.0%	8.2%	7.1%	5.7%	20.0%

- ・ 地域別で比較すると、「自然環境と調和した快適な住環境が整備されている」がすべての地域で過半数を超えて最も高くなっている。
- ・ 豊科では、「自然環境と調和した快適な住環境が整備されている」(72.8%)に次いで、「幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤である」(24.9%)が高くなっている。
- ・ 堀金では、「自然環境と調和した快適な住環境が整備されている」(67.3%)に次いで、「医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る」(34.6%)が高くなっている。

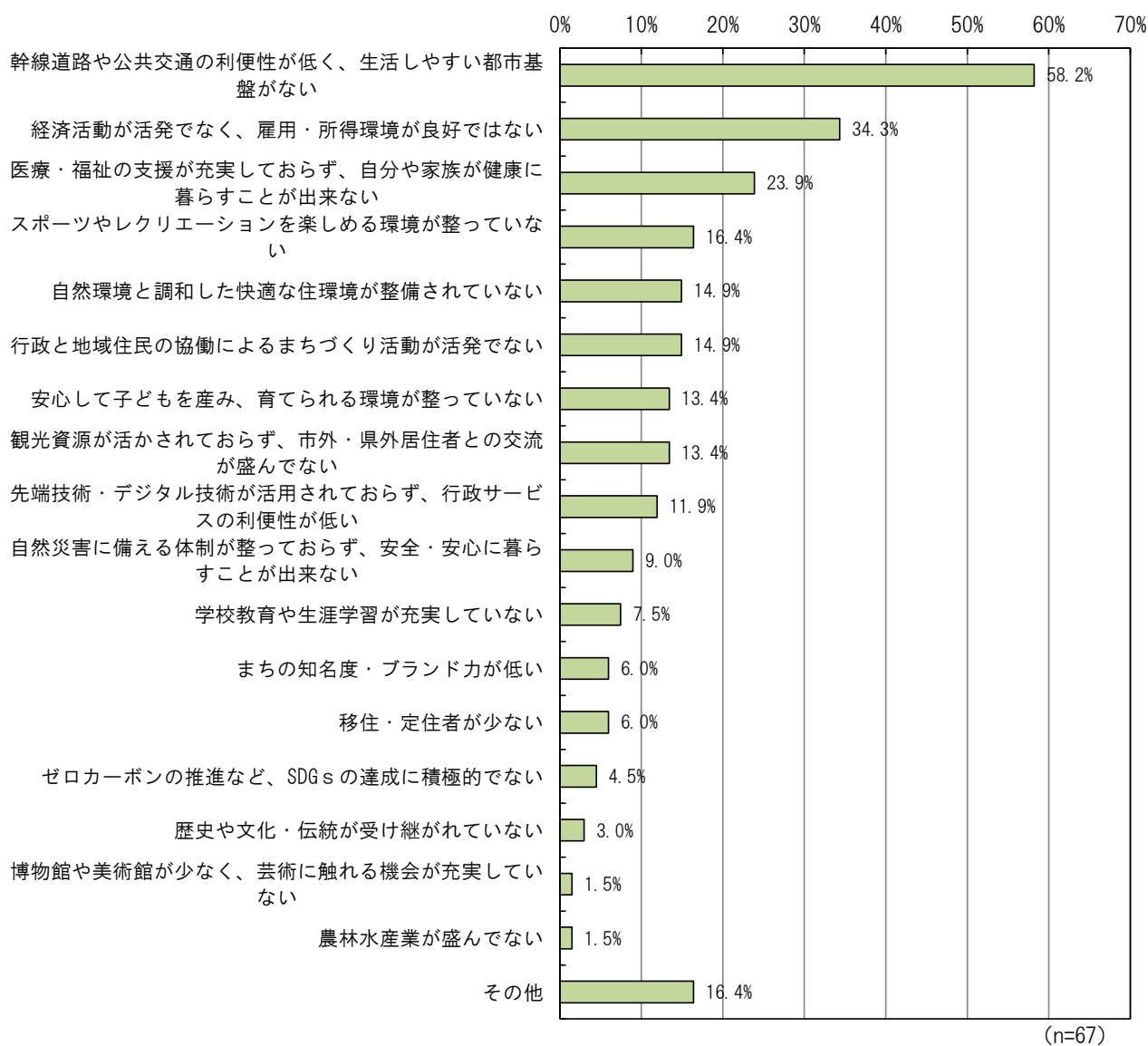
図表 37 【地域別】安曇野市に愛着を感じる理由(“感じている”と回答した方を対象)

	合計 (n=590)	豊科 (n=173)	穂高 (n=189)	三郷 (n=115)	堀金 (n=52)	明科 (n=54)	無回答 (n=7)
自然環境と調和した快適な住環境が整備されている	66.9%	72.8%	68.8%	62.6%	67.3%	53.7%	42.9%
まちの知名度・ブランド力が高い	30.2%	23.1%	37.0%	34.8%	25.0%	24.1%	28.6%
医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る	24.2%	24.3%	23.8%	26.1%	34.6%	13.0%	14.3%
幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある	18.3%	24.9%	14.8%	20.9%	15.4%	9.3%	0.0%
博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している	16.4%	13.9%	19.6%	17.4%	11.5%	13.0%	42.9%
観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである	15.8%	14.5%	18.5%	14.8%	9.6%	20.4%	0.0%
歴史や文化・伝統が受け継がれている	15.4%	11.6%	16.4%	18.3%	15.4%	18.5%	14.3%
安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている	13.6%	12.7%	12.7%	14.8%	19.2%	13.0%	0.0%
スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている	11.0%	10.4%	10.1%	14.8%	17.3%	1.9%	14.3%
自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことが出来る	10.7%	12.7%	4.8%	17.4%	13.5%	7.4%	14.3%
移住・定住者が多い	9.0%	6.4%	12.7%	10.4%	5.8%	5.6%	0.0%
農林水産業が盛んである	8.5%	6.9%	8.5%	10.4%	13.5%	5.6%	0.0%
学校教育や生涯学習が充実している	4.9%	4.6%	3.7%	7.8%	7.7%	1.9%	0.0%
行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である	3.4%	4.0%	1.6%	5.2%	3.8%	3.7%	0.0%
経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である	1.4%	2.9%	1.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的である	0.5%	0.0%	0.5%	0.0%	1.9%	1.9%	0.0%
先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い	0.3%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	8.3%	5.2%	7.4%	7.8%	11.5%	18.5%	14.3%

(2) 問5で「3. どちらかというと感じていない」または「4. 感じていない」と回答した方のみご回答ください。安曇野市に愛着を感じない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- ・ 安曇野市に愛着を感じていない理由は「幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない」が過半数の58.2%と突出して最も高くなっている。
- ・ 次いで、「経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない」(34.3%)、「医療福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことが出来ない」(23.9%)と続いている。

図表 38 安曇野市に愛着を感じない理由(“感じていない”と回答した方を対象)



- ・ 年代別で比較すると、全ての年代で「幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない」が最も高くなっている。(30代と60代では「経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない」と同率)
- ・ 18～20代では「まちの知名度・ブランド力が低い」が25.0%と、全体の回答割合(6.0%)を19.0ポイント上回っている。

図表 39 【年代別】安曇野市に愛着を感じない理由(“感じていない”と回答した方を対象)

	合計 (n=67)	18～20代 (n=4)	30代 (n=9)	40代 (n=14)	50代 (n=19)	60代 (n=11)	70代以上 (n=10)	無回答 (n=0)
幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない	58.2%	50.0%	33.3%	50.0%	68.4%	63.6%	70.0%	-
経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない	34.3%	0.0%	33.3%	21.4%	42.1%	63.6%	20.0%	-
医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことが出来ない	23.9%	25.0%	22.2%	14.3%	36.8%	27.3%	10.0%	-
スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない	16.4%	0.0%	11.1%	14.3%	36.8%	0.0%	10.0%	-
自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない	14.9%	0.0%	0.0%	14.3%	10.5%	9.1%	50.0%	-
行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない	14.9%	25.0%	11.1%	7.1%	15.8%	18.2%	20.0%	-
安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない	13.4%	25.0%	22.2%	21.4%	10.5%	9.1%	0.0%	-
観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない	13.4%	25.0%	0.0%	7.1%	21.1%	9.1%	20.0%	-
先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い	11.9%	0.0%	11.1%	7.1%	21.1%	9.1%	10.0%	-
自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことが出来ない	9.0%	0.0%	11.1%	7.1%	10.5%	9.1%	10.0%	-
学校教育や生涯学習が充実していない	7.5%	0.0%	22.2%	7.1%	10.5%	0.0%	0.0%	-
まちの知名度・ブランド力が低い	6.0%	25.0%	0.0%	7.1%	0.0%	18.2%	0.0%	-
移住・定住者が少ない	6.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	30.0%	-
ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的でない	4.5%	0.0%	0.0%	7.1%	5.3%	0.0%	10.0%	-
歴史や文化・伝統が受け継がれていない	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	10.0%	-
博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	-
農林水産業が盛んでない	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	-
その他	16.4%	0.0%	11.1%	14.3%	21.1%	18.2%	20.0%	-

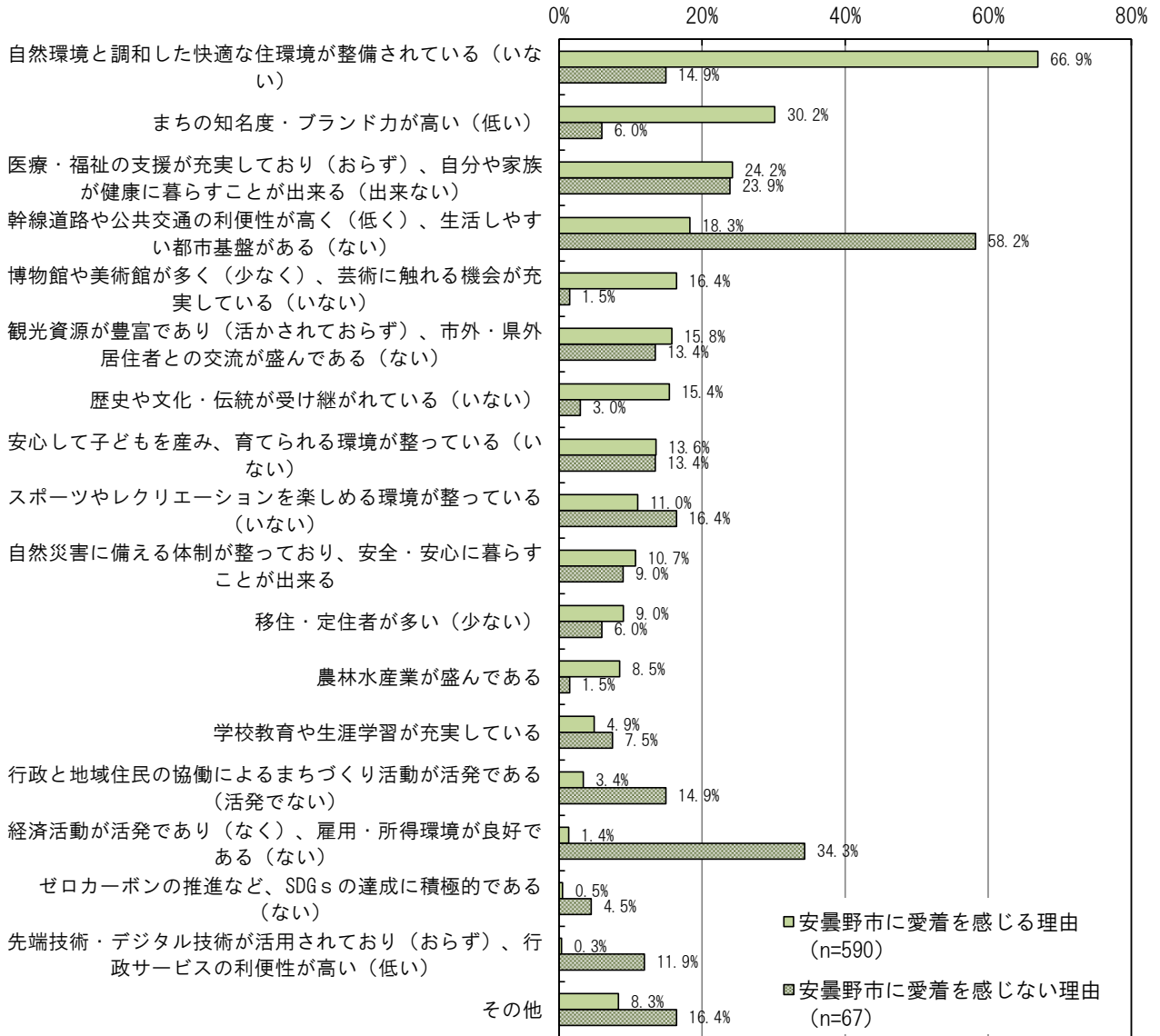
- ・ 地域別で比較すると、「幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない」がすべての地域で過半数を超えて最も高くなっている。
- ・ 明科では、「幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない」と同率で「経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない」とする回答割合が最も高くなっている。

図表 40 【地域別】安曇野市に愛着を感じない理由（“感じていない”と回答した方を対象）

	合計 (n=67)	豊科 (n=14)	三郷 (n=19)	穂高 (n=20)	堀金 (n=4)	明科 (n=10)	無回答 (n=0)
幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない	58.2%	57.1%	52.6%	50.0%	100.0%	70.0%	-
経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない	34.3%	28.6%	36.8%	20.0%	25.0%	70.0%	-
医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことが出来ない	23.9%	28.6%	36.8%	15.0%	25.0%	10.0%	-
スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない	16.4%	14.3%	26.3%	5.0%	50.0%	10.0%	-
自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない	14.9%	14.3%	10.5%	30.0%	0.0%	0.0%	-
行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない	14.9%	14.3%	10.5%	10.0%	25.0%	30.0%	-
安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない	13.4%	14.3%	15.8%	15.0%	0.0%	10.0%	-
観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない	13.4%	14.3%	10.5%	15.0%	25.0%	10.0%	-
先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い	11.9%	21.4%	10.5%	5.0%	25.0%	10.0%	-
自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことが出来ない	9.0%	0.0%	5.3%	15.0%	0.0%	20.0%	-
学校教育や生涯学習が充実していない	7.5%	14.3%	5.3%	10.0%	0.0%	0.0%	-
まちの知名度・ブランド力が低い	6.0%	7.1%	5.3%	0.0%	0.0%	20.0%	-
移住・定住者が少ない	6.0%	0.0%	0.0%	5.0%	25.0%	20.0%	-
ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的でない	4.5%	0.0%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	-
歴史や文化・伝統が受け継がれていない	3.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	10.0%	-
博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	-
農林水産業が盛んでない	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	-
その他	16.4%	7.1%	10.5%	30.0%	50.0%	0.0%	-

- 安曇野市に「愛着を感じている理由」と「愛着を感じていない理由」を比較すると、「医療福祉の支援が充実しており(おらず)、自分や家族が健康に暮らすことができる(出来ない)」はいずれにおいても3番目に高い回答割合となっており、回答割合も概ね同水準である。

図表 41 愛着を感じている理由・愛着を感じていない理由の比較



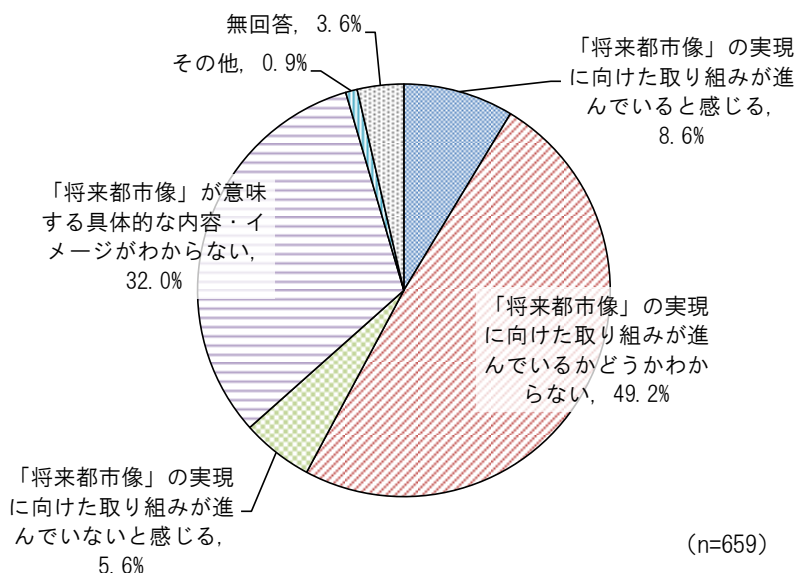
3. 安曇野市の行政に関すること

全般的な施策について

問 6. 今後のまちづくりにあたって最も基本となる計画である「総合計画」では、平成30年～令和9年までの10年間で目指すべき「将来都市像」として、「北アルプスに生まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」を掲げ、各種施策に取り組んでいます。これについて、あなたの実感・感想として当てはまるものを教えてください。(1つに○)

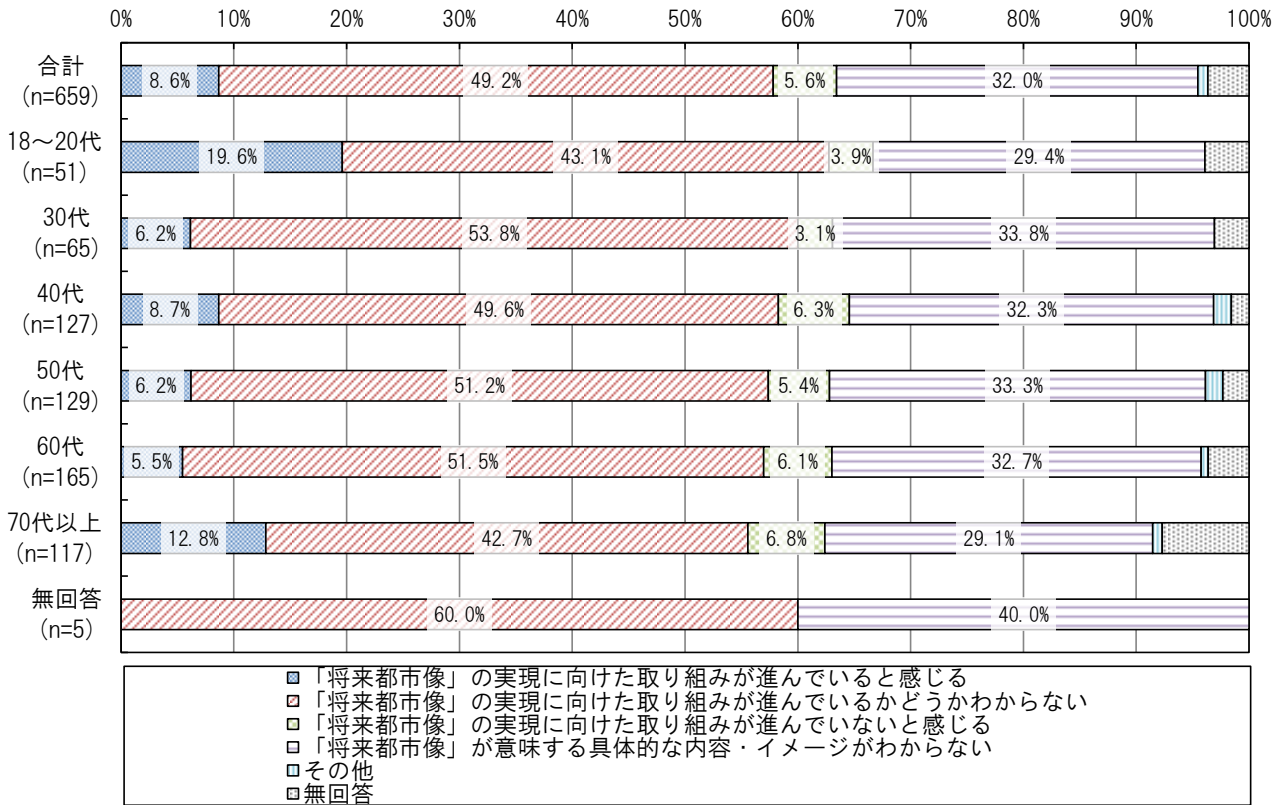
- ・ 将来都市像については、「「将来都市像」の実現に向けた取り組みが進んでいるかどうか分からない」が49.2%と最も高く、次いで「「将来都市像」が意味する具体的な内容・イメージがわからない」が32.0%となっている。
- ・ 将来都市像について、「「将来都市像」の実現に向けた取り組みが進んでいると感じる」は8.6%と全体の1割を下回っているものの、「「将来都市像」の実現に向けた取り組みが進んでいないと感じる」の5.6%を3.0ポイント上回っている。

図表 42 「将来都市像」に対する実感・感想

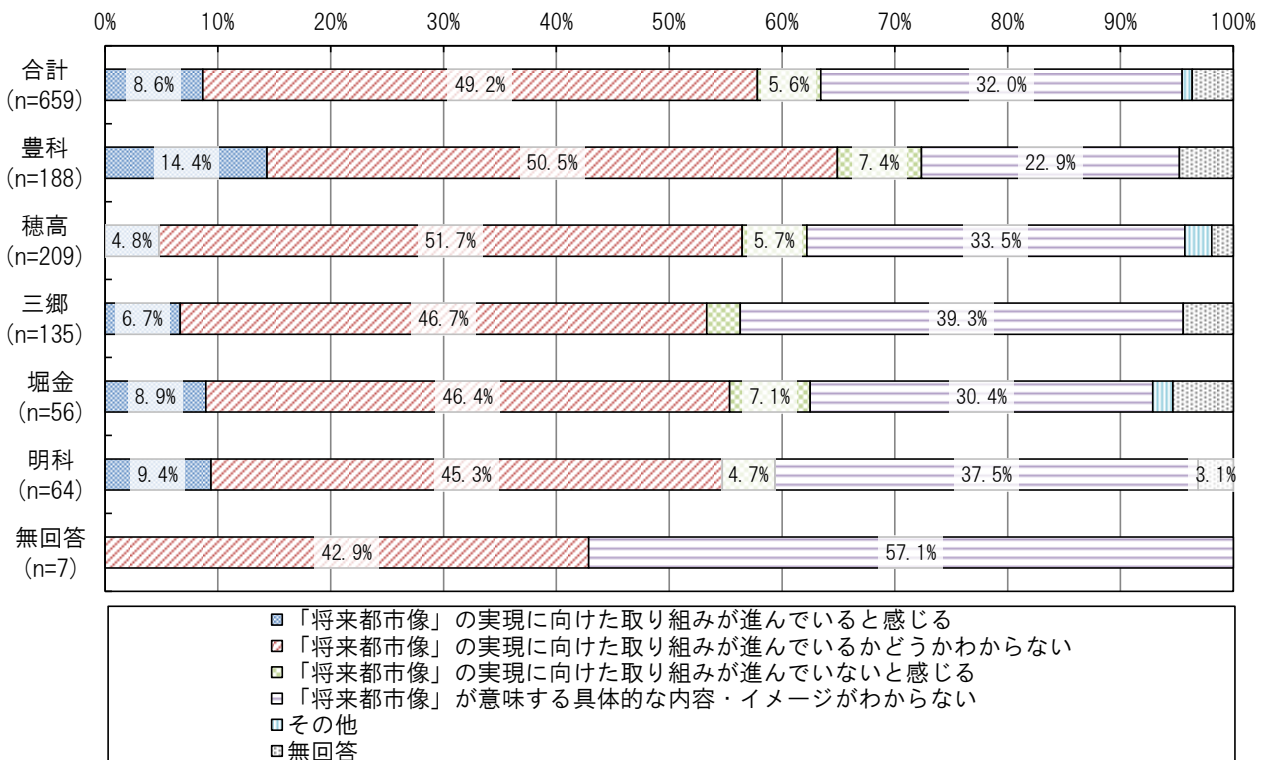


- 年代別で比較すると、18～20代では「将来都市像」の実現に向けた取り組みが進んでいると感じ」と回答した割合は19.6%と、全体の回答割合(8.6%)を11.0ポイント上回っている。
- 地域別で比較すると、豊科では「将来都市像」の実現に向けた取り組みが進んでいると感じ」と回答した割合は14.4%と、全体の回答割合(8.6%)を5.8ポイント上回っている。

図表 43 【年代別】「将来都市像」に対する実感・感想



図表 44 【地域別】「将来都市像」に対する実感・感想



問 7. 以下に示す分野ごとの市の施策について、「① 現状の満足度」と「② 今後の重要度」等をお聞きします。

● 施策一覧および施策の略称

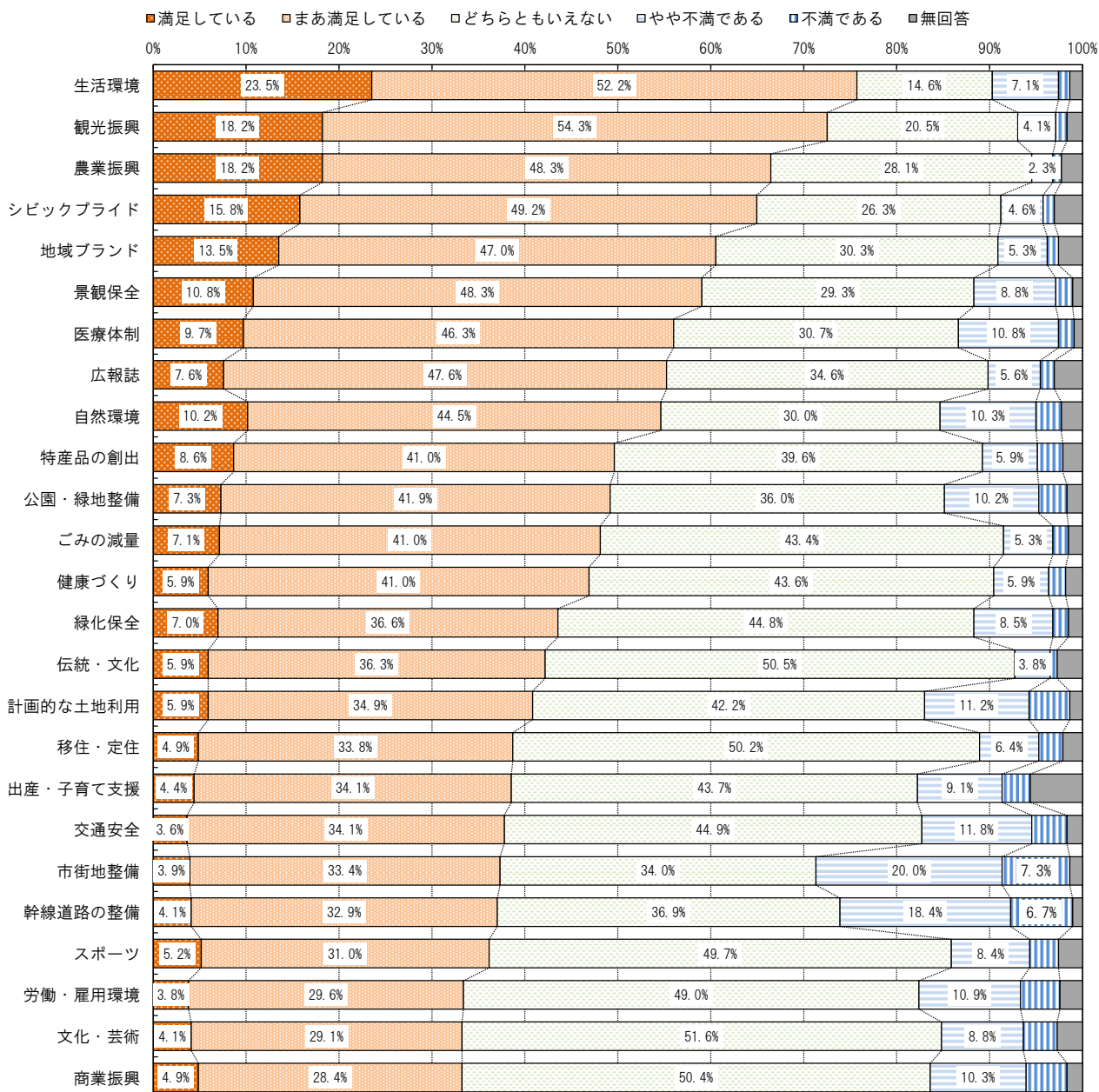
- ・ 市の 17 分野に関する 52 施策について、「① 現状の満足度」と「② 今後の重要度」を調査した。
- ・ 本調査報告書では、全 52 施策について略称を用いて表記している。
- ・ 施策名と略称の対応は以下の通り。

分野	施策名	施策名（略称）
自然環境	河川、山林などの自然環境が保全されている	自然環境
	きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている	生活環境
	太陽光発電などの自然エネルギーが普及している	自然エネルギーの普及
	ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる	ごみの減量
医療・福祉・人権	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	健康づくり
	医療体制が整っている	医療体制
	地域において、支え合える関係が築けている	地域福祉
	障がい者が安心して生活していける地域である	障がい者福祉
	高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	高齢者福祉
	高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている	介護支援
	生活に困ったときに相談できる体制が整っている	生活困窮者支援
	性別に関わらず、能力を発揮できる地域である	男女共同参画
	互いの個性や立場を尊重している地域である	多様性の尊重
子育て支援	出産、子育てしやすい地域である	出産・子育て支援
スポーツ	スポーツを楽しめる環境が整っている	スポーツ
教育・学習	小中学校での教育が充実している	学校教育の充実
	小中学校と地域・家庭の連携が図れている	学校と地域・家庭の連携
	年代に関わらず、学びの機会が提供されている	生涯学習
地域の伝統	地域の伝統や文化の保存・活用が行われている	伝統・文化
文化・芸術	文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている	文化・芸術
	国際交流イベントが盛んに行われている	国際交流
防災・防犯	地域において、地震や台風などへの備えができています	防災対策
	交通安全の取り組みが行われている	交通安全
	防犯対策が行われている	防犯対策
	特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われている	消費者保護
都市基盤	市街地は道路等が整備されており、快適である	市街地整備
	周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている	計画的な土地利用
	安曇野らしい景観が保全されている	景観保全
	緑化の保全、普及が進められている	緑化保全
	公園、緑地の整備・維持管理がされている	公園・緑地整備
	国道、県道などの幹線道路が整備されている	幹線道路の整備
	生活道路である市道が整備されている	生活道路の整備
	公共交通網が整備されている	公共交通網
農林水産業	地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている	農業振興
	市内に個性的で魅力的なお店が増えている	商業振興
	工業・製造業が盛んな地域である	工業振興
観光	働きやすい地域である	労働・雇用環境
	安曇野市は魅力的な観光地である	観光振興
地域ブランド	安曇野らしい産品が生み出されている	特産品の創出
	全国的に「安曇野市」の地名が知られている	地域ブランド
	市外在住者に誇ることのできる地域である	シビックプライド
移住・定住	移住者、定住者が多く活気のあるまちである	移住・定住
協働 ・コミュニティ活動	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	コミュニティ活動
	NPO、ボランティア活動が行われている	ボランティア活動
	まちづくりへの市民参画が進んでいる	市民参画
デジタル社会 ・行政サービス	情報化社会に対応した基盤が整備されている	地域の情報化
	行政運営の効率化が図られている	効率的な行政運営
	市政に関する情報が入手しやすい	市政情報の入手
	広報紙「広報あづみの」が充実している	広報誌
	市公式ホームページ、SNSが充実している	市のHP・SNS
市のラジオ番組（あづみ野エフエム）が充実している	ラジオ広報	
SDGs	SDGsの達成に向けて取り組んでいる地域である	SDGs達成への取組

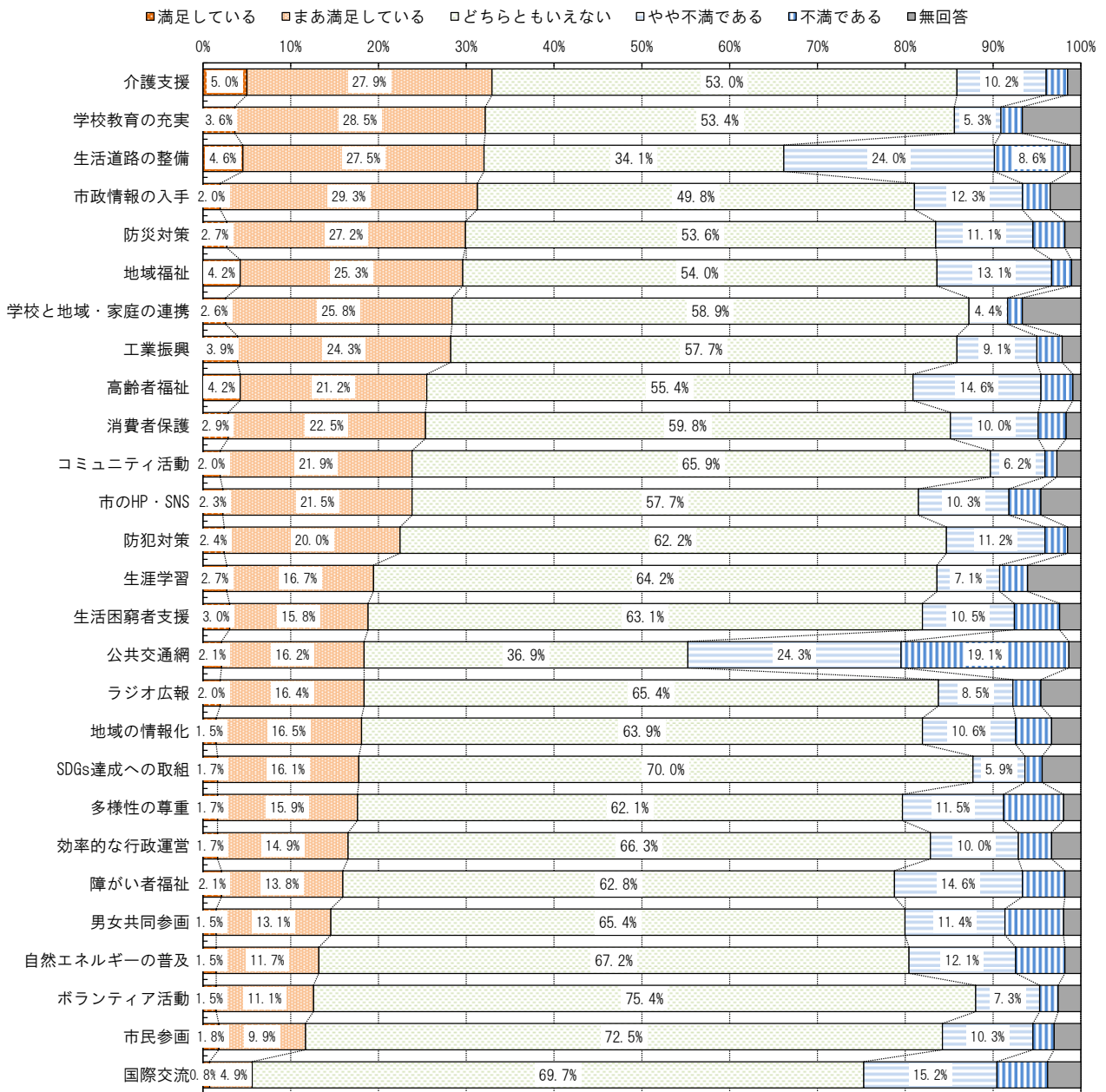
① 市の施策に対する現状の満足度

- ・ 「満足している」と「まあ満足している」を合算した回答割合をみると、上位3つは、「生活環境」(75.7%)、「観光振興」(72.5%)、「農業振興」(66.5%)となっている。
- ・ 「不満である」と「やや不満である」を合算した回答割合をみると、最も低かったのは「農業振興」(3.2%)となっており、次いで「伝統・文化」(4.6%)、「観光振興」(5.3%)となっている。
- ・ 一方、「不満である」と「やや不満である」を合算した回答割合が最も高かったのは「公共交通網」(43.4%)となっており、次いで「生活道路の整備」(32.6%)、「市街地整備」(27.3%)となっている。

図表 45 市の施策に対する現状の満足度



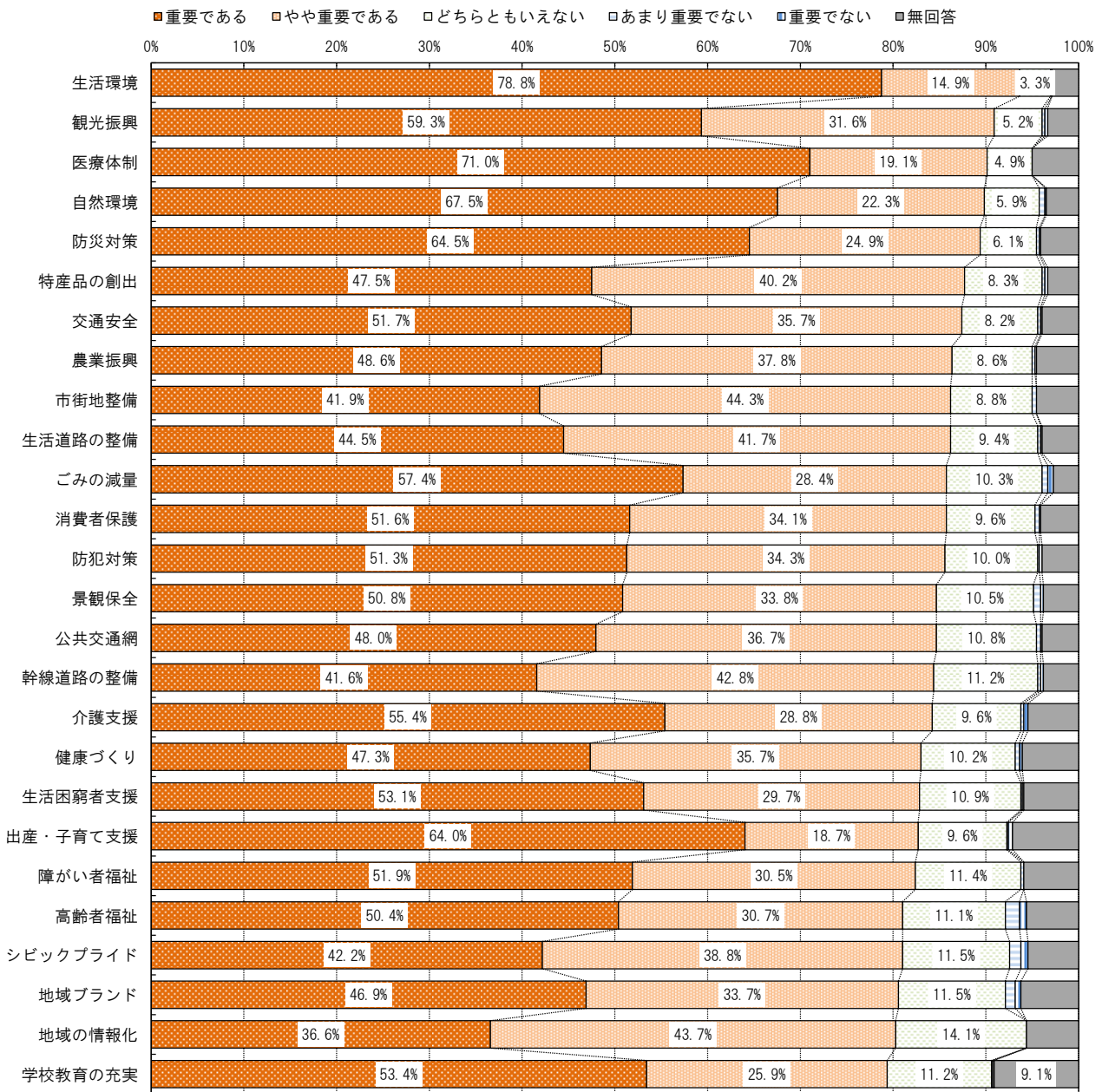
(※前ページからの続き)



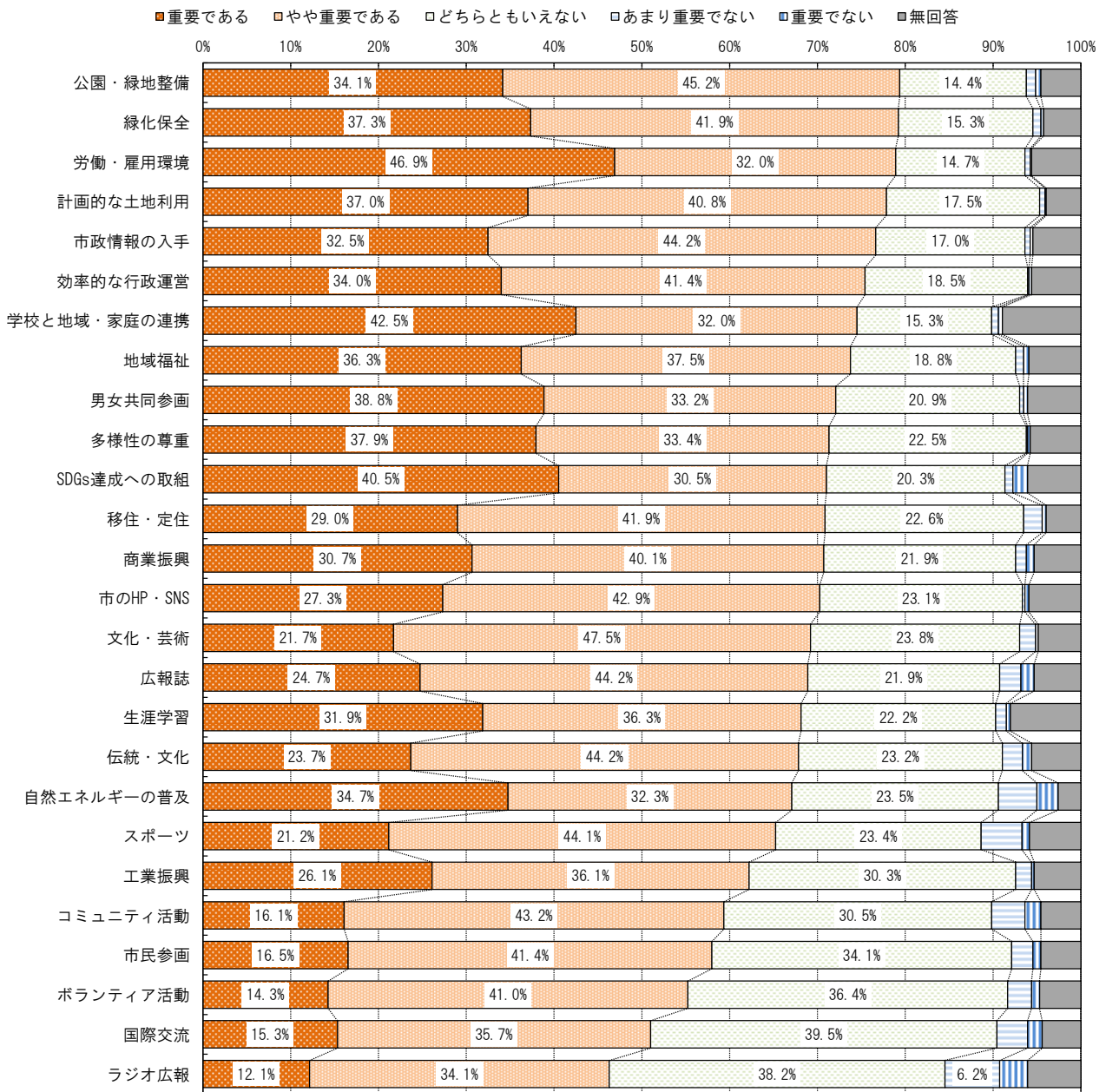
② 市の施策に対する今後の重要度

- ・ 「重要である」と「やや重要である」を合算した回答割合をみると、上位3つは、「生活環境」(93.7%)、「観光振興」(90.9%)、「医療体制」(90.1%)となっている。
- ・ 「重要でない」と「あまり重要でない」を合算した回答割合をみると、最も低かったのは「医療体制」、「地域の情報化」で、ともに0%となっている。
- ・ 一方、「重要でない」と「あまり重要でない」を合算した回答割合が最も高かったのは「ラジオ広報」(9.4%)となっており、次いで「自然エネルギーの普及」(6.8%)、「コミュニティ活動」(5.6%)となっている。))

図表 46 市の施策に対する今後の重要度



(※前ページからの続き)



③ 「現状の満足度」と「今後の重要度」のマトリクス分析について

● マトリクス作成方法

- ・ 市の施策 17 分野 52 項目について、「現状の満足度」(以下、「満足度」という)と「今後の重要度」(以下、「重要度」という)の各選択肢に以下の通り点数を設定し、その点数の総和を回答数で除すことで施策ごとの「満足度」、「重要度」を算出した。(ここで用いる回答数は、「どちらともいえない」および「無回答」を除く。)
- ・ 全52施策の満足度・重要度それぞれの平均値によって4象限に区分されるマトリクス上に、各施策の結果をプロットした。

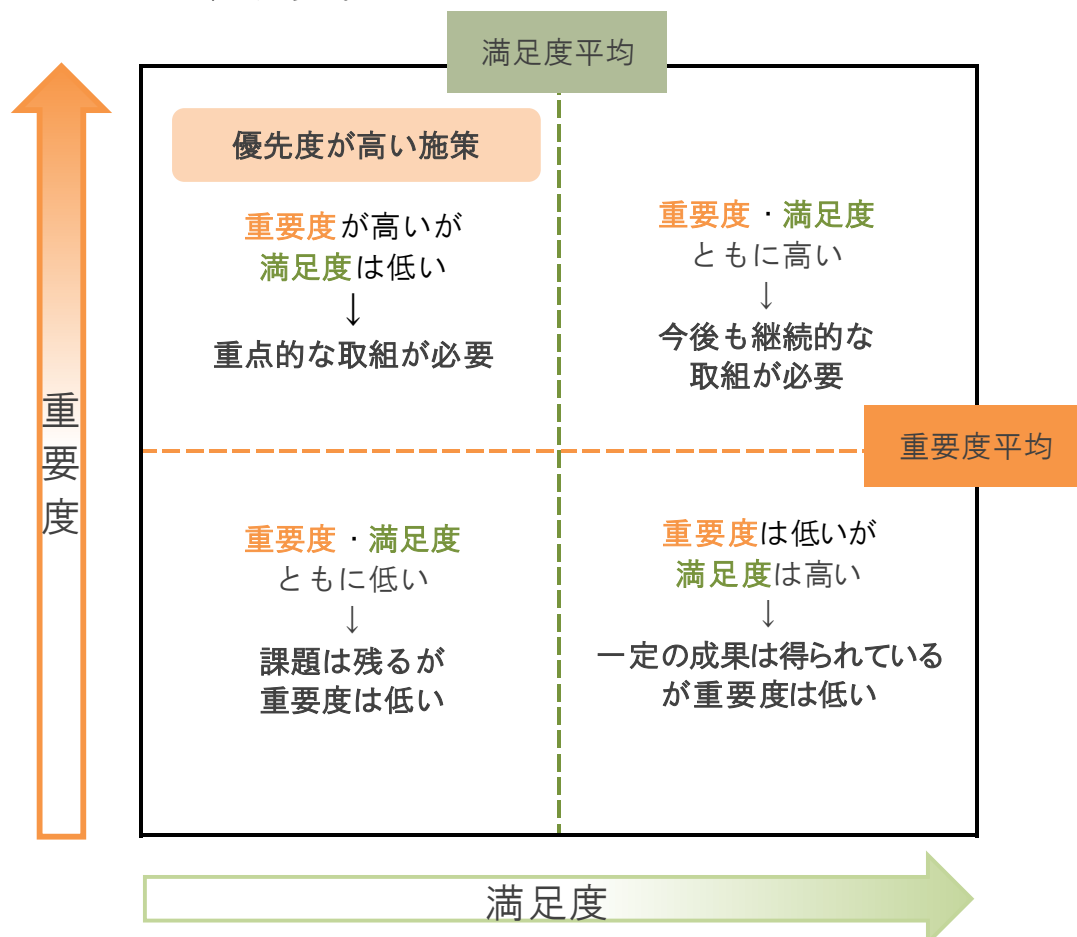
満足度	満足している	まあ満足している	やや不満である	不満である
重要度	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
点数	4	3	2	1

【過去調査(H28)との比較について】

- ・ 過去調査(H28)では、「満足度」について、「現在の安曇野市の状況」として聞いた。
- ・ また、「重要度」について、「さらに進めるべきか」として聞いた。
- ・ いずれについても、過去調査(H28)では、「そう思う」、「ややそう思う」、「わからない」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の5段階で回答を得た。

● マトリクスの見方

- ・ **満足度【横方向】**:市の各施策に対する、住民の現状での満足度。高いほど(右にあるほど)、住民からの評価が高い。
- ・ **重要度【縦方向】**:住民が考える各施策の重要度。高いほど(上にあるほど)、今後重点的に取り組むことを望む住民が多い。



I. 全体

- 全 52 施策の満足度・重要度それぞれの平均値によって各施策を4象限へプロット結果は以下の通り。
- 「医療・福祉・人権」や「防災・防犯」、「都市基盤」分野を中心とする 15 施策が、優先度が高い施策（重要度が高いが満足度は低い施策）として分類された。

図表 47 マトリクス分析結果一覧

分野	施策名（略称）	重要度：高い 満足度：高い	重要度：高い 満足度：低い	重要度：低い 満足度：低い	重要度：低い 満足度：高い
自然環境	自然環境	●			
	生活環境	●			
	自然エネルギーの普及			●	
	ごみの減量	●			
医療・福祉・人権	健康づくり	●			
	医療体制	●			
	地域福祉			●	
	障がい者福祉		●		
	高齢者福祉		●		
	介護支援	●			
	生活困窮者支援		●		
	男女共同参画		●		
	多様性の尊重		●		
子育て支援	●				
スポーツ				●	
教育・学習	学校教育の充実	●			
	学校と地域・家庭の連携	●			
	生涯学習			●	
地域の伝統 文化・芸術	伝統・文化				●
	文化・芸術				●
	国際交流			●	
防災・防犯	防災対策		●		
	交通安全		●		
	防犯対策		●		
	消費者保護		●		
	市街地整備		●		
都市基盤	計画的な土地利用				●
	景観保全	●			
	緑化保全				●
	公園・緑地整備				●
	幹線道路の整備		●		
	生活道路の整備		●		
	公共交通網		●		
	農林水産業	●			
経済活動	商業振興			●	
	工業振興				●
	労働・雇用環境		●		
観光	観光振興	●			
	特産品の創出	●			
地域ブランド	地域ブランド	●			
	シビックプライド				●
移住・定住	移住・定住				●
協働・コミュニティ活動	コミュニティ活動				●
	ボランティア活動			●	
	市民参画			●	
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化			●	
	効率的な行政運営			●	
	市政情報の入手			●	
	広報誌			●	
	市のHP・SNS			●	
	ラジオ広報			●	
SDGs	SDGs達成への取組		●		

優先度が高い施策

- ・ 県内 19 市のうち、令和3年度以降の市民アンケート調査にて「満足度」・「重要度」のマトリクス分析を実施している5市について、その結果をみてみると、「医療・福祉」や、公共交通の充実や道路整備等を含む「都市基盤」に関する施策等が「重要度が高いが満足度は低い施策等」として分類されており、複数の自治体で共通する課題となっているものとみられる。

図表 48 県内他市との比較(重要度が高いが満足度は低い施策等)

駒ヶ根市（令和3年度実施アンケート結果）

47項目中13項目が該当	
1	病院など医療体制が整っている
2	高齢者や障がい者が安心して暮せる
3	交通の便がよく移動しやすい
4	必要な情報が分かりやすく伝わっている
5	生活道路の整備は進んでいる
6	道路は歩行者にとって安全である
7	温暖化防止対策や再資源化など循環型社会の推進が市民生活に浸透している
8	子育てをしながらでも安心して働くことができる
9	安心して子どもを預けられる環境がある
10	専門医療や救急医療をいつでも受けることができる
11	働く場の確保など雇用対策が充実している
12	子どもたちが遊び場や公園などで遊んでいる
13	市政に市民の声が反映されている

佐久市（令和3年度実施アンケート結果）

50項目中9項目が該当	
1	就労・雇用
2	環境衛生
3	医療保険・国民年金
4	障がい者福祉
5	地域交通ネットワーク
6	環境保全
7	少子化対策
8	地球温暖化対策
9	ひとり親家庭支援・低所得者福祉

諏訪市（令和3年度実施アンケート結果）

39項目中6項目が該当	
1	環境保全
2	公共交通
3	交通体系
4	財政・財務
5	雇用・創業
6	観光

千曲市（令和3年度実施アンケート結果）

32項目中4項目が該当	
1	雇用
2	行政経営
3	移住・定住
4	地球環境保全

中野市（令和3年度実施アンケート結果）

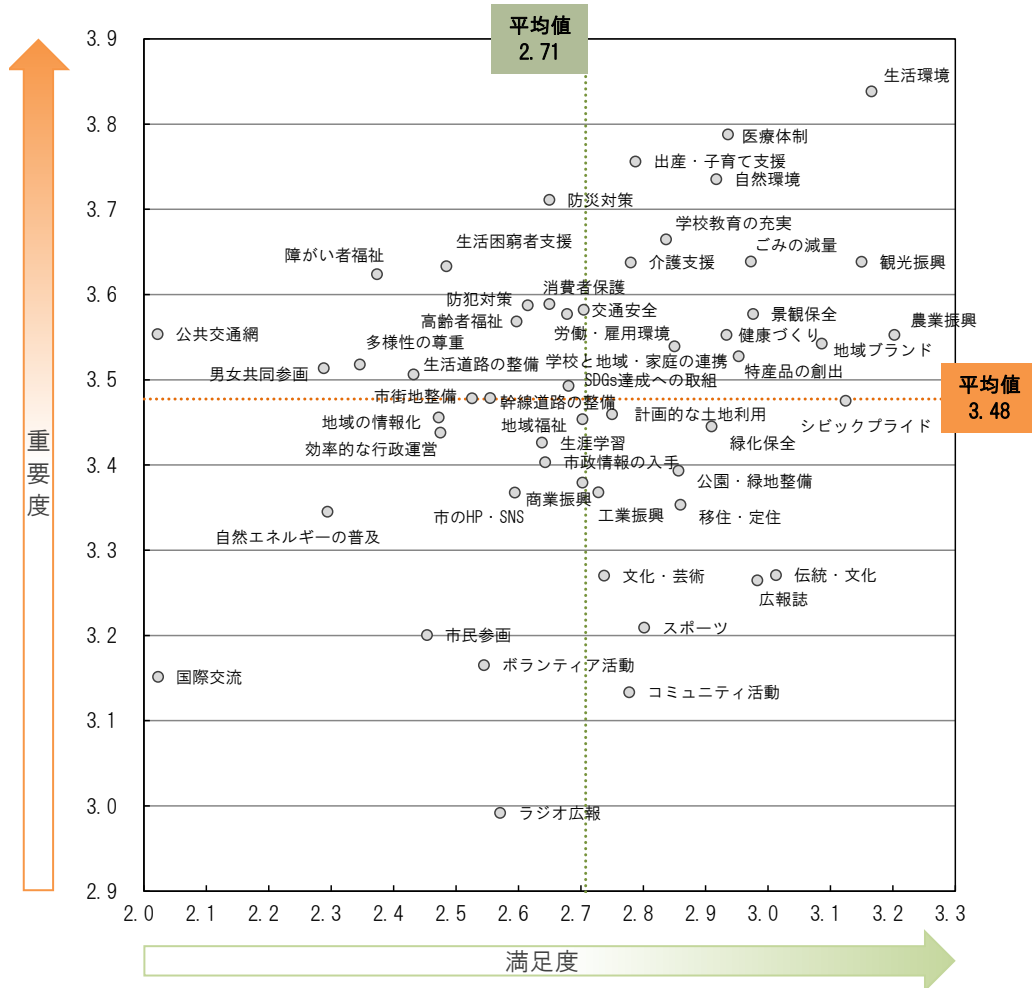
30項目中5項目が該当	
1	地域が支え合う福祉体制の確立
2	雇用機会の充実と安定
3	防災対策の推進
4	身近な生活基盤の充実
5	持続可能な財政運営の推進

(注) 重要度および満足度の算出方法等がそれぞれ異なるため自治体間の単純比較には留意が必要。

(i)重要度×満足度マトリクス分析【全体】

- 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策)として区分されているものは、52 施策中 15 施策となった。
- 15 施策を分野ごとにみると、「医療・福祉・人権」が5施策、「防災・防犯」、「都市施策」がそれぞれ4施策、「経済活動」と「SDGs」がそれぞれ1施策となっている。

図表 49 満足度×重要度マトリクス分析【全体】



図表 50 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【全体】)

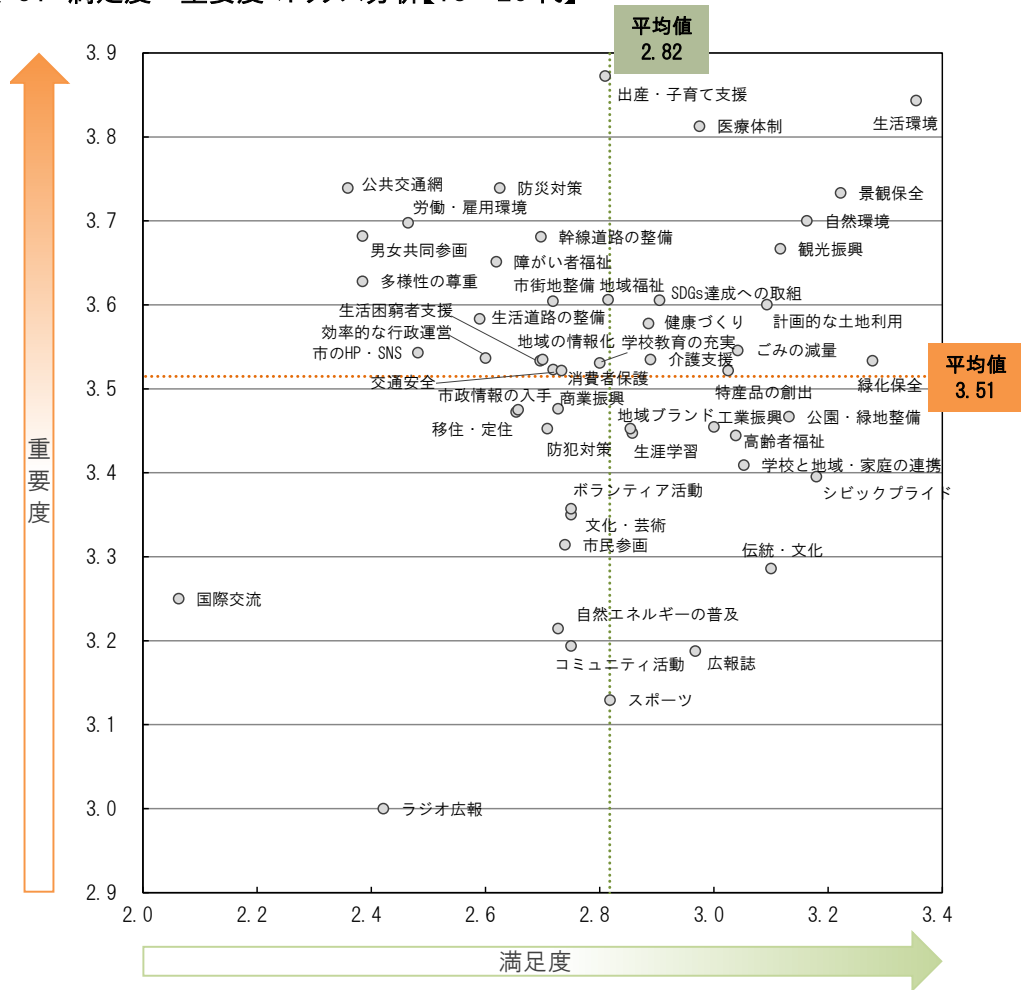
分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.37	3.62
	高齢者福祉	2.60	3.57
	生活困窮者支援	2.48	3.63
	男女共同参画	2.29	3.51
	多様性の尊重	2.35	3.52
防災・防犯	防災対策	2.65	3.71
	交通安全	2.70	3.58
	防犯対策	2.62	3.59
	消費者保護	2.65	3.59
都市基盤	市街地整備	2.53	3.48
	幹線道路の整備	2.56	3.48
	生活道路の整備	2.43	3.51
	公共交通網	2.02	3.55
経済活動	労働・雇用環境	2.68	3.58
SDGs	SDGs達成への取組	2.68	3.49

II. 年代別

(i) 重要度×満足度マトリクス分析【18～20代】

- 18～20代の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は2.82ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.11ポイント高くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52施策中18施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が5施策、「都市基盤」が4施策、「防災・防犯」、「デジタル社会・行政サービス」がそれぞれ3施策、「子育て支援」、「教育・学習」、「経済活動」がそれぞれ1施策となっている。
- 18～20代の特徴として、全体ではみられなかった「子育て支援」、「教育・学習」、「デジタル社会・行政サービス」の分野の施策が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されている。

図表 51 満足度×重要度マトリクス分析【18～20代】



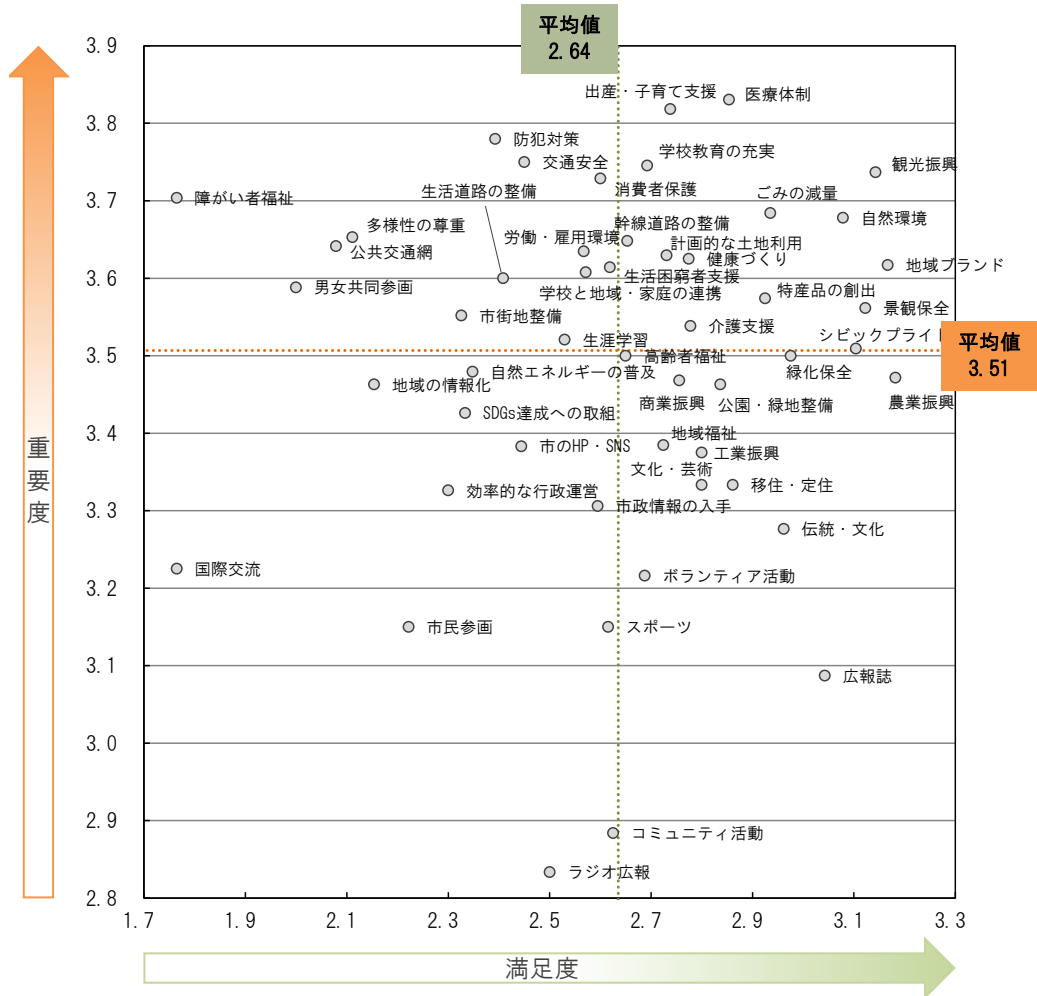
図表 52 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【18～20代】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	地域福祉	2.81	3.61
	障がい者福祉	2.62	3.65
	生活困窮者支援	2.70	3.53
	男女共同参画	2.38	3.68
	多様性の尊重	2.38	3.63
子育て支援	出産・子育て支援	2.81	3.87
教育・学習	学校教育の充実	2.80	3.53
防災・防犯	防災対策	2.63	3.74
	交通安全	2.72	3.52
	消費者保護	2.73	3.52
都市基盤	市街地整備	2.72	3.60
	幹線道路の整備	2.70	3.68
	生活道路の整備	2.59	3.58
	公共交通網	2.36	3.74
経済活動	労働・雇用環境	2.46	3.70
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化	2.70	3.53
	効率的な行政運営	2.60	3.54
	市のHP・SNS	2.48	3.54

(ii)重要度×満足度マトリクス分析【30代】

- 30代の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.64 ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.07 ポイント低くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 14 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」、「防犯・防災」がそれぞれ4施策、「都市基盤」が3施策、「教育・学習」が2施策「経済活動」が1施策となっている。
- 30代の特徴として、全体ではみられなかった「学校と地域・家庭の連携」、「生涯学習」が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されている。

図表 53 満足度×重要度マトリクス分析【30代】



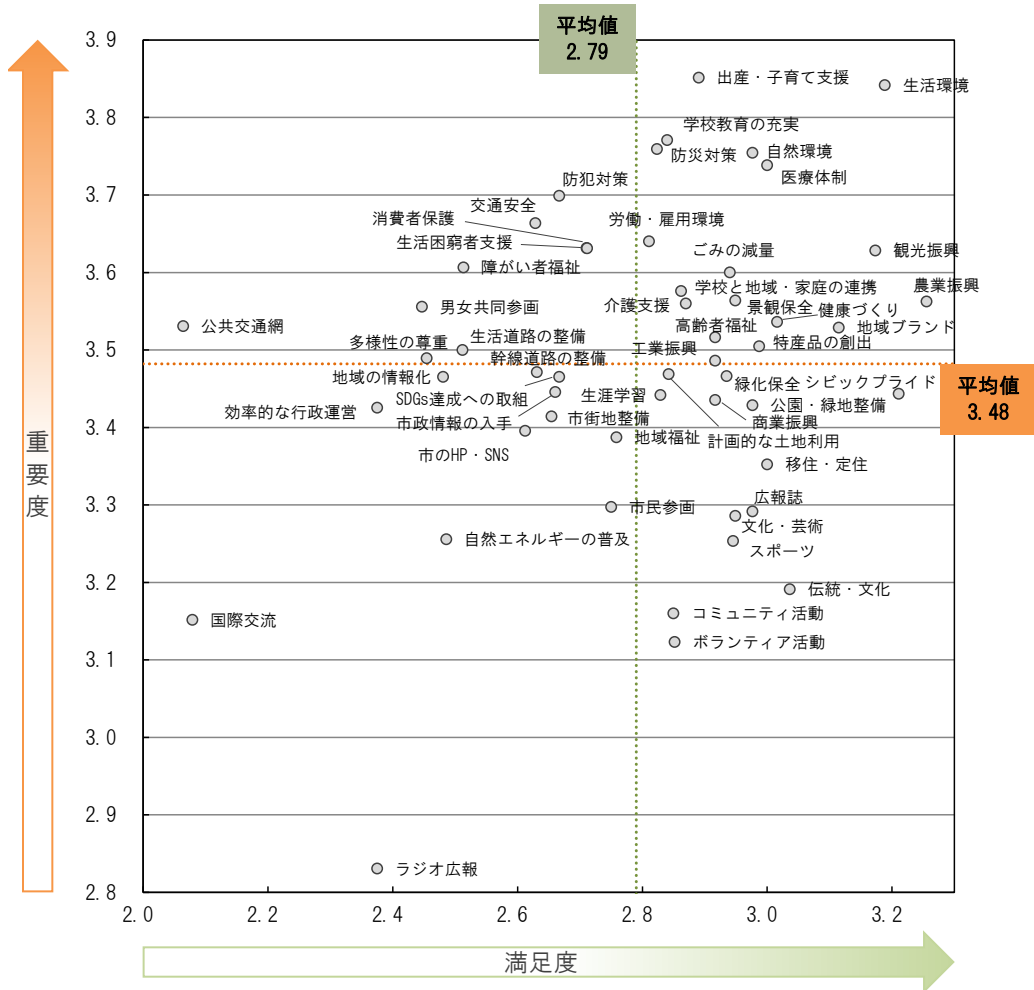
図表 54 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【30代】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	1.76	3.70
	生活困窮者支援	2.62	3.61
	男女共同参画	2.00	3.59
	多様性の尊重	2.11	3.65
教育・学習	学校と地域・家庭の連携	2.57	3.61
	生涯学習	2.53	3.52
防災・防犯	防災対策	2.43	3.90
	交通安全	2.45	3.75
	防犯対策	2.39	3.78
	消費者保護	2.60	3.73
都市基盤	市街地整備	2.33	3.55
	生活道路の整備	2.41	3.60
	公共交通網	2.08	3.64
経済活動	労働・雇用環境	2.57	3.63

(iii)重要度×満足度マトリクス分析【40代】

- 40代の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.79 ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.08 ポイント高くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中9施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が4施策、「防災・防犯」が3施策、「都市基盤」が2施策となっている。
- 40代の特徴として、全体ではみられた「経済活動」と「SDGs」の分野の施策が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されていない。

図表 55 満足度×重要度マトリクス分析【40代】



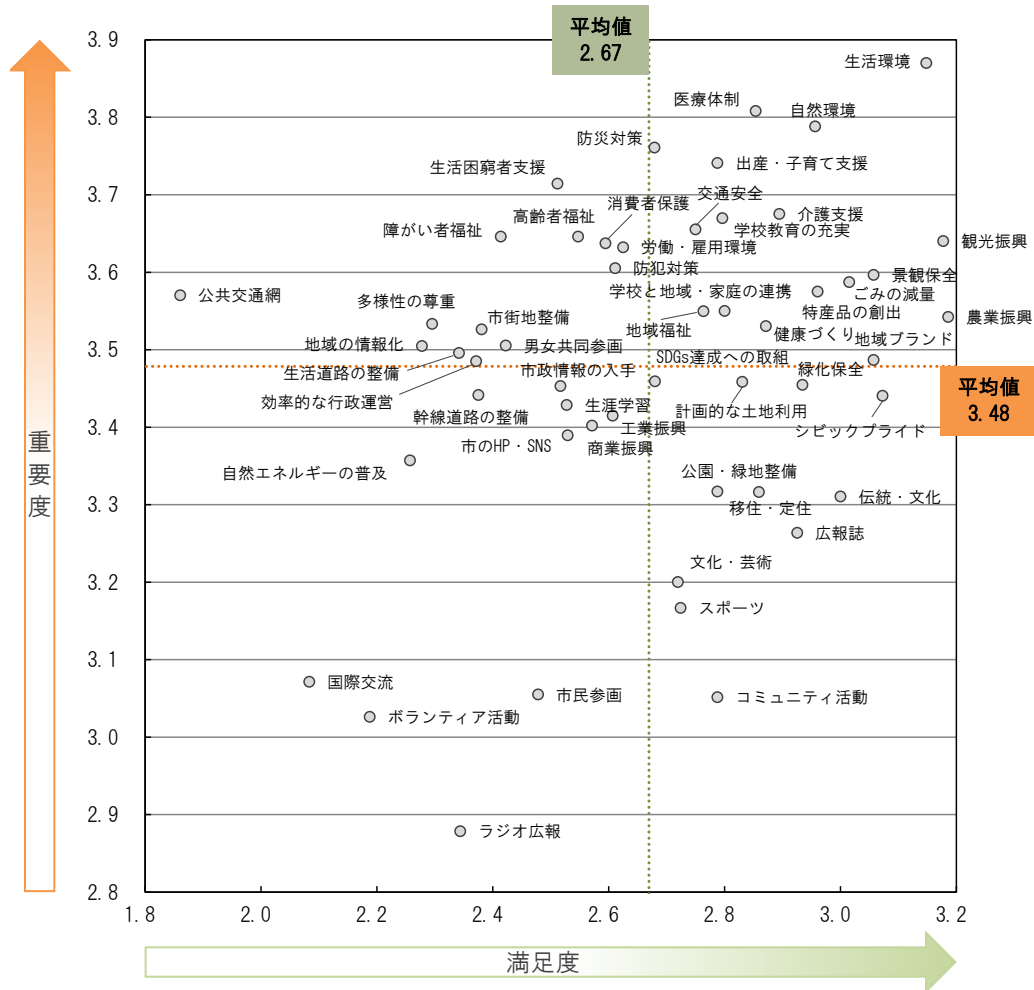
図表 56 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【40代】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.51	3.61
	生活困窮者支援	2.71	3.63
	男女共同参画	2.45	3.56
	多様性の尊重	2.45	3.49
防災・防犯	交通安全	2.63	3.66
	防犯対策	2.67	3.70
	消費者保護	2.71	3.63
都市基盤	生活道路の整備	2.51	3.50
	公共交通網	2.06	3.53

(iv)重要度×満足度マトリクス分析【50代】

- 50代の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.67 ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.04 ポイント低くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 13 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が5施策、「都市基盤」が3施策、「防災・防犯」、「デジタル社会・行政サービス」がそれぞれ2施策、「経済活動」が1施策となっている。
- 50代の特徴として、全体ではみられなかった「地域の情報化」と「効率的な行政運営」が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されている。

図表 57 満足度×重要度マトリクス分析【50代】



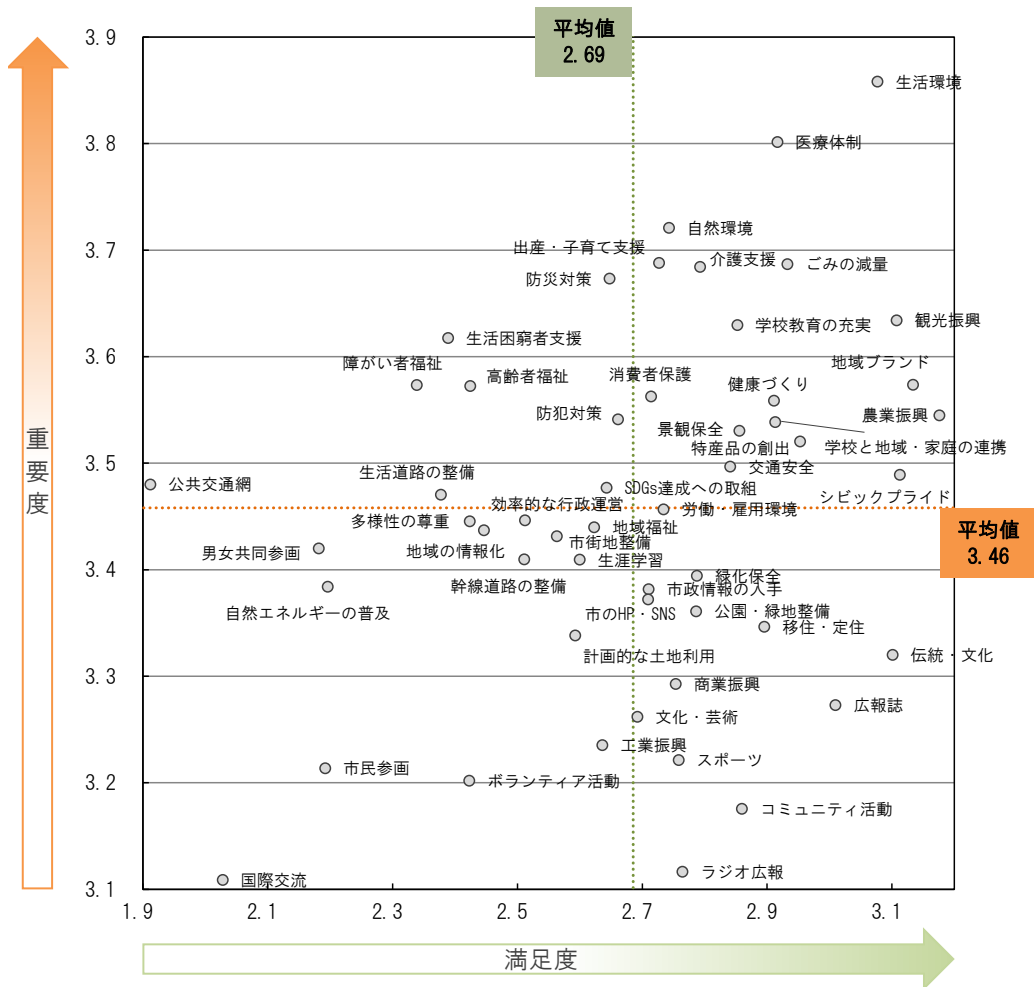
図表 58 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【50代】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.41	3.65
	高齢者福祉	2.55	3.65
	生活困窮者支援	2.51	3.71
	男女共同参画	2.42	3.51
	多様性の尊重	2.30	3.53
防災・防犯	防犯対策	2.61	3.61
	消費者保護	2.59	3.64
都市基盤	市街地整備	2.38	3.53
	生活道路の整備	2.34	3.50
	公共交通網	1.86	3.57
経済活動	労働・雇用環境	2.63	3.63
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化	2.28	3.50
	効率的な行政運営	2.37	3.49

(v)重要度×満足度マトリクス分析【60代】

- 60代の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.69 ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.02 ポイント低くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中8施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が3施策、「防災・防犯」、「都市基盤」がそれぞれ2施策、「SDGs」が1施策となっている。
- 60代の特徴として、全体ではみられた「経済活動」の分野の施策が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されていない。

図表 59 満足度×重要度マトリクス分析【60代】



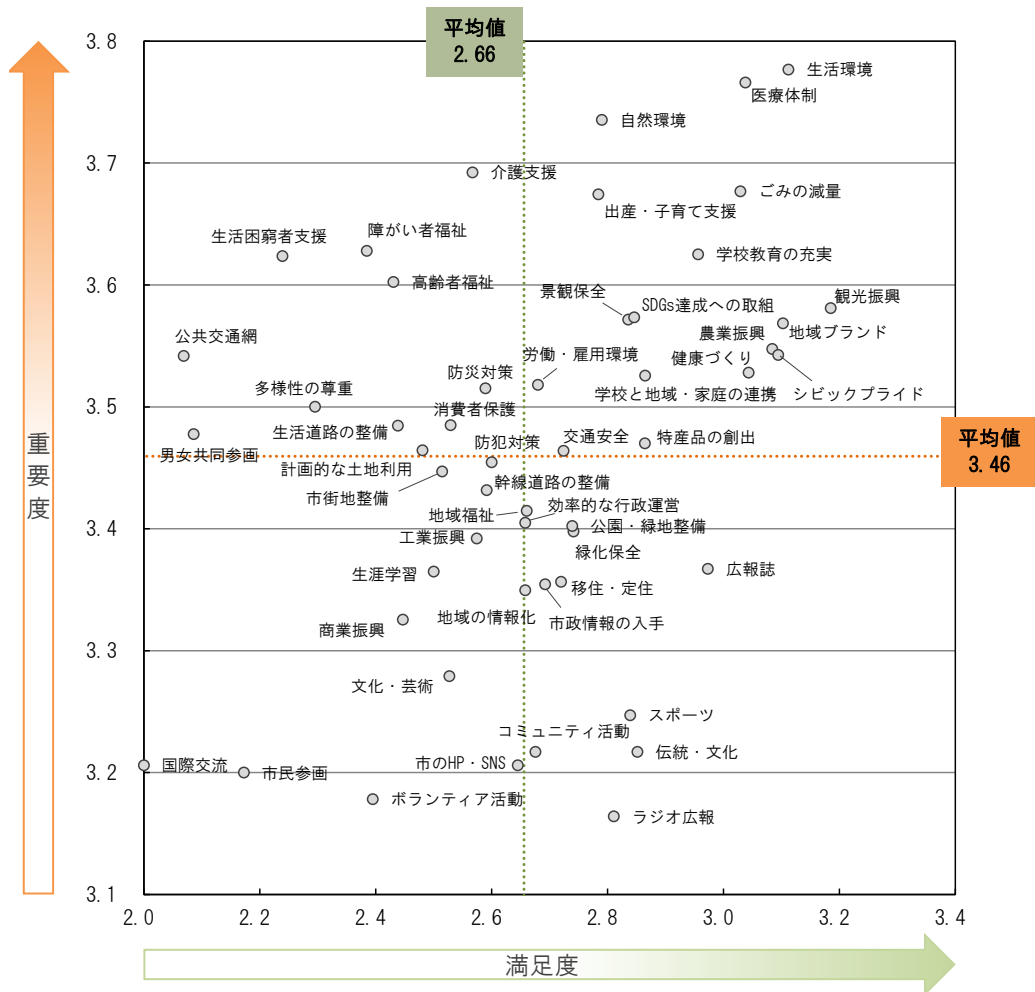
図表 60 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【60代】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.34	3.57
	高齢者福祉	2.42	3.57
	生活困窮者支援	2.39	3.62
防災・防犯	防災対策	2.65	3.67
	防犯対策	2.66	3.54
都市基盤	生活道路の整備	2.38	3.47
	公共交通網	1.91	3.48
SDGs	SDGs達成への取組	2.64	3.48

(vi)重要度×満足度マトリクス分析【70代以上】

- 70代以上の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.66 ポイントであり、全体の平均 (2.71)に比べて、0.05 ポイント低くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 11 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が6施策、「都市基盤」が3施策、「防災・防犯」が2施策となっている。
- 70代以上の特徴として、全体ではみられなかった「介護支援」と「計画的な土地利用」が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されている。
- また、全体ではみられた「経済活動」の分野の施策が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されていない。

図表 61 満足度×重要度マトリクス分析【70代以上】



図表 62 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【70代以上】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.38	3.63
	高齢者福祉	2.43	3.60
	介護支援	2.57	3.69
	生活困窮者支援	2.24	3.62
	男女共同参画	2.09	3.48
	多様性の尊重	2.30	3.50
防災・防犯	防災対策	2.59	3.52
	消費者保護	2.53	3.48
都市基盤	計画的な土地利用	2.48	3.46
	生活道路の整備	2.44	3.48
	公共交通網	2.07	3.54

(vii)重要度×満足度マトリクス分析【年代別結果一覧】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものを年代別にみると、「障がい者福祉」、「生活困窮者支援」、「生活道路の整備」および「公共交通網」の4施策は全年代で共通している。

図表 63 今後重点的に取り組むべき施策【年代別結果一覧】

- …全体で「今後重点的に取り組むべき施策」として区分されている施策
- …全体では「今後重点的に取り組むべき施策」として区分されていないが、年代別では「今後重点的に取り組むべき施策」として区分されている施策

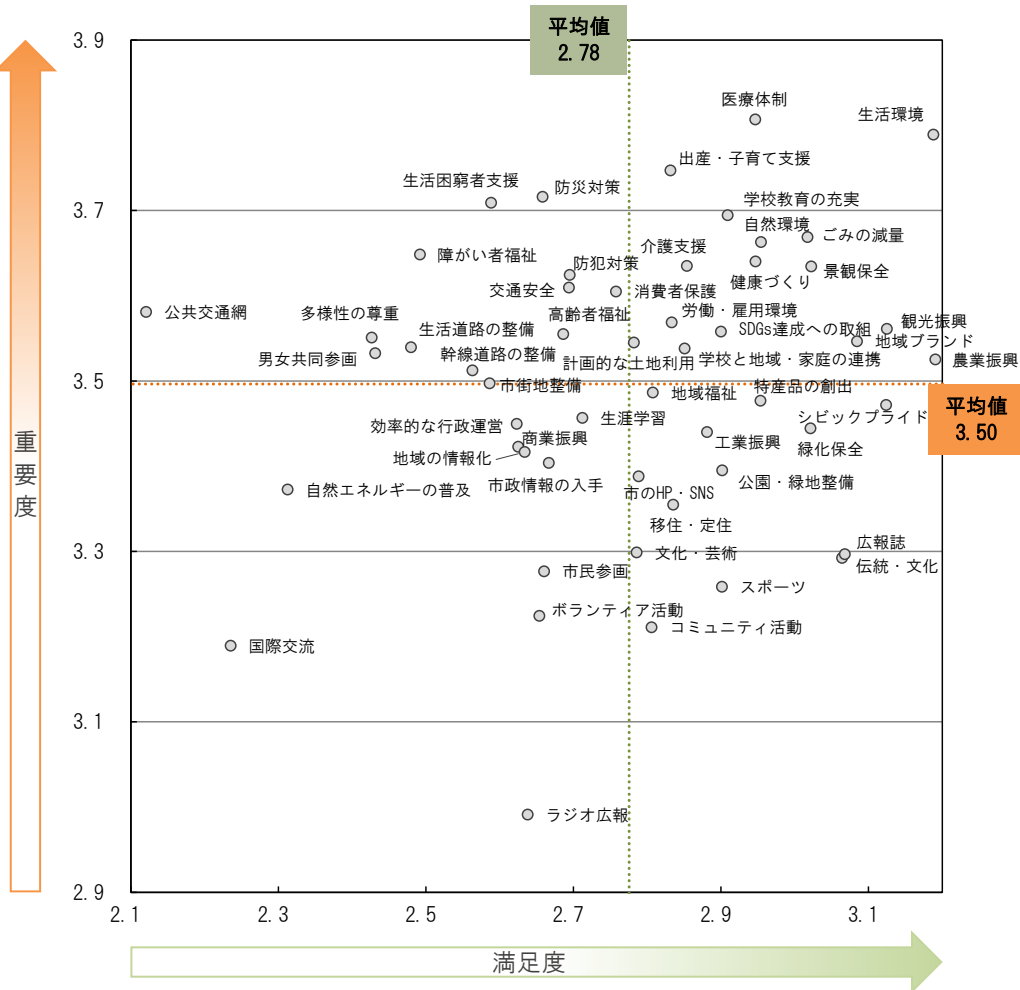
分野	施策名(略称)	全体	18~20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
自然環境	自然環境							
	生活環境							
	自然エネルギーの普及							
	ごみの減量							
医療・福祉・人権	健康づくり							
	医療体制							
	地域福祉		○					
	障がい者福祉	●	●	●	●	●	●	●
	高齢者福祉	●				●	●	●
	介護支援							○
	生活困窮者支援	●	●	●	●	●	●	●
	男女共同参画	●	●	●	●	●		●
	多様性の尊重	●	●	●	●	●		●
子育て支援		○						
スポーツ								
教育・学習	学校教育の充実		○					
	学校と地域・家庭の連携			○				
	生涯学習			○				
地域の伝統 文化・芸術	伝統・文化							
	文化・芸術							
	国際交流							
防災・防犯	防災対策	●	●	●			●	●
	交通安全	●	●	●	●			
	防犯対策	●	●	●	●	●	●	
	消費者保護	●	●	●	●	●		●
都市基盤	市街地整備	●	●	●		●		
	計画的な土地利用							○
	景観保全							
	緑化保全							
	公園・緑地整備							
	幹線道路の整備	●	●		●	●	●	●
	生活道路の整備	●	●	●	●	●	●	●
公共交通網	●	●	●	●	●	●	●	
農林水産業 経済活動	農業振興							
	商業振興							
観光	工業振興							
	労働・雇用環境	●	●	●		●		
地域ブランド	観光振興							
	特産品の創出							
移住・定住	地域ブランド							
	シビックプライド							
協働・コミュニティ活動	移住・定住							
	コミュニティ活動							
	ボランティア活動							
デジタル社会・行政サービス	市民参画							
	地域の情報化		○			○		
	効率的な行政運営		○			○		
	市政情報の入手							
	広報誌							
SDGs	市のHP・SNS		○					
	ラジオ広報							
SDGs	SDGs達成への取組	●					●	

Ⅲ. 地域別

(i) 重要度×満足度マトリクス分析【豊科】

- 豊科の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.78 ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.07 ポイント高くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 13 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が5施策、「防災・防犯」、「都市基盤」がそれぞれ4施策となっている。
- 豊科の特徴として、全体ではみられた「経済活動」と「SDGs」の分野の施策が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されていない。

図表 64 満足度×重要度マトリクス分析【豊科】



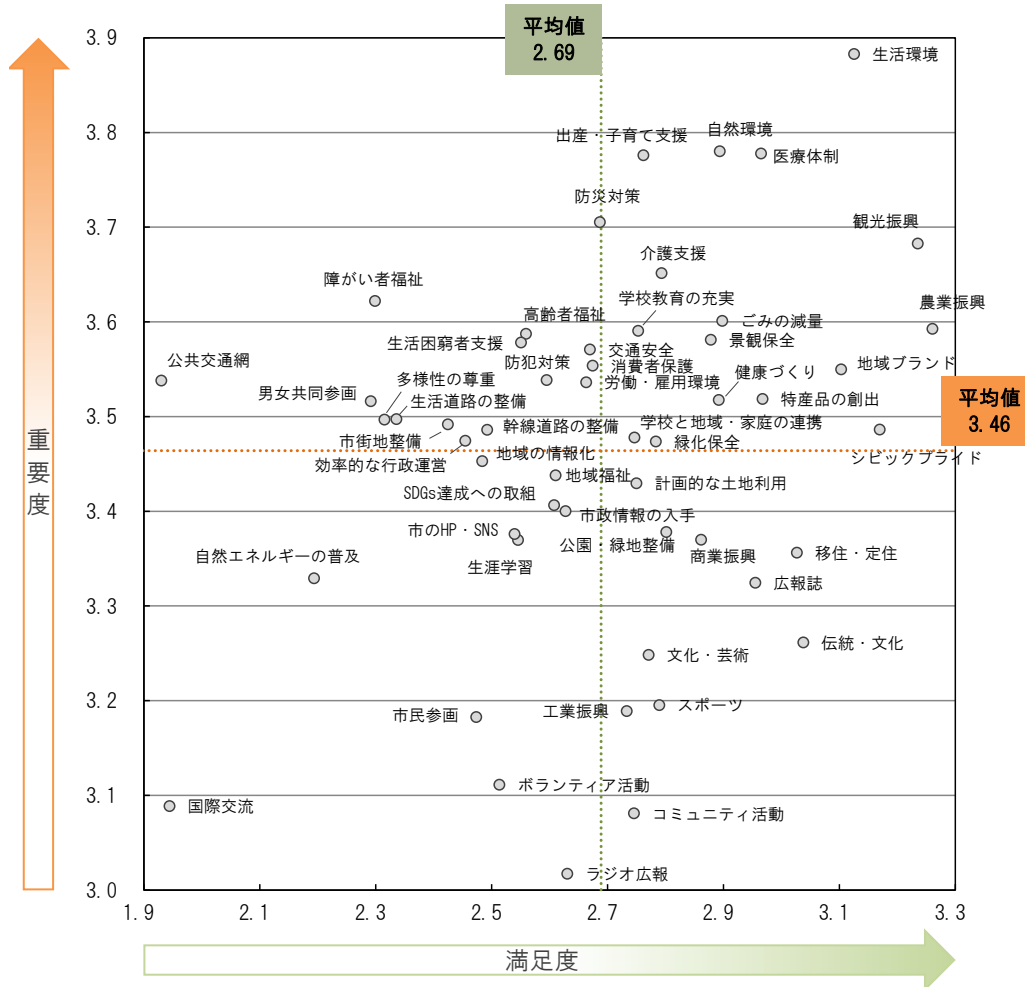
図表 65 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【豊科】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.49	3.65
	高齢者福祉	2.69	3.55
	生活困窮者支援	2.59	3.71
	男女共同参画	2.43	3.53
	多様性の尊重	2.43	3.55
防災・防犯	防災対策	2.66	3.72
	交通安全	2.69	3.61
	防犯対策	2.69	3.62
	消費者保護	2.76	3.60
都市基盤	市街地整備	2.59	3.50
	幹線道路の整備	2.56	3.51
	生活道路の整備	2.48	3.54
	公共交通網	2.12	3.58

(ii)重要度×満足度マトリクス分析【穂高】

- 穂高の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.69 ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.02 ポイント低くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 15 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が5施策、「防災・防犯」、「都市基盤」がそれぞれ4施策、「経済活動」、「デジタル社会・行政サービス」がそれぞれ1施策となっている。
- 穂高の特徴として、全体ではみられなかった「効率的な行政運営」が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されている。

図表 66 重要度×満足度マトリクス分析【穂高】



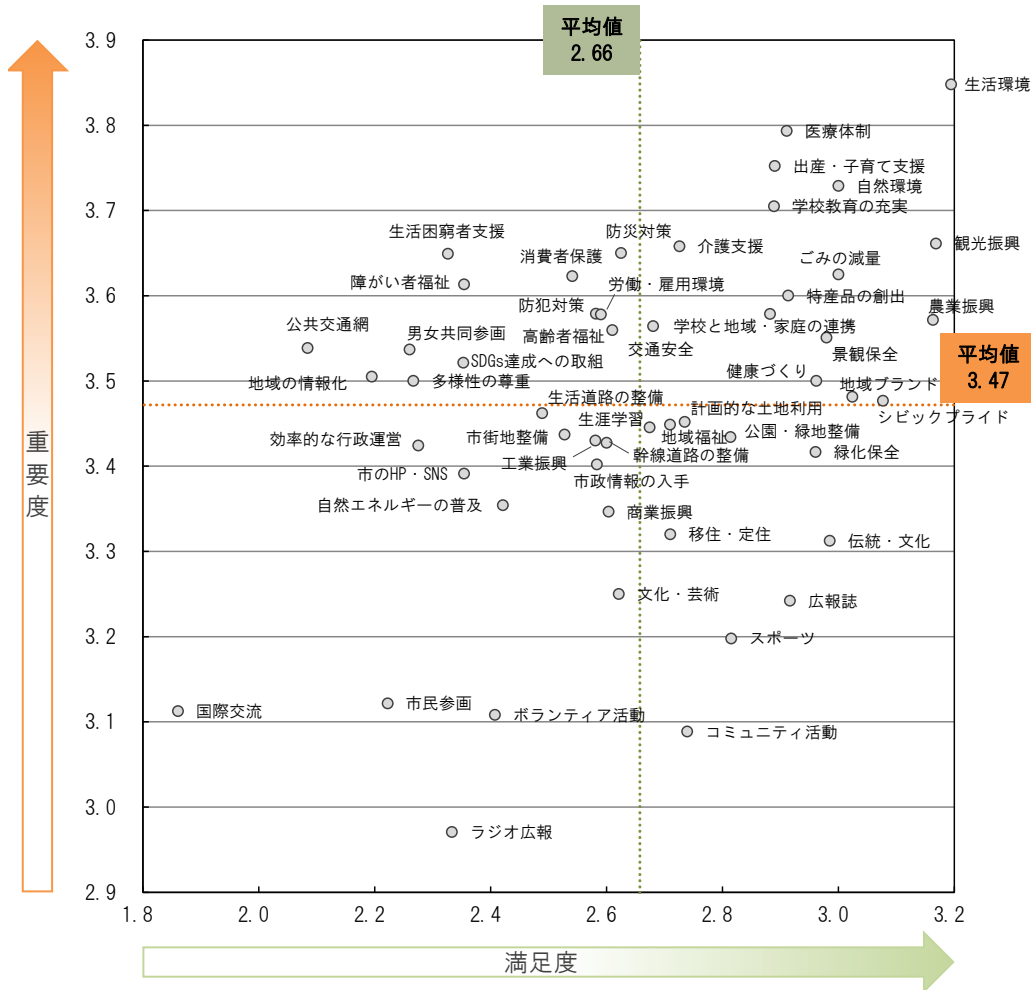
図表 67 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【穂高】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.30	3.62
	高齢者福祉	2.56	3.59
	生活困窮者支援	2.55	3.58
	男女共同参画	2.29	3.52
	多様性の尊重	2.32	3.50
防災・防犯	防災対策	2.69	3.71
	交通安全	2.67	3.57
	防犯対策	2.59	3.54
	消費者保護	2.67	3.55
都市基盤	市街地整備	2.42	3.49
	幹線道路の整備	2.49	3.49
	生活道路の整備	2.34	3.50
	公共交通網	1.93	3.54
経済活動	労働・雇用環境	2.66	3.54
デジタル社会・行政サービス	効率的な行政運営	2.45	3.47

(iii)重要度×満足度マトリクス分析【三郷】

- 三郷の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.66 ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.05 ポイント低くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 12 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が5施策、「防災・防犯」が3施策、「都市基盤」、「経済活動」、「デジタル社会・行政サービス」および「SDGs」がそれぞれ1施策となっている。
- 三郷の特徴として、全体ではみられなかった「地域の情報化」が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されている

図表 68 重要度×満足度マトリクス分析【三郷】



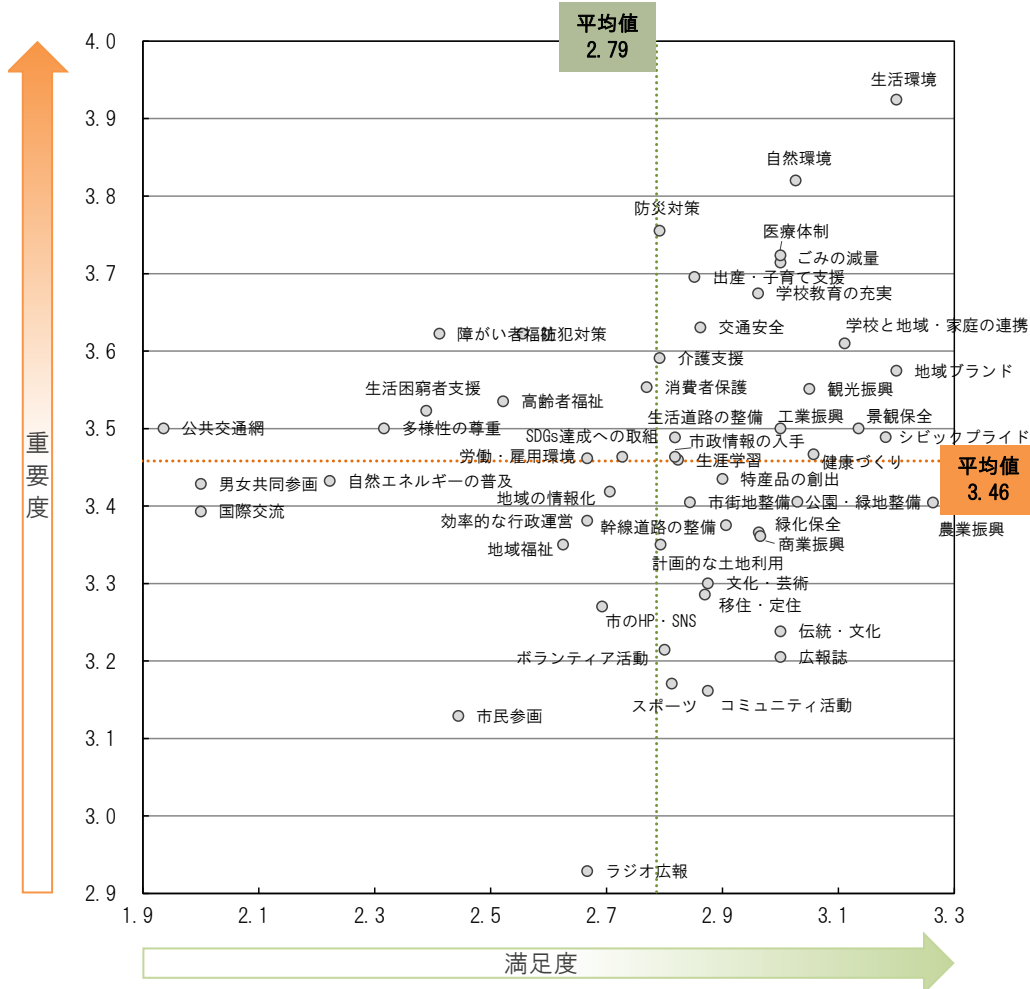
図表 69 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【三郷】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.35	3.61
	高齢者福祉	2.61	3.56
	生活困窮者支援	2.33	3.65
	男女共同参画	2.26	3.54
	多様性の尊重	2.27	3.50
防災・防犯	防災対策	2.63	3.65
	防犯対策	2.58	3.58
	消費者保護	2.54	3.62
都市基盤	公共交通網	2.08	3.54
経済活動	労働・雇用環境	2.59	3.58
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化	2.20	3.50
SDGs	SDGs達成への取組	2.35	3.52

(iv)重要度×満足度マトリクス分析【堀金】

- 堀金の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.79 ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.08 ポイント高くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中9施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が4施策、「防災・防犯」が2施策、「都市基盤」、「経済活動」および「SDGs」がそれぞれ1施策となっている。

図表 70 重要度×満足度マトリクス分析【堀金】



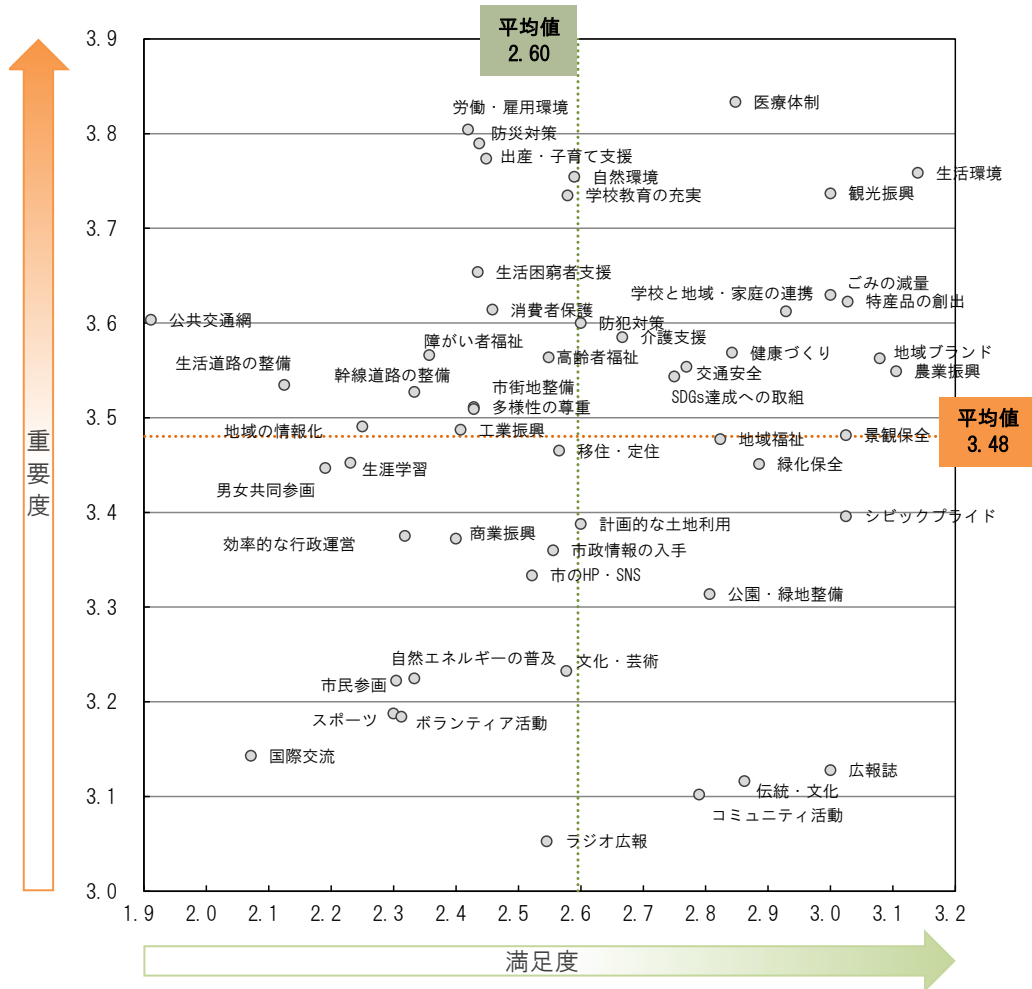
図表 71 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【堀金】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.41	3.62
	高齢者福祉	2.52	3.53
	生活困窮者支援	2.39	3.52
	多様性の尊重	2.32	3.50
防災・防犯	防犯対策	2.56	3.62
	消費者保護	2.77	3.55
都市基盤	公共交通網	1.94	3.50
経済活動	労働・雇用環境	2.67	3.46
SDGs	SDGs達成への取組	2.73	3.46

(v)重要度×満足度マトリクス分析【明科】

- 明科の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.60 ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.11 ポイント低くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 16 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」、「都市基盤」がそれぞれ4施策、「防災・防犯」、「経済活動」がそれぞれ2施策、「自然環境」、「子育て支援」、「教育・学習」および「デジタル社会・行政サービス」がそれぞれ1施策となっている。
- 明科の特徴として、全体ではみられなかった「自然環境」、「出産・子育て支援」、「学校教育の充実」、「工業振興」および「地域の情報化」が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されている。

図表 72 重要度×満足度マトリクス分析【明科】



図表 73 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【明科】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
自然環境	自然環境	2.59	3.75
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.36	3.57
	高齢者福祉	2.55	3.56
	生活困窮者支援	2.43	3.65
	多様性の尊重	2.43	3.51
子育て支援	出産・子育て支援	2.45	3.77
教育・学習	学校教育の充実	2.58	3.73
防災・防犯	防災対策	2.44	3.79
	消費者保護	2.46	3.61
都市基盤	市街地整備	2.43	3.51
	幹線道路の整備	2.33	3.53
	生活道路の整備	2.13	3.53
	公共交通網	1.91	3.60
経済活動	工業振興	2.41	3.49
デジタル社会・行政サービス	労働・雇用環境	2.42	3.80
	地域の情報化	2.25	3.49

(vi)重要度×満足度マトリクス分析【地域別結果一覧】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものを地域別にみると、「障がい者福祉」、「高齢者福祉」、「生活困窮者支援」、「多様性の尊重」、「消費者保護」及び「公共交通網」の6施策は全地域で共通している。
- 今後重点的に取り組むべき施策の数は明科が16施策と最も多く、堀金が9施策と最も少なくなっている。

図表 74 今後重点的に取り組むべき施策【地域別結果一覧】

- …全体で「今後重点的に取り組むべき施策」として区分されている施策
- …全体では「今後重点的に取り組むべき施策」として区分されていないが、地域別では「今後重点的に取り組むべき施策」として区分されている施策

分野	施策名（略称）	全体	豊科	穂高	三郷	堀金	明科
自然環境	自然環境						○
	生活環境						
	自然エネルギーの普及 ごみの減量						
医療・福祉・人権	健康づくり						
	医療体制						
	地域福祉						
	障がい者福祉	●	●	●	●	●	●
	高齢者福祉	●	●	●	●	●	●
	介護支援						
	生活困窮者支援	●	●	●	●	●	●
	男女共同参画 多様性の尊重	●	●	●	●	●	●
子育て支援	出産・子育て支援						○
スポーツ	スポーツ						
教育・学習	学校教育の充実						○
	学校と地域・家庭の連携						
	生涯学習						
地域の伝統 文化・芸術	伝統・文化						
	文化・芸術						
	国際交流						
防災・防犯	防災対策	●	●	●	●		●
	交通安全	●	●	●			
	防犯対策	●	●	●	●	●	
	消費者保護	●	●	●	●	●	●
	都市基盤	市街地整備	●	●	●		●
農林水産業 経済活動	計画的な土地利用						
	景観保全						
	緑化保全						
	公園・緑地整備						
	幹線道路の整備	●	●	●			●
	生活道路の整備	●	●	●			●
	公共交通網	●	●	●	●	●	●
	農業振興						
観光	商業振興						
	工業振興						○
	労働・雇用環境	●		●	●	●	●
地域ブランド	観光振興						
	特産品の創出						
移住・定住	地域ブランド						
	シビックプライド						
協働・コミュニティ活動	移住・定住						
	コミュニティ活動						
	ボランティア活動						
	市民参画						
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化				○		○
	効率的な行政運営			○			
	市政情報の入手						
	広報誌						
	市のHP・SNS						
SDGs	ラジオ広報						
	SDGs達成への取組	●			●	●	

IV. 過去調査(H28)との比較

(i) 満足度

- 満足度について、過去調査結果(H28)と比較した上昇幅が大きい 10 施策を分野ごとにみると、「医療・福祉・人権」が5施策、「防災・防犯」、「経済活動」がそれぞれ2施策、「デジタル社会・行政サービス」が1施策となっている。

図表 75 満足度 過去調査(H28)との比較

過去調査 (H28) と比較したポイント差の上位10施策		過去調査 (H28) と比較したポイント差の下位10施策		
分野	施策名	過去(H28)	今回	ポイント差
自然環境	河川、山林などの自然環境が保全されている	2.80	→ 2.92	0.12
	きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている	3.15	→ 3.17	0.02
	太陽光発電などの自然エネルギーが普及している	2.14	→ 2.29	0.15
医療・福祉・人権	ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる	2.72	→ 2.97	0.25
	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.42	→ 2.93	0.51
	医療体制が整っている	2.59	→ 2.94	0.35
	地域において、支え合える関係が築けている	2.24	→ 2.70	0.46
	障がい者が安心して生活していける地域である	2.11	→ 2.37	0.26
	高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	2.14	→ 2.60	0.46
	高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受け、介護予防にに取り組む環境が整っている	2.35	→ 2.78	0.43
	生活に困ったときに相談できる体制が整っている	2.04	→ 2.48	0.44
	性別に関わらず、能力を發揮できる地域である	2.09	→ 2.29	0.20
	互いの個性や立場を尊重している地域である	2.16	→ 2.35	0.19
子育て支援	出産、子育てしやすい地域である※1	2.69	→ 2.79	0.10
スポーツ	スポーツを楽しめる環境が整っている	2.44	→ 2.80	0.36
教育・学習	小中学校での教育が充実している	2.67	→ 2.84	0.17
	小中学校と地域・家庭の連携が図れている	2.60	→ 2.85	0.25
	年代に関わらず、学びの機会が提供されている	2.35	→ 2.64	0.29
地域の伝統	地域の伝統や文化の保存・活用が行われている	2.82	→ 3.01	0.19
文化・芸術	文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている	2.46	→ 2.74	0.28
	国際交流イベントが盛んに行われている	1.81	→ 2.02	0.21
防災・防犯	地域において、地震や台風などへの備えができています	2.12	→ 2.65	0.53
	交通安全の取り組みが行われている	2.49	→ 2.70	0.21
	防犯対策が行われている	2.16	→ 2.62	0.46
	特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われている	2.38	→ 2.65	0.27
都市基盤	市街地は道路等が整備されており、快適である	2.22	→ 2.53	0.31
	周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている	2.36	→ 2.75	0.39
	安曇野らしい景観が保全されている	2.78	→ 2.98	0.20
	緑地の保全、普及が進められている	-	→ 2.91	-
	公園、緑地の整備・維持管理がされている	2.65	→ 2.86	0.21
	国道、県道などの幹線道路が整備されている	2.38	→ 2.56	0.18
	生活道路である市道が整備されている	2.26	→ 2.43	0.17
	公共交通網が整備されている	1.99	→ 2.02	0.03
農林水産業	地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている	3.18	→ 3.20	0.02
経済活動	市内に个性的で魅力的なお店が増えている	2.25	→ 2.70	0.45
	工業・製造業が盛んな地域である※2	2.24	→ 2.73	0.49
	働きやすい地域である	2.28	→ 2.68	0.40
観光	安曇野市は魅力的な観光地である	3.09	→ 3.15	0.06
	安曇野らしい産品が生み出されている	2.64	→ 2.95	0.31
地域ブランド	全国的に「安曇野市」の地名が知られている	-	→ 3.09	-
	市外在住者に誇ることのできる地域である	-	→ 3.12	-
移住・定住	移住者、定住者が多く活気のあるまちである	-	→ 2.86	-
協働 ・コミュニティ活動	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	2.47	→ 2.78	0.31
	NPO、ボランティア活動が行われている	2.26	→ 2.54	0.28
	まちづくりへの市民参画が進んでいる	2.10	→ 2.45	0.35
デジタル社会 ・行政サービス	情報化社会に対応した基盤が整備されている	2.04	→ 2.47	0.43
	行政運営の効率化が図られている	2.06	→ 2.48	0.42
	市政に関する情報が入手しやすい	2.26	→ 2.64	0.38
	広報紙「広報あづみの」が充実している	-	→ 2.98	-
	市公式ホームページ、SNSが充実している	-	→ 2.59	-
	市のラジオ番組（あづみ野エフエム）が充実している	-	→ 2.57	-
SDGs	SDGsの達成に向けて取り組んでいる地域である	-	→ 2.68	-

(注) 「-」は今回新たに調査項目に加えたため、過去調査 (H28) の結果がない施策

※1 過去調査では、「子育てしやすい地域である」と聞いた

※2 過去調査では、「製造業が盛んな地域である」と聞いた

(ii)重要度

- 重要度について、過去調査結果(H28)と比較した上昇幅が大きい 10 施策を分野ごとにとみると、「医療・福祉・人権」が5施策、「自然環境」が3施策、「子育て支援」、「経済活動」がそれぞれ1施策となっている。

図表 76 重要度 過去調査(H28)との比較

分野	施策名	過去(H28)	→	今回	ポイント差
自然環境	河川、山林などの自然環境が保全されている	3.47	→	3.74	0.27
	きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている	3.57	→	3.84	0.27
	太陽光発電などの自然エネルギーが普及している	3.05	→	3.34	0.29
医療・福祉・人権	ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる	3.47	→	3.64	0.17
	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	3.37	→	3.55	0.18
	医療体制が整っている	3.52	→	3.79	0.27
	地域において、支え合える関係が築けている	3.27	→	3.45	0.18
	障がい者が安心して生活していける地域である	3.49	→	3.62	0.13
	高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	3.45	→	3.57	0.12
	高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている	3.51	→	3.64	0.13
	生活に困ったときに相談できる体制が整っている	3.45	→	3.63	0.18
	性別に関わらず、能力を発揮できる地域である	3.27	→	3.51	0.24
互いの個性や立場を尊重している地域である	3.27	→	3.52	0.25	
子育て支援	出産、子育てしやすい地域である※1	3.57	→	3.76	0.19
スポーツ	スポーツを楽しめる環境が整っている	3.34	→	3.21	▲0.13
教育・学習	小中学校での教育が充実している	3.51	→	3.66	0.15
	小中学校と地域・家庭の連携が図れている	3.44	→	3.54	0.10
	年代に関わらず、学びの機会が提供されている	3.32	→	3.43	0.11
地域の伝統 文化・芸術	地域の伝統や文化の保存・活用が行われている	3.25	→	3.27	0.02
	文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている	3.22	→	3.27	0.05
防災・防犯	国際交流イベントが盛んに行われている	3.04	→	3.15	0.11
	地域において、地震や台風などへの備えができています	3.56	→	3.71	0.15
	交通安全の取り組みが行われている	3.46	→	3.58	0.12
	防犯対策が行われている	3.52	→	3.59	0.07
都市基盤	特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われている	3.50	→	3.59	0.09
	市街地は道路等が整備されており、快適である	3.47	→	3.48	0.01
	周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている	3.35	→	3.46	0.11
	安曇野らしい景観が保全されている	3.51	→	3.58	0.07
	緑地の保全、普及が進められている	-	→	3.45	-
	公園、緑地の整備・維持管理がされている	3.45	→	3.39	▲0.06
	国道、県道などの幹線道路が整備されている	3.45	→	3.48	0.03
	生活道路である市道が整備されている	3.47	→	3.51	0.03
公共交通網が整備されている	3.49	→	3.55	0.06	
農林水産業	地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている	3.56	→	3.55	▲0.01
経済活動	市内に个性的で魅力的なお店が増えている	3.30	→	3.38	0.08
	工業・製造業が盛んな地域である※2	3.14	→	3.37	0.23
観光	働きやすい地域である	3.44	→	3.58	0.14
	安曇野市は魅力的な観光地である	3.58	→	3.64	0.06
地域ブランド	安曇野らしい産品が生まれ出されている	3.50	→	3.53	0.03
	全国的に「安曇野市」の地名が知られている	-	→	3.54	-
移住・定住	市外在住者に誇ることのできる地域である	-	→	3.48	-
	移住者、定住者が多く活気のあるまちである	-	→	3.35	-
協働 ・コミュニティ活動	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	3.15	→	3.13	▲0.02
	NPO、ボランティア活動が行われている	3.19	→	3.16	▲0.03
	まちづくりへの市民参画が進んでいる	3.20	→	3.20	0.00
デジタル社会 ・行政サービス	情報化社会に対応した基盤が整備されている	3.32	→	3.46	0.14
	行政運営の効率化が図られている	3.39	→	3.44	0.05
	市政に関する情報が入手しやすい	3.36	→	3.40	0.04
	広報紙「広報あづみの」が充実している	-	→	3.26	-
	市公式ホームページ、SNSが充実している	-	→	3.37	-
市のラジオ番組（あづみ野エフエム）が充実している	-	→	2.99	-	
SDGs	SDGsの達成に向けて取り組んでいる地域である	-	→	3.49	-

(注)「-」は今回新たに調査項目に加えたため、過去調査(H28)の結果がない施策

※1 過去調査では、「子育てしやすい地域である」と聞いた

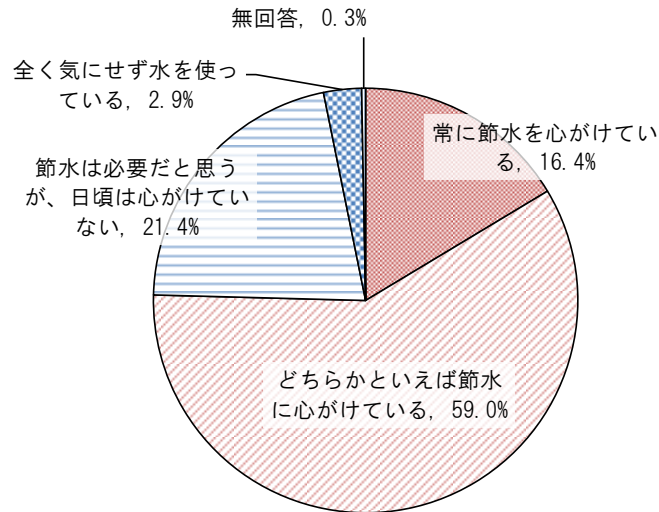
※2 過去調査では、「製造業が盛んな地域である」と聞いた

(1) 自然環境について

問 8. 地下水・湧水は安曇野市にとって、生活、産業、観光と密接に関わり、欠かすことのできない貴重な地域資源となっていますが、あなたのご家庭での節水への取り組みについて教えてください。(1つに○)

- 家庭での節水への取り組みについて、「常に節水を心がけている」と「どちらかといえば節水に心がけている」を合算した回答割合が 75.4%となっており、「節水は必要だと思うが、日頃は心がけていない」と「全く気にせず水を使っている」を合算した回答割合(24.3%)を 51.1 ポイント上回っている。

図表 77 節水への取り組み

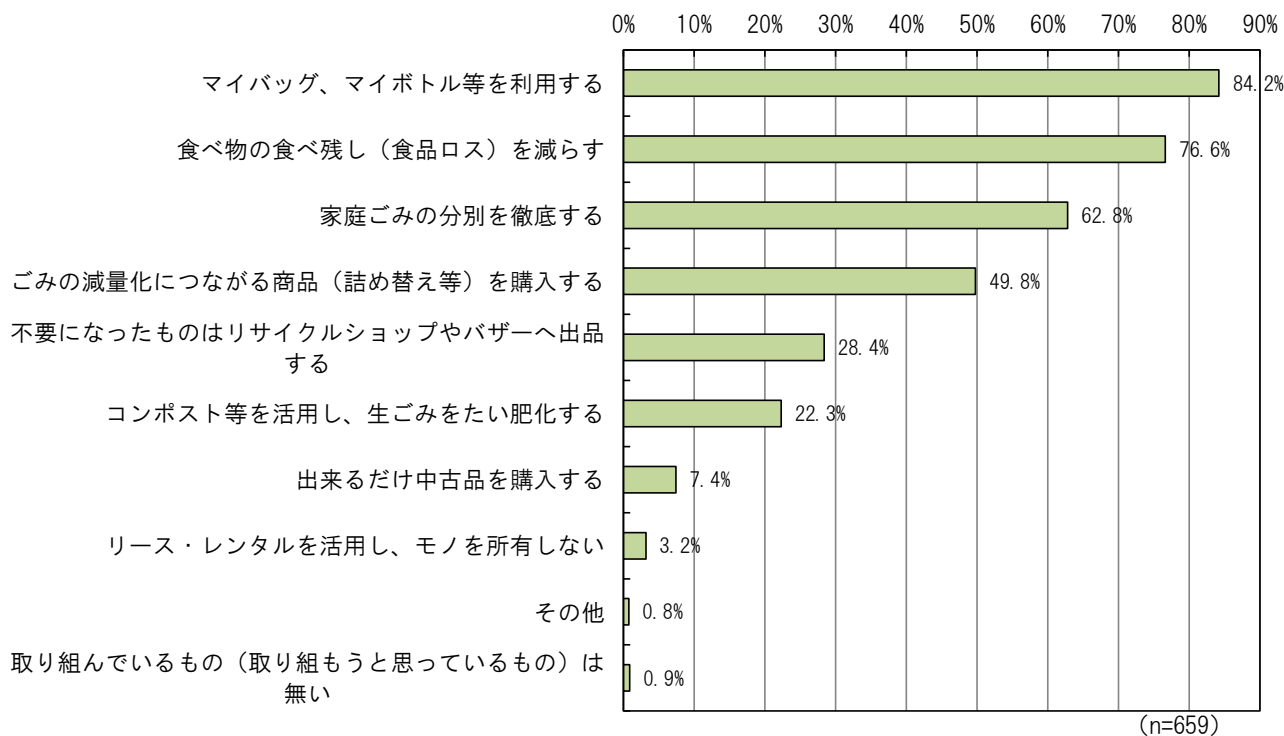


(n=659)

問 9. 循環型社会(天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会)の実現のため、あなたが現在取り組んでいる、またはこれから取り組もうと思っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- ・ 循環型社会の実現のため、現在取り組んでいる、またはこれから取り組もうと思っていることについて、「マイバッグ、マイボトル等を利用する」が 84.2%と最も高く、次いで「食べ物の食べ残し(食品ロス)を減らす」(76.6%)、「家庭ごみの分別を徹底する」(62.8%)と続いている。

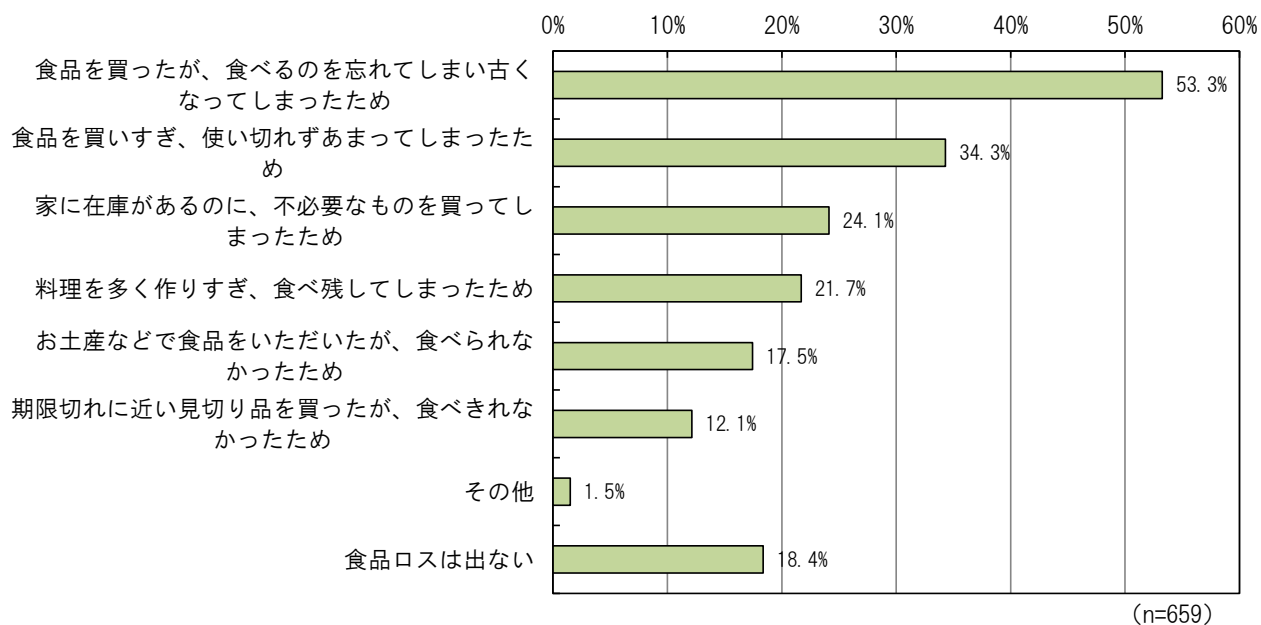
図表 78 循環型社会の実現のための取り組み



問10. 日本では、生ごみのうち、本来食べられたはずなのに捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」が、年間約600万～700万トン発生していると推計されます。ご家庭で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(〇はいくつでも)

- ・ 家庭で「食品ロス」が発生してしまう場合の原因は、「食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため」が 53.3%と最も高く、次いで「食品を買いすぎ、使いきれずあまってしまったため」が 34.3%となっている。

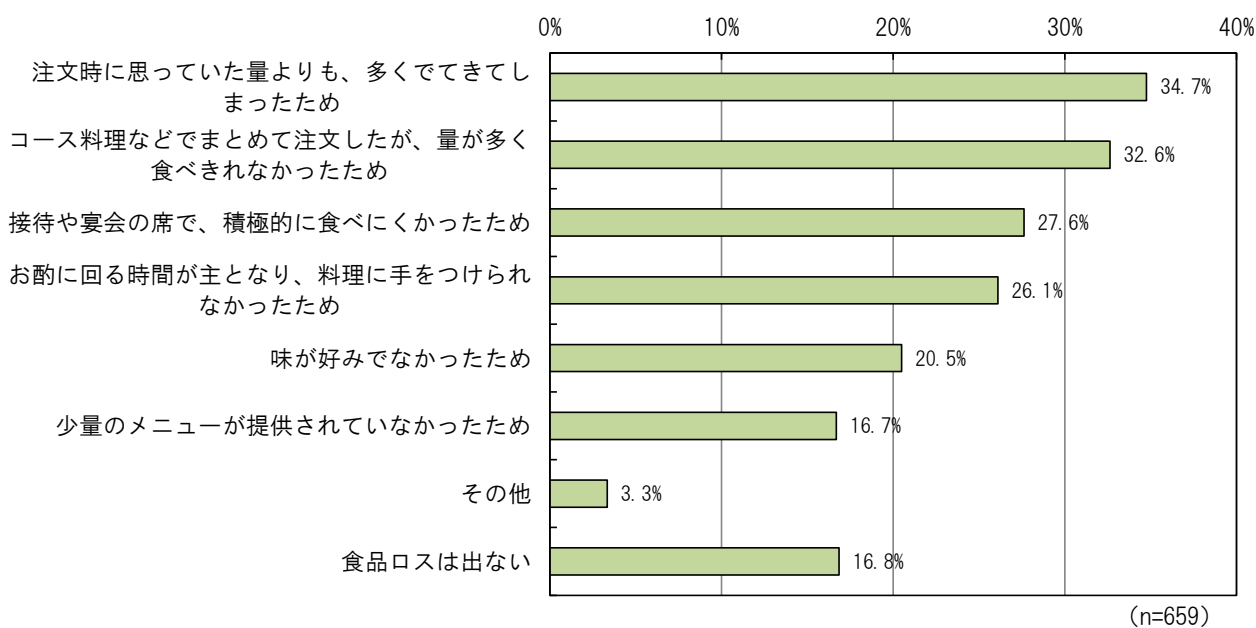
図表 79 家庭で「食品ロス」が発生する原因



問11. 外食や宴会等で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(〇はいくつでも)

- ・ 外食や宴会等で「食品ロス」が発生してしまう場合の原因は、「注文時に思っていた量よりも、多く出てきてしまったため」が 34.7%と最も高く、次いで「コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため」が 32.6%となっている。
- ・ 「食品ロスはない」とする回答割合は 16.8%となっている。

図表 80 外食や宴会等で「食品ロス」が発生する原因

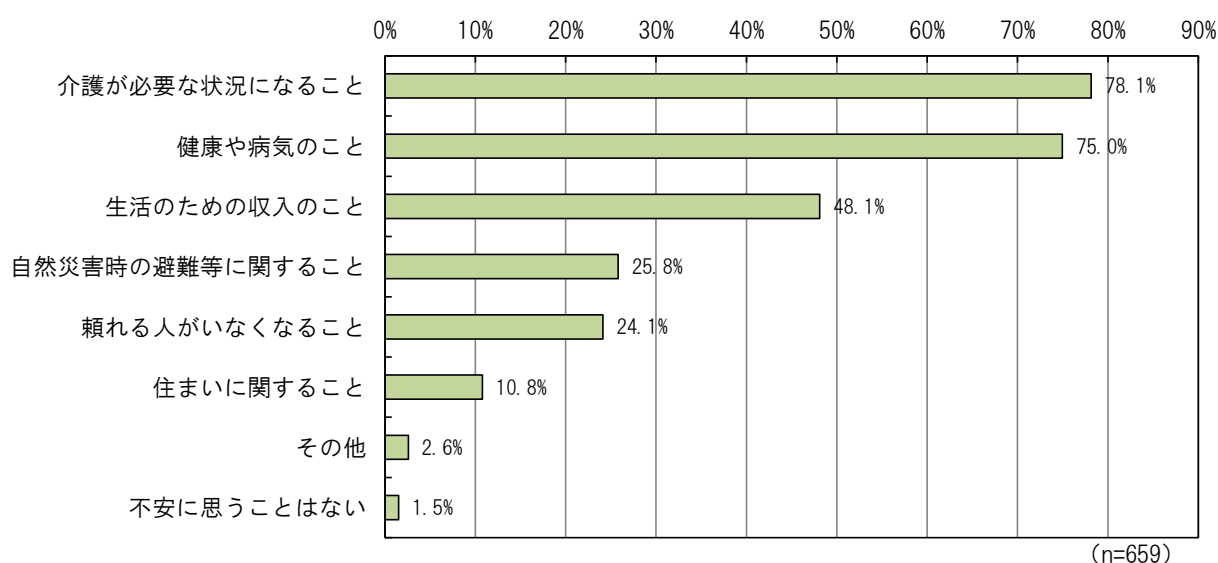


(2) 医療・福祉・人権について

問12. 自身やご家族について、高齢者の日常生活で不安だと思うこと(または将来的に不安だと思うこと)はありますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 自身やご家族について、高齢者の日常生活で不安だと思うことは、「介護が必要な状況になること」および「健康や病気のこと」がそれぞれ過半数の78.1%、75.0%と突出して高くなっている。
- ・ 年代別で比較すると、「健康や病気のこと」とする回答割合が18～20代(68.6%)と70代(87.2%)で最も高くなっている。
- ・ 地域別で比較すると、明科で「自然災害時の避難等に関すること」とする回答割合が39.1%と、全体の回答割合(25.8%)を13.3ポイント上回っている。

図表 81 高齢者の日常生活で不安だと思うこと



図表 82 【年代別】高齢者の日常生活で不安だと思うこと

	合計 (n=659)	18～20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
介護が必要な状況になること	78.1%	66.7%	76.9%	70.9%	76.0%	84.8%	84.6%	80.0%
健康や病気のこと	75.0%	68.6%	61.5%	66.9%	75.2%	80.6%	87.2%	40.0%
生活のための収入のこと	48.1%	41.2%	58.5%	49.6%	63.6%	43.6%	32.5%	60.0%
自然災害時の避難等に関すること	25.8%	31.4%	35.4%	20.5%	26.4%	25.5%	23.1%	40.0%
頼れる人がいなくなること	24.1%	19.6%	26.2%	24.4%	24.8%	26.7%	19.7%	40.0%
住まいに関すること	10.8%	7.8%	12.3%	14.2%	13.2%	7.9%	9.4%	0.0%
その他	2.6%	3.9%	3.1%	5.5%	2.3%	1.2%	0.9%	0.0%
不安に思うことはない	1.5%	2.0%	0.0%	3.1%	0.8%	1.2%	1.7%	0.0%

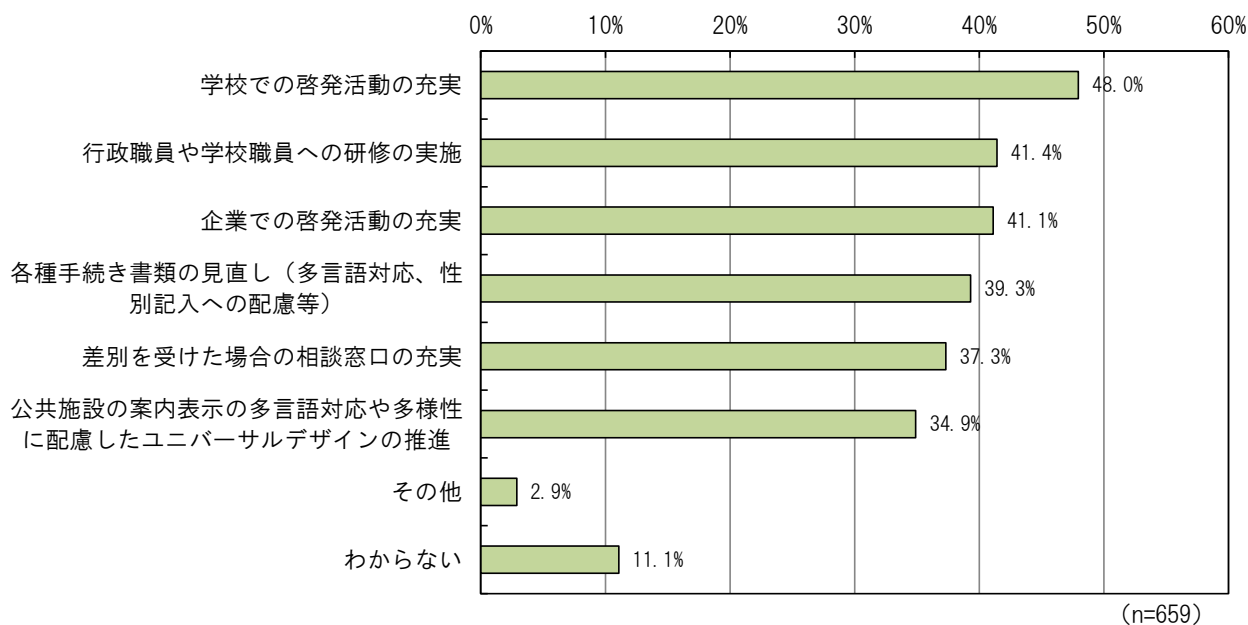
図表 83 【地域別】高齢者の日常生活で不安だと思うこと

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
介護が必要な状況になること	78.1%	79.3%	79.4%	77.8%	76.8%	71.9%	85.7%
健康や病気のこと	75.0%	74.5%	77.0%	76.3%	73.2%	70.3%	57.1%
生活のための収入のこと	48.1%	45.7%	55.5%	42.2%	46.4%	43.8%	57.1%
自然災害時の避難等に関すること	25.8%	26.1%	27.8%	17.0%	23.2%	39.1%	28.6%
頼れる人がいなくなること	24.1%	21.3%	18.2%	31.1%	33.9%	28.1%	28.6%
住まいに関すること	10.8%	11.7%	9.1%	11.9%	14.3%	9.4%	0.0%
その他	2.6%	2.1%	2.9%	3.0%	3.6%	1.6%	0.0%
不安に思うことはない	1.5%	1.6%	1.0%	2.2%	0.0%	3.1%	0.0%

問13. 安曇野市では「男女共同参画推進条例」を改正し、「多様性を尊重し合う共生社会づくり条例」が今年4月から施行されました。全ての人が多様性を認め合い、人権が尊重され、尊厳を持って生きることが出来るようになるために、市ではどのような取り組みを進めるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- 全ての人が多様性を認め合い、人権が尊重され、尊厳を持って生きることが出来るようになるために、市が取り組みを進めるべきことは「学校での啓発活動の充実」が 48.0%と最も高く、次いで「行政職員や学校職員への研修の実施」(41.4%)、「企業での啓発活動の充実」(41.1%)となっている。

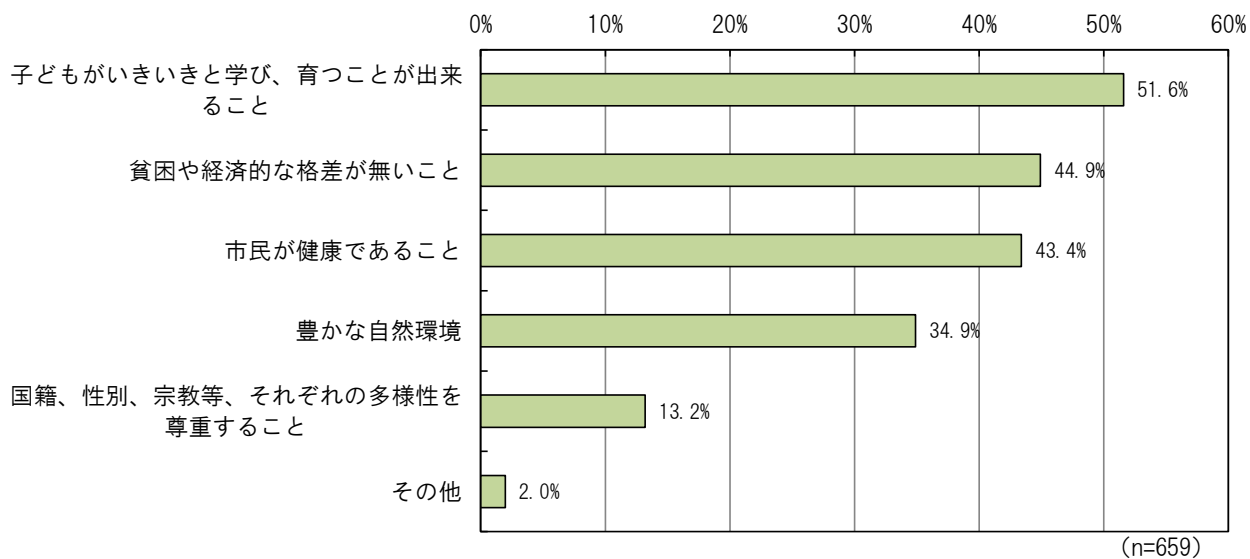
図表 84 多様性を尊重し合う共生社会づくりのために必要な取り組み



問14. 市民が平和で、安心・安全な暮らしを送るために重要だと思うことは何ですか。(特に当てはまるもの2つまで○)

- 市民が平和で、安心・安全な暮らしを送るために重要だと思うことは、「子どもが生き生きと学び、育つことができる」が51.6%と最も高く、次いで「貧困や経済的な格差がないこと」(44.9%)、「市民が健康であること」(43.4%)となっている。

図表 85 平和で安心・安全な暮らしを送るために重要なこと

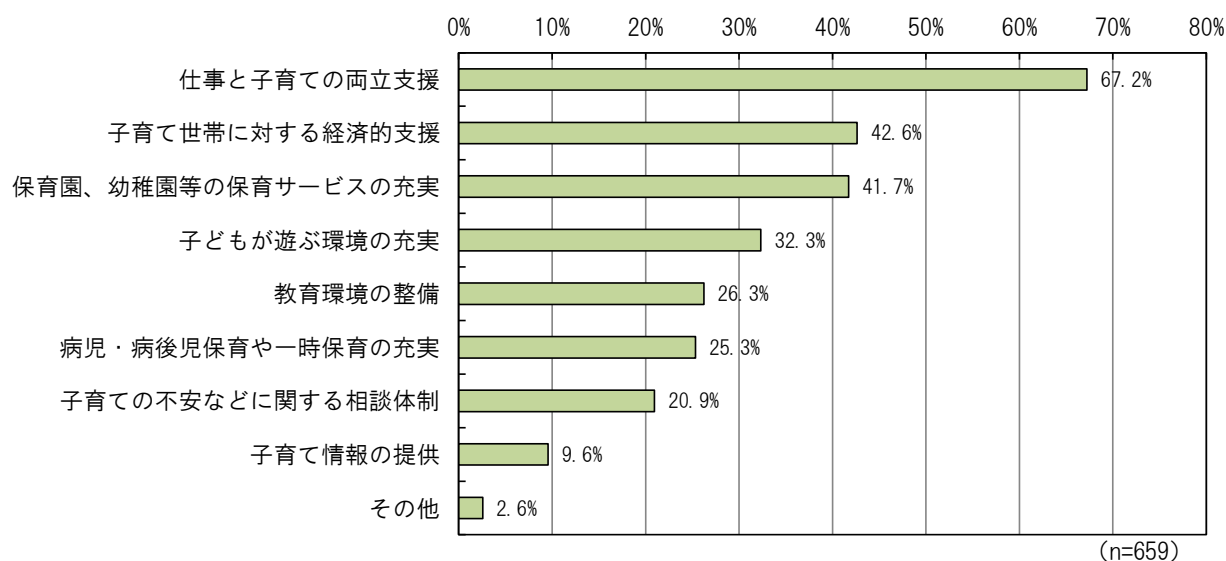


(3) 子育て支援について

問15. 安曇野市を子育てしやすいまちにするために必要だと思うものがありますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 安曇野市を子育てしやすいまちにするために必要だと思うものは、「仕事と子育ての両立支援」が過半数の67.2%と突出して最も高くなっている。次いで「子育て世帯に対する経済的支援」(42.6%)、保育園、幼稚園等の保育サービスの充実(41.7%)と続いている。
- ・ 年代別で比較すると、「子育て世帯に対する経済的支援」とする回答割合は18～20代(62.7%)、30代(67.7%)で、全体の回答割合(42.6%)をそれぞれ20.1ポイント、25.1ポイント上回っている。

図表 86 子育てしやすいまちにするために必要だと思うもの



図表 87 【年代別】子育てしやすいまちにするために必要だと思うもの

	合計 (n=659)	18～20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
仕事と子育ての両立支援	67.2%	64.7%	72.3%	55.9%	69.0%	74.5%	66.7%	40.0%
子育て世帯に対する経済的支援	42.6%	62.7%	67.7%	44.1%	34.9%	35.2%	37.6%	40.0%
保育園、幼稚園等の保育サービスの充実	41.7%	54.9%	47.7%	37.0%	44.2%	45.5%	29.9%	40.0%
子どもが遊ぶ環境の充実	32.3%	31.4%	36.9%	43.3%	30.2%	26.7%	28.2%	40.0%
教育環境の整備	26.3%	15.7%	27.7%	35.4%	31.0%	19.4%	25.6%	0.0%
病児・病後児保育や一時保育の充実	25.3%	21.6%	21.5%	18.1%	28.7%	30.9%	23.9%	60.0%
子育ての不安などに関する相談体制	20.9%	17.6%	9.2%	16.5%	17.1%	27.3%	29.1%	20.0%
子育て情報の提供	9.6%	11.8%	10.8%	6.3%	9.3%	9.7%	12.0%	0.0%
その他	2.6%	2.0%	1.5%	3.9%	3.1%	2.4%	1.7%	0.0%

- ・ 地域別で比較すると、三郷、堀金では「仕事と子育ての両立支援」に次いで、「保育園、幼稚園等の保育サービスの充実」の回答割合が高く、それぞれ 49.6%、41.1%となっている。
- ・ 堀金では「病児・病後児保育や一時保育の充実」とする回答割合が 35.7%と、全体の回答割合 (25.3%)を 10.4 ポイント上回っている。

図表 88【地域別】子育てしやすいまちにするために必要だと思うもの

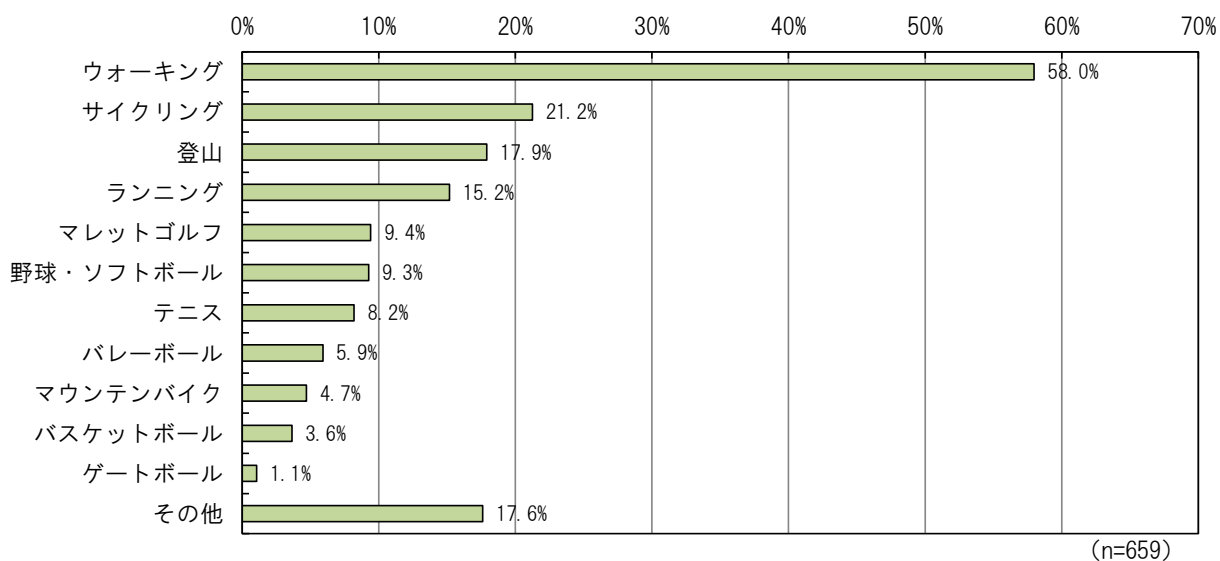
	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
仕事と子育ての両立支援	67.2%	66.0%	70.3%	61.5%	71.4%	70.3%	57.1%
子育て世帯に対する経済的支援	42.6%	40.4%	45.0%	45.2%	39.3%	40.6%	28.6%
保育園、幼稚園等の保育サービスの充実	41.7%	37.2%	41.6%	49.6%	41.1%	37.5%	57.1%
子どもが遊ぶ環境の充実	32.3%	33.0%	30.6%	38.5%	32.1%	23.4%	28.6%
教育環境の整備	26.3%	30.3%	23.9%	28.9%	25.0%	18.8%	14.3%
病児・病後児保育や一時保育の充実	25.3%	23.9%	24.9%	20.7%	35.7%	28.1%	57.1%
子育ての不安などに関する相談体制	20.9%	20.2%	18.7%	23.0%	21.4%	26.6%	14.3%
子育て情報の提供	9.6%	10.6%	8.1%	12.6%	3.6%	10.9%	0.0%
その他	2.6%	2.1%	3.3%	1.5%	5.4%	1.6%	0.0%

(4) スポーツについて

問16. 健康づくりやレクリエーション活動の一環として取り組んでいる、または興味のあるスポーツはありますか。(〇はいくつでも)

- 健康づくりやレクリエーション活動の一環として取り組んでいる、または興味のあるスポーツについては、「ウォーキング」が 58.0%と突出して最も高くなっている。次いで「サイクリング」(21.2%)、「登山」(17.9%)、「ランニング」(15.2%)と続いている。
- 「ウォーキング」や「サイクリング」など、屋外で行うスポーツの回答割合が高い。

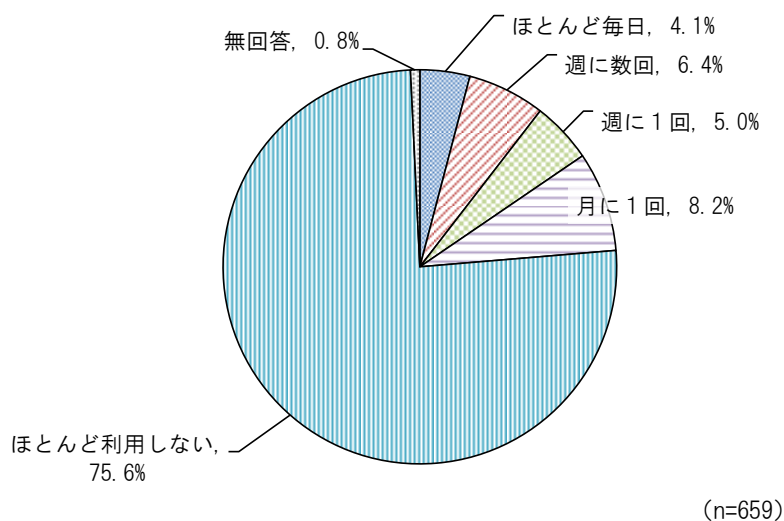
図表 89 健康づくりやレクリエーション活動の一環として取り組んでいる・興味のあるスポーツ



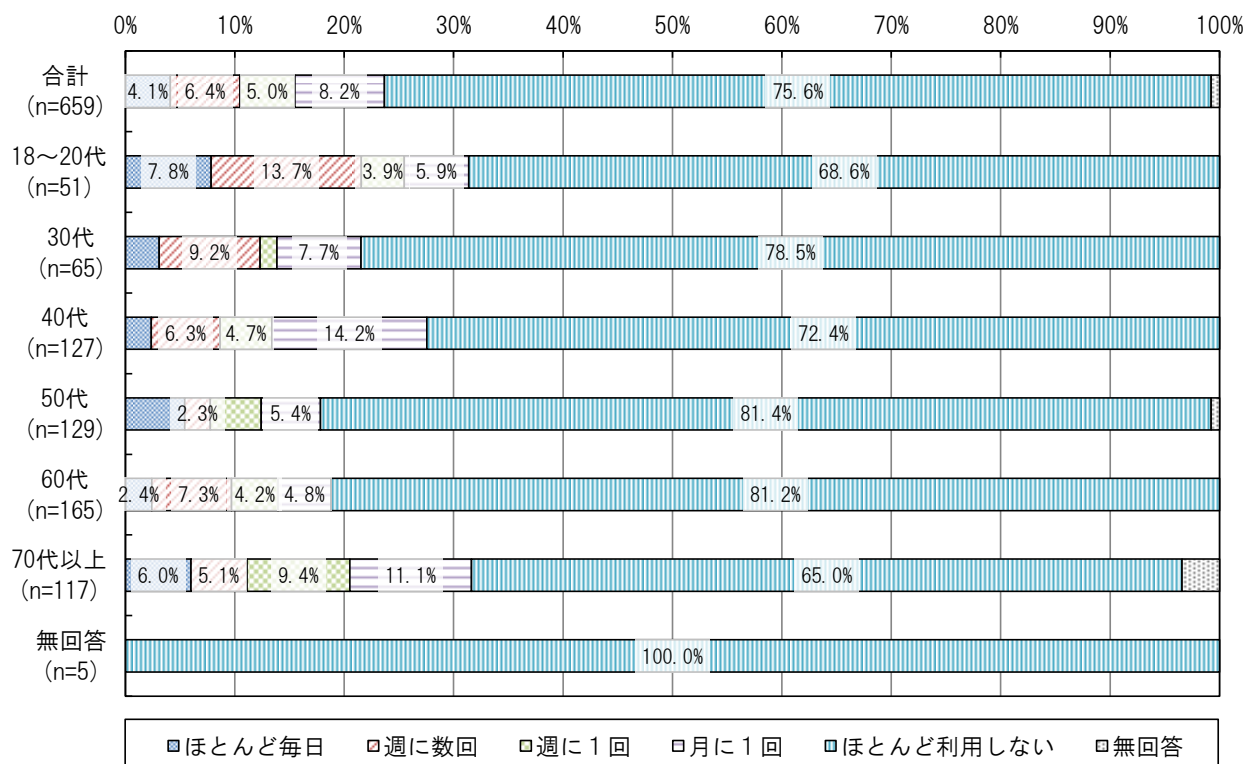
問17. 安曇野市では自転車を活用したまちづくりを進めています。あなたの自転車にのる頻度を教えてください。(1つに○)

- 自転車の乗る頻度については、「ほとんど利用しない」が75.6%と最も高くなっている。
- 年代別で比較すると、「ほとんど利用しない」とする回答割合は30代(78.5%)、50代(81.4%)、60代(81.2%)で全体の回答割合(75.6%)を上回っている。
- 「ほとんど毎日」、「週に数回」、「週に1回」、「月に1回」を合算した回答割合は70代以上が31.6%と最も高く、全体の合算した回答割合(23.7%)を7.9ポイント上回っている。

図表 90 自転車に乗る頻度

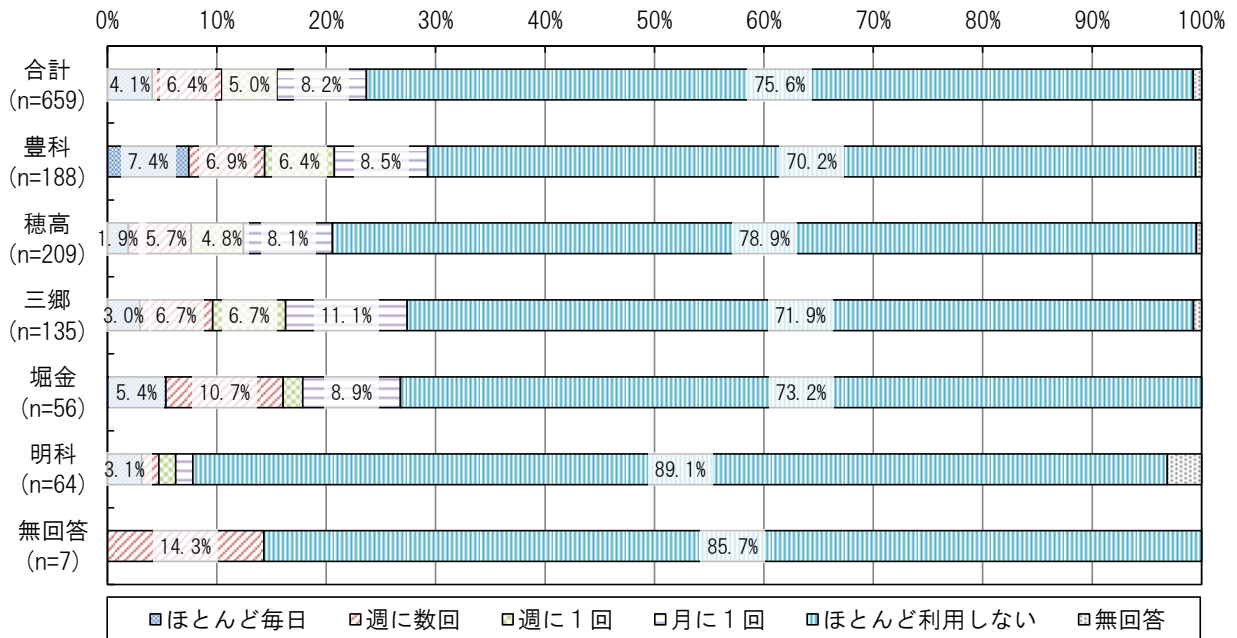


図表 91 【年代別】自転車に乗る頻度



- 地域別で比較すると、「ほとんど利用しない」とする回答割合は穂高(78.9%)、明科(89.1%)で全体の回答割合(75.6%)を上回っている。
- 「ほとんど毎日」、「週に数回」、「週に1回」、「月に1回」を合算した回答割合は豊科が 29.2%と最も高く、全体の合算した回答割合(23.7%)を 5.5 ポイント上回っている。

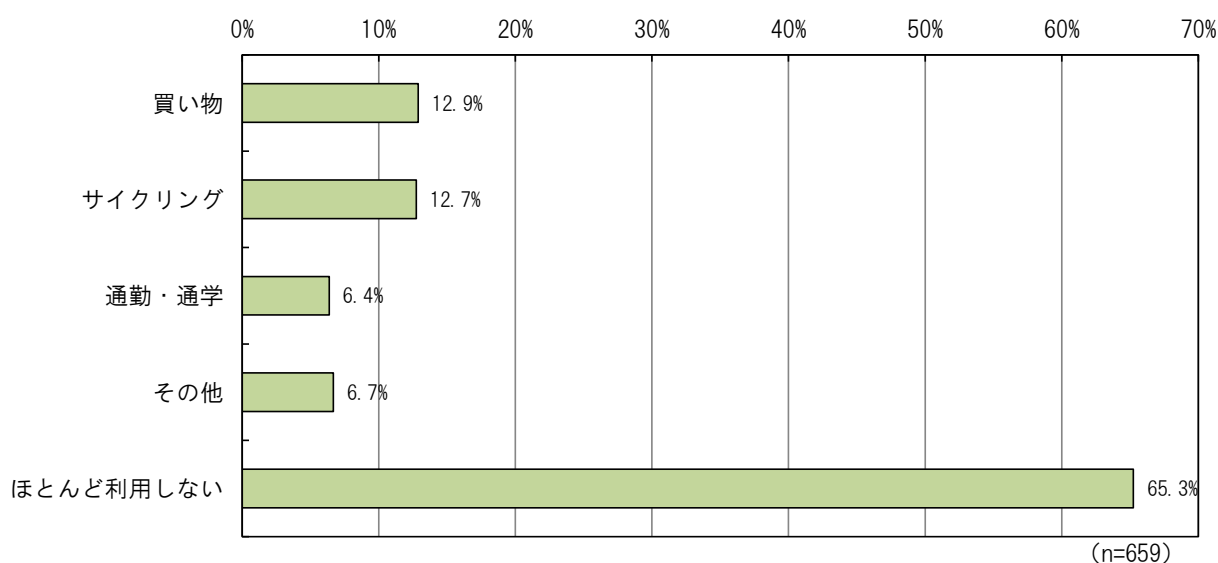
図表 92 【地域別】自転車に乗る頻度



問18. あなたの自転車にのる目的を教えてください。(〇はいくつでも)

- 自転車に乗る目的について、「ほとんど利用しない」が 65.3%と最も高く、次いで「買い物」(12.9%)、「サイクリング」(12.7%)と続いている。
- 年代別で比較すると、年代が高くなるにつれて「通学・通勤」とする回答割合が低くなる傾向にある。
- 40代では「サイクリング」とする回答割合が 24.4%と他の年代より高く、全体の回答割合(12.7%)を 11.7 ポイント上回っている。
- 地域別で比較すると、三郷と堀金では「ほとんど利用しない」に次いで、「サイクリング」とする回答割合が高くなっているが、それ以外の地域では「買い物」とする回答割合が高い。
- 明科では、「ほとんど利用しない」とする回答割合が76.6%と、全体の回答割合(65.3%)を 11.3 ポイント上回っている。

図表 93 自転車に乗る目的



図表 94 【年代別】自転車に乗る目的

	合計 (n=659)	18~20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
買い物	12.9%	9.8%	10.8%	15.7%	14.0%	10.3%	15.4%	0.0%
サイクリング	12.7%	7.8%	13.8%	24.4%	10.1%	9.7%	9.4%	0.0%
通勤・通学	6.4%	21.6%	9.2%	6.3%	7.0%	3.6%	1.7%	0.0%
その他	6.7%	2.0%	3.1%	3.9%	3.9%	9.7%	12.8%	0.0%
ほとんど利用しない	65.3%	64.7%	75.4%	59.1%	70.5%	65.5%	59.0%	100.0%

図表 95 【地域別】自転車に乗る目的

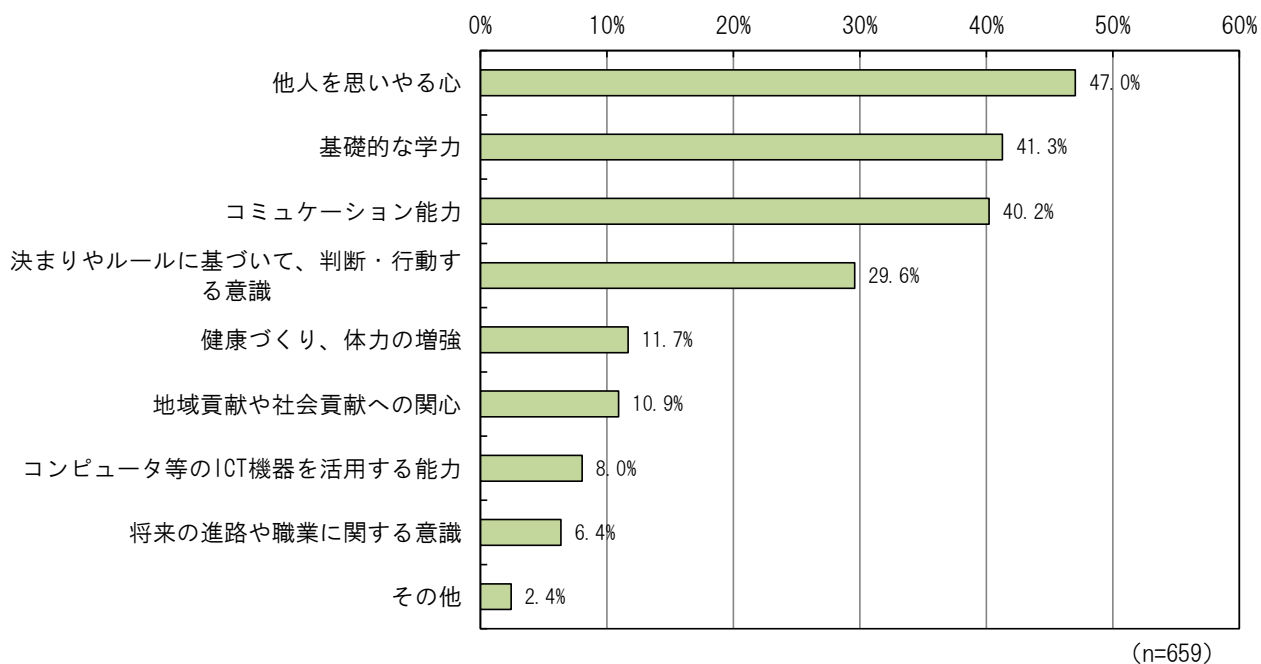
	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
買い物	12.9%	16.5%	14.4%	13.3%	3.6%	6.3%	0.0%
サイクリング	12.7%	13.3%	13.4%	14.1%	19.6%	1.6%	0.0%
通勤・通学	6.4%	8.5%	3.3%	8.9%	8.9%	1.6%	14.3%
その他	6.7%	6.4%	6.7%	10.4%	3.6%	3.1%	0.0%
ほとんど利用しない	65.3%	60.6%	68.4%	60.7%	64.3%	76.6%	85.7%

(5) 教育学習について

問19. 小中学校での子どもの教育の内容について、特に重視すべきだと思うものは何ですか。(特に当てはまるもの2つまで○)

- 小中学校での子どもの教育の内容について、特に重視すべきだと思うことについては、「他人を思いやる心」が47.0%と最も高く、次いで「基礎的な学力」(41.3%)、「コミュニケーション能力」(40.2%)となっている。

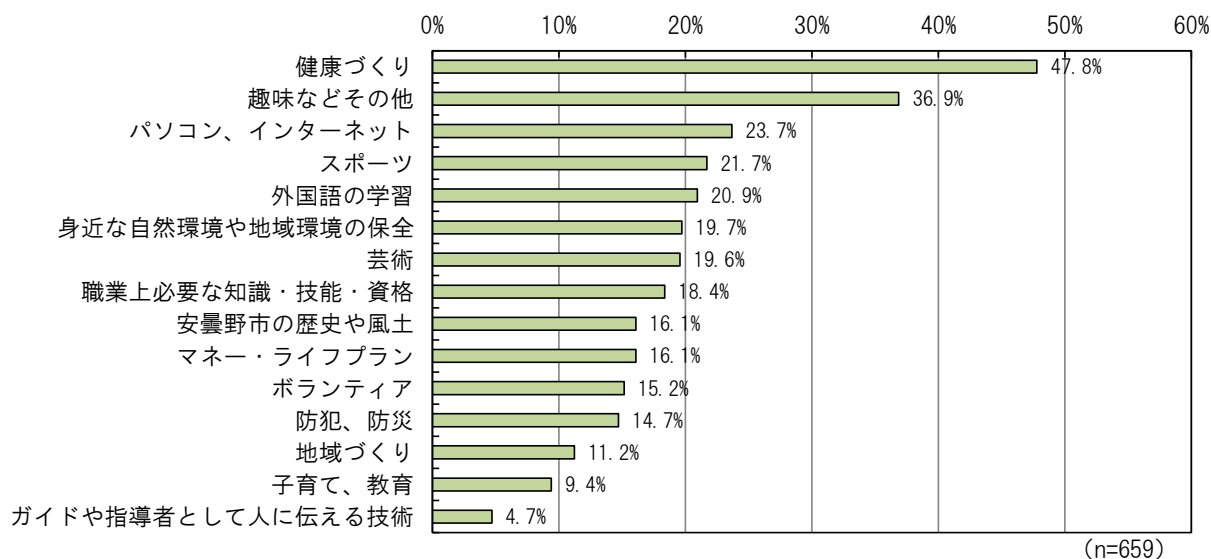
図表 96 小中学校での教育内容で特に重視すべきだと思うもの



問20. 生涯学習として、今後新たに学びたい分野・関心のある内容はありますか。(〇はい/×はいいえ)

- 生涯学習として、今後新たに学びたい分野・関心のある内容について、「健康づくり」が 47.8%と最も高く、次いで「趣味などその他」(36.9%)、「パソコン、インターネット」(23.7%)、「スポーツ」(21.7%)と続いている。
- 年代別で比較すると、年代が高くなるにつれて「健康づくり」とする回答割合が高くなる傾向にある。
- また、若い年代ほど「マネー・ライフプラン」の回答割合が高くなる傾向にある。

図表 97 生涯学習として新たに学びたい内容



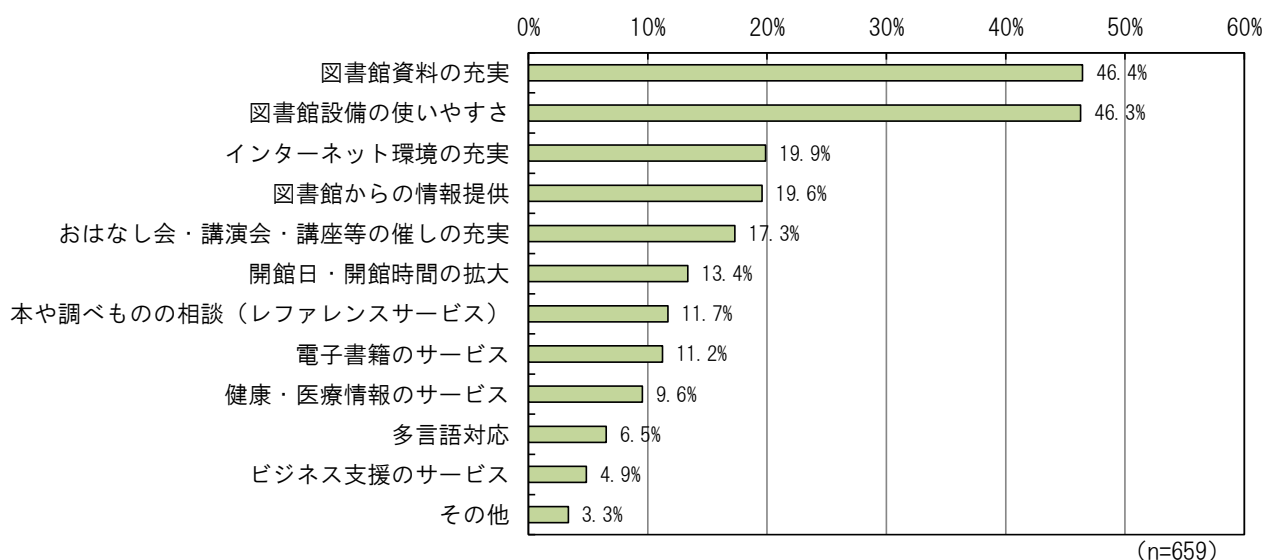
図表 98 【年代別】生涯学習として新たに学びたい内容

	合計 (n=659)	18~20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
健康づくり	47.8%	23.5%	35.4%	43.3%	41.9%	60.0%	59.0%	60.0%
趣味などその他	36.9%	35.3%	26.2%	32.3%	38.0%	43.0%	37.6%	60.0%
パソコン、インターネット	23.7%	25.5%	29.2%	22.8%	22.5%	21.8%	24.8%	20.0%
スポーツ	21.7%	33.3%	24.6%	29.9%	25.6%	16.4%	10.3%	0.0%
外国語の学習	20.9%	25.5%	36.9%	25.2%	24.0%	15.8%	9.4%	20.0%
身近な自然環境や地域環境の保全	19.7%	13.7%	21.5%	9.4%	21.7%	20.0%	30.8%	0.0%
芸術	19.6%	21.6%	26.2%	14.2%	19.4%	21.2%	19.7%	0.0%
職業上必要な知識・技能・資格	18.4%	33.3%	32.3%	22.0%	24.0%	7.9%	8.5%	20.0%
安曇野市の歴史や風土	16.1%	15.7%	15.4%	11.0%	14.0%	18.2%	21.4%	20.0%
マネー・ライフプラン	16.1%	35.3%	26.2%	20.5%	17.1%	9.1%	6.8%	0.0%
ボランティア	15.2%	9.8%	15.4%	11.8%	16.3%	17.6%	14.5%	60.0%
防犯、防災	14.7%	17.6%	20.0%	15.7%	16.3%	10.9%	13.7%	0.0%
地域づくり	11.2%	7.8%	18.5%	15.7%	7.0%	8.5%	12.8%	0.0%
子育て、教育	9.4%	17.6%	33.8%	14.2%	2.3%	1.8%	5.1%	20.0%
ガイドや指導者として人に伝える技術	4.7%	7.8%	7.7%	3.9%	4.7%	3.6%	4.3%	0.0%

問21. あなたが、公共図書館で特に充実すべきだと思うサービスについて教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 公共図書館で特に充実すべきだと思うサービスについて、「図書館資料の充実」が 46.4%と最も高く、次いで「図書館設備の使いやすさ」の 46.3%と続いている。
- ・ 地域別で比較すると、三郷と堀金では、「図書館設備の使いやすさ」の回答割合がそれぞれ 50.4%、51.8%と過半数を超えて最も高くなっている。
- ・ 明科では「図書館からの情報提供」とする回答割合が 28.1%と他の地域より高く、全体の回答割合(19.6%)を 8.5 ポイント上回っている。

図表 99 公共図書館で充実すべきサービス



図表 100 【地域別】公共図書館で充実すべきサービス

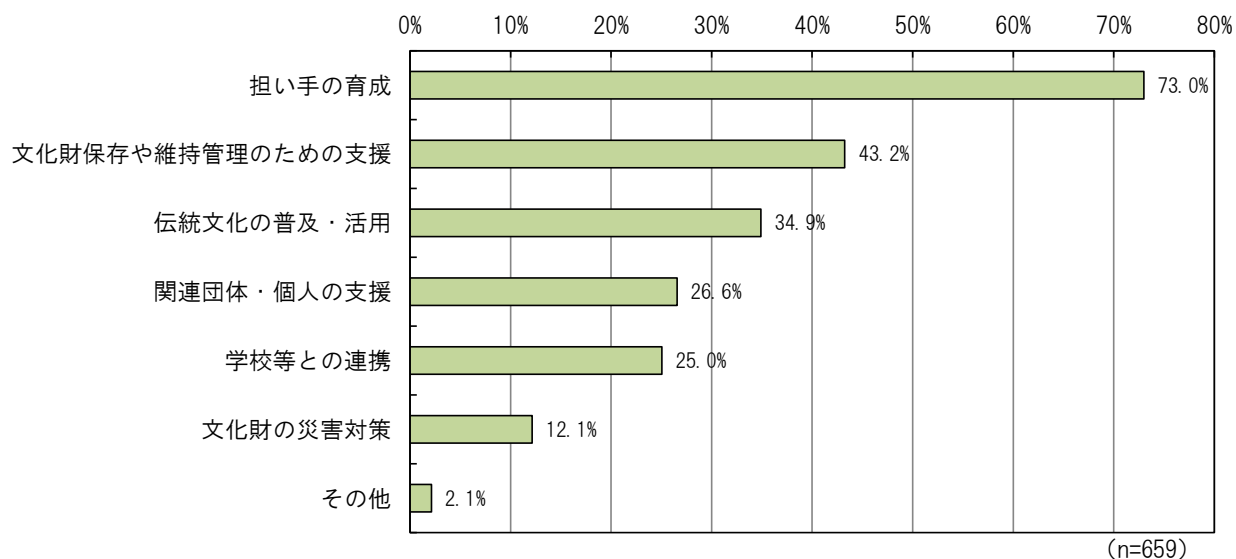
	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
図書館資料の充実	46.4%	46.3%	49.8%	45.9%	42.9%	39.1%	57.1%
図書館設備の使いやすさ	46.3%	46.3%	45.5%	50.4%	51.8%	37.5%	28.6%
インターネット環境の充実	19.9%	17.0%	23.4%	23.0%	17.9%	14.1%	0.0%
図書館からの情報提供	19.6%	22.3%	14.4%	20.0%	19.6%	28.1%	14.3%
おはなし会・講演会・講座等の催しの充実	17.3%	18.6%	16.3%	15.6%	17.9%	17.2%	42.9%
開館日・開館時間の拡大	13.4%	16.0%	12.9%	11.9%	10.7%	14.1%	0.0%
本や調べものの相談（レファレンスサービス）	11.7%	11.7%	13.9%	8.1%	17.9%	7.8%	0.0%
電子書籍のサービス	11.2%	10.6%	12.4%	7.4%	16.1%	14.1%	0.0%
健康・医療情報のサービス	9.6%	7.4%	10.5%	8.9%	10.7%	12.5%	14.3%
多言語対応	6.5%	6.4%	6.2%	7.4%	5.4%	7.8%	0.0%
ビジネス支援のサービス	4.9%	5.9%	4.3%	5.2%	3.6%	4.7%	0.0%
その他	3.3%	1.6%	2.9%	5.9%	3.6%	4.7%	0.0%

(6) 地域の伝統について

問22. 地域の伝統や文化を守っていくために、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- 地域の伝統や文化を守っていくために、力を入れていくべき取組について、「担い手の育成」が過半数の73.0%と突出して最も高く、次いで「文化財保存や維持管理のための支援」(43.2%)、「伝統文化の普及・活用」(34.9%)と続いている。

図表 101 地域の伝統や文化を守っていくために力を入れるべき取組

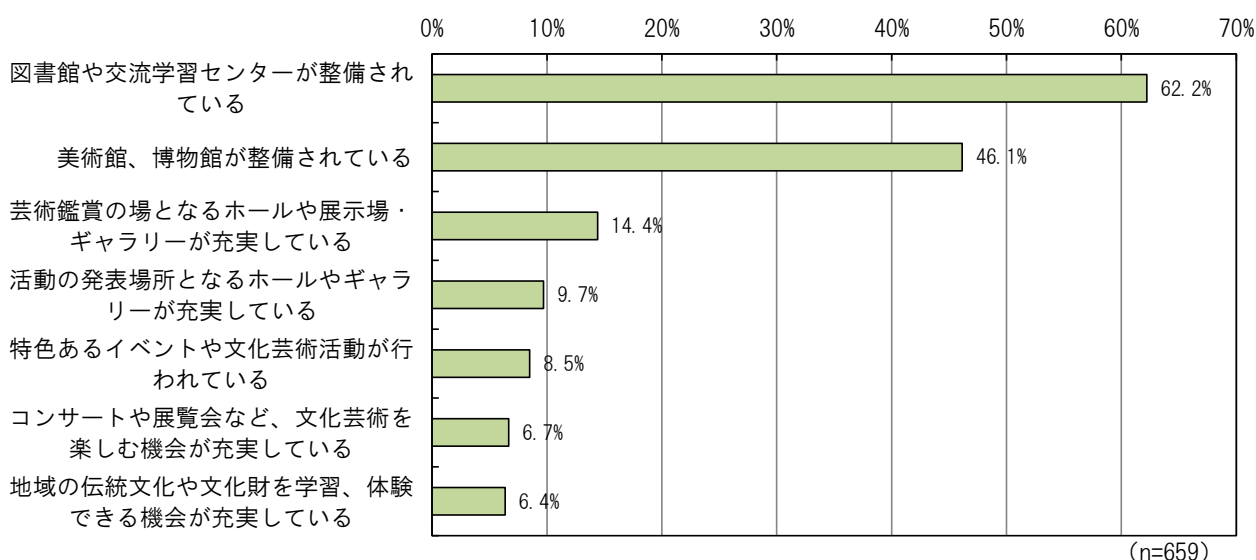


(7) 文化・芸術について

問23. 安曇野市の文化芸術環境の特長についてどのようにお考えですか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 安曇野市の文化芸術環境の特徴についてどのように考えているかについては、「図書館や交流学習センターが整備されている」が62.2%と最も高く、次いで「美術館、博物館が整備されている」が46.1%となっている。
- ・ 一方で、「コンサートや展覧会など、文化芸術を楽しむ機会が充実している」、「地域の伝統文化や文化財を学習、体験できる機会が充実している」といった、文化芸術に触れる機会の充実についての回答割合がそれぞれ6.7%、6.4%と比較的低くなっている
- ・ 地域別で比較すると、すべての地域で「図書館や交流学習センターが整備されている」とする回答割合が最も高く、次いで「美術館、博物館が整備されている」となっている。

図表 102 文化芸術環境の特長



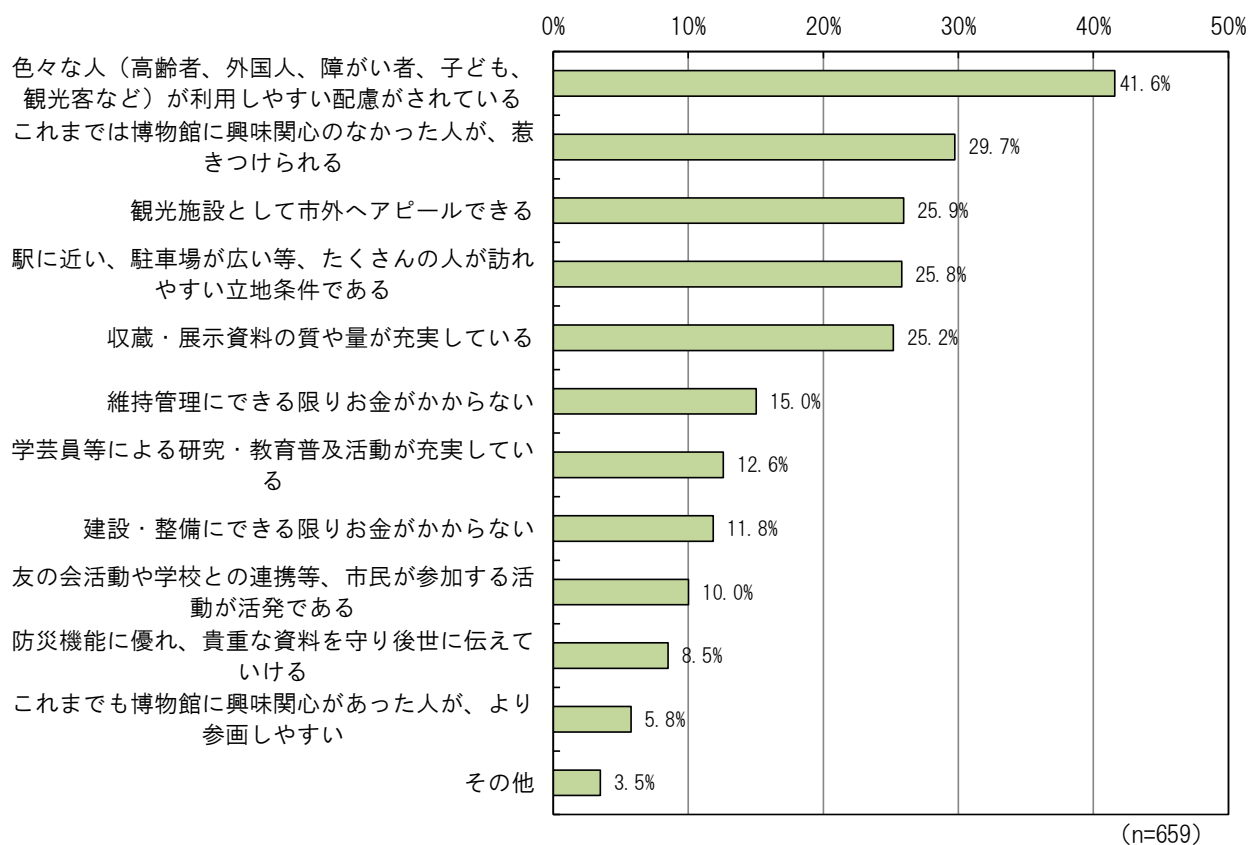
図表 103 【地域別】文化芸術環境の特長

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
図書館や交流学習センターが整備されている	62.2%	62.8%	62.7%	60.7%	64.3%	57.8%	85.7%
美術館、博物館が整備されている	46.1%	52.7%	45.5%	38.5%	55.4%	37.5%	42.9%
芸術鑑賞の場となるホールや展示場・ギャラリーが充実している	14.4%	13.3%	13.9%	11.1%	23.2%	17.2%	28.6%
活動の発表場所となるホールやギャラリーが充実している	9.7%	9.0%	11.0%	10.4%	8.9%	7.8%	0.0%
特色あるイベントや文化芸術活動が行われている	8.5%	9.0%	8.6%	7.4%	8.9%	9.4%	0.0%
コンサートや展覧会など、文化芸術を楽しむ機会が充実している	6.7%	4.8%	7.7%	7.4%	5.4%	7.8%	14.3%
地域の伝統文化や文化財を学習、体験できる機会が充実している	6.4%	9.0%	4.3%	7.4%	3.6%	4.7%	14.3%

問24. あなたが今後の市立博物館に求めることについて教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- 今後の市立博物館に求めることについては、「色々な人(高齢者、外国人、障がい者、子ども、観光客など)が利用しやすい配慮がされている」が 41.6%と最も高く、次いで「これまでは、博物館に興味関心のなかった人が、惹きつけられる」が 29.7%となっている。

図表 104 今後の市立博物館に求めること

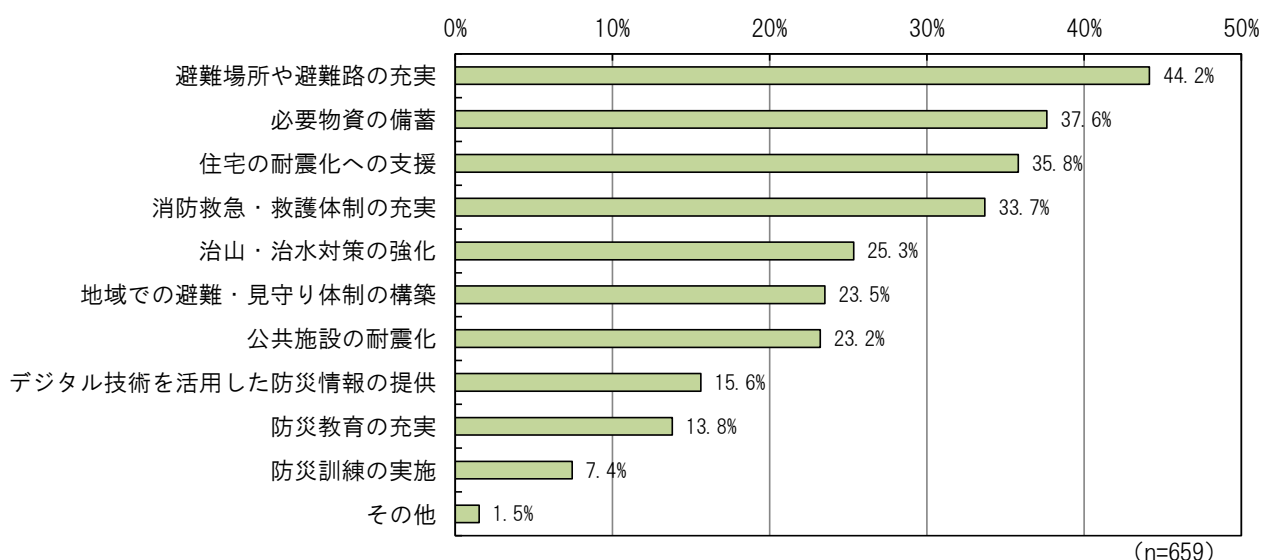


(8) 防災・防犯について

問25. 防災・減災のまちづくりをしていくために、市が今後重点的に取り組んでいくべきだと思うことは何だと思いますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 防災・減災のまちづくりをしていくために、市が今後重点的に取り組んでいくべきだと思うことについて、「避難場所や避難路の充実」が44.2%と最も高く、次いで「必要物資の備蓄」(37.6%)、「住宅の耐震化への支援」(35.8%)、「消防救急・救護体制の充実」(33.7%)と続いている。
- ・ 地域別で比較すると、堀金では「公共施設の耐震化」とする回答割合が35.7%と、全体の回答割合(23.2%)を12.5ポイント上回っている。
- ・ 明科では、「治山・治水対策の強化」とする回答割合が46.9%となっており、全体の回答割合(25.3%)を21.6ポイント上回っている。

図表 105 防災・減災のまちづくりのために重点的に取り組むべきこと



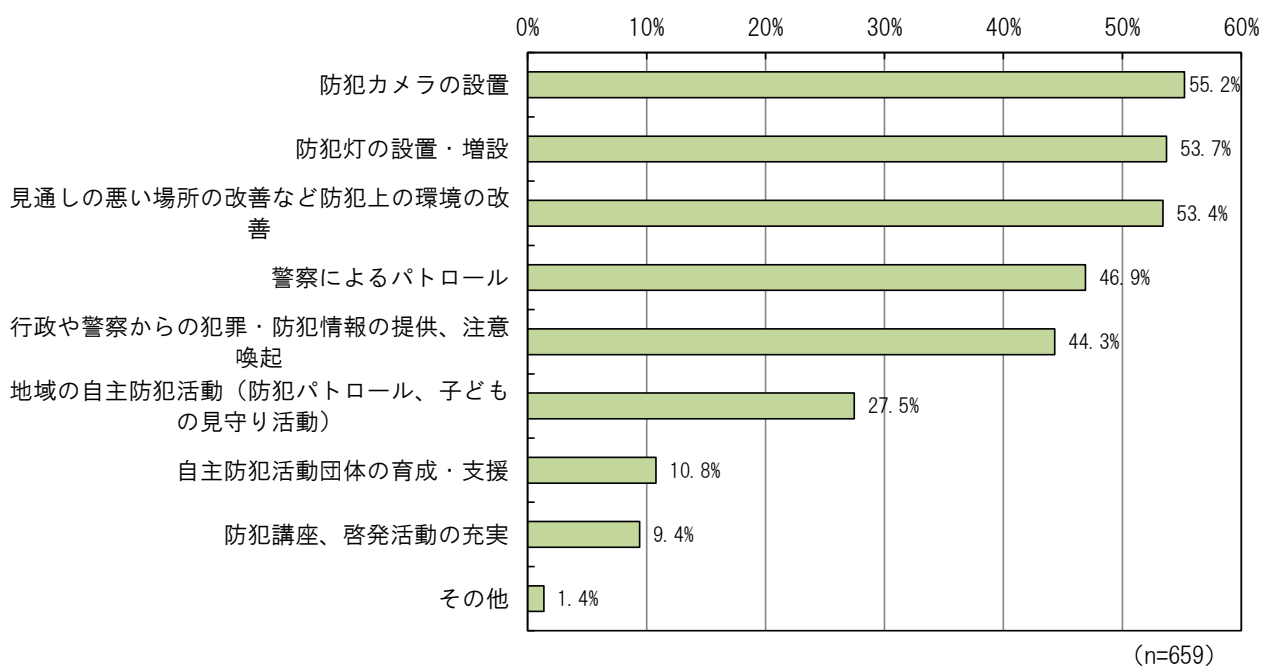
図表 106 【地域別】防災・減災のまちづくりのために重点的に取り組むべきこと

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
避難場所や避難路の充実	44.2%	43.1%	47.4%	45.2%	28.6%	50.0%	28.6%
必要物資の備蓄	37.6%	39.9%	37.8%	40.7%	35.7%	25.0%	42.9%
住宅の耐震化への支援	35.8%	37.8%	34.4%	35.6%	42.9%	28.1%	42.9%
消防救急・救護体制の充実	33.7%	33.5%	35.4%	31.9%	41.1%	28.1%	14.3%
治山・治水対策の強化	25.3%	22.3%	26.8%	20.0%	17.9%	46.9%	28.6%
地域での避難・見守り体制の構築	23.5%	24.5%	20.6%	26.7%	23.2%	21.9%	42.9%
公共施設の耐震化	23.2%	26.6%	18.7%	20.0%	35.7%	26.6%	0.0%
デジタル技術を活用した防災情報の提供	15.6%	18.6%	14.8%	11.9%	7.1%	25.0%	14.3%
防災教育の充実	13.8%	11.7%	14.8%	17.8%	17.9%	4.7%	14.3%
防災訓練の実施	7.4%	10.1%	4.3%	8.1%	16.1%	1.6%	0.0%
その他	1.5%	0.5%	1.0%	3.7%	1.8%	1.6%	0.0%

問26. 犯罪のない安全・安心なまちづくりのために一層力を入れて取り組むべきものは何だと思いますか。
 (〇はいくつでも)

- ・ 犯罪のない安全・安心なまちづくりのために一層力を入れて取り組むべきものについて、「防犯カメラの設置」が 55.2%と最も高く、次いで「防犯灯の設置」(53.7%)、「見通しの悪い場所の改善など防犯上の環境の改善」(53.4%)と続いている。

図表 107 犯罪のない安心・安全なまちづくりのために力を入れるべき取組

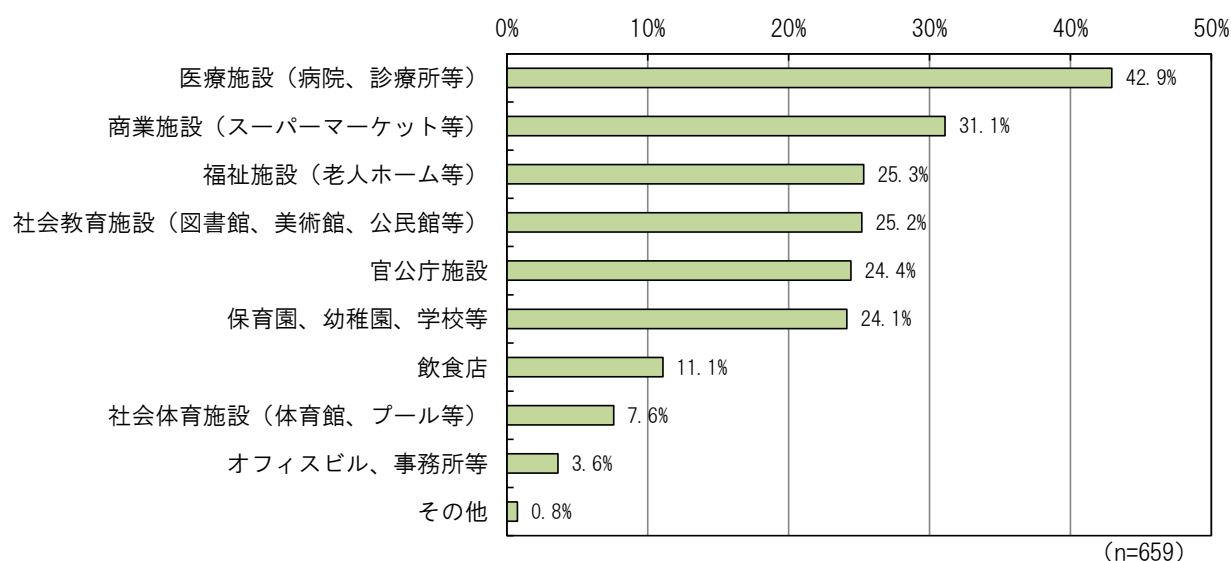


(9) 都市基盤について

問27. 市内の施設について、今後重点的にバリアフリー・ユニバーサルデザインとしていくことが必要だと思うものは何ですか。(特に当てはまるもの2つまで○)

- ・ 市内の施設について、今後重点的にバリアフリー・ユニバーサルデザインとしていくことが必要だと思うものについて、「医療施設(病院、診療所等)」が42.9%と最も高く、次いで「商業施設(スーパーマーケット等)」が31.1%と高くなっている。
- ・ 年代別で比較すると、30代では「保育園、幼稚園、学校等」が47.7%と最も高く、全体の回答割合(24.1%)を23.6ポイント上回っている。
- ・ また、年代が高くなるにつれて「医療施設(病院、診療所等)」とする回答割合が高くなる傾向にある。

図表 108 バリアフリー・ユニバーサルデザインが必要だと思う施設



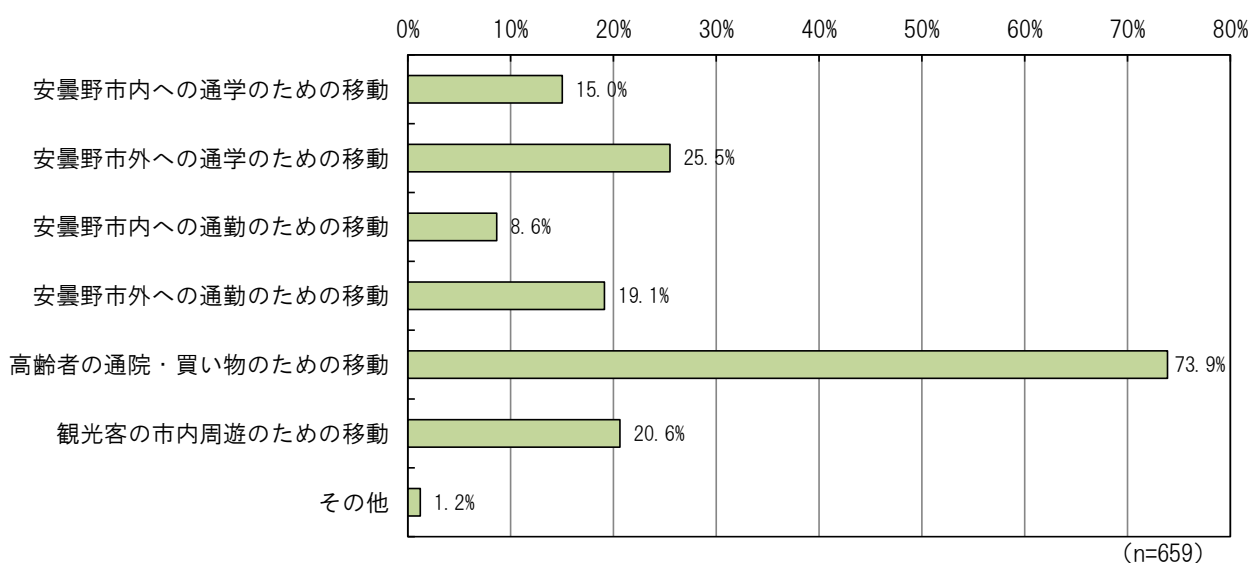
図表 109 【年代別】バリアフリー・ユニバーサルデザインが必要だと思う施設

	合計 (n=659)	18~20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
医療施設 (病院、診療所等)	42.9%	35.3%	38.5%	37.0%	45.7%	46.7%	47.0%	40.0%
商業施設 (スーパーマーケット等)	31.1%	33.3%	36.9%	33.1%	39.5%	25.5%	24.8%	0.0%
福祉施設 (老人ホーム等)	25.3%	27.5%	23.1%	20.5%	27.1%	28.5%	25.6%	0.0%
社会教育施設 (図書館、美術館、公民館等)	25.2%	21.6%	24.6%	26.0%	20.9%	26.1%	29.9%	20.0%
官公庁施設	24.4%	31.4%	15.4%	22.0%	20.9%	29.1%	25.6%	40.0%
保育園、幼稚園、学校等	24.1%	29.4%	47.7%	33.1%	24.0%	13.9%	12.0%	60.0%
飲食店	11.1%	9.8%	10.8%	11.0%	14.0%	10.3%	9.4%	20.0%
社会体育施設 (体育館、プール等)	7.6%	7.8%	9.2%	9.4%	7.8%	4.8%	7.7%	20.0%
オフィスビル、事務所等	3.6%	7.8%	1.5%	3.9%	4.7%	1.8%	4.3%	0.0%
その他	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	1.8%	0.0%	0.0%

問28. 公共交通のあり方について、今後充実を図るべきだと思うものは何ですか。(特に当てはまるもの2つまで○)

- ・ 公共交通のあり方について、今後充実を図るべきだと思うものについて、「高齢者の通院・買い物のための移動」が過半数の 73.9%と突出して最も高く、次いで「安曇野市外への通学のための移動」が 25.5%と高くなっている。
- ・ 通学、通勤のどちらにおいても、安曇野市内への移動よりも安曇野市外への移動についての回答割合が高くなっている。
- ・ 年代別で比較すると、すべての年代で「高齢者の通院・買い物のための移動」が最も高くなっている。
- ・ 地域別で比較すると、明科では「高齢者の通院・買い物のための移動」(73.4%)に次いで、「安曇野市内への通学のための移動」(23.4%)の回答割合が高くなっている。

図表 110 公共交通のあり方について、今後充実を図るべきもの



図表 111 【年代別】公共交通のあり方について、今後充実を図るべきもの

	合計 (n=659)	18~20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
安曇野市内への通学のための移動	15.0%	23.5%	23.1%	17.3%	13.2%	13.9%	8.5%	0.0%
安曇野市外への通学のための移動	25.5%	33.3%	24.6%	36.2%	29.5%	18.2%	17.9%	0.0%
安曇野市内への通勤のための移動	8.6%	21.6%	9.2%	10.2%	10.9%	6.7%	1.7%	0.0%
安曇野市外への通勤のための移動	19.1%	33.3%	27.7%	19.7%	21.7%	16.4%	8.5%	20.0%
高齢者の通院・買い物のための移動	73.9%	45.1%	69.2%	68.0%	70.5%	87.3%	84.6%	100.0%
観光客の市内周遊のための移動	20.6%	25.5%	21.5%	23.6%	20.9%	18.2%	18.8%	0.0%
その他	1.2%	0.0%	0.0%	2.4%	1.6%	1.8%	0.0%	0.0%

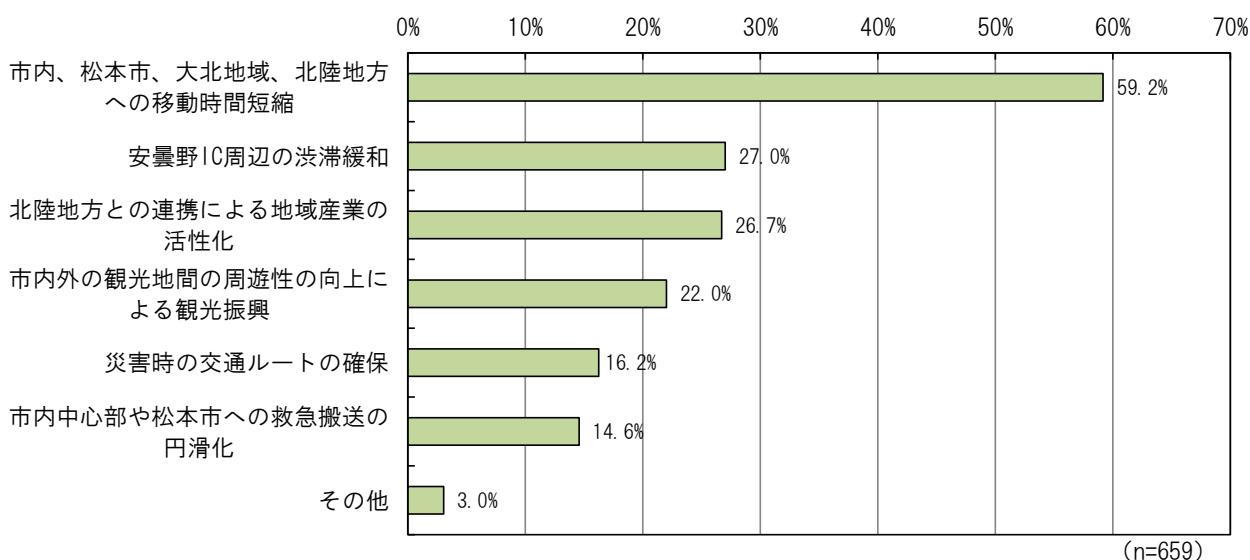
図表 112 【地域別】公共交通機関のあり方について、今後充実を図るべきもの

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
安曇野市内への通学のための移動	15.0%	15.4%	12.9%	13.3%	16.1%	23.4%	14.3%
安曇野市外への通学のための移動	25.5%	27.7%	26.3%	23.7%	32.1%	17.2%	0.0%
安曇野市内への通勤のための移動	8.6%	9.6%	7.7%	11.9%	7.1%	4.7%	0.0%
安曇野市外への通勤のための移動	19.1%	21.3%	15.8%	23.0%	14.3%	20.3%	14.3%
高齢者の通院・買い物のための移動	73.9%	71.8%	75.1%	71.9%	78.6%	73.4%	100.0%
観光客の市内周遊のための移動	20.6%	18.6%	23.9%	23.0%	14.3%	18.8%	0.0%
その他	1.2%	0.5%	1.0%	1.5%	5.4%	0.0%	0.0%

問29. 現在、松本市から新潟県糸魚川市に至る延長約100kmの地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」の整備についての計画が進められています。この「松本糸魚川連絡道路」の活用について、あなたが期待する効果を教えてください。(特に当てはまるもの2つまで○)

- ・ 「松本糸魚川連絡道路」の活用について期待する効果は、「市内、松本市、大北地域、北陸地方への移動時間短縮」が59.2%と最も高く、次いで「安曇野IC周辺の渋滞緩和」(27.0%)、「北陸地方との連携による地域産業の活性化」(26.7%)と続いている。
- ・ 地域別で比較すると、すべての地域で「市内、松本市、大北地域、北陸地方への移動時間短縮」が過半数を超えて最も高くなっている。
- ・ 堀金では「市内、松本市、大北地域、北陸地方への移動時間短縮」(60.7%)に次いで、「市内外の観光地間の周遊性の向上による観光振興」が28.6%となっており、全体の回答割合(22.0%)を6.6ポイント上回っている。

図表 113 「松本糸魚川連絡道路」の活用について、期待する効果



図表 114 【地域別】「松本糸魚川連絡道路」活用について、期待する効果

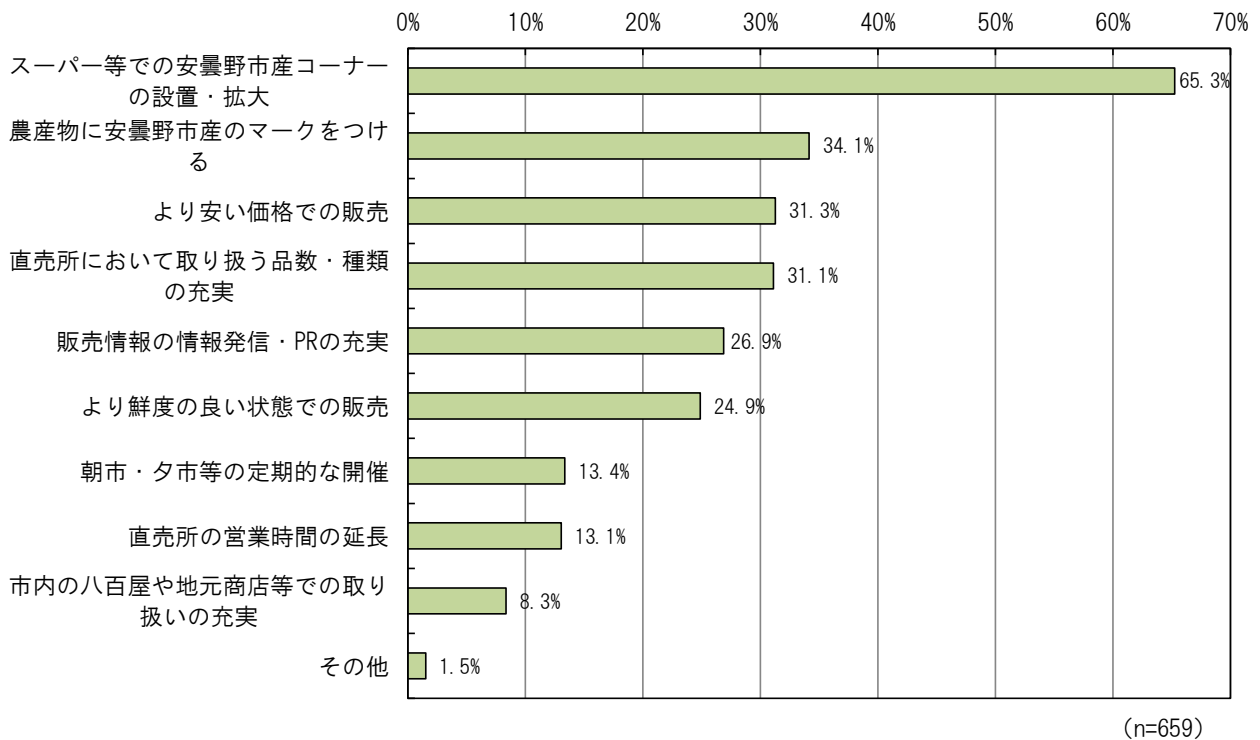
	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
市内、松本市、大北地域、北陸地方への移動時間短縮	59.2%	60.1%	62.2%	54.8%	60.7%	54.7%	57.1%
安曇野IC周辺の渋滞緩和	27.0%	28.7%	31.6%	19.3%	23.2%	26.6%	28.6%
北陸地方との連携による地域産業の活性化	26.7%	23.9%	27.8%	28.9%	25.0%	26.6%	42.9%
市内外の観光地間の周遊性の向上による観光振興	22.0%	23.4%	21.5%	22.2%	28.6%	12.5%	28.6%
災害時の交通ルートの確保	16.2%	16.5%	12.0%	23.0%	16.1%	15.6%	14.3%
市内中心部や松本市への救急搬送の円滑化	14.6%	18.6%	10.5%	15.6%	19.6%	7.8%	28.6%
その他	3.0%	3.2%	2.9%	3.0%	0.0%	6.3%	0.0%

(10) 農林水産業について

問30. 「安曇野市産」の農産物を手に入れやすくするためには、何が必要だと思いますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 「安曇野市産」の農産物を手に入れやすくするために必要だと思うものについて、「スーパー等での安曇野市産コーナーの設置・拡大」が過半数の 65.3%と突出して最も高く、次いで「農産物に安曇野市産のマークをつける」(34.1%)、「より安い価格での販売」(31.3%)、「直売所において取り扱う品数・種類の充実」(31.1%)が続いている。

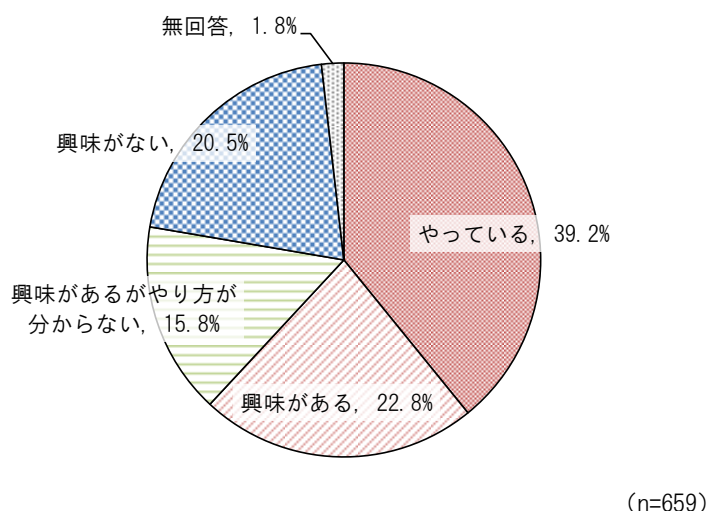
図表 115 「安曇野市産」の農産物を手に入れやすくするために必要な取り組み



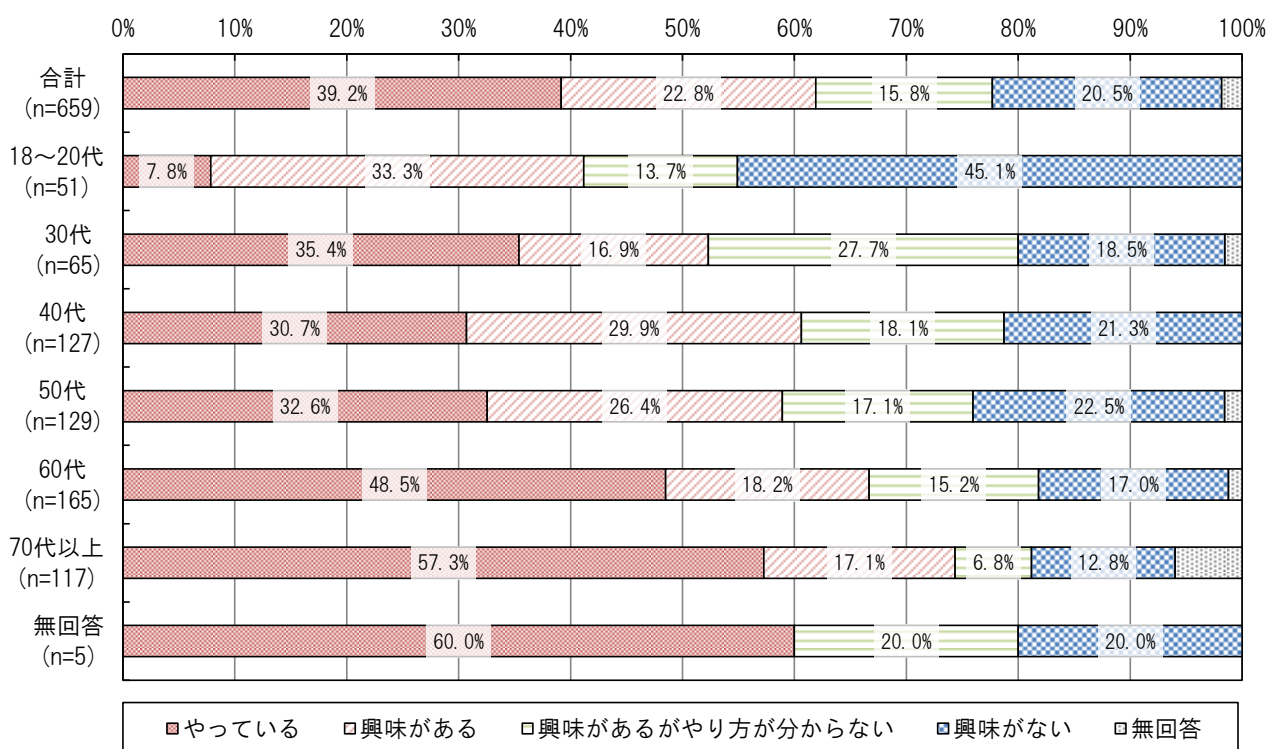
問31. あなたは、自分でも農業(家庭菜園・市民農園利用)をやってみたいと思いますか。(1つに〇)

- すでに農業(家庭菜園・市民農園利用)を「やっている」が39.2%と最も高くなっている。
- 「興味がある」と「興味があるがやり方が分からない」を合算した回答割合は38.6%で「興味がない」の20.5%を18.1ポイント上回っている。
- 年代別で比較すると、年代が高いほど「やっている」とする回答割合が高い傾向にある。
- 18～20代では「興味がない」が45.1%と最も高く、全体の回答割合(20.5%)を24.6ポイント上回っている。

図表 116 農業(家庭菜園・市民農園利用)への取り組み意向



図表 117 【年代別】農業(家庭菜園・市民農園利用)への取り組み意向

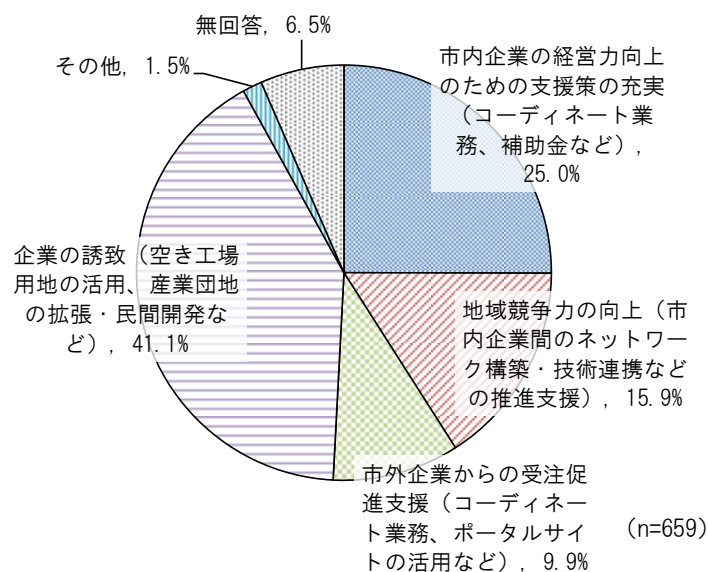


(11) 経済活動について

問32. 製造業は市税収入と雇用確保の観点から市の重要な産業のひとつとなっています。市内製造業への産業振興策について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

- ・ 市内製造業への産業振興策について、「企業の誘致(空き工場用地の活用、産業団地の拡張・民間開発など)」が 41.1%と最も高く、次いで「市内企業の経営力向上のための支援策の充実(コーディネート業務、補助金など)」が 25.0%となっている。
- ・ 地域別で比較すると、全ての地域において「企業の誘致(空き工業用地の活用、産業団地の拡張・民間開発など)」とする回答割合が最も高くなっている。

図表 118 市内製造業の産業振興策についての考え



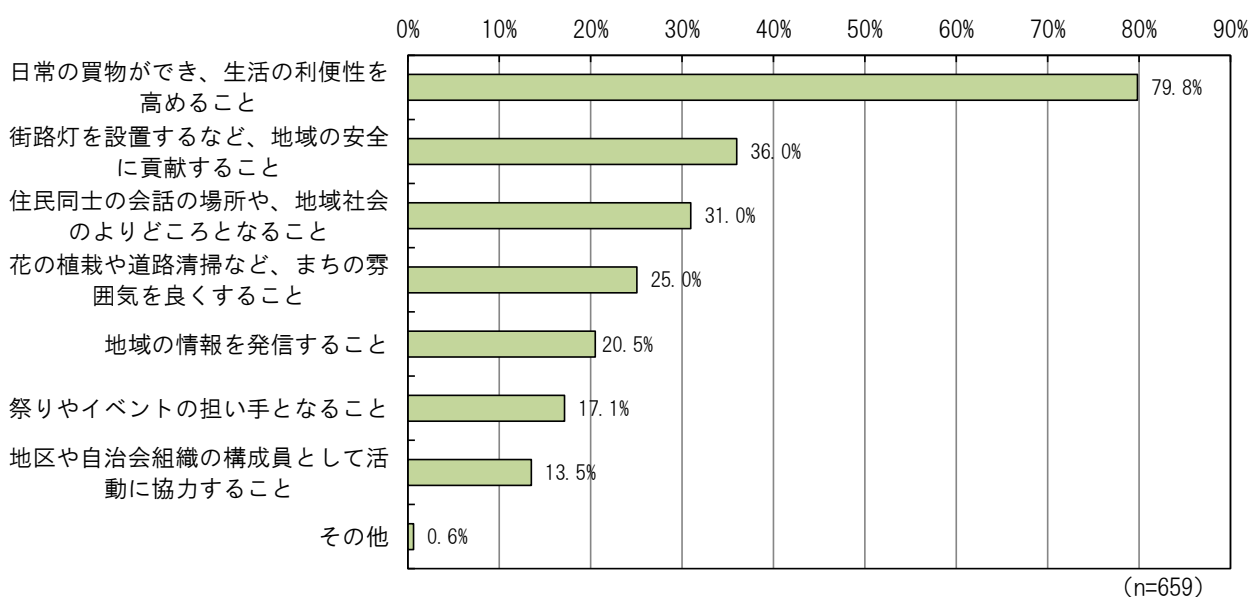
図表 119 【地域別】市内製造業の産業振興策についての考え

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
市内企業の経営力向上のための支援策の充実 (コーディネート業務、補助金など)	25.0%	31.4%	21.1%	24.4%	21.4%	21.9%	42.9%
地域競争力の向上 (市内企業間のネットワーク構築・技術連携などの推進支援)	15.9%	18.6%	14.4%	12.6%	26.8%	12.5%	0.0%
市外企業からの受注促進支援 (コーディネート業務、ポータルサイトの活用など)	9.9%	9.6%	12.0%	9.6%	7.1%	7.8%	0.0%
企業の誘致 (空き工場用地の活用、産業団地の拡張・民間開発など)	41.1%	33.5%	44.0%	43.7%	33.9%	53.1%	57.1%
その他	1.5%	2.1%	1.9%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	6.5%	4.8%	6.7%	8.1%	10.7%	4.7%	0.0%

問33. 個店や商店街に、地域の中でどのような役割を期待しますか。(〇はいくつでも)

- ・ 個店や商店街に、地域の中で期待する役割について、「日常の買物ができ、生活の利便性を高めること」が過半数の 79.8%と突出して最も高く、次いで「街路灯を設置するなど、地域の安全に貢献すること」(36.0%)、「住民同士の会話の場所や、地域社会のよりどころとなること」(31.0%)と続いている。
- ・ 地域別で比較すると、すべての地域で「日常の買物ができ、生活の利便性を高めること」が過半数を超えて最も高くなっている。
- ・ 堀金と明科では、「住民同士の会話の場所や、地域社会のよりどころとなること」とする回答割合がそれぞれ 39.3%、40.6%と、全体の回答割合を 8.3 ポイント、9.6 ポイント上回っている。

図表 120 個店や商店街に地域の中で期待する役割



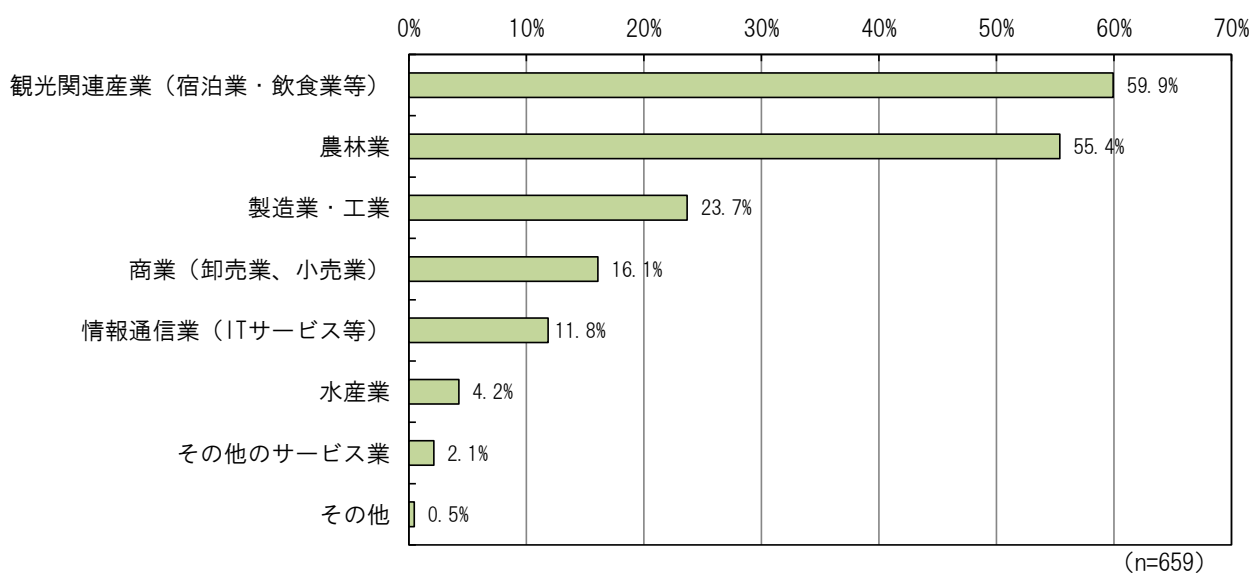
図表 121 【地域別】個店や商店街に地域の中で期待する役割

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
日常の買物ができ、生活の利便性を高めること	79.8%	79.3%	82.3%	79.3%	73.2%	78.1%	100.0%
街路灯を設置するなど、地域の安全に貢献すること	36.0%	32.4%	40.7%	35.6%	28.6%	37.5%	42.9%
住民同士の会話の場所や、地域社会のよりどころとなること	31.0%	27.1%	27.8%	32.6%	39.3%	40.6%	42.9%
花の植栽や道路清掃など、まちの雰囲気良くすること	25.0%	28.2%	24.9%	23.7%	19.6%	25.0%	14.3%
地域の情報を発信すること	20.5%	18.6%	20.1%	19.3%	28.6%	23.4%	14.3%
祭りやイベントの担い手となること	17.1%	19.7%	19.6%	11.9%	17.9%	14.1%	0.0%
地区や自治会組織の構成員として活動に協力すること	13.5%	11.7%	14.8%	13.3%	17.9%	10.9%	14.3%
その他	0.6%	1.1%	0.5%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%

問34. 安曇野市の地域特性を生かした産業活性化について、重点的に取り組むべき産業は何だと思いますか。(特に当てはまるもの2つまで○)

- ・ 安曇野市の地域特性を生かした産業活性化について、重点的に取り組むべきだと思う産業について、「観光関連産業(宿泊業・飲食業等)」および「農林業」がそれぞれ過半数の 59.9%、55.4%と突出して高くなっている。

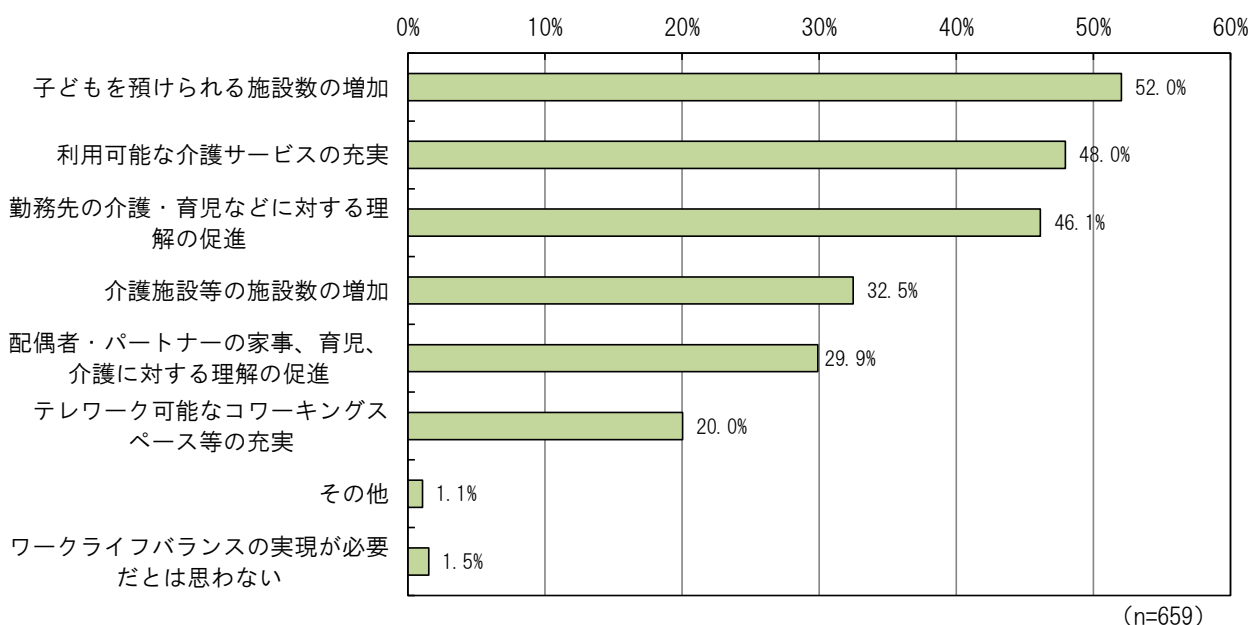
図表 122 地域の特性を生かした産業活性化について、重点的に取り組むべき産業



問35. 安曇野市でお住まいの方や働く方が、仕事と生活のバランスがとれた働き方(ワークライフバランス)を実現するために、市が取り組むべきものは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・ 安曇野市でお住まいの方や働く方が、仕事と生活のバランスがとれた働き方を実現するために、市が取り組むべきことについては、「子どもを預けられる施設数の増加」が 52.0%と最も高く、次いで「利用可能な介護サービスの充実」(48.0%)、「勤務先の介護・育児などに対する理解の促進」(46.1%)と続いている。
- ・ 「ワークライフバランスの実現が必要だとは思わない」とする回答割合は 1.5%となっている。
- ・ 年代別で比較すると、18～20 代、30 代、40 代では「子どもを預けられる施設数の増加」が最も高くなっており、次いで「勤務先の介護・育児などに対する理解の促進」となっている。
- ・ 一方で、50 代、60 代、70 代以上では「利用可能な介護サービスの充実」が最も高くなっており、それぞれ 48.1%、55.8%、59.0%となっている。

図表 123 ワークライフバランスを実現するために市が取り組むべきもの



図表 124 【年代別】ワークライフバランスを実現するために市が取り組むべきもの

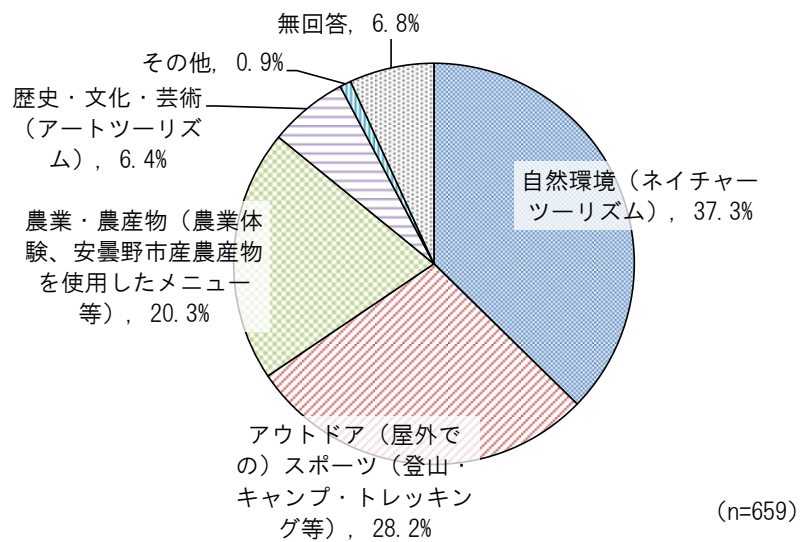
	合計 (n=659)	18～20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
子どもを預けられる施設数の増加	52.0%	52.9%	72.3%	52.0%	45.0%	52.1%	49.6%	20.0%
利用可能な介護サービスの充実	48.0%	25.5%	44.6%	37.8%	48.1%	55.8%	59.0%	60.0%
勤務先の介護・育児などに対する理解の促進	46.1%	49.0%	61.5%	48.3%	42.6%	46.7%	41.9%	60.0%
介護施設等の施設数の増加	32.5%	9.8%	27.7%	27.6%	31.8%	41.8%	39.3%	0.0%
配偶者・パートナーの家事、育児、介護に対する理解の促進	29.9%	23.5%	46.2%	37.8%	26.4%	24.2%	25.6%	60.0%
テレワーク可能なコワーキングスペース等の充実	20.0%	37.3%	27.7%	15.7%	21.7%	18.2%	13.7%	20.0%
その他	1.1%	2.0%	1.5%	1.6%	0.8%	1.2%	0.0%	0.0%
ワークライフバランスの実現が必要だとは思わない	1.5%	2.0%	1.5%	0.8%	3.1%	1.8%	0.0%	0.0%

(12) 観光について

問36. 観光振興を図る上で、より力を入れて環境整備やPR等に取り組むべき安曇野市の観光資源・テーマは何だと思えますか。(1つに○)

- 観光振興を図るうえで、より力を入れて観光整備やPR等に取り組むべきものについて、「自然環境(ネイチャーツーリズム)」が37.3%と最も高く、次いで「アウトドア(屋外での)スポーツ(登山・キャンプ・トレッキング等)」が28.2%となっている。

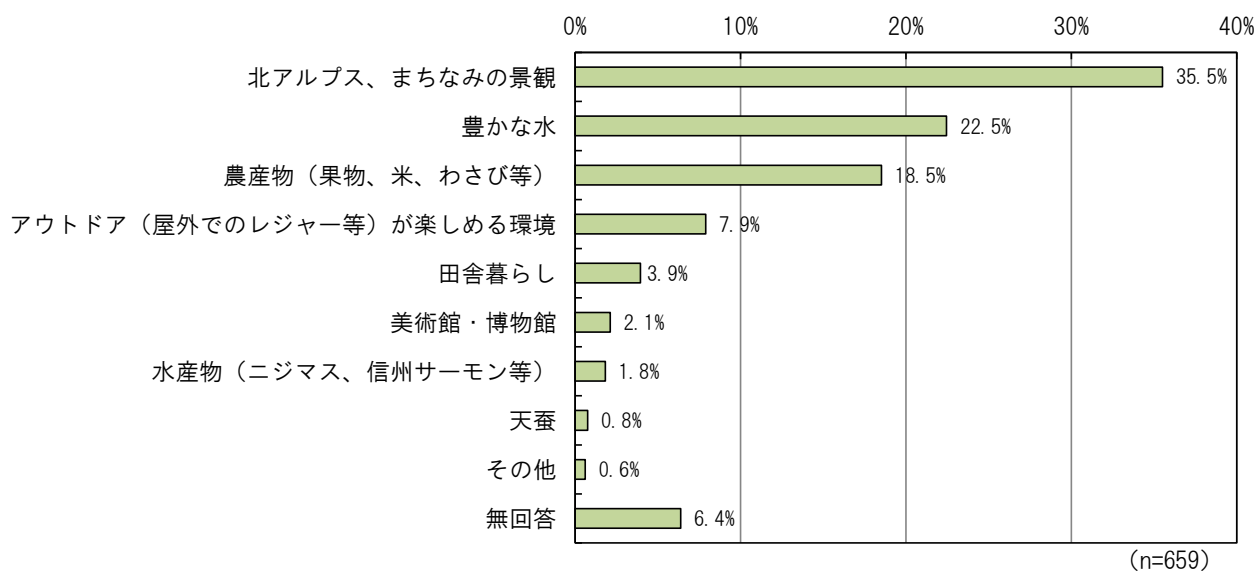
図表 125 観光振興を図るうえで市が取り組むべきもの



問37. 安曇野市のブランドイメージの向上や観光振興にあたり活かすべき「安曇野市の魅力」は何だと思えますか。(1つに○)

- 安曇野市のブランドイメージの向上や観光振興にあたり活かすべき「安曇野市の魅力」について、「北アルプス、まちなみの景観」が 35.5%と最も高く、次いで「豊かな水」(22.5%)、「農作物(果物、米、わさび等)」(18.5%)と続いている。

図表 126 安曇野ブランドイメージの向上や観光振興にあたり活かすべき「安曇野市の魅力」

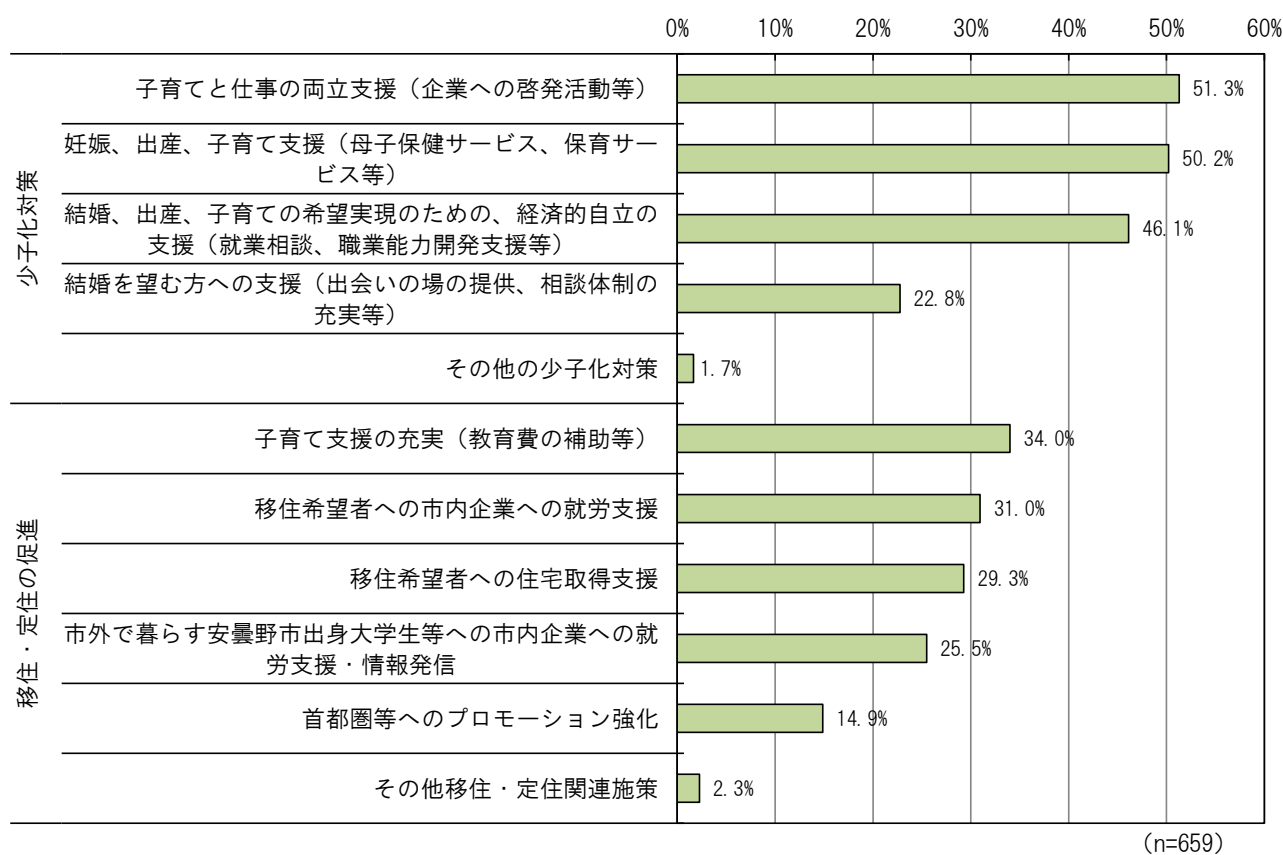


(14) 移住・定住について

問38. 安曇野市の人口減少を抑制するために、市で取り組むべきだと思う取り組みは何だと思えますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 安曇野市の人口減少を抑制するために、市で取り組むべき取り組みについては、「子育てと仕事の両立支援(企業への啓発活動等)」が51.3%と最も高かった。
- ・ これに次いで「妊娠、出産、子育て支援(母子保健サービス、保育サービス等)」(50.2%)、「結婚、出産、子育ての希望実現のための、経済的自立の支援(就業相談、職業能力開発支援等)」(46.1%)、「子育て支援の充実(教育費の補助等)」(34.0%)と続いており、子育て支援の回答が上位を占めた。

図表 127 安曇野市の人口減少抑制のために必要な取り組み



- 年代別で比較すると、「妊娠、出産、子育て支援(母子保健サービス、保育サービス等)」とする回答割合が30代(66.2%)、40代(50.4%)、60代(52.7%)で最も高くなっている。
- 18～20代では「結婚、出産子育ての希望実現のための、経済的自立支援(就業相談、職業能力開発支援等)」が56.9%と最も高く、全体の回答割合(46.1%)を10.8ポイント上回っている。

図表 128 【年代別】安曇野市の人口減少抑制のために必要な取り組み

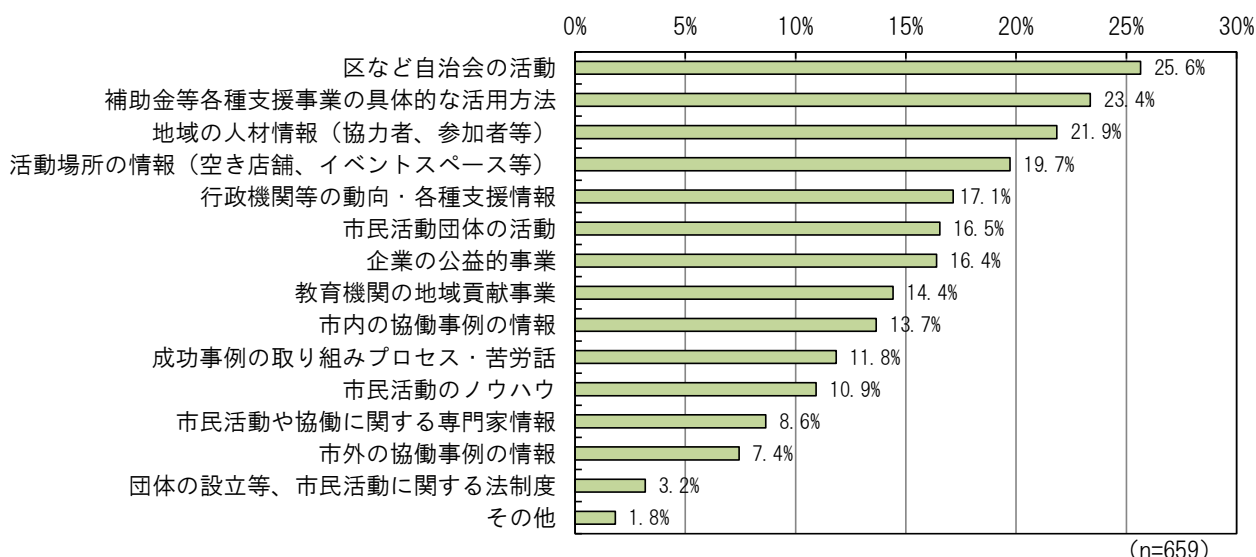
		合計 (n=659)	18～20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
少 子 化 対 策	子育てと仕事の両立支援（企業への啓発活動等）	51.3%	29.4%	47.7%	47.2%	52.7%	50.9%	65.8%	60.0%
	妊娠、出産、子育て支援（母子保健サービス、保育サービス等）	50.2%	45.1%	66.2%	50.4%	49.6%	52.7%	40.2%	60.0%
	結婚、出産、子育ての希望実現のための、経済的自立の支援（就業相談、職業能力開発支援等）	46.1%	56.9%	50.8%	44.1%	42.6%	46.1%	46.2%	20.0%
	結婚を望む方への支援（出会いの場の提供、相談体制の充実等）	22.8%	23.5%	23.1%	21.3%	15.5%	25.5%	29.1%	0.0%
	その他の少子化対策	1.7%	0.0%	1.5%	3.1%	3.1%	1.2%	0.0%	0.0%
移 住 ・ 定 住 の 促 進	子育て支援の充実（教育費の補助等）	34.0%	29.4%	44.6%	38.6%	27.1%	37.6%	29.1%	0.0%
	移住希望者への市内企業への就労支援	31.0%	25.5%	23.1%	23.6%	30.2%	34.5%	40.2%	60.0%
	移住希望者への住宅取得支援	29.3%	19.6%	15.4%	24.4%	31.8%	30.9%	41.0%	40.0%
	市外で暮らす安曇野市出身大学生等への市内企業への就労支援・情報発信	25.5%	29.4%	21.5%	19.7%	30.2%	20.6%	32.5%	60.0%
	首都圏等へのプロモーション強化	14.9%	15.7%	6.2%	12.6%	17.8%	13.3%	20.5%	20.0%
	その他移住・定住関連施策	2.3%	0.0%	4.6%	1.6%	6.2%	0.6%	0.9%	0.0%

(15) 協働・コミュニティ活動について

問39. 地方を取り巻く課題は、多様化・複雑化しており、市民だけ、行政だけでは解決できない複雑な課題が山積しています。そのような課題を解決するためには、市民、自治会、市民活動団体などと行政が、お互いを補い合いながら協力して課題解決を進めて行く「協働」によるまちづくりの推進が必要です。この「協働」や「市民活動」に関して、どのような情報に興味・関心がありますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 「協働」や「市民活動」に関して、興味・関心のある情報について、「区など自治会の活動」が 25.6%と最も高く、次いで「補助金等各種支援事業の具体的な活用方法」(23.4%)、「地域の人材情報(協力者、参加者等)」(21.9%)と続いている。
- ・ 地域別で比較すると、堀金では「補助金等各種支援事業の具体的な活用方法」が 30.4%と最も高く、全体の回答割合(23.4%)を 7.0 ポイント上回っている。

図表 129 協働のまちづくりについて興味・関心がある情報

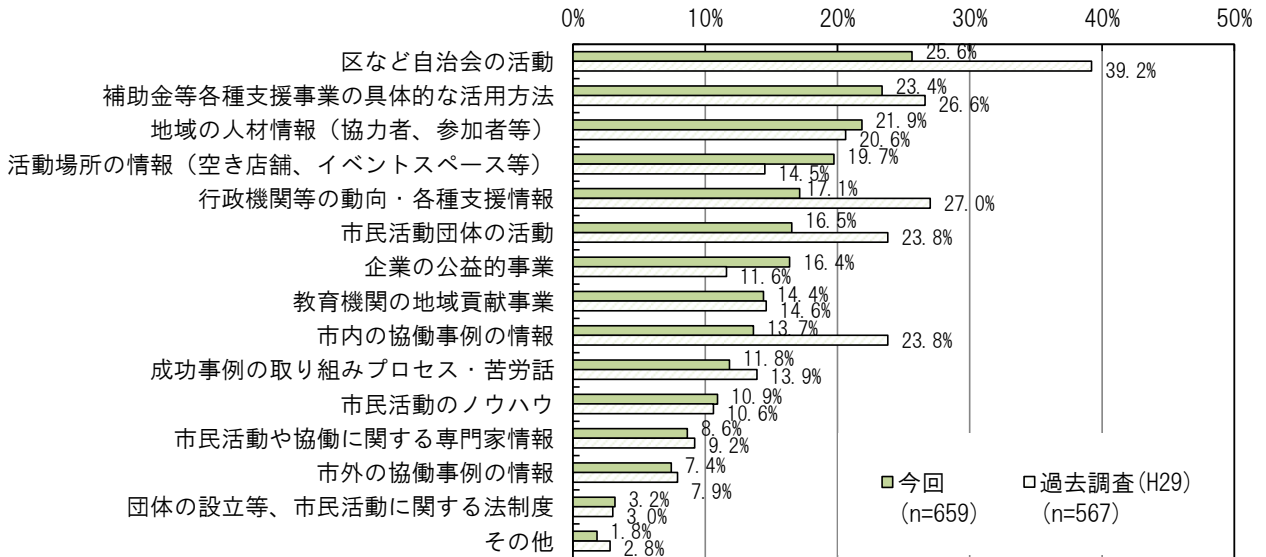


図表 130 【地域別】協働のまちづくりについて興味・関心がある情報

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
区など自治会の活動	25.6%	23.4%	25.8%	27.4%	26.8%	28.1%	14.3%
補助金等各種支援事業の具体的な活用方法	23.4%	22.9%	23.4%	22.2%	30.4%	20.3%	28.6%
地域の人材情報(協力者、参加者等)	21.9%	21.3%	20.6%	24.4%	16.1%	25.0%	42.9%
活動場所の情報(空き店舗、イベントスペース等)	19.7%	18.6%	22.0%	15.6%	14.3%	28.1%	28.6%
行政機関等の動向・各種支援情報	17.1%	23.4%	19.1%	8.1%	14.3%	14.1%	14.3%
市民活動団体の活動	16.5%	15.4%	15.3%	19.3%	19.6%	17.2%	0.0%
企業の公益的事業	16.4%	18.6%	16.3%	14.8%	14.3%	17.2%	0.0%
教育機関の地域貢献事業	14.4%	13.8%	13.9%	17.0%	23.2%	6.3%	0.0%
市内の協働事例の情報	13.7%	10.1%	15.3%	14.8%	16.1%	14.1%	14.3%
成功事例の取り組みプロセス・苦労話	11.8%	14.4%	10.0%	12.6%	8.9%	10.9%	14.3%
市民活動のノウハウ	10.9%	12.2%	12.4%	10.4%	7.1%	7.8%	0.0%
市民活動や協働に関する専門家情報	8.6%	11.2%	5.3%	9.6%	8.9%	9.4%	14.3%
市外の協働事例の情報	7.4%	4.8%	8.6%	8.1%	8.9%	9.4%	0.0%
団体の設立等、市民活動に関する法制度	3.2%	3.7%	2.4%	5.2%	0.0%	1.6%	14.3%
その他	1.8%	1.6%	1.9%	3.0%	1.8%	0.0%	0.0%

- 平成 29 年に実施したアンケート調査の結果と比較すると「地域の人材情報(協力者、参加者等)」、「活動場所の情報(空き店舗、イベントスペース等)」、「企業の公益的事業」、「市民活動のノウハウ」、「団体の設立等、市民活動に関する法制度」の5つの回答割合が上昇している。
- このうち「活動場所の情報(空き店舗、イベントスペース等)」とする回答割合(19.7%)が平成 29 年に実施したアンケート調査の結果(14.5%)から 5.2 ポイントと最も上昇している。

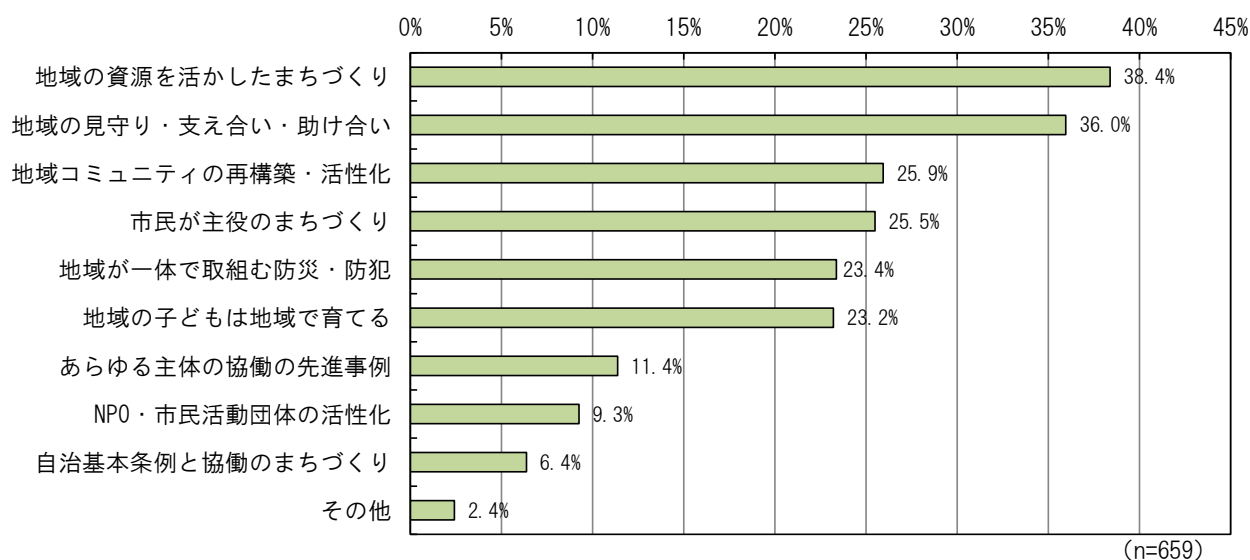
図表 131 【過去比較】協働のまちづくりについて興味・関心がある情報



問40. 協働のまちづくりを進めるためのイベント(講演会など)を開催する場合、興味・関心が持てるテーマはありますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 協働のまちづくりを進めるためのイベントを開催する場合、興味・関心が持てるテーマについて、「地域の資源を活かしたまちづくり」が 38.4%と最も高く、次いで「地域の見守り・支え合い・助け合い」が 36.0%となっている。
- ・ 地域別で比較すると、豊科と穂高では「地域の見守り・支え合い・助け合い」がそれぞれ 41.0%、37.8%と最も高くなっている一方で、三郷、堀金、明科では「地域の資源を活かしたまちづくり」がそれぞれ 37.8%、48.2%、40.6%と最も高くなっている。

図表 132 協働のまちづくりを進めるためのイベントで興味・関心が持てるテーマ

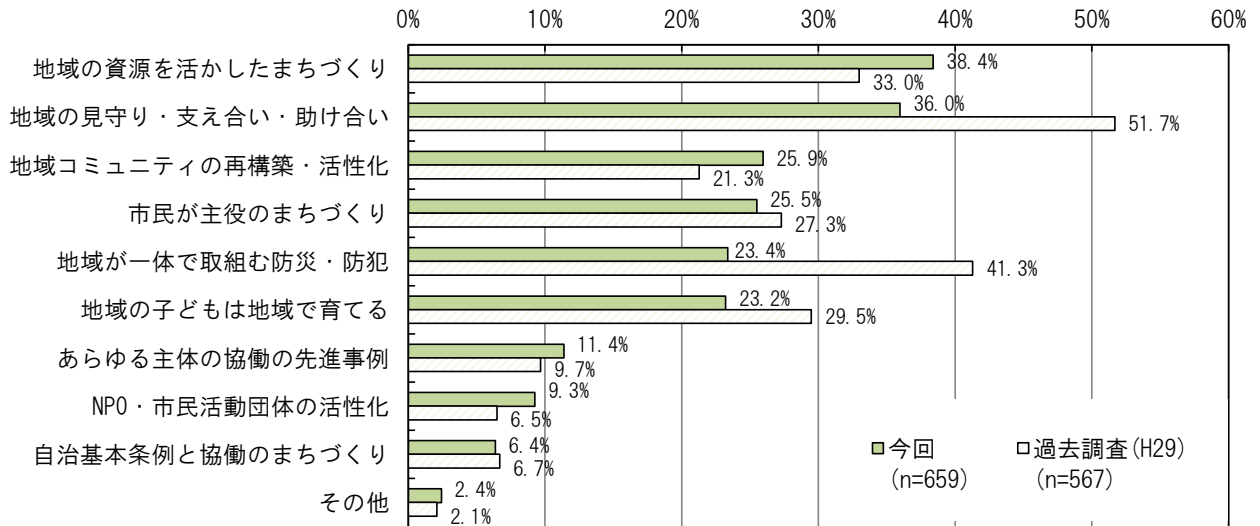


図表 133 【地域別】協働のまちづくりを進めるためのイベントで興味・関心が持てるテーマ

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
地域の資源を活かしたまちづくり	38.4%	37.8%	36.4%	37.8%	48.2%	40.6%	28.6%
地域の見守り・支え合い・助け合い	36.0%	41.0%	37.8%	30.4%	32.1%	28.1%	57.1%
地域コミュニティの再構築・活性化	25.9%	28.7%	20.6%	29.6%	21.4%	31.3%	28.6%
市民が主役のまちづくり	25.5%	33.0%	21.1%	23.7%	33.9%	14.1%	28.6%
地域が一体で取組む防災・防犯	23.4%	18.6%	25.4%	25.2%	25.0%	26.6%	14.3%
地域の子どもは地域で育てる	23.2%	21.8%	22.0%	24.4%	32.1%	23.4%	0.0%
あらゆる主体の協働の先進事例	11.4%	7.4%	13.9%	12.6%	14.3%	9.4%	14.3%
NPO・市民活動団体の活性化	9.3%	8.0%	8.6%	13.3%	5.4%	9.4%	14.3%
自治基本条例と協働のまちづくり	6.4%	5.9%	5.3%	7.4%	5.4%	10.9%	0.0%
その他	2.4%	3.2%	2.4%	1.5%	3.6%	1.6%	0.0%

- 平成 29 年に実施したアンケート調査の結果と比較すると「地域の資源を活かしたまちづくり」、「地域コミュニティの再構築・活性化」、「あらゆる主体の協働の先進事例」、「NPO・市民活動団体の活性化」の4つの回答割合が上昇している。
- このうち「地域の資源を活かしたまちづくり」とする回答割合(38.4%)が平成 29 年に実施したアンケート調査の結果(33.0%)から 5.4 ポイントと最も上昇している。

図表 134 【過去比較】協働のまちづくりを進めるためのイベントで興味・関心が持てるテーマ

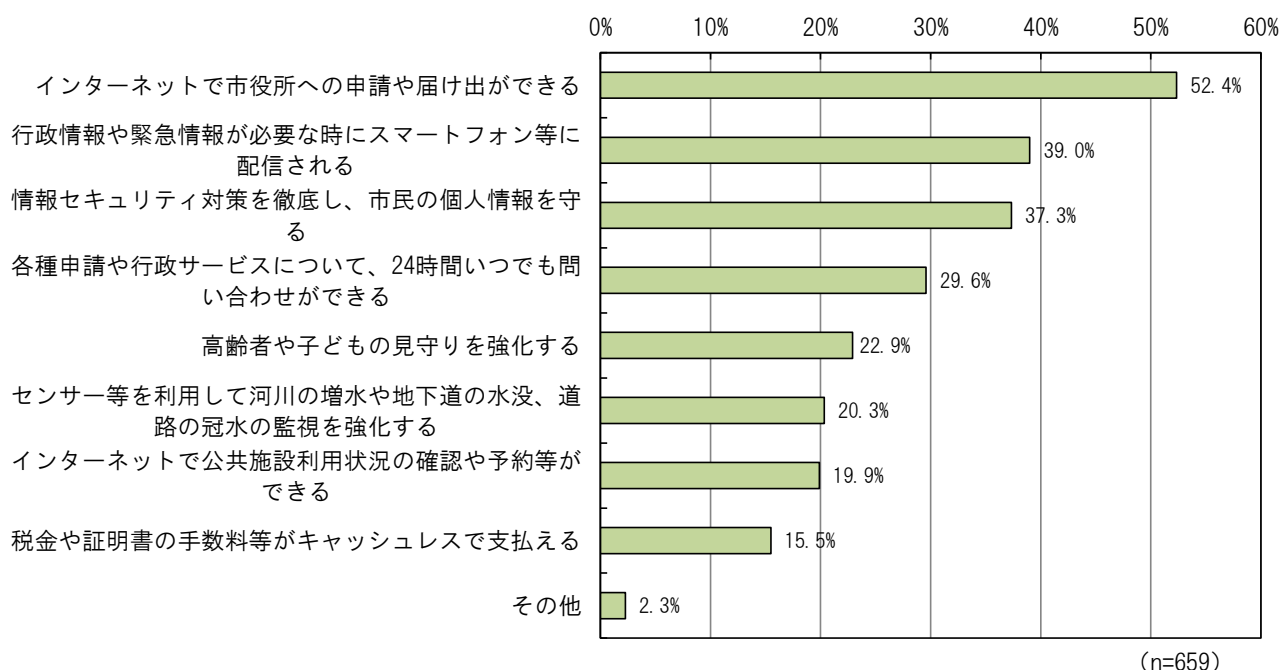


(16) デジタル社会・行政サービスについて

問41. 安曇野市において、市民の皆さんの利便性の向上のために取り組むべきデジタル化の内容として、必要と思うものは何ですか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 利便性の向上のために取り組むべきデジタル化の内容として、必要だと思うものについては、「インターネットで市役所への申請や届け出ができる」が52.4%と最も高く、次いで「行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される」(39.0%)、「情報セキュリティ対策を徹底し、市民の個人情報を守る」(37.3%)と続いている。
- ・ 年代別で比較すると、若い年代ほど「インターネットで市役所への申請や届け出ができる」や「税金や証明書の手数料等がキャッシュレスで支払える」とする回答割合が高くなる傾向にある。
- ・ また、年代が高くなるにつれて「情報セキュリティ対策を徹底し、市民の個人情報を守る」とする回答割合が高くなる傾向にある。

図表 135 利便性向上のために取り組むべきデジタル化の内容



図表 136 【年代別】利便性向上のために取り組むべきデジタル化の内容

	合計 (n=659)	18~20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
インターネットで市役所への申請や届け出ができる	52.4%	72.5%	73.8%	60.6%	58.9%	44.2%	27.4%	40.0%
行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される	39.0%	35.3%	36.9%	38.6%	39.5%	43.0%	33.3%	100.0%
情報セキュリティ対策を徹底し、市民の個人情報を守る	37.3%	23.5%	26.2%	30.7%	38.8%	40.6%	50.4%	40.0%
各種申請や行政サービスについて、24時間いつでも問い合わせができる	29.6%	23.5%	27.7%	29.9%	38.8%	27.9%	26.5%	0.0%
高齢者や子どもの見守りを強化する	22.9%	17.6%	24.6%	13.4%	17.1%	24.2%	39.3%	20.0%
センサー等を利用して河川の増水や地下道の水没、道路の冠水の監視を強化	20.3%	17.6%	29.2%	12.6%	21.7%	20.6%	23.9%	0.0%
インターネットで公共施設利用状況の確認や予約等ができる	19.9%	21.6%	18.5%	23.6%	24.0%	20.0%	11.1%	20.0%
税金や証明書の手数料等がキャッシュレスで支払える	15.5%	33.3%	21.5%	18.1%	15.5%	12.7%	6.0%	0.0%
その他	2.3%	2.0%	4.6%	2.4%	2.3%	1.2%	2.6%	0.0%

その他

問41. その他、市へのご意見やご提案などあれば記載してください。(自由記載)

- 自分が当事者であったり、関心がある分野についての質問でないものについては、現状について知らないことが多く踏み込んだ回答が全くできませんでした。この回答でお役に立てるか不安ですがよろしく願います。
- 安曇野市に移住して 8 年目になります。自然豊かな文化・芸術の街としてとても気に入っています。安曇野を広く知らせるためと住む人に誇りを持てるためにも「車のナンバープレート」が「安曇野」になることを強く望んでいます。
- 学生が利用しやすい公共交通機関を充実させてもらいたいです
- 安曇野市と言われても穂高・豊科・明科地域では発展しているが、三郷には何の恩恵もない様に感じている。困ったら民生委員の方に相談を…と言うが、誰が民生委員なのか知らない。アズミンが使いにくい。
- 上記(SDGs)の様な専門用語が度々出てきて理解しがたい質問が多かった。かみ砕いた説明や分かりやすい内容にして頂きたい。
- 精神障害者、貧困者にもっと手を差し伸べてほしい。
- 勘左衛門堰などフェンスがさびて破損されています。散歩コースでもありもう少し堰などの整備が必要と思います。台風や集中豪雨などにより河川の氾濫や土砂災害を引き起こした後があり、まだ整備されていないところがめだちます。再豪雨になるまえに対策をお願いします。ウクライナ戦争で麦など不足になってきている。この安曇野で麦の栽培に力を入れて全国に発信してみたらどうか？安曇野市から全国へ、玉ねぎの次に大豆・小麦どうですか？空き家が沢山あります。難民の人の受け入れ、コロナで住むところのない人(低賃金者)に提供していったらどうか。ため池での幼児、子供の事故があります。再度危険がないか安曇野での再確認をしてほしいです。
- ウクライナの難民の方々を安曇野市へ移住・生活支援・仕事等の支援
- 介護用品補助券等の利用可能施設等情報が HP ではなく、券郵送時に同封されてくるが、HP 上でも PDF データで掲載してほしい。紙ベースではなく HP 上で知りたい情報が全てわかれば便利。HP で最新の情報が載っていない分野があり不便。
- 不育症、不妊症の制度がありとてもありがたい。子どもを安心して育てられないと人口減は避けられません。無償化できるところは積極的に無償にしてほしい。子育て世代にやさしい市であってほしい。認定子ども園の 2 号認定を産後半年から 1 年にしたい。拾ヶせぎの掃除や管理を地域や学校に丸投げするのではなく、しっかりと市で管理してほしい。年度末に不要な歩道の増設をするのではなく、各学校に各クラス電子黒板が入るような予算の使い方をしてほしい。
- 人口減少に伴い、幹線道路沿いでも空き家が多く目立ちます。貴重な田畑を守るためにも、空き家対策を市民全体で考えていく必要があるように思います。
- 新しい総合体育館は全くもっていらなかったと思う。観光や自然維持の為に資金とすべきだったと思う。
- 山や湧水など貴重な自然の資源は外国資本に売り渡さないでほしい。取り返しがつかないという不安がすごくある。それらの資源は直ちにお金に換わるものではないが故に、長い目で、行政に守ってほしいと思う。
- 若い(子育て者以外の単身者だったり夫婦 2 人暮らし)人向けのイベントや講座が他市(飯田、諏訪、松本(他の市町村には住んだことがないのでわかりません))に比べて圧倒的に少なく感じます。
- 今や行政もサービス業であると考え。月曜日～金曜日、8:00～17:00 という考え方は現代社会に合わない。最近の事で言えば、確定申告の相談などは、市の財政の収入の一部を確保する大切な事であるな

ら、労働している市民に合わせて平日はもちろん、土日夜間等対応するべきだと思う。そもそも相談日を設ける期間も短いのも考えものである。いろんな事を含めて、公務員の考え方、働き方等改善の余地がある。

- 一番気にかかっているのは、車の運転免許を返した後、買い物や銀行 etc 動くのにデマンドだけの利用ではままたらぬ。時間に余裕があったとしても色々周ってから目的地へ移動するのはいかがなものかと不安です。タクシーで移動ばかりでは大変だろうと思っています。皆さん近くで買い物をしたいのでスーパーも遠いし歩いていくにはとても遠いとなると荷物を持って帰ってくる頃には何とかならないと…病院にも通うようになるので充実していないのが不安です。
- 無言清掃は本当に意味がないと子供が言っています。
- 合併して十数年経過したわけだが、昔のまま。町、村のまま全然やっている事がかわらずのまま!!合併した意味が無い!市役所の職員の質が悪い!!とても民間の企業では通用しない!!2年や3年民間でいろいろと勉強してきた方がいいと思う。職員の中には使えない人間が多すぎ!パソコン出来たり勉強できればいいんじゃないかと人間として最低これだけはという常識がない奴が多い!!
- 「公共施設予約システム」がとても使いづらいです。インターフェースの改良をお願いします。
- 移住(他県から)も大切だと思いますが、もう少し安曇野の田園風景を残す事も考えてはどうでしょうか? 難しい事かもしれませんが、後を継ぐ人もいなくなっていますが、農業の魅力も掲げながら、そして他県から来る人々も昔からいる人も笑えるような市にはいかがでしょうか? 今ほとんどの人はどんな人? わからなくなってきています。昔みたいに近所づきあいが少なくなり、更地になるとすぐ家がたたり、知らない人ばかり、又笑いあえる日々がくることを願います。
- 20~50代位はほぼ共働きなので、地域の行事の活動にとっても負担を感じている家庭が多い。子どもいる中年配の方たちと同じ仕事量で地域のことをやることに疑問を感じている。また年配の方たちにはこのようなことをあまり理解されていないと感じる。移住を迷う理由のひとつにいかならでは地域の活動がある。教育委員会や市などの大もとが発信してくれないと地域ごとで改善していくのは難しい現状。
- 色々な施設等旧豊科町が中心にならないよう切に願います。
- 先日高齢者向けにしゃくなげの湯の利用券の申込申請書が届きました。必要な人は記入して返送して下さいとのこと…。不要な人にとっては紙と郵便代のムダで本当にもったいないことだと思います。情報は広報やインターネットで充分です。これからも文化・芸術に力をいれる安曇野市であって下さい。応援しています。
- 市内病院の産婦人科などの充実など必要と思う。小学生の通学路はまだまだ危険な場所があります。歩道の整備を進めて下さい。(北穂高地域など)
- 回覧板は紙を使って回すのではなく、オンライン化して欲しいです。
- 市役所の利用がしにくい。平日の昼間は仕事をしていることが多いので、半休や有休を取らないと市役所への相談や申請が出来ない。周りでも困っている人が多いので、土曜のAMや仕事が終わってからでも利用が出来るような体制を作ってもらえると助かる。商業施設(スーパー等)がたくさんあるのは良いが、借家やアパートが少なすぎる。色々な理由で家を建てるのが難しい人達も多いので、借家やアパート、マンションの建築も増やしていったほうが住みやすくなると思う。
- 職業柄多くの世代と関わるが、40歳代以下の非正規で働いている人が多い。もし安曇野市で結婚している世帯が少なく、子どもの数も減っているのだとすれば、低賃金で働く男女が多いためではないだろうか。長く安曇野市を残していくためには、高齢者支援だけではなく、若年層への経済的な底上げが必要だと思う。

- コロナウイルスの影響でここ数年は地域活動が全くできていない。模範となるような事例を紹介して、活動を少しでも行っていないと地域活動が衰退していく。市が中心となってアクションをおこしてほしい。
- 家族の問題を家庭の中で解決するのは難しいと思います。例えば、子育ては親がすることが何故に前提とされているのでしょうか？（閉ざされた中で虐待が起きる一因）私たちは根付いている考え方を変えていかなければ、全ての人が生き生きと健康で暮らす持続可能な社会の実現にはならないと思います。例えば子どものシェアハウスを作ってしまうというのも行政の出来るハコモノの 1 つなのでは無いでしょうか？
- 市民の不満に対しての対応が各部署で雑すぎます。それぞれ確実に解決して下さい。形だけでない行政を希望します。変わってください。
- 新しい体育館の利用やイベント等を活用していただきたいと思っています。
- 各課の諸手続きについて迅速対応を願う。異動時期による引継事務が悪い。（対応が後手、曖昧な事がある。）（スムーズな引継ぎを願います。）
- 今回アンケートに答えてみて日頃市の活動についてあまり関心を持っていない事に気付きました。市民として市の活動をもう少し知る必要があると思いました。最近新築工事が多い一方、空き家も増えているように感じます。自然環境を維持しながらの住宅対策をお願いしたい。犬が入れない公園が案外多いのですが、外国の様に人も犬も公園で楽しめるようにして欲しいと思います。ほとんどの飼い主はマナーを守ります。
- 市内にも映画館を作ってほしいです。工場ばかり作られてもいけないので。
- 交通事故共済（他の中信市町村が加入しているのに当市だけ未加入？）以前の 1 日 1 円保険？への加入。
- 高校 1 年生の子どもがいます。医療費の拡充は大変ありがたく思っています。通院で池田町に通っています。バスの本数が多く各種方面にバスが出ていて利便性が高いと感じています。あずみんも良いと思うのですが、予約が難しかったり、とれなかったりするので、病院、公共の施設、スーパー等へ行く周遊バスがあると良いと思います。常々豊科郷土博物館は展示の内容もよく、特別展も工夫されていて楽しみにしているのですが、外観が古くなっていて損をしていると思います。花を置いたり、できればぬり替えをして、是非多くの方に見て頂けるようにして欲しいと願います。
- ファイザーは 1291 種類のコロナワクチン有害事象リストを公開しました。名古屋では「長期的な副反応相談窓口」を市が 3 月 25 日より開設しました。安曇野市もやってほしいです。
- 現在となり組の離脱が増えています。今後の運営について整備する時と思います。ゴミ（生ゴミ）の処理についての推進をお願いします。キエーロ、コンポスト、雨水バケツの補助金などの推進をお願いします。
- もっと障害者に住みやすい市にしてもらいたい。
- 安曇野市への転入者 3 位と出生数 15 番目という資料の結果から高齢者の転入が多い若い世代が入って来ない事が考えられます。若い人の働く場所、問 38 について取り組んでほしいと思います。自然豊かな安曇野の活性化のために必要だと感じます。
- 市の文化面での施策に期待しています。
- 明科駅前周辺の再開発、活性化に市の指導、協力をお願いしたい。
- こどもを自由に走らせてあげられる広い公園がなさすぎ。
- デマンド「あづみん」の利便性の向上、利用可能時間・曜日の拡大、混雑時の増便。視覚障害者への配慮、信号機の通行（歩行）可能時の音による案内（スワンガーデン横安曇野インター入口等）、歩行者道路（歩道）の整備と路上の障害物除去。
- 安曇野市は公共交通機関の便がとても悪く、自家用車が無くてはならない存在です。温暖化防止のため

にできることを早急に取り組んでください。

- 他地域から安曇野に遊びに来る人に特徴あるスポットが少ないので、どこがおススメだと言えない。特に子どもが楽しめる施設や場所があると良い。移住者を多くするために住宅用土地がもっと多くあると良い。調べた事があるが、すごく少ない。また住宅取得の補助金の充実をしてほしい。
- 老後の交通についてタクシーなどの無料化等、交通に関して充実して欲しい。
- 特に専門性の高い部はそれなりに資格をもった方を配置していただきたい。職員が知らず何回も足を運ぶ事も多々ありました。
- 他の市町村のような子育て支援センターを作ってほしい。児童館だけでは不十分だと思う。(特に未満児にとって)塩尻市の支援センターはとてもよかった。松本市も充実していると思う。安曇野市で子育てをするのはとても不便。もっと子育て世代に配慮してほしい。高齢者ばかりに向けた施策だと感じる。遊具のある公園も防災公園か南部公園しかなく、休日は人があふれかえっていて使いにくい。高齢者ばかり配慮した町だと、どんどん若者はいなくなってしまうと思います。
- 地域では高齢化が進み、毎年役員決めで時間がかかり、役員になるのなら個人会員になると地域から抜けてしまう人までいます。市との連携により役員がやりやすい方法はないでしょうか？高齢者はスマホ、パソコンが出来ない人も多く、年齢も制限されます。
- 「広報あづみの」は皆見ないし、ムダだと言っている(すぐ捨てている人が多いです)→チラシ風かインターネットでOK
- 大きな体育館の今後の維持費などが心配。その事が住民税などになる事は許されない!!これからの行政の道を見ていきたい。行政は「うつわ」では有りません。
- 1979年安曇野に移り、あれから43年、私たちの住んでいる所もずいぶん変わりました。その頃は来る方みなさんが環境のいい所ですね…とうれしかったです。今は住民も多く、自然も少しずつ破壊され悲しいです。墓地公園の北側のからす川から東の方へ遊歩道があればいいなあと思ったりしました。散歩する方がふえて、健康のためにも…
- 自家用車がなくても病院・買物等に不便を感じないような体制作り(特に高齢者にとって)
- 有線が廃止されてから外でお知らせが流れても、ハウリングなのか反響なのか聞き取り難いので、うるさいだけになっている。もっと数を増やさないと聞こえない。又、話し方がゆっくりと心掛けて下さっているが、行間をあけているだけで言葉の1つずつをハッキリゆっくりでないと30代の私でも聞こえないのに高齢者や難聴の方は理解できないと思うので、話し方・反響を改善してほしいです。特に女性の声だと周囲の音で掻き消されます。
- 田多井地区サル柵について。日曜日等に、少ない日当にて作業を行っているようですが、最低賃金・法定休日労働などの問題には抵触していませんか。又、市は把握していますか。
- 今さらですが市役所の駐車場が少なすぎます。安曇野市は県外の方からのイメージが良く、ほめられることもしばしばです。市民が市民であることを誇りに思えるよう、より良い市になるよう期待しています。
- 空家対策として空家に接した農地は農家資格が無くても空家と共に取得できるように。近隣の町村では行っているようです。
- 新店舗の誘致など、活性化するために市民の意見も取り入れて欲しい。望まない店舗がきても、ムダなだけ。
- 問28にも記入したがあずみんの改善を早急をお願いします。豊科中心のあずみんではダメです。
- 子供が学校へ向かう通学路が田舎道で見通しが悪く危ない所が多すぎる。通学路だと周知されていないせいか車がスピードを出して通る。看板等設置してもらえたらありがたい。子供の命を守るためよろしく願

いします。

- 死亡時の手続きが大変と聞いたが、役所での一元化ができるようにしてほしい
- 生活上困った事があって役場に連絡しても電話口では丁寧に言っているがやる事が非常に遅い。コロナワクチンの時もっと市民の立場にたって、安曇野市として早く動いてほしかった。問い合わせをしても人ごとの様な対応であきれた。
- まだ越して来て1年足らずですが、近くに多くのお店があってとても行動しやすいです。松本や長野も近く、いい所だと思います。又何千人といる中の2000人のうちの1人になれた事を光栄に思っています。参考になれば幸いです。
- 千曲市の様な駅、観光地を基点とした公共交通(バス)
- 人口減少は日本でおきていること、安曇野市だけ増加するのはむずかしい。今後は減少した場合のことを考えて対応してほしい。高齢化→農地を買い取って市営の農業の会社をつくってほしい。ロシア、ウクライナから小麦等入って来ない。自給自足できるような市になってほしい。ポイ捨て多い(ペットボトル、空き缶)小、中学から教育してほしい。外国人にも伝えてほしい。
- 平均寿命の向上(介護施設充実)よりも健康寿命の向上を指向する施設、組織の充実を市として取り組んで頂きたく存じます。
- 合併後地域によって改善に差がある様に見受ける。市全体で盛り上げられるイベント(祭り等)考えていくべきではないか。今の所大きな天災にあう事なくすごしてきたが、今後絶対ないとの保証はない。いざという時素早い対応ができる様日頃より訓練等行い、そなえた方がいいと考える。
- 防災無線放送が何を言っているのか聞きにくい。安曇野サイクリングロード(アルプス大橋付近)が途中で途切れている。
- 子育て環境を隣接する市(松本や塩尻など)と足並をそろえてほしい(出来る限りですが)。例えば松本市では子どもへのインフルエンザ予防接種で補助があります。「安曇野市の方はお高くなりますがよろしいですか？」と毎回受け付けで心配されます。松本市のご家庭がうらやましいです。小さな子が天気によって左右されずに遊べる場が児童館だけという事、塩尻市の様に”あそびの広場あそぼ”など近くにあったらいいと思う。
- 1.資産、箱物(今まであった所)の利用、不用な跡地の低減化を進めてほしい。2.市の組織をわかりやすくしてほしい、数が多い?3.今回の組織変更(市役所)は良い事(市民が困った時相談しやすくわかりやすい市役所にしてほしい)
- あずみんではなく、市バスをお願いします。安曇野市内なのに、となりの地域へ行くのに、豊科まで行く予約、その先の予約と大変です。時間もわからず、電車や病院の時間にも間に合うかわかりません。乗り換えが有ってもいいので、何時にどこのバス停と計画できる市にして下さい。免許返納したら生活できません!!至急お願いします!!!ゴミ袋に地区名、名前を書いて出すのは長野県だけです(たぶん)。個人情報漏洩防止の為に、無記名の物にして下さい!!!至急!!!
- アパートに住んでいると情報が何も入ってこない。保健師さんに相談しても(TEL 番号を伝える)、何一つ連絡が来ない。
- 全く同じ質問を2回も聞いてどうするんですか?アンケートが多すぎます。もう少し量を少なくしてほしいです。あれもこれもやるのではなく、1つに集中して取り組んだらどうですか?
- 移住した人が地域に入ろうとしても、神社修繕費40万払えとか無茶を言う地域がある。大町市ではこういう難題を言う人はいない。加入率が低いのもどちらにも問題があるように思う。もったいないことだと思う。入らなければゴミを捨てさせないと脅されたり、区費を払っても地域清掃のゴミ袋をよこさないとか、言いづら

いかもしれないが市からきちんと教育してほしいと思います。個人では難しいです。

- みなさま毎日最善をつくして働いてくださっているとは思いますが、昔からの慣例などにしばられ仕事過多にはなっていないでしょうか。削れる所は削り、効率がはかれる所は新しく遊び、夢をもって、いい町にしようと思ってきました方が前向きな仕事ができる職場環境だといいなと思います。安曇野は他に誇れる場所だと思います。人が幸せになればよりすばらしい場所になると思います。たくさんの人に愛される町になるように願っています。よろしく願いいたします。
- あづみ野 FM の補助。近所 16 戸中 2 戸しか持っていない。
- 拾ヶ堰の水質、環境が汚く悪い。昔建造した人達に感謝し歴史上大切なものなのでしっかり保全してください。市主催の球技大会は廃止、中止した方がよい。理由は参加者が限定されていること。予算のほとんどが参加者の慰労会という名の飲み代になっており、皆が不公平感を感じている。南小～駐車場および宗徳寺側へ渡る横断歩道、歩道が暗く危険を感じる。田んぼがない側だけでも街灯があるとよいのでは？通学路全体的に暗い道が多い。
- LGBTQ への支援(同性パートナーシップ条例など)
- 質問事項が多すぎます。
- 明科方面へのバス利用を充実させ、増便を願います(特に日中)。
- 夜になるとどこに行っても街灯が少なく真っ暗。横断歩道を渡らない歩行者がいるので、街灯が少ないから見えなくて危ない。もっと街灯を増やしてほしいです。
- 同じ市内でありながら、県道の部分と市道の部分で歩道の設置に違いがありすぎる。三郷地域の大型農道と堀金地域の農道の歩道に関して堀金方面は幅広い歩道がスピーディに出来上がったが、三郷方面は全然進んでいない。怖くて、道路の端を歩けない。県の管理する部分と市の管理する部分という問題が関係しているらしいが市民が県の議員もだしているのだから、強く要望して早々に歩道が梓川までつながるようお願いしたい。
- 職員の対応が事務的で横柄(接客マナーを求む)
- 公共交通の充実(バスなど)を強く望みます
- 特に高齢化に対する対策が必要
- 市政の可視化。老人～子供まで理解しやすく目につきやすい情報提供の方法を考えてほしい。活字では難しいと思う。書類等を複雑にしないでほしい。手続きも複雑にしないでほしい。高齢者に出向かせることは非常に大変な事である。(支所を多くする。職員が伺うなどにしてほしい)市職員はやってあげているのではなく、やらせてもらっているの精神で。
- 新しくなった太田市政に期待しています。ワンランクアップを望みます。
- スマホを見ながらの運転者が多い。注意が必要。安全な町を願っています。
- 安曇野市の総合計画や基本計画は質的にオソマツすぎる。質の高いお手本の事例が、他市や他区にくつつか存在するので、それらを謙虚に学んで役に立つ計画、施策を構築すべき!その為にも当該計画策定のアドバイザーは、もっと知識・経験豊富な実力者を選定すべきである。又、『防災・減災』について、当アンケートでも超簡単な扱いしかしていないが((8)の一部で取り上げているだけ!!)、行政の最大の役割は「市民の命と生活を守る事」なので、当該観点から抜本的な意識改革をしての基本計画策定をすべきである。
- 未来を担う子どもたちを育てるのに住みよい街を目指し、今後ともご尽力をお願いしたい。
- 通学路が左右移動せねばならない地域です。事故も多い(スワンガーデン北、高速道下、市道(田沢～市役所))のでなんとか改良をお願いします。

- ポストを市役所側にいただき助かります。ありがとうございました。安曇野という地名を全国の人にもっと知ってもらうためにも農産物をめざましジャンケンのプレゼントにして欲しいです。プレミアム付商品券の発行は本当にありがたいです。500円券も今回はあったので使いやすかったです。できれば毎年発行していただけるととても助かります。(無理だと思いますが)市役所を入ったところに居る案内係の人、いつも女性が2人ですが、感じの良かったです。ハケンの方でしょうか。しかし女性だけでなく良いのではないのでしょうか。男性が居ても良いと思います。
- 今の70代より上の方達がいなくなった後の自治会活動や各地域のお祭りは壊滅状態におちいるのではと思うくらいその年代の人達で保たれていると思う。たぶん田んぼとかも同様です。何か手を打つ必要を感じます。
- 防災無線ですが夕方に鳴らしてほしい。時刻の知らせ、防犯のためにも
- 定年後の再雇用で今年3月末まで就労しており、地域の中での課題等についてあまり深く関わる事が少なく過ごしてきてしまいました。又、子育て世代でもなくアンケートには現状についてもあまり知らない事が多く大変申し訳ありません。満足度についても、他の地域と比較して、満足度がどうか？今後の重要度についても、重要でない物はひとつもないと思われます。コロナ禍でもあり現状の把握も評価が難しいです。役に立たないアンケートになってしまいました。唯一誇れるのはこの空気と大自然の中で安心して過ごせる毎日だと思っていますのでよろしくお願い致します。
- 穂高有明新屋地区在住25年になりますが、水道水が臭くてまずくてどうしようもありません。なんとか改善できないもののでしょうか。名水の里の名折れです。
- 山麓線(有明)の道路整備。拡幅、歩道設置
- あづみのし→あずみのし 安曇野市 Azumino 「ず」の方がいいと思う。
- 穂高区有明の古くなった水道管の取り替え工事をして欲しい。大地震が来たら破裂するくらい劣化しているようです。穂高区有明にある地下水(水)をくみ上げている工場が無休でやっているの、不安。資源には限りがあると思うので、くみ上げすぎではないでしょうか??
- 基本計画にともなって各課のとり組みが各人ごとの課せられる問題としていくのではなく課全体が意見交換してひとつの方向によりよい動きとしていかれることを望みます。コミュニケーションが少ないように思います。一人ずつの提案は大事なことですが、一人にまかせることのないように取り組む方法をとりあていかれるとよい力となり進んでいかれるのではないかとと思うのですが、安曇野市がよいブランド名と共に中身においても保てていかれるようにと願っています。
- 高齢になり市政や地域に貢献できる事より、ご迷惑をお掛けすることの方が多くなるとは思います、市民として健康で出来ることは参加するよう努力して行きたいと思っています。
- 安曇野日赤に分娩科を設立していただきたい。子育て支援の第一歩だと思います。
- 新型コロナの感染者がへらないのでコロナ対策の充実。小倉多目的ホールを利用しやすい様にしてほしい。市役所、支所の利用する時、職員のあいさつがない。職員教育して下さい。地下水を守ってほしい。市内にこれ以上スーパーの誘致はほらない。つぶし合いになるから？
- 安曇野市へIKEAをつくらせてほしいです。県外にしかない商業施設なのでできてほしいお店No.1です。生きている間にぜひ建ててほしいです。観光的には全国から来るとは思います。アウトドアの商業施設も良いと思います。安曇野にしかないお店があればたくさんお客様が来るとは思います。ぜひお願いします。
- 用水路の危険な場所の対策をしてほしい。見通しの悪い横断歩道があり小学生の通学が心配。
- 安曇野市の防災無線の家の放送のアナウンサーの男性の声がすごく良くて話し方にいやされる。他地域から来た妹達にもとっても評判が良くてファンの数が増えて安曇野のイメージアップです。

- ほとんど歩行者がいない道路に広い歩道が作られて実際子どもが歩く歩道は狭かったり、古くて縁石が欠けていたり、長い草が生えていて子どもが車道に回ったりしているので、改善していただきたい。なぜあまり使用しない歩道が新しく作られていくのか説明がほしい。
- アンケートの集計結果をアンケートを依頼した人には知らせてほしい。自分の意識がどのレベルか知りたい。
- 自身の生活で手いっぱいであり市のとり組みなどに興味がない。
- デマンド交通の利便性向上。障がいのある方等(障がいや高齢により身体的不自由さがある方)が利用できること。梓川地区(旧梓川村)の農道沿い商店にも行かれること。公共交通機関の導入。ある程度の路線バス網(定時運行の)大系線の駅と市内拠点を結ぶ。私自身がそうですが、市外に勤めていてほとんどの時間を市内で過ごす方が少ないかと思います。また、家庭の状況により子育てや介護のことなど普段関与していない部分の多い人も同様かと思います。各設問ではわからない場合「どちらもない」を選びしかなかったのですが、それでよかったかどうか…。市内に在住しながらほとんど市政につながりのない人の状況も把握できる項目立てがあるとよいかと思います。
- リサイクルセンターに運ばれる選定枝はチップにして処理されると聞きました。薪ストーブ使用者には焚きつけとしての需要があります。処理費用がかかるものならば、ドイツの例などを参考にし、必要な人がもらっていけるようなシステムができるとよいなと思います。(これは粗大ごみにも言えることです。)安曇野に移住してきて、高齢になるとたくさんの方がより便利な地へ転出してしまいます。将来は我が身…と思わざるを得ません。誰もが使える公共バス(定時運行)の運行が実現するとよいなと思います。
- 堀金に住んでいます。学校や駅からも遠く、どちらを利用するのも大変不便です。市内の他の地域では、スクールバスが運用されている所もありますが、堀金はなぜないのでしょうか？通学の時間に合わせた駅までのバスの運行も検討していただきたいです。ごみを捨てる時も車で持ち込まなければならず、回収場所を増やしていただけると嬉しいです。
- アンケートに求めるべき内容ではないと思う。行政がみずから考える事が足りないのではないか。アンケートを行うことは費用のムダ。
- 合併して 16 年が経ちましたがまだ昔の町のこだわりを持っている人がいる様に感じる事があります。住民の意識が変わることが大事だと思いますが、市としての一体感が持てるような方策をうち出して頂きたいと思います。
- 安曇野市内での就職先の充実→移住者の転職先・プラットホーム、つながりの増加、コネのない人々の就労支援等
- 自然環境を大切にしていってほしいです。よく図書館を利用しています。本の種類も豊富で施設も広くてきれいです。借りられる DVD の種類も増やしてほしいです。安曇野市でも PayPay や auPay のキャンペーンをやってほしいです。安曇野市が好きなのでこれからもより良いまちにしていってほしいです。
- 子どもたちのスポーツ振興のためにポータルサイトを作ってほしいです。自分の子どもが安曇野の野球チームに所属しております。私は他の市からの転入者ですが、小学生やその親がさまざまな競技やチームを知る機会があまりにも少ないと思います。学校からのちらし、スポ少の冊子、口コミ時代に対応していないと感じます。SSL 対応した信頼できる安曇野市のサイトにマイページのような形で掲載されていけば、人目に触れることも多くなり、興味をもつ方も増えるのではないのでしょうか。サイトの運営費(年会費)がかかっても良いと思っています。ご検討いただけたら幸いです。
- 民家がある地域でも、外灯が少なく夜道は心細く感じる。地域柄、田畑が多いので、うす暗くなるとは思いますが、そこを通学路にしているのであれば尚更外灯を、安全性を高めてほしい。

- 本庁舎 2F のある課を訪れたら(朝)、カウンターで居眠りしている職員が居た。仕事が無いのなら職員の数を減らすべきだ。市の総合計画よりも職員教育の方が先。
- (1)行政相談や申請に行っても1つの課で用事が済まず、たらいまわしになる。課同志が連携して職員が多忙でも市民をたらいまわしにせず、あちこち行かなくても済むようにして欲しい。(2)移住者が安曇野市の魅力を市内外に活発に発信して活動している。元から安曇野市に住んでいる人の方が活動していない。昔から住んでいる人が小さくなっていてのびのび暮せない。(3)県外から観光に来る方が「北アルプスがゆったり眺められない。ネットでPRするようなキャッチコピーの美味しい水と空気が楽しめない。」と言っている。住んでいても年々開発され、都会とあまり変わらないくらい発展してきたように感じる。いつもどこかで工事、建設、整備する音が聴こえる。(4)隣近所の干渉が多く息苦しい。お互いがお互いを信用していないので協働、助け合いは難しい。
- 住環境とテレワーク環境を整え、IT 企業を誘致
- 文化、芸術に力を入れて欲しい。施設、興行等。個人で行うスポーツの援助、イベント(ゲストを招いて)、施設の拡充
- 安曇野赤十字病院の建替時、相当の公的資金を投入した。その基本設計の中に産科の構想があったが、実現していない。この際再度病院と協議し、何とか実現してもらいたいです。市内には県営住宅があり、老朽化している。これを再構築し、リモートワークを見据え、若い人達も安曇野で働ける環境整備をしたらどうだろうか。
- 設問の”現状”評価＝満足度は、回答者の生活状況(行動範囲)に関係しているので単純に満足度として区別(評価)することは出来ないと思う。安曇野市の現状と他市との比較など含めて検討しなければいけない内容(設問)もあり未回答とさせていただきます。
- 安曇野市長さんへ。昨年の選挙当選おめでとうございました。県と太いパイプで繋がっている訳ですのでもっともっと民さんが住みやすい安曇野市になるよう大活躍されるよう期待を込め我々庶民は見ています。
- 今年の冬はとて寒く、暖房費が家計を圧迫しました。コロナ禍で家にいる事が多く、電気や灯油、ガソリン等が高値で心身共に寒い生活を過ごしました。諸事情もあると思いますが、公務員には冬期間光熱費がもらえるとの事を聞きうらやましく思っています。人は皆平等と言いますが違いますね。
- ゴミ袋の価格が高すぎる。松本市と同じくらいにしてもらいたい。
- 子育て支援をより充実させてほしい。
- 薪ストーブを推奨しているが設置基準や排気臭への取締まり法を決めてほしい。ブームとはいえ、多くの家が設置する事による大気汚染、灰による健康被害が出るはず。冬の空気を燻い臭にしないほしい。
- アンケートが長すぎです。ダラダラ感がありました。もっと簡潔にお願いします。
- 安曇野の自然(水、緑、小動物など)を大事にした政策を宜しくお願いします。(私も省エネ、ゴミの減量などを気にかけて実行していきます。)市の職員の方々の温かい対応に感謝しております。人材育成大事ですね。
- これ以上開発してほしくない。都会化してほしくない。既に田園風景が失われているではないか。
- ①コロナ禍の中でのオンライン授業、今後どのような問題が起きるかわからない。是非できるようにして下さい。②脱炭素化の目標を定め、住民への周知、企業への徹底を。③水資源を大切に。田畑の埋めたての汚染物質はないか。
- 子育て手当が3才から減額になるのはどうかと思う。保育園(こども園)、小中高とお金がかかってくるのに…。せめてそのまま…。出産時の自己負担額があまりすぎる。国の一時金だけではムリ。安曇野市は出産金はゼロです!くらいやらないと、出産しようと思う人は少ないし「子供は一人で。」と思う人が多くなる。子

育ての為に移住!とか子供沢山欲しい!と言う人がいなくなりますよ…

- 市政にはだいたい満足しておりますが、2点ほど改善してもらいたい事があります。①観光といっても市外から見て観光といえるのは穂高がほとんど。豊科は目玉がありません。もっと自然を有効に使った物を考えてもらいたい。②最近豊科、穂高にショッピングタウンができますが、もう店はいらないと思いますし、道路は渋滞すると思いますので、その対策はどう考えていますか？又、店がたくさん出来る事への同業他社への影響は大丈夫ですか？
- 穂高、豊科のプールがなくなった事はとても残念でした。子どもが夏は小遣いを持って楽しみに行く場所だったので…。老朽化が進んでいたのはわかっていましたが、穂高プールは唯一学区内(南小管内)で子どもだけで遊びに行けるプールだったので、また何かそれに変わる物が出来たら今の小学生、中学生、若者達が喜ぶのではないかと思います。
- アンケート内容が多すぎます。これでは解答する人が少ないのではと思います。《それがねらいかな？》
- ANC アリーナの必要性が未だに理解できない。恐らく多額の維持費がかかるのだろうが、その収益はどこから生まれてくるのですか？今後アーティストのコンサート等でも活用できたりするのでしょうか？それとは別に、子供の通学路や駅へ向かう道等、歩道が無さすぎる。グリーンベルトだけでは、車から歩行者を守る事はできないと思います。道路の整備が全くと言っていいほどできていない。
- 車の免許を持っていない市民の足となるような、バスやトラムなどの公共交通機関を、安曇野市中で充実させていただきたいです。高齢ドライバーによる事故を減らせたり、環境にも良いと思います。
- 限られた予算であれもこれも総花的に施策を打ってもダメ。また未だに箱モノしか作れない市の施策は時代おくれ。近くに松本市、塩尻市があるのに工業団地を作って企業を誘致しようとするのは愚の骨頂です。では何をすべきか？大王わさびー田んぼが美しい風景ー穂高駅周辺ー山麓線周辺のカフェ・ギャラリーーを一带として観光ブランド化。自転車で回る観光客が安心して回れる道や施設。長期滞在化。あづみ野市までに自転車道はあるにはあるが、ツーリストが楽しめるカフェも店も道沿いにない。もったいない。市長も代わり市の役人、職人に期待しています!!期待を裏切らないで下さい。
- このアンケートを通して、自分に興味なかった質問や、自分の身近にない子供への質問など、また他にもありますが、①現状の満足度「どちらともいえない」に解答してしまいます。①現状の満足度の欄に「わからない」「答えられない」などの項目があってもいいのではないですか。わたしの様にわからない事には、「どちらともいえない」と解答する人もいると思います。今後の参考にしていただければと思い一言書かせていただきました。
- 部分的な通勤時の渋滞の緩和など、私達の身近な1日1日の生活の中で改善してほしいこともたくさんあると考えています。大きな目標だけでなく、市民の小さな声にも耳を傾けていただき、安曇野市が市内外にもそして日本全国にも誇れる「私たちのふるさと」であってほしいと願っております。
- 毎年70歳以上・障害者に入浴料の割引券の申請書が送付されてきますが、車イス生活の年寄り又は足の不自由な者は温泉へは行きませんので別のものに変えてほしい。安曇野市内、全ての道路の白線・黄色線をはっきりと塗り替えてほしい。事故をなくすために。
- いろいろな手続きがもっと簡単になるといい。例えば、いろいろなチラシなど見られずに捨てられていくものが多すぎて資源がもったいないと思う。空き家をもっと活用しやすくしてほしい。土地も。いろいろな事業やシステムを作っていくことも大切かもしれませんが、必要ない物はけずって行って、もっとシンプルな生活ができるように、大自然のようにシンプルな市にしてはどうか。今は、たくさんの情報がありすぎて、さがすことや選ぶことも大変。
- 一時停止する、脇道から出る時優先道路の車が来ている時は出てこないようにするなど、道路交通法を

大人にもう一度教えてほしい。怖くて運転ができない。飲食店・スーパー・道路が混みすぎる。出かける気がなくなる。市役所、支所の職員の数が多すぎる。コロナ対策が、住民税非課税世帯や、小さい子供ばかりである。1人っ子世帯にお金の支援は必要ない。1人っ子はお金に余裕あり。大学生にコロナ支援してほしい。長時間かけて書いたこのアンケートが活かされる事を願う。

- 協働まちづくりが必要であるならば、市で何が出来ないのかを、もっと市民にさらけ出す必要があると思います。かならず市と共に汗を流してくれる人はいるはずです。
- 多額の借金をしてまでの建造物は要らないので今ある物を大事に有効利用してほしいです。健康で安心安全第一で10年後、20年後により住みやすい安曇野を期待しています。
- 小学校のトイレを和式から洋式への変更を早急をお願いしたい。松本市はすべて洋式になったとお聞きました。子供がトイレが臭うのであまり学校のトイレを使いたくないと言っています。
- とにかく、交通が不便すぎる。大糸線の列車はほぼ1時間に1本しか来ないし、あづみんは平日の4時までしか運行しないし、運転出来ない身としては、いずれは交通網が発達している所に引っ越したいと思っている。
- 隣の市町村とやっていることがほとんど同じような気がする。
- 豊科駅にエレベーター設置、高齢者や障害者が利用しやすい駅に改修を希望。階段などは負担で利用しにくい。
- あづみんバスの本数を増発希望
- 豊科駅と日赤病院、市役所間の無料送迎バス導入など。
- 自宅前の市道整備希望。路面が凸凹で大型車の通過で騒音が激しい。大型車の速度の取り締まりも強化してほしい。
- 安曇野市の交通機関の充実をお願いしたい。あづみんの土日祝日、夜間利用など、車がなくても利用しやすい街にしてほしい。また、サイクリングも多いので、街のセブンイレブンにレンタサイクルを置いてほしい。
- 安曇野市は、郷土愛ある人が多い印象ですが、その反面、当地が一番と意地を張り、よその物を排除する傾向にある人も多く、県外出身者にとって住みにくい環境なので、市民には、他地域への理解を深めてほしいです。
- 市の職員は市民に非常に冷たい。そっけない態度、周りの職員も我関せずな態度。仕事をやっているように見えない。一般企業であればリストラ対象要因。また破綻する。なんか勘違いしている職員が多い。
- SDGsがまるで 原理原則であるかのような上からの押し付けには、違和感を感じる。何故 どういう観点で必要があるのか、ないのか、 先ずそこから説明すべきである。
- 区活動事業の負担軽減(活動事業が多すぎる)→ 過疎地域及び高齢化で区役員の選出困難
- 例えば複数年度の市道整備計画。何らかの事情で途中年度で停止しても付近住民にさえ知らされない。住民が市のホームページを検索しても載っていない。問い合わせろというのが役所の理論？そういう発想から改めるべき。
- 市役所職員の削減。市議会議員の定数減と報酬減など税金を有効に使うこと。人口が減少するのに前述が比例しないのは違和感があります。市役所の各課の業務統合。アンケートをしっかり活かしていただきたいです。
- 質問が長すぎます。疲れた。再確認はムリ。
- 若い世代がこの市に移住し安心して出産、子供を経済的にかつ環境的に育てられる支援をしていかないと、人口が減るばかりで、高齢者のみが残される。次世代を担う子供達を増加させる施策をどんどん打ち出して欲しい。

- アンケートの設問が抽象的、具体的な施策を示してアンケートを行うべき。バラ色の総合計画より明確な方向性を示した物が必要。合併してもまとまらない現状をどのように行政は考えているのか疑問。行政内部に問題有り
- このアンケート回答がしづらい。設問内容が少し誘導されているように感じる。
- 質問の量、内容、回答例、どれもひどすぎる。本当の意味で市民の役に立つとは思えない。どこかの会社への委託アンケートならやめてほしい。このつまらないアンケートを考えた人の顔が見たい。
- 水道料金でクレジットカード支払いができるようになる。風俗店舗の許可。
- 林を伐採して太陽光発電を設置するのは避けてもらいたい。

設問別 その他の意見（自由記載）

問1(3) 主に従事している職業等 その他の内容

- 農業
- 看護専門学校非常勤講師
- アルバイト週1日
- シルバー人材の派遣(半日)

問1(4) 通勤先、通学先の市町村 その他の内容

- 伊那市
- 横浜市
- 岡谷市
- 下諏訪町
- 茅野市
- 京都
- 県外に在住
- 山形村
- 小諸市
- 松川村
- 上田市
- 諏訪市
- 須坂市
- 生坂村
- 辰野
- 池田、生坂
- 池田町
- 中南信
- 朝日村
- 長野市
- 東京
- 東京都
- 白馬村
- 北安曇郡
- 名古屋

問1(6) 出身地 その他の内容

- 伊那市
- 岡谷市
- 下諏訪町
- 茅野市
- 高森町
- 佐久市
- 山形村
- 四賀村
- 小谷村
- 松川村
- 松本市
- 上松町
- 上田市
- 諏訪市
- 生坂村
- 青木村
- 千曲市
- 大桑村
- 辰野町
- 池田町
- 筑北
- 筑北村
- 中野市
- 長野県下伊那郡
- 長野市
- 長和町
- 東御市
- 東筑
- 東部町
- 南木曾町
- 白馬村
- 飯山市
- 飯田市
- 北安曇郡
- 北安曇郡松川村
- 北安曇郡池田町
- 北信
- 明科
- 明科町
- 木曾郡
- 木曾郡木曾町
- 木曾町
- 木曾町福島
- 木祖村
- 茨城
- 茨城県
- 岐阜
- 宮城
- 宮城県
- 京都府
- 群馬
- 群馬県
- 広島県
- 香川県
- 秋田県
- 新潟県
- 静岡
- 静岡県
- 千葉
- 千葉県
- 長崎
- 島根
- 徳島
- 栃木県
- 富山
- 福岡県
- 福島県
- 兵庫県
- 兵庫県豊岡市
- 和歌山県

問1(7) 安曇野市での居住を始める前に居住していた都道府県・市町村 その他の内容

- 阿智村
- 伊那
- 伊那市
- 茨城
- 岡谷市
- 茅野市
- 旧安曇村
- 駒ヶ根市
- 高森町、池田町
- 佐久市
- 山形村
- 四賀村
- 松川村
- 上田市
- 諏訪市
- 須坂市
- 生坂村
- 千曲市
- 辰野町
- 池田町
- 筑北
- 筑北村
- 長野市
- 東御市
- 東筑摩郡
- 東筑摩郡山形村
- 南木曾町
- 波田町
- 売木村
- 白馬村
- 飯田市
- 北安曇郡松川村
- 北安曇郡池田町
- 北信
- 明科
- 木曾町
- 愛媛県
- 茨城県
- 沖縄県
- 岐阜
- 岐阜県
- 宮城
- 宮城県
- 京都府
- 熊本県
- 群馬県
- 広島県
- 高知
- 高知県高知市
- 三重
- 山梨
- 山梨県
- 滋賀県
- 新潟
- 新潟県
- 静岡県
- 千葉
- 千葉県
- 長崎
- 栃木県
- 奈良県
- 八王子市
- 富山県
- 福岡県
- 福島
- 福島県
- 兵庫
- 兵庫県神戸市
- 兵庫県尼崎市

問2 世帯状況 その他の内容

- 4世代同居
- グループホーム
- パートナー
- 四世代同居
- 親、子、祖母
- 親子2人暮らし
- 親一子一夫
- 同居人との二人暮らし
- 同居人一人
- 同棲
- 二世帯と兄弟
- 二世帯別居
- 夫婦と子
- 妹
- 娘と二人

問3 あなたは安曇野市での生活にどの程度満足していますか。 その他の内容

なし

問4 あなたは、これからも安曇野市に住み続けたいですか。 その他の内容

- こだわりはないので、子供が大きくなりよい所があれば移るかも。
- わからない
- 海外に行きたい
- 近くの市町村でもいい
- 今は県外に在住していますが戻りたい
- 今は考えられない
- 今は良いが、いずれ交通網が発達した土地に引っ越したい。
- 今後どうなるか分からないから
- 持ち家があるけれど、どうなるか分からない
- 自家用車が運転できなくなった時に考える
- 自動車運転の問題。高齢になった場合、大都市に移動することもありか。
- 実家は松本市
- 出身地に戻ってみたい気持ちもある
- 出身地の名古屋に戻りたいと思う時もある。
- 将来どうなるか分からないから
- 将来は未確定
- 親が活着ている間は住みたいが、そうでなくなったら移住も考える
- 他に住む予定がない
- 転勤型の職業のため。

- 特にこだわりはない
- 福島
- 明日の私が何を考えているかわからない
- 様々な場所に住んでみたいので。
- 理由はなし
- 老後について考え中

問4(1) 安曇野市に住みたいと思う理由 その他の内容

- アルプスが良い
- お墓を守りたいから
- 安全
- 家族がいるから
- 環境が良い
- 近所の人が良いから
- 景色が好き
- 景色が素晴らしい、薪ストーブのある生活が最高。
- 景色の良さ、登山が好きなのでアクセスが良い
- 山々が美しい
- 自然が素晴らしい
- 自然に恵まれている。近隣含めて医療機関に恵まれている。
- 自然環境
- 自然豊か
- 宗教的に…
- 住みやすい環境
- 松本に近い
- 生活に慣れているから
- 適度な地域環境=静かな田園と程良い距離に商業、医療機関がある。
- 徒歩圏内に商業施設があるから
- 土地があり、生活に不便を感じないから
- 農地があるから
- 比較的災害が少ない
- 便利だから

問4(2) 他の市町村へ移りたい理由 その他の内容

- 海の近くに住みたいから
- 車の運転が荒くて怖いから
- 出身地に親がいるから
- 松本が好き
- 親と一緒に住む為
- 夫の出身地に戻るため
- 老後は故郷で暮らす

問5(1) 安曇野市に愛着を感じる理由 その他の内容

- ずっと住んでいるから
- ずっと住んでいるから。
- ずっと暮らしているから
- ながらくすんでいるから
- なんとなく
- まだ移住してから日が浅いので
- 安曇野市だからというわけではなく、生まれたところなので
- 塩尻、松本、長野等と比べるとスーパーや薬局、ホームセンター等生活に必要なものが一ヶ所にまとまっているため生活がしやすい
- 景観が美しい(北アルプス)
- 古くからの慣習、繋がりが強くて、融通がきかない。外から入ってきた人に対して優しくない。住みにくいと思う。
- 今はまだ山と水がある。今後は？
- 山がきれい。自然がいい。
- 山がキレイ。風景が美しい。
- 山々が美しい
- 子供の頃暮っていた。そのふるさとへ帰って来て、なつかしさがある。
- 市の一体感がない。土地用途地域が納得できない。道路工事が遅い。交差点が変形しているところがあり交通事故の発生が予想される。ゴミステーションが少ない等色々あります。
- 思い出が多い
- 持ち家があるから。
- 自所有地があるため
- 自然、四季を感じる暮らしができる
- 自然を身近に感じられること/こだわりの個人店がたくさんあること
- 自然環境、ほどよく田舎
- 自分の生まれたところであるから
- 室内ゲートボール場がほしい。野球場がほしい。
- 車で買い物ができる(大型モールで駐車)
- 住み慣れているから
- 松本に近く、友人、知人、娘達と行き来しやすい

- 生まれたところだから
- 生まれた時からこの場所にいるから、他の地域の事がわからないので
- 生まれた時から住んでいる所なので愛着を感じる。山がきれいな所だから。
- 生まれ育った場所だから
- 生まれ育った町
- 他に考えていない。住み慣れた場所だから。
- 長く住み慣れているから
- 長く住んでいるから
- 長く住んでいるから。
- 長く住んでいる為
- 長く暮らせば当然
- 長年住んでおり愛着がある
- 店が多く便利。
- 都会すぎず、田舎すぎず住みやすい
- 特に不便に感じるという事はないから。
- 不満に思う所もあるが、自分が生まれ育った場所だから
- 縁が多い

問5(2) 安曇野市に愛着を感じない理由 その他の内容

- まだまだ昔の良くない気質が残っている。村八分、道路拡張に反対し田畑を提供しない等々
- 家を建てたまま住んだだけだから
- 県民性が合わない
- 市に総合病院がない
- 自然破壊の削減、野生動物への思い
- 住んだ時間が2年程でまだ判断しづらい
- 大きな商業施設が少ない。イオンモール、イケア、コストコなど。公園が整備されていない、アグリパークなど。
- 田園を住宅街に変えており元から住む住人には不便。都会からの移住者が気難しい。
- 理由なし

問6 将来都市像に対する感想 その他の内容

- このままでいて欲しいです。
- そもそも興味がない
- もっと具体的な取り組みがわからないと答えようがない
- 自然多い安曇野が少なくなっている(市箱物が多い)
- 初めて聞きました。

問9 循環型社会の実現のために取り組んでいること その他の内容

- ビンのリユースしている。生協に加入している。生活クラブ生協
- リサイクルセンターに持ち込み再利用
- 修繕、リメイクする
- 直で畑に入れている

問10 家庭で食品ロスが発生してしまう原因 その他の内容

- R4.3/31で退職したがそれまで就労しており生野菜などのまとめ買いが多かった。(野菜は大事に摂りたいと思っているが忙しいと買物等の時間がとれなかった)上手に保存ができない事あり。
- もらいもので口に合わず残った
- 子どもの食べ残し
- 調理の仕方をもっと工夫する
- 日本は裕福だから
- 買い物をする時に考えて買い物をして料理内容も考える(買い物は月に4回くらい)(肉、魚などは冷凍にたくさんしておく)
- 畑の堆肥
- 野菜(キャベツ等々)使い切れない場合
- 野菜物の上皮、芋類などの皮はでる

問11 外食や宴会等で食品ロスが発生してしまう原因 その他の内容

- ありきたりの料理
- お店側のサービス精神
- コロナにより外出していない
- コロナの関係で外食や宴会など今はほぼありません
- たくさん量を出すという習慣
- 外食できるほど金がない
- 外食はしない
- 外食はほとんどしないのでわからない。
- 苦手な物が出た時
- 個人的には少食なので外食は量が多すぎる。
- 今はコロナの中外食を控えています
- 最近では宴会がなく家族での食事が多い為。3010運動にしっかり取り組んでもらいたい。
- 出てくるのが遅く、待ってる間にいらなくなる
- 食の大切さが自覚できていないため
- 食事の最後は食べることに専念する
- 食品ロスがある宴会の開催の必要性を考えるべき
- 足りない方が困るから「食べるものが無い」と思われてしまう
- 目の前の席の人の嫌味で職が細くなり食べきれない

問 12 高齢者の日常生活で不安だと思うこと その他の内容

- 「車がないと生活できない」と、免許返納を考える事に安心感がない。
- 移動の利便性
- 移動手段が限られている、少ない
- 交通、移動
- 交通機関 車に乗れなくなったとき
- 交通手段
- 交通手段について。
- 公共交通機関問題
- 高齢者による自動車事故
- 車が乗れなくなったら足にこまる
- 車に変わる移動手段
- 車の運転ができなくなると買い物難民になるのではと心配している
- 食品等売っているお店がそばにない
- 買い物に行けなくなったら困るであろう!!(運転免許を返した後の事)
- 買い物等
- 病院や買物などの交通機関
- 免許返納後の移動手段

問 13 多様性を尊重し合う共生社会づくりのために取り組むべきこと その他の内容

- 一方的な多様性の強要には嫌気がさす
- 家庭において
- 各種書類の電子化
- 共同とは？多様性とは？
- 教育でなく自然と尊重されるしくみ
- 市議に女性を増やすこと
- 市議会議員、地区の役員(区長、公民館長等)の女性等の比率を高めること(もちろん外国籍の方、障がいのある方、LGBTの方も含めて)
- 市役所内の意識改革から進める
- 自分と他人は違うものであり、大多数の人間と違うからといって、迫害しないというあたり前の考えを社会全体に浸透させれば良いと思う
- 社会を健全化させる存在である新聞の普及に行政も取り組むべき
- 女性管理職の登用
- 常会の高齢者への研修
- 世界が「新しい」ことがなんでも正しいかのように誘導することがおそろしい。今のままで良いこともあるのに。なぜ「新生活」「SDGs」が必ずすばらしいときめて取り組むかが不思議。誰も頼んではない。望んでもいない。
- 税金の削減
- 積極的な PR(複数回繰り返し実施)
- 全ての性別への尊重が重要

- 男中心の社会のしきみを「本気で」変えるつもりが市にはあるのか？自問自答する姿勢
- 田舎特有の偏見を無くせる取組み。古い考えの人が多いとを感じるから。
- 理解と当事者になるのは別の問題。実際に何かしらの社会的ハンデというものを持つとされる人々と一緒に生活等する機会の実現

問 14 市民が平和で、安心・安全な暮らしを送るために重要だと思うこと その他の内容

- 「水」を大切に守ること、民営化しないこと、フッ素は反対する。ばかげている。
- 市政の安定
- 治安(防災、防犯)
- 犯罪を起こさせないこと
- 暴走族がいないこと
- 防災・減災基盤の確立
- 頼れる人、場所があること
- 老後の安心

問 15 安曇野市を子育てしやすいまちにするために必要だと思うもの その他の内容

- 3世代同居の推進
- お金の支援
- スクールバスの充実
- フリースクールなど設立。障害児の先生の充実。不登校対応をして都会からファミリーを呼んだらもっと人口が増えると思う。先生の雇用も増えていいと思う。
- ワクチンの接種券を配らないこと。高森町の様に。(正しい情報を各家庭にプリントで配ってほしい。)コロナワクチンや子宮頸がんワクチンで日本はひどい目にあっているのにおしすすめているのはキチガイとしか思えない。
- 伊那市等の子育てしやすい都市等へ関係職員を研修にやり、良い所を真似る
- 給食無料、インフルエンザ予防接種無料
- 教員と教育方法の見直し
- 興味なし
- 公園の遊ぶところが少ない。遊具など。雨が降ったときに気兼ねなく小さい子供を遊ばせられる施設がほしい。松川村にいいところがある。図書館のところのみらいの公園のところのジャングルジムみたいなわけわからない遊具はいらない。誰も遊んでない。
- 産科医療機関の充実
- 産婦人科、小児科医の増
- 仕事ができなくても子育てと生活に困らない環境
- 子どもの育成・子育てに携わる人材の育成、給与補償、人材確保。以前保育士をしていたが(嘱託)、人材が少なすぎて、子どものおかれている環境・ニーズに対応出来ていない。給与、補償が少ない為、一般企業へ転職しました。資格を持った人が安心、安定の得られる施設運営をもっと考えた方が良い。そうでないと、保育のサービスなど実現しないのでは…。
- 出産できる環境
- 入学前の子育ての重要性を強く発信してほしい。愛情不足で問題児多いとを感じる。母親の育児教育など

- 社交ダンス
- 水泳
- 水泳
- 水泳
- 水泳
- 水泳
- 水泳
- 水泳
- 水泳
- 水泳
- 水泳
- 水泳
- 水泳
- 水泳
- 水泳
- 水泳、スノーボード
- 体操教室に行く
- 卓球
- 卓球
- 卓球
- 釣り、ゴルフ
- 馬術
- 背骨コンディショニング
- 和太鼓

問 18 自転車に乗る目的 その他の内容

- コミュニティ
- ゴミ出し
- ゴミ出し、近所に行く時
- ひまつぶし
- 運動のため
- 運動不足解消
- 外出
- 気晴らし、リフレッシュ
- 気分的に
- 近所に届け物
- 近所への移動(公民館等)
- 近所への用事
- 区内の用事
- 健康のため
- 今は車にたよった生活をしていますが、今後は自転車を活用した生活になっていくと思います。
- 今は乗っていないが自転車は好きなので将来は乗りたい。
- 山、坂が多い地形で現実的には無理と思う。
- 散歩として
- 子供とでかける。買い物
- 子供とのコミュニケーション
- 子供の所へ行く為
- 子供の送迎
- 子供の通学の見守り
- 持ってない
- 自転車がない
- 自転車が無い
- 集会
- 所用
- 食事

- 孫の見守り
- 体力維持のため
- 地区の会合等
- 地区内での連絡通知
- 地区役員で
- 田畑へ
- 畑に行くまでの乗り物として
- 畑仕事
- 娘の所に行く
- 薬を貰いに行く時
- 郵便局
- 様々の用事の目的地まで

問 19 小中学校での子ども教育内容について、特に重視すべきだと思うもの その他の内容

- お金についての知識
- お金の勉強
- コロナによるオンライン授業、自主的な学習能力
- わかりません
- 英語を話せるようにする
- 教員の資質。人間性が低レベルの教員がいた。子供は不幸だ。
- 個性
- 国際社会に進出する能力の育成
- 自立する力を育てる
- 小と中は設問分けた方がよい
- 常識を教える
- 人間の多様性に対する理解、共存する為の方法の追求
- 生きる力をつける、育てること
- 日本の真実の歴史と政治を教えること

問 21 公共図書館で特に充実すべきだと思うサービス その他の内容

- カフェスペース
- そんなに人気のない本を複数館で所蔵しなくてよい
- わからない
- 学習スペースの拡大
- 行ったことがない
- 使わないので分からない
- 自習スペースの拡充
- 若い世代の興味が湧くような講演会の充実
- 充分
- 図書館に行く交通の確保

- 図書館への交通手段
- 大きな字の本
- 長く借りたい
- 複合施設、カフェが併設されているとか、利用のしやすさ
- 本の除菌
- 利用しないと機会がないのでわからない。
- 利用しない

問 22 地域の伝統や文化を守っていくために力を入れて行くべき取組 その他の内容

- コロナの対応(人が集まらない)
- 子供達を毒ワクチンから守ること。マスクをとってあげること。
- 市でやる必要性を感じません
- 時代に合った形に出来るかどうか検証してみないとわからない。(人数的にも)考え方が変化していて合わないと消えてしまうと思う。
- 守る必要は無い
- 重要とは思わない。
- 小さい頃から身近に感じられたりする何か。
- 担い手の育成ではあるが、他の仕事などと両立できることが必要と思う。両立のための支援があるとよい。
- 地域行事の統合
- 地域住民同士の交流機会の増加
- 伝統文化の魅力の発信

問 24 今後の市立博物館に求めること その他の内容

- あまり必要を感じない
- あることを知らない
- あることを知らない
- イベントに人数制限で参加できなかったのが、希望者が多い時はスクールとかに分けてほしかった。
- もっと日本的な内容の博物館、美術館があったら良い
- 安曇野の文化の保護に大きく予算を割く
- 興味なし
- 見るだけでなく体験できる遊べるスペース
- 使用人数による維持管理費の支出
- 子連れでも行きやすく
- 市民の興味関心をひく
- 市民への特典が必要だと思う
- 市立博物館はどこにあるんですか？
- 小・中学校でももう少し利用できるようにしては。
- 体験型で楽しめる工夫
- 地域学識者の把握と利用
- 特別展示イベントの招聘

- 必要ない
- 明科地区から見ると地域的に不便

問 25 防災・減災のまちづくりをしていくために今後重点的に取り組んでいくべきだと思うこと その他の内容

- シェルター
- 以前のように各家庭に防災無線があつていいと思う。携帯のアプリ等を使いこなせない高齢者向けに。
- 屋外の放送が聞こえないのでスピーカーを増設して欲しいです。
- 危険な場所の把握と改善
- 行政の責任者・リーダーの危機管理レベル向上(意識、知識、言動)
- 市はあてにならないから各自治組織にお金を配分して運営を任せる
- 市内くらは防災無線で火事情報を知らせてほしい
- 避難した方が被害が出そうな建物(古い公民館とか)が多いので規模等を見直し新しくしてほしい。
- 民間企業との連携協定を結ぶ

問 26 犯罪のない安全・安心なまちづくりのために取り組むべきもの その他の内容

- 防犯カメラが多いのは問題だと思います。監視が目的になるから。簡単に外国人を受け入れること自体が問題。
- 地域の人同士の関係を強める
- 子どもの通学路なのに田畑を優先して灯がない。
- 外灯増やす
- 特に子どもの避難場所
- 防災無線が聞こえない
- 犯罪をおこさない人間育成

問 27 今後バリアフリー・ユニバーサルデザインとしていくことが必要だと思う市の施設 その他の内容

- 駅
- 公営住宅、賃貸住宅
- 全部です
- 道路
- 道路・歩道・JR 駅

問 28 公共施設のあり方について今後充実を図るべきだと思うもの その他の内容

- あづみんの改善
- 駅までの移動(バスなど)
- 車を持たない人、免許を返納した人が不便にならないシステム
- 自転車置き場の充実
- 市民全員の足となるバス(安曇野市内どこへでも行ける)
- 誰もが利用できる定時運行バス
- 千曲市バス、参考
- 夜間電車の増本

問 29 「松本系魚川連絡道路」の活用について期待する効果 その他の内容

- いない
- いない
- 道路が本当に必要なのか疑問に思っています。
- 道路を整備する必要があると思えません。その費用を他に使用した方が良い。
- ない
- なし
- 新潟方面への移動時間短縮
- 必要ではない
- 必要なのか不明
- 必要を感じられない
- 無駄な道路だと思う。
- 意味がなく効果がない
- 高速道路へのアクセス改善
- 必要がない
- 必要性を感じない
- 利便性

問 30 「安曇野市産」の農産物を手に入れやすくするために必要だと思うこと その他の内容

- 安全な農産物の販売
- 飲食店での利用促進
- 形が悪くても店に置いてほしい。
- 生産者を助ける
- 農家のやる気
- 農閑期での生産量 UP
- 農業従事者の確保
- 物産に午後行くと売り切れの物が多い。午後も品数を多くした方が良い。
- みずんを使って!!!
- 夕市と子供食堂、屋台村、仕事帰りでも買いに行ける

問 32 市内製造業への産業振興策 その他の内容

- ふるさと納税対象品目の充実
- 景観保全の観点から、これ以上の誘致や開発はしないで欲しい。
- 産業振興にのみ力を入れる必要はない

問 33 個店や商店街に期待する役割 その他の内容

- 大型スーパーの進出により商店等はさびれつつあり期待することはない。
- 大型店やスーパーにない商品や個性
- 顧客第一主義をつらぬいて欲しい
- 商店街がシャッター街で利用したことがない(豊科国道沿い)

問 34 函美濃市の地域特性を生かした産業活性化について重点的に取り組むべき産業 その他の内容

- わさび
- 活性化させなくてよい

問 35 ワークライフバランス実現するために市が取り組むべきもの その他の内容

- 市が取り組まなくてもいいと思います
- 市でやる必要性を感じない
- 賃金の引き上げ
- 年金が少ない
- まず市職員がワークライフバランスを実行すること(意識改革)
- 地域行事など親の役割を減らして欲しい

問 36 観光振興を図る上で環境整備やPR等に取り組むべき観光資源・テーマ その他の内容

- IKEA を作る
- おしゃれなカフェ、広い土地を生かしてコストコや IKEA の誘致
- サイクリング、自転車で回れるスポットの開発と道の整備
- ブランド化

問 37 安曇野市のブランドイメージ向上や観光振興にあたり活かすべき「安曇野市の魅力」 その他の内容

- 北アルプス
- こだわりの個人店がたくさんあること

問 38 安曇野市の人口減少を抑制するために取り組むべきもの その他の内容

- いくら対策しても若者は生む気がないので、対策にお金を使う必要はない。(少子化対策)
- 結婚、出産、子育てに関する様々な面からの費用の補助(少子化対策)
- 子どもの遊び場充実(少子化対策)
- 産婦人科医の充実(少子化対策)
- 市が取り組む必要はないと思います(少子化対策)

- 子宮頸がんワクチンもコロナワクチンも不妊薬が入っているので栄養状態の良い日本の女の子たちの 2 人に 1 人が不妊症になっているのが現状です。これをやめればいい。(少子化対策)
- 出産時の自己負担金の軽減(国の一時金だけでは足りない。出産＝お金のイメージをなくしないと若い人が産めない(少子化対策)
- 多子世帯への支援拡充(少子化対策)
- 空き家利用(移住・定住の促進)
- 空き家をもう少し値段を下げた方が良くと思います。あこがれの安曇野で中古住宅と家庭菜園を夢見ている人は多いと思いますが、不動産がなかに入っているとお金のない人は困っている、という現状があります。(移住・定住の促進)
- 移住希望者への市外企業への就労支援(移住・定住の促進)
- 移住して後悔している人もたくさんいるので、移住促進する必要はない。道路交通法を守らない地域に、移住は勧めないほうがよい。(移住・定住の促進)
- 企業の誘致(移住・定住の促進)
- 戸建て購入者へのお祝い金(移住・定住の促進)
- 実力ある企業の誘致設置を働きかけていくことがまずは必要ではないか。そうすれば働いて定住する方、大学生の U ターンの方たちも安曇野にとどまることもできていくのでは。(移住・定住の促進)
- 市バス(移住・定住の促進)
- 魅力的な商業施設やレジャー施設の充実(移住・定住の促進)
- 雪の安全・安心のアピール(移住・定住の促進)
- 大企業の誘致(移住・定住の促進)
- 働ける場の誘致(移住・定住の促進)

問 39 協働や市民活動に関して、どのような情報に興味・関心があるか その他の内容

- 行政がしっかりするべきだと思う
- 興味なし
- そもそも課題が何なのか？それによってとるべきアプローチは変わるので課題を話し合える場があるといいと思う。
- 近くの自治体(松本市、塩尻市)とセットで課題解決しないと。安曇野市単独ではムリ。
- 特にありませんというかわからない
- 課題を解決するためには、行政が積極的に企業を参考にすべき
- 他都市の失敗事例の共有

問 40 協働のまちづくりを進めるためのイベント(講演会など)として興味・関心が持てるテーマ その他の内容

- 行政の対策
- コロナの真実をとして下さる専門家の先生達による講演会をひらいてほしいです。コロナワクチンの危険性についてなど。
- 地域通貨について
- 地域の高齢化
- 薪ストーブがもたらす大気汚染、排気における健康被害

問 41 市民の利便性向上のために取り組むべきデジタル化の内容 その他の内容

- 回覧板
- 高齢者への支援、手助け
- 市独自のツールを市民に提供する。スマホがない人でも活用可能なもの。
- 市役所内部での人員削減の為のデジタル化
- 障害者への対応の充実
- デジタル化に対応できない高齢者の方々などに対する対応
- デジタル化は NOW への道でありやめた方が良い。
- デジタルに弱い高齢者の対策
- デジタルよりも気楽な対面を望む
- 年寄りの家ではできない事が多い
- パソコンなどを無償で提供する。
- 水道料金でクレジットカード支払いができる
- 全部必要に決まってる。優先度を考えるべき。

アンケート票

**第2次安曇野市総合計画 後期基本計画策定に係る
市民アンケート調査のお願い**

市民の皆様には、日頃から市政運営につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では平成30年度から「第2次安曇野市総合計画」をスタートさせ、福祉や教育、まちづくり、産業振興など、さまざまな分野の推進充実に取り組んで参りました。この計画の「前期基本計画」が令和4年度で満了することに伴い、新たに令和5年度から令和9年度までの「後期基本計画」を策定します。策定にあたっては、市民の皆様のお考え・ご意見等が重要となりますので、アンケート調査をお願いすることといたしました。

アンケートは、市内にお住まいの18歳以上（令和4年3月1日時点）の2,000人の皆様を無作為に抽出させていただき、ご協力をお願いいたしました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和4年4月 安曇野市長 太田 寛

<ご記入にあたってのお願い>

- 本調査は無記名でお答えください。調査結果は統計的に処理し、個人が特定されたり、個人に関する情報が公表されたりすることはありませんので、率直なお気持ちをご回答ください。
- **必ず「宛名のご本人」様がお答えください。**このため、ご病気等によりご回答いただけない場合は、廃棄等していただいてもかまいません。
- ご記入が終わりましたら、同封いたしました返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和4年5月6日(金)まで**にお近くのポストへ投函をしていただきますようお願い申し上げます。
- **インターネットによる回答も可能です。**詳しくは裏面をご覧ください。

<この調査のお問い合わせ先>

安曇野市 政策部 政策経営課 企画担当
電話：0263-71-2401（直通）※平日の8:30~17:15
FAX:0263-71-5155
Eメール：seisakukeiei@city.azumino.nagano.jp

【インターネットによる回答のご案内】

<手順>

① アンケート回答ページにアクセスしてください。

(https://s-kantan.jp/city-azumino-nagano-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=20876)

[アクセス方法1]

右のQRコードを読み取ってください。



[アクセス方法2]

「ながの電子申請サービス」で検索してください。

ページ左上の「申請団体選択」から「安曇野市」を選択のうえ、

「第2次安曇野市総合計画後期基本計画策定に係る市民アンケート調査」を選択してください。

② 案内に沿ってご回答ください。

<ご注意点>

- ・ インターネットで回答した方は、紙での回答は必要ありません。
- ・ インターネットによる回答は、一度限りとしてください。

1. あなたやご家族のことについて

問1. あなたご自身についてお答えください。

(1) あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 回答しない |
|-------|-------|----------|

(2) あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|------------|
| 1. 18～24 歳 | 2. 25～29 歳 | 3. 30～34 歳 | 4. 35～39 歳 |
| 5. 40～44 歳 | 6. 45～49 歳 | 7. 50～54 歳 | 8. 55～59 歳 |
| 9. 60～64 歳 | 10. 65～69 歳 | 11. 70～74 歳 | 12. 75 歳以上 |

(3) 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------------|------------|------------|
| 1. 農林水産業（専業） | 2. 自営業・事業主 | 3. 勤め人（常勤） |
| 4. 勤め人（パート・アルバイト、派遣等） | 5. 専業主婦・主夫 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他（ ） | |

(4) 通勤先、通学先の市町村についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------|-----------|---------------|
| 1. 安曇野市 | 2. 松本市 | 3. 塩尻市 |
| 4. 大町市 | 5. その他（ ） | 6. 通勤・通学していない |

(5) お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. 豊科 | 2. 穂高 | 3. 三郷 |
| 4. 堀金 | 5. 明科 | |

(6) あなたの「出身地[※]」についてお答えください。(1つに○)

※ 15歳までの期間に最も長く居住した場所を「出身地」としてお答えください。

- | | | | |
|-----------------|--------|---------|----------------|
| 1. 安曇野市 | 2. 松本市 | 3. 大町市 | 4. 塩尻市 |
| 5. その他の県内市町村（ ） | 6. 東京都 | 7. 神奈川県 | |
| 8. 埼玉県 | 9. 愛知県 | 10. 大阪府 | 11. その他の道府県（ ） |

(7) 安曇野市での居住を始める前（直前）に居住していた都道府県・市町村についてお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|--------------------|-----------------|--------|---------|
| 1. 安曇野市以外での居住経験はない | 2. 松本市 | 3. 大町市 | |
| 4. 塩尻市 | 5. その他の県内市町村（ ） | 6. 東京都 | |
| 7. 神奈川県 | 8. 埼玉県 | 9. 愛知県 | 10. 大阪府 |
| 11. その他の道府県（ ） | | | |

問2. 世帯状況についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|-------------|---------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦で二人暮らし | 3. 二世帯同居（親-子） |
| 4. 三世帯同居（親-子-孫） | 5. その他（ ） | |

2. 安曇野市での暮らしについて

問3. あなたは安曇野市での生活にどの程度満足していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満である |
| 5. 不満である | 6. その他 () |

問4. あなたは、これからも安曇野市に住み続けたいですか。(1つに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. ずっと住みたい |
| 2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい |
| 3. 他の市町村へ移りたい |
| 4. わからない・その他 () |

問4 で「1. ずっと住みたい」または「2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」と回答した方のみご回答ください。

(1) 安曇野市に住みたいと思う理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 両親や祖父母の近くで生活したいから |
| 2. (親などから) 地元で生活するように言われているから |
| 3. 友人が沢山いるから |
| 4. 生まれ育った場所で、生活に慣れているから |
| 5. 安曇野市の風土や食べ物が好きだから |
| 6. 職場が近いから |
| 7. 持ち家があるから |
| 8. その他 () |

問4 で「3. 他の市町村へ移りたい」と回答した方のみご回答ください。

(2) その理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 都会に興味があるから | 2. 買い物などが不便だから |
| 3. 働きたい会社がないから | 4. 街に活気がないから |
| 5. 親と別々に住みたいから | 6. 魅力あるイベント、遊ぶ場が少ないから |
| 7. 公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから | 8. 若い世代が少ないから |
| 9. 安曇野市の風土が好きではないから | 10. 冬の生活が大変だから |
| 11. 近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから | 12. 子育てしにくい環境だから |
| 13. 職場が近いから | 14. その他 () |

問5. 安曇野市に愛着を感じていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. とても感じている | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない |

問5で「1. とても感じている」または「2. どちらかというと感じている」と回答した方のみご回答ください。

(1) 安曇野市に愛着を感じる理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 自然環境と調和した快適な住環境が整備されている |
| 2. 医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る |
| 3. 安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている |
| 4. スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている |
| 5. 学校教育や生涯学習が充実している |
| 6. 歴史や文化・伝統が受け継がれている |
| 7. 博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している |
| 8. 自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことが出来る |
| 9. 幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある |
| 10. 農林水産業が盛んである |
| 11. 経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である |
| 12. 観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである |
| 13. まちの知名度・ブランド力が高い |
| 14. 移住・定住者が多い |
| 15. 行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である |
| 16. 先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い |
| 17. ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的である |
| 18. その他 () |

問5 で「3. どちらかというと感じていない」または「4. 感じていない」と回答した方のみご回答ください。

(2) 安曇野市に愛着を感じない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない
2. 医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことが出来ない
3. 安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない
4. スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない
5. 学校教育や生涯学習が充実していない
6. 歴史や文化・伝統が受け継がれていない
7. 博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない
8. 自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことが出来ない
9. 幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない
10. 農林水産業が盛んでない
11. 経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない
12. 観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない
13. まちの知名度・ブランド力が低い
14. 移住・定住者が少ない
15. 行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない
16. 先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い
17. ゼロカーボンの推進など、SDG s の達成に積極的でない
18. その他 ()

3. 安曇野市の行政に関すること

■ 市の全般的な施策等について

問6. 今後のまちづくりにあたって最も基本となる計画である「総合計画」では、平成30年～令和9年までの10年間で目指すべき「**将来都市像**」として、「**北アルプスに育まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野**」を掲げ、各種施策に取り組んでいます。これについて、あなたの実感・感想として当てはまるものを教えてください。(1つに○)

1. 「将来都市像」の実現に向けた取り組みが進んでいると感じる
2. 「将来都市像」の実現に向けた取り組みが進んでいるかどうかわからない
3. 「将来都市像」の実現に向けた取り組みが進んでいないと感じる
4. 「将来都市像」が意味する具体的な内容・イメージがわからない
5. その他 ()

問7. 以下に示す分野ごとの市の施策について、「① 現状の満足度」と「② 今後の重要度」等をお聞きします。

【① 現状の満足度】

各施策の内容について、現在どの程度満足していますか。(1つに○)

【② 今後の重要度】

各施策の内容について、将来的にどの程度重要だと考えますか。(1つに○)

(1) 自然環境について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 河川、山林などの自然環境が保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 太陽光発電などの自然エネルギーが普及している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問 8. 地下水・湧水は安曇野市にとって、生活、産業、観光と密接に関わり、欠かすことのできない貴重な地域資源となっていますが、あなたのご家庭での節水への取り組みについて教えてください。(1つに○)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 常に節水を心がけている | 2. どちらかといえば節水に心がけている |
| 3. 節水は必要だと思うが、日頃は心がけていない | 4. 全く気にせず水を使っている |

問 9. 循環型社会(天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会)の実現のため、あなたが現在取り組んでいる、またはこれから取り組もうと思っていることは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. 食べ物の食べ残し(食品ロス)を減らす | 2. マイバッグ、マイボトル等を利用する |
| 3. 家庭ごみの分別を徹底する | 4. 出来るだけ中古品を購入する |
| 5. ごみの減量化につながる商品(詰め替え等)を購入する | 6. リース・レンタルを活用し、モノを所有しない |
| 7. コンポスト等を活用し、生ごみをたい肥化する | 8. 不要になったものはリサイクルショップやバザーへ出品する |
| 9. その他() | |
| 10. 取り組んでいるもの(取り組もうと思っているもの)は無い | |

問 10. 日本では、生ごみのうち、本来食べられたはずなのに捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」が、年間約 600 万~700 万トン発生していると推計されます。ご家庭で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 食品を買いすぎ、使い切れずあまってしまったため |
| 2. 食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため |
| 3. 家に在庫があるのに、不必要なものを買ってしまったため |
| 4. 料理を多く作りすぎ、食べ残してしまったため |
| 5. 期限切れに近い見切り品を買ったが、食べきれなかったため |
| 6. お土産などで食品をいただいたが、食べられなかったため |
| 7. 食品ロスは出ない |
| 8. その他() |

問 11. 外食や宴会等で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 少量のメニューが提供されていなかったため |
| 2. 注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため |
| 3. コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため |
| 4. 接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため |
| 5. 味が好みでなかったため |
| 6. お酌に回る時間が主となり、料理に手をつけられなかったため |
| 7. 食品ロスは出ない |
| 8. その他() |

(4) スポーツについて

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 スポーツを楽しめる環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問16. 健康づくりやレクリエーション活動の一環として取り組んでいる、または興味のあるスポーツはありますか。(○はいくつでも)

1. ランニング	2. サイクリング	3. マウンテンバイク
4. 野球・ソフトボール	5. バレーボール	6. バスケットボール
7. マレットゴルフ	8. ゲートボール	9. テニス
10. 登山	11. ウォーキング	12. その他 ()

問17. 安曇野市では自転車を活用したまちづくりを進めています。あなたの自転車にのる頻度を教えてください。(1つに○)

1. ほとんど毎日	2. 週に数回	3. 週に1回
4. 月に1回	5. ほとんど利用しない	

問18. あなたの自転車にのる目的を教えてください。(○はいくつでも)

1. サイクリング	2. 通勤・通学	3. 買い物
4. その他 ()	5. ほとんど利用しない	

(5) 教育・学習について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 小中学校での教育が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 小中学校と地域・家庭の連携が図れている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 年代に関わらず、学びの機会が提供されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問19. 小中学校での子どもの教育の内容について、特に重視すべきだと思うものは何ですか。(特に当てはまるもの2つまで○)

1. 基礎的な学力	2. コミュニケーション能力
3. 決まりやルールに基づいて、判断・行動する意識	4. 他人を思いやる心
5. 地域貢献や社会貢献への関心	6. 将来の進路や職業に関する意識
7. 健康づくり、体力の増強	8. コンピュータ等の ICT 機器を活用する能力
9. その他 ()	

問20. 生涯学習として、今後新たに学びたい分野・関心のある内容がありますか。(○はいくつでも)

生涯学習	人々が生涯で行うあらゆる活動を指します。 例えば、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア、趣味など
------	---

1. 健康づくり	2. スポーツ
3. 芸術	4. 職業上必要な知識・技能・資格
5. パソコン、インターネット	6. 安曇野市の歴史や風土
7. 外国語の学習	8. 子育て、教育
9. ボランティア	10. マネー・ライフプラン
11. 防犯、防災	12. 身近な自然環境や地域環境の保全
13. 地域づくり	14. ガイドや指導者として人に伝える技術
15. 趣味などその他	

問2 1. あなたが、公共図書館で特に充実すべきだと思うサービスについて教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 図書館資料の充実 | 2. 図書館設備の使いやすさ |
| 3. おはなし会・講演会・講座等の催しの充実 | 4. 本や調べものの相談(レファレンスサービス) |
| 5. 図書館からの情報提供 | 6. 多言語対応 |
| 7. ビジネス支援のサービス | 8. 健康・医療情報のサービス |
| 9. 電子書籍のサービス | 10. 開館日・開館時間の拡大 |
| 11. インターネット環境の充実 | 12. その他() |

(6) 地域の伝統について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 地域の伝統や文化の保存・活用が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問2 2. 地域の伝統や文化を守っていくために、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 担い手の育成 | 2. 関連団体・個人の支援 |
| 3. 文化財保存や維持管理のための支援 | 4. 文化財の災害対策 |
| 5. 伝統文化の普及・活用 | 6. 学校等との連携 |
| 7. その他() | |

(7) 文化・芸術について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 国際交流イベントが盛んに行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問23. 安曇野市の文化芸術環境の特長についてどのようにお考えですか。(特に当てはまるもの3つまで○)

1. 図書館や交流学習センターが整備されている
2. 美術館、博物館が整備されている
3. 芸術鑑賞の場となるホールや展示場・ギャラリーが充実している
4. 活動の発表場所となるホールやギャラリーが充実している
5. 特色あるイベントや文化芸術活動が行われている
6. 地域の伝統文化や文化財を学習、体験できる機会が充実している
7. コンサートや展覧会など、文化芸術を楽しむ機会が充実している

問24. あなたが今後の市立博物館に求めることについて教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

1. 収蔵・展示資料の質や量が充実している
2. 学芸員等による研究・教育普及活動が充実している
3. 色々な人(高齢者、外国人、障がい者、子ども、観光客など)が利用しやすい配慮がされている
4. 防災機能に優れ、貴重な資料を守り後世に伝えていける
5. 駅に近い、駐車場が広い等、たくさんの人が訪れやすい立地条件である
6. 友の会活動や学校との連携等、市民が参加する活動が活発である
7. 建設・整備にできる限りお金がかからない
8. 維持管理にできる限りお金がかからない
9. 観光施設として市外へアピールできる
10. これまでも博物館に興味関心があった人が、より参画しやすい
11. これまでは博物館に興味関心のなかった人が、惹きつけられる
12. その他 ()

(8) 防災・防犯について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 地域において、地震や台風などへの備えができています	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 交通安全の取り組みが行われています	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 防犯対策が行われています	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われています	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問25. 防災・減災のまちづくりをしていくために、市が今後重点的に取り組んでいくべきだと思うことは何だと思いますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | | |
|-----------------|--------------------|-----------------------|
| 1. 公共施設の耐震化 | 2. 住宅の耐震化への支援 | 3. 避難場所や避難路の充実 |
| 4. 消防救急・救護体制の充実 | 5. 必要物資の備蓄 | 6. 防災訓練の実施 |
| 7. 防災教育の充実 | 8. 地域での避難・見守り体制の構築 | 9. デジタル技術を活用した防災情報の提供 |
| 10. 治山・治水対策の強化 | 11. その他 () | |

問26. 犯罪のない安全・安心なまちづくりのために一層力を入れて取り組むべきものは何だと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 行政や警察からの犯罪・防犯情報の提供、注意喚起 |
| 2. 警察によるパトロール |
| 3. 地域の自主防犯活動(防犯パトロール、子どもの見守り活動) |
| 4. 自主防犯活動団体の育成・支援 |
| 5. 防犯講座、啓発活動の充実 |
| 6. 防犯灯の設置・増設 |
| 7. 防犯カメラの設置 |
| 8. 見通しの悪い場所の改善など防犯上の環境の改善 |
| 9. その他 () |

(9) 都市基盤について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 市街地は道路等が整備されており、快適である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 安曇野らしい景観が保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 緑化の保全、普及が進められている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 公園、緑地の整備・維持管理がされている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 国道、県道などの幹線道路が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 生活道路である市道が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 公共交通網が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問27. 市内の施設について、今後重点的にバリアフリー・ユニバーサルデザインとしていくことが必要だと思うものは何ですか。(特に当てはまるもの2つまで○)

バリアフリー	障がい者や高齢者、妊婦等が生活するうえで障壁となるものを除去するという考え方
ユニバーサルデザイン	年齢や性別、障がいの有無等に関わらず、人々が利用しやすいように製品や施設、生活環境等をデザインするという考え方

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 官公庁施設 | 2. 福祉施設 (老人ホーム等) |
| 3. 保育園、幼稚園、学校等 | 4. 社会教育施設 (図書館、美術館、公民館等) |
| 5. 社会体育施設 (体育館、プール等) | 6. 医療施設 (病院、診療所等) |
| 7. オフィスビル、事務所等 | 8. 商業施設 (スーパーマーケット等) |
| 9. 飲食店 | 10. その他 () |

問28. 公共交通のあり方について、今後充実を図るべきだと思うものは何ですか。(特に当てはまるもの2つまで○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 安曇野市内への通学のための移動 | 2. 安曇野市外への通学のための移動 |
| 3. 安曇野市内への通勤のための移動 | 4. 安曇野市外への通勤のための移動 |
| 5. 高齢者の通院・買い物のための移動 | 6. 観光客の市内周遊のための移動 |
| 7. その他 () | |

問29. 現在、松本市から新潟県糸魚川市に至る延長約100kmの地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」の整備についての計画が進められています。この「松本糸魚川連絡道路」の活用について、あなたが期待する効果を教えてください。(特に当てはまるもの2つまで○)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 市内、松本市、大北地域、北陸地方への移動時間短縮 | 2. 安曇野 IC 周辺の渋滞緩和 |
| 3. 北陸地方との連携による地域産業の活性化 | 4. 市内外の観光地間の周遊性の向上による観光振興 |
| 5. 市内中心部や松本市への救急搬送の円滑化 | 6. 災害時の交通ルートの確保 |
| 7. その他 () | |

(10) 農林水産業について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問30. 「安曇野市産」の農産物を手に入れやすくするためには、何が必要だと思いますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. スーパー等での安曇野市産コーナーの設置・拡大 | 2. 農産物に安曇野市産のマークをつける |
| 3. 市内の八百屋や地元商店等での取り扱いの充実 | 4. 直売所において取り扱う品数・種類の充実 |
| 5. 直売所の営業時間の延長 | 6. 朝市・夕市等の定期的な開催 |
| 7. 販売情報の情報発信・PRの充実 | 8. より安い価格での販売 |
| 9. より鮮度の良い状態での販売 | 10. その他 () |

問31. あなたは、自分でも農業(家庭菜園・市民農園利用)をやってみたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. やっている | 2. 興味がある |
| 3. 興味があるがやり方が分からない | 4. 興味がない |

問33. 個店や商店街に、地域の中でどのような役割を期待しますか。(〇はいくつでも)

1. 日常の買物ができ、生活の利便性を高めること
2. 地域の情報を発信すること
3. 住民同士の会話の場所や、地域社会のよりどころとなること
4. 街路灯を設置するなど、地域の安全に貢献すること
5. 祭りやイベントの担い手となること
6. 花の植栽や道路清掃など、まちの雰囲気をよくすること
7. 地区や自治会組織の構成員として活動に協力すること
8. その他 ()

問34. 安曇野市の地域特性を生かした産業活性化について、重点的に取り組むべき産業は何だと思えますか。(特に当てはまるもの2つまで〇)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 農林業 | 2. 水産業 |
| 3. 商業(卸売業、小売業) | 4. 製造業・工業 |
| 5. 観光関連産業(宿泊業・飲食業等) | 6. 情報通信業(ITサービス等) |
| 7. その他のサービス業 | 8. その他 () |

問35. 安曇野市でお住まいの方や働く方が、仕事と生活のバランスがとれた働き方(ワークライフバランス)を実現するために、市が取り組むべきものは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| 1. テレワーク可能なコワーキングスペース等の充実 | 2. 子どもを預けられる施設数の増加 |
| 3. 介護施設等の施設数の増加 | 4. 利用可能な介護サービスの充実 |
| 5. 勤務先の介護・育児などに対する理解の促進 | 6. 配偶者・パートナーの家事、育児、介護に対する理解の促進 |
| 7. その他 () | 8. ワークライフバランスの実現が必要だとは思わない |

(12) 観光について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を〇で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 安曇野市は魅力的な観光地である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 安曇野らしい産品が生み出されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問36. 観光振興を図る上で、より力を入れて環境整備やPR等に取り組むべき安曇野市の観光資源・テーマは何だと思いますか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 自然環境 (ネイチャーツーリズム) |
| 2. アウトドア (屋外での) スポーツ (登山・キャンプ・トレッキング・キャンプ等) |
| 3. 歴史・文化・芸術 (アートツーリズム) |
| 4. 農業・農産物 (農業体験、安曇野市産農産物を使用したメニュー等) |
| 5. その他 () |

問37. 安曇野市のブランドイメージの向上や観光振興にあたり活かすべき「安曇野市の魅力」は何だと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 豊かな水 | 2. 農産物 (果物、米、わさび等) |
| 3. 水産物 (ニジマス、信州サーモン等) | 4. 北アルプス、まちなみの景観 |
| 5. 美術館・博物館 | 6. アウトドア (屋外でのレジャー等) が楽しめる環境 |
| 7. 天蚕 | 8. 田舎暮らし |
| 9. その他 () | |

(13) 地域ブランドについて

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 全国的に「安曇野市」の地名が知られている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 市外在住者に誇ることのできる地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(14) 移住・定住について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 移住者、定住者が多く活気のあるまちである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問38. 安曇野市の人口減少を抑制するために、市で取り組むべきだと思う取り組みは何だと思いますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

少子化対策	1. 結婚、出産、子育ての希望実現のための、経済的自立の支援（就業相談、職業能力開発支援等） 2. 結婚を望む方への支援（出会いの場の提供、相談体制の充実等） 3. 妊娠、出産、子育て支援（母子保健サービス、保育サービス等） 4. 子育てと仕事の両立支援（企業への啓発活動等） 5. その他（ ）
移住・定住の促進	6. 首都圏等へのプロモーション強化 7. 移住希望者への住宅取得支援 8. 移住希望者への市内企業への就労支援 9. 子育て支援の充実（教育費の補助等） 10. 市外で暮らす安曇野市出身大学生等への市内企業への就労支援・情報発信 11. その他（ ）

(15) 協働・コミュニティ活動について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 地域住民によるコミュニティ活動が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 NPO、ボランティア活動が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 まちづくりへの市民参画が進んでいる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問39. 地方を取り巻く課題は、多様化・複雑化しており、市民だけ、行政だけでは解決できない複雑な課題が山積しています。そのような課題を解決するためには、市民、自治会、市民活動団体などと行政が、お互いを補い合いながら協力して課題解決を進めて行く「協働」によるまちづくりの推進が必要です。この「協働」や「市民活動」に関して、どのような情報に興味・関心がありますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. 区など自治会の活動 | 2. 市民活動団体の活動 |
| 3. 企業の公益的事業 | 4. 教育機関の地域貢献事業 |
| 5. 市内の協働事例の情報 | 6. 市外の協働事例の情報 |
| 7. 地域の人材情報(協力者、参加者等) | 8. 活動場所の情報(空き店舗、イベントスペース等) |
| 9. 市民活動や協働に関する専門家情報 | 10. 行政機関等の動向・各種支援情報 |
| 11. 団体の設立等、市民活動に関する法制度 | 12. 市民活動のノウハウ |
| 13. 成功事例の取り組みプロセス・苦労話 | 14. 補助金等各種支援事業の具体的な活用方法 |
| 15. その他() | |

問40. 協働のまちづくりを進めるためのイベント(講演会など)を開催する場合、興味・関心が持てるテーマはありますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 市民が主役のまちづくり | 2. 自治基本条例と協働のまちづくり |
| 3. 地域コミュニティの再構築・活性化 | 4. 地域が一体で取組む防災・防犯 |
| 5. 地域の子どもは地域で育てる | 6. 地域の見守り・支え合い・助け合い |
| 7. NPO・市民活動団体の活性化 | 8. 地域の資源を活かしたまちづくり |
| 9. あらゆる主体の協働の先進事例 | 10. その他() |

(16) デジタル社会・行政サービスについて

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 情報化社会に対応した基盤が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 行政運営の効率化が図られている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 市政に関する情報が入手しやすい	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 広報紙「広報あづみの」が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 市公式ホームページ、SNSが充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 市のラジオ番組（あづみ野エフエム）が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問4 1. 安曇野市において、市民の皆さんの利便性の向上のために取り組むべきデジタル化の内容として、必要と思うものは何ですか。(特に当てはまるもの3つまで○)

1. インターネットで市役所への申請や届け出ができる
2. 行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される
3. 情報セキュリティ対策を徹底し、市民の個人情報を守る
4. 各種申請や行政サービスについて、24時間いつでも問い合わせができる
5. 高齢者や子どもの見守りを強化する
6. 税金や証明書の手数料等がキャッシュレスで支払える
7. センサー等を利用して河川の増水や地下道の水没、道路の冠水の監視を強化する
8. インターネットで公共施設利用状況の確認や予約等ができる
9. その他 ()

(17) SDGs (持続可能な開発目標) について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 SDGs の達成に向けて取り組んでいる地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問42. その他、市へのご意見やご提案などあれば記載してください (自由記載)

アンケートは以上です。

同封いたしました返信用封筒 (切手不要) に入れ、**令和4年5月6日(金)まで**にお近くのポストへ投函をしていただきますようお願い申し上げます。
(インターネットで回答した方は、返信用封筒にてお送りいただかなくて結構です。)

第2次安曇野市総合計画後期基本計画
市民意識調査報告書

令和4年6月 安曇野市